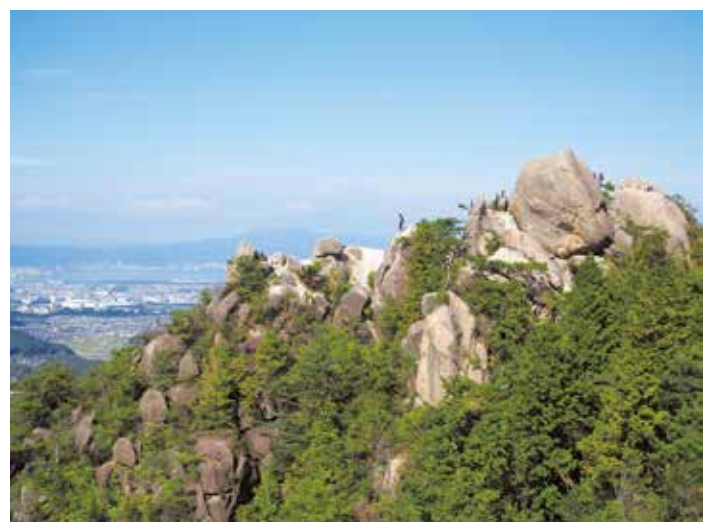


栗東市文化財保存活用地域計画



令和4年（2022）11月
滋賀県栗東市

表紙の写真

① 大角家住宅（重要文化財）

東海道石部宿と草津宿の間宿にあり、名物の道中薬「和中散」を製造販売する和中散本舗の建物です。併設の書院は諸大名の小休みどころになりました。

② 粕坂磨崖仏（国史跡）

金勝山系に佇む、古代屈指の石仏です。高さ6.3mの花崗岩を半肉彫りにしており、統一新羅の系譜とされます。

③ 薬師講の膳（未指定）

林の薬師堂で、2月に行われるオコナイの膳。甘辛く煮た、大きなタタキゴボウが特徴的で、「ごぼう講」とも呼ばれています。

④ 大宝神社狛犬（重要文化財）

大宝神社に伝わる鎌倉時代の狛犬。像高50cmに満たない小像ですが、写実性豊かな表現から、日本の動物彫刻の代表作といわれます。

⑤ 小杖祭りの祭礼芸能（重要無形民俗文化財）

小槻大社を中心に毎年5月に行われます。大きな傘鉾をかざし、花笠を被った子どもたちが神事歌によって踊る、中世の流れをくむ芸能です。

⑥ 天狗岩（未指定）

金勝山は花崗岩の風化・侵食によって出来た巨岩・奇岩が数多く存在しています。琵琶湖や比叡山、天気が良い日には、伊吹山まで見ることが出来ます。

栗東市文化財保存活用地域計画

例 言

1. 本書は、文化財保護法第183条の3に定められた、滋賀県栗東市の市域における文化財の保存と活用に関する総合的な計画（文化財保存活用地域計画）として作成したものである。
2. 本計画の作成に当たっては、栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会を設置し、検討を行った。
3. 計画の取りまとめについては、文化庁地域文化創生本部広域文化観光・まちづくりグループの指導・助言を、滋賀県文化スポーツ部文化財保護課の助言を受け、栗東市教育委員会事務局スポーツ・文化振興課が行い、株式会社イビソクが策定支援を行った。
4. 本計画は、令和2年度（2020）令和3年度（2021）令和4年度（2022）に、地域文化財総合活用推進事業（文化財保存活用地域計画作成）国庫補助金の交付を受けて作成した。

目 次

第1章 地域計画作成の目的と位置づけ	1
1 背景と目的	1
2 地域計画の位置づけ	2
3 計画期間	11
4 進捗管理と自己評価の方法	12
5 歴史文化要素の保存と活用のプロセスにかかる用語の定義	13
6 地域計画作成の経過	15
第2章 栗東市の概要	21
1 自然的・地理的環境	21
(1) 位置と概要	21
(2) 行政単位の変遷	22
(3) 地形・地質	25
(4) 水系	27
(5) 気候	28
(6) 自然災害	29
(7) 自然環境	34
2 社会的状況	36
(1) 土地利用	36
(2) 人口	39
(3) 交通	41
(4) 産業・伝統産業	43
(5) 観光	44
(6) 歴史文化資産活用・運用の取り組み	46
3 歴史的環境	50
(1) 原始	50
(2) 古代	51
(3) 中世	53
(4) 近世	56
(5) 近現代	58
(6) 民俗	59
第3章 歴史文化要素の概要と特徴	61
1 指定等文化財の状況	61
2 未指定文化財の状況	63
3 歴史文化要素の状況	64
第4章 栗東の歴史文化の特徴	69

第5章 歴史文化要素の把握調査	75
1 これまでの調査概要	75
2 分野別把握調査の現状・課題	82
第6章 歴史文化要素の保存と活用	87
1 保存と活用の基本的な考え方	87
2 課題	88
3 方針	91
4 措置	99
第7章 歴史文化要素の一体的・総合的な保存と活用	105
1 関連文化財群設定の目的	105
2 関連文化財群の考え方	106
3 関連文化財群及びその保存活用計画	107
第8章 歴史文化要素における防災・防犯	159
1 現状と課題	159
2 方針	161
3 措置	162
4 推進体制	163
第9章 保存・活用の推進体制	165
1 事業実施に向けた庁内運営体制	165
2 事業実施に向けた市民などとの協働体制	167
3 周辺自治体との協力体制	169
巻末資料	1

第1章 地域計画作成の目的と位置づけ

- 1 背景と目的
- 2 地域計画の位置づけ
- 3 計画期間
- 4 進捗管理と自己評価の方法
- 5 歴史文化要素の保存と活用のプロセスにかか
る用語の定義
- 6 地域計画作成の経過

第1章 地域計画作成の目的と位置づけ

1 背景と目的

滋賀県の南部に位置する栗東市（以下、特に断らない限り栗東という）は、昭和29年（1954）10月1日、栗太郡の金勝・葉山・治田・大宝の4ヶ村が合併し「栗東町」が誕生したことにはじまり、平成13年（2001）10月1日に市制が施行され「栗東市」となりました。

栗東は、山間部から平野部まで特色ある自然環境のもとに立地しています。また古代より官道・街道が通過し、さらに琵琶湖に流れ込む河川を介して西国や東国とのつながりを有してきました。このような背景のもと、栗東には豊かな歴史とそれを物語る多くの文化財が残っており、現在の市の歴史文化の基層となっています。

近年の栗東は、交通条件の良さなどを背景に企業立地が進み、北部の平野部を中心に京阪神地域のベッドタウンとして、人口がいまなお増加傾向にあります。

しかし、山間部を中心にした少子化・高齢化の進行や、人口が急増する平野部での新規市民と従来の市民との歴史文化に対する認識の違いが、歴史文化を担い継承していくうえでの課題となっています。さらには、最近の新型コロナウイルス感染症拡大防止のために地域活動が制限されるなど、新たな問題による地域力の低下も今日的な課題です。

こうした課題解決のためには、栗東にこれまで住んでいる人・新しく住む人・関わる人が、地域の歴史文化を構成する要素に気づき、守っていくことで、栗東の歴史文化をふるさとの資産（たから）としてとらえ、保存・活用・運用していくことが必要です。

『栗東市文化財保存活用地域計画』（以下、地域計画という。）は、栗東の豊かな歴史文化を舞台として、継続的・発展的な文化財の保存と活用・運用につなげ、地域に、愛着や誇りを持つことができる、魅力あるふるさとづくりを進めることを目的とし、総合的な計画として定めるものです。

栗東市の木・花・鳥



貝塚伊吹（昭和48年（1973）制定）



キンセンカ（昭和48年（1973）制定）



メジロ（昭和63年（1988）制定）
（栗東自然観察の森HPより）

2 地域計画の位置づけ

地域計画では、栗東の文化財を適切に次代へ保存・継承していけるよう、実効性のあるものにするために、『第六次栗東市総合計画』（以下、総合計画という。）や『第3期栗東市教育振興基本計画』（以下、基本計画という。）、『滋賀県文化財保存活用大綱』、さらに関係部局の諸計画に連携、整合したものとします（図1-1）。

この項目では、地域計画と庁内で策定されている諸計画との位置づけを明らかにし、今後の方向性を示します。

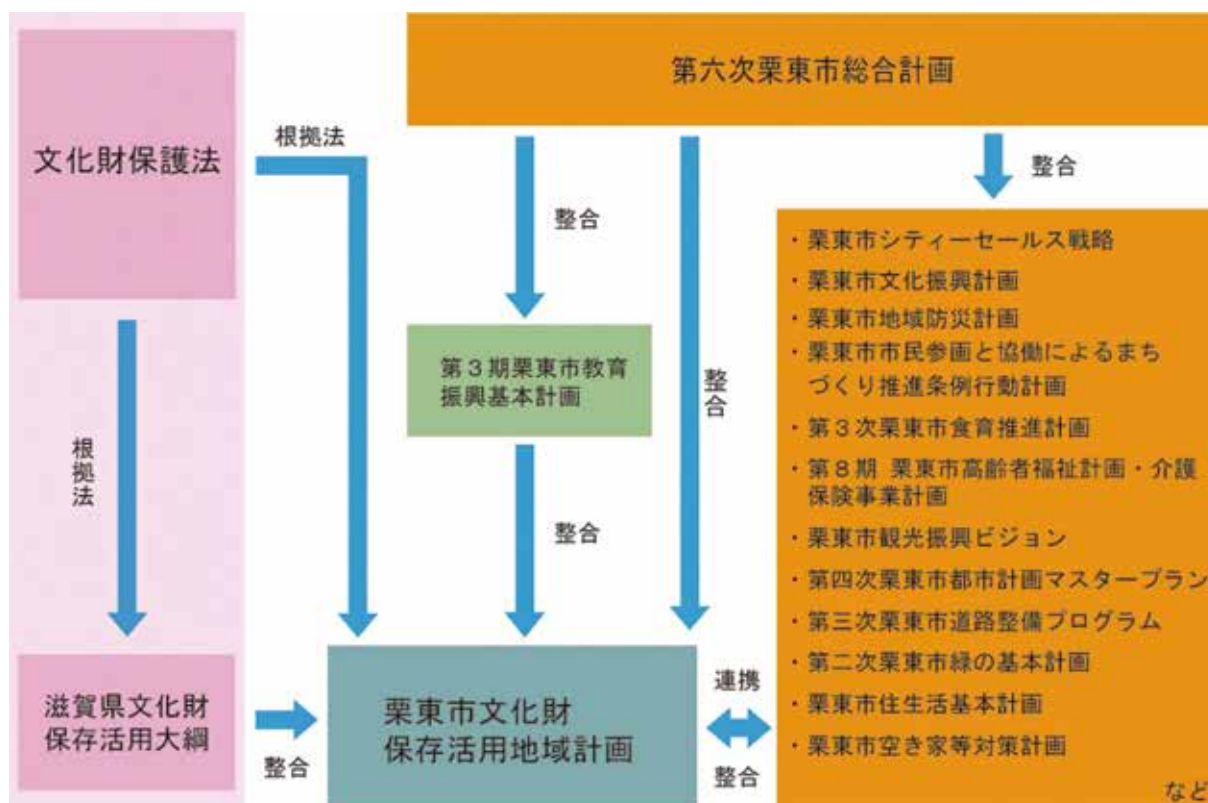


図1-1 地域計画と庁内諸計画との関係

①【最上位計画】『第六次栗東市総合計画』と地域計画との関係性

表1-1 策定期間と計画期間

計画名	策定年月	計画期間
第六次栗東市総合計画	令和2年(2020)3月策定	○基本構想(10年) 令和2年度(2020)～令和11年度(2029) ○基本計画(前・後期、各5年) 前期 令和2年度(2020)～令和6年度(2024) 後期 令和7年度(2025)～令和11年度(2029) ○実施計画(1年ごと)

総合計画は、令和2年(2020)以降10年間の施策の方針を定めたもので、栗東が目指すまちの将来像を次のように示しています。

【将来都市像】

いつまでも 住み続けたくなる 安心な元気都市 栗東

総合計画では、将来都市像実現に向けた5つの政策を掲げるとともに施策を示しています。

- 政策1 経済の安心を生み出す
- 政策2 教育・子育ての安心を育む
- 政策3 福祉・健康の安心を築く
- 政策4 暮らしの安心を支える
- 政策5 行政の安心を営む

これらの政策のうち、文化財に関連する施策は主に政策4に含まれます。これらは、地域計画を検討していく上での重要な観点であり、整合性を図る必要があります。

また、総合計画では「持続可能な開発目標（SDGs）」¹を積極的に取り入れており、本計画でも取り入れる必要があります。本計画では、目標「4 質の高い教育をみんなに」、「11 住み続けられるまちづくりを」の達成を目指します。



表1-2 総合計画内で地域計画に関連する主な施策（政策4）

施策名	基本方針	基本事業
施策7 生涯学習の推進	生涯学習関連施設での情報提供 目的に応じた学習機会の充実や人材育成	栗東歴史民俗博物館（以下、博物館という）を拠点とした地域の歴史学習の普及
施策8 文化・芸術の推進	地域や市民との連携強化 史・資料調査の実施 歴史文化資源の公開と普及啓発、情報発信	地域の文化財の掘り起し・公開 有形・無形文化財の保存・継承 文化財の活用

上記以外にも、全庁による文化財の保存と活用を進めるにあたり、下記施策との連携を検討する必要があります。

¹持続可能な開発目標（SDGs）」とは、平成27年（2015）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、平成28年（2016）から令和12年（2030）までの国際目標のこと。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っている。

表 1-3 総合計画内で地域計画と連携を検討する必要がある施策

政策	連携を検討する必要がある施策
政策 1	農林業の振興、観光の振興
政策 2	学校教育の充実
政策 3	健康づくりと医療体制の充実
政策 4	防犯・消費者保護の推進、地域コミュニティの充実、防災の推進、公園・緑地の整備、住環境・都市景観の形成、空き家対策の推進、道路・交通の整備
政策 5	市民参画と協働の推進、シティセールスの推進、馬を活かしたまちづくりの推進

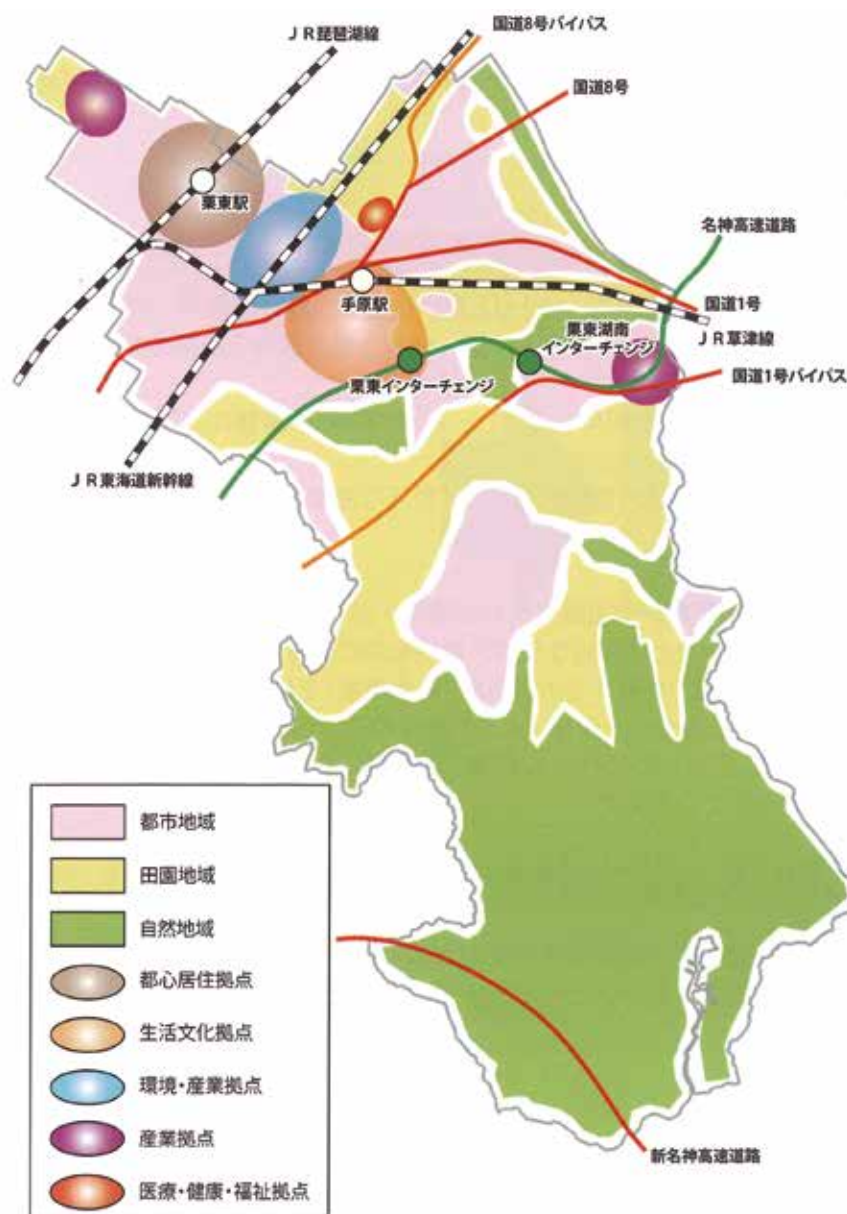


図 1-2 今後の土地利用と都市構造の想定（栗東市『第六次栗東市総合計画』令和 2 年（2020）より）

総合計画において、今後の土地利用と都市の構造（都市拠点機能の配置、まちのゾーニング）の方向について、想定した図です。土地利用のあり方のなかに、地域の歴史・自然・文化・風土に根ざした都市環境づくりや、歴史的街道沿道を中心に風格ある景観の形成があげられています。都市構造形成のありかたとしては、交通拠点を中心とした街づくりのほか、都市地域・田園地域・自然地域ごとの方針が記載されています。

②【上位計画】『第3期栗東市教育振興基本計画』と地域計画との関係性

表1-4 策定期間と計画期間

計画名	策定年月	計画期間
第3期栗東市教育振興基本計画	令和2年（2020） 3月策定	令和2年（2020）～令和6年度（2024） （5年間）

基本計画は、令和2年（2020）以降5年間の栗東の教育関連施策の基本方針であり、文化財保護の基本施策を以下のようにしています。

表1-5 基本計画の地域計画に関連する課題と施策

課 題	文化遺産が市民共有の財産として、大切に守り伝えられるだけでなく、生活の中で活用されることにより、地域資源として、これからのまちづくりにも活かされるよう施策を推進していく必要がある。また、地域の文化遺産に関する情報を様々な手法で発信することは、市民が地域への誇りや愛着を深め、地域の魅力を理解し、共通のよりどころや良さを発見する機会を提供することとなり、地域社会の連帯感を育むことにもつながることから、より積極的に進めていく必要がある。
施 策	①郷土の歴史を正しく理解する上で欠くことのできない文化財の指定を進め、所有者などによる保存と活用を支援し、文化財指定制度を推進する。 ②重要文化財をはじめとする指定文化財やそれらを収蔵する施設との連携を深める。 ③防災・防犯に対する意識の高揚と設備の充実を図り、指定文化財の保存に努める。 ④埋蔵文化財調査を実施し、埋蔵文化財の状況把握に努め、遺跡の適切な保存を行う。 ⑤関係機関と連携した文化遺産の周知及び情報発信に努める。 ⑥文化財の公開促進と埋蔵文化財を活かした学習機会の提供と情報の発信に努める。 ⑦博物館では、市民が地域の文化財に親しみ、地域の文化を継承する機会を得るため、地域に関わる資料の収集・保存・調査を進める。併せて市の文化にふれる展示の充実を図ること、地域文化継承のための事業の開催に取り組む。

このように、基本計画で示す具体的な課題と施策は、今後地域計画を検討、推進していくうえで重要であることから、基本計画を上位計画に据え内容の整合性を図っていきます。

③関連計画

地域計画の検討を進めるにあたり、全庁的な視点で文化財の保存と活用を進める必要があるため、関連する施策ならびに同施策を行う部局などとの連携を図る必要があります。以下に、地域計画に関連する計画ならびに関係性を示します。

表 1-6 関連計画一覧

関連計画名	内 容	所管部局名
栗 東 市 文 化 振興計画 (改訂版)	計画策定年 平成30年(2018) 4月 計画期間 平成30年度(2018)～令和4年度(2022)(5年間) 本計画は、市の文化芸術活動や特性を活かし、地域文化の振興促進、質の高い幸福感を持つ市民生活の実現、文化の見えるまちづくりを目指そうとするものである。そのために、次の4つの視点による文化振興を目指すこととしている。 ①地域のひろがり大切に、都市文化を創造する視点 ②市民の力、地域の個性と魅力を生かす視点 ③歴史・伝統文化を守り継承し、新たな創造へつなげる視点 ④市民、事業者、行政が連携し、文化力を高める視点 地域計画では、市の歴史文化の保存と活用について検討するにあたり、上記視点を考慮し、連携を図る必要がある。	教育委員会 スポーツ・文化振興課
栗東市シティ セールス戦略 (改訂版)	計画策定年 令和2年(2020) 3月 計画期間 令和2年度(2020)～令和11年度(2029) 本計画は、策定当時の上位計画の「第五次栗東市総合計画」に記された将来都市像の実現のため、市民自らが地域への愛着や誇り(シビック・プライド)を持ち、自慢できるようにすることで、持続的なまちの発展を目指すもので、市内における自然や歴史などの資源を活用しまちの魅力を向上していくとする。 地域計画では、市の歴史文化の活用を図る上で本計画との連携・整合を図る必要がある。	市長公室 秘書広報課
栗 東 市 地 域 防災計画	計画策定(修正)年 令和2年(2020) 3月 本計画は、災害予防、災害応急対策、災害復旧・復興の実施により、「住民の生命・財産の安全確保」を図るもので、計画内では、文化財の災害対策などについても触れている。 地域計画では、市の歴史文化の防災・防犯について、住民を交えた新たな枠組みを検討していくことから、本計画との連携とともに新たな視点からの整合を図る必要がある。	栗東市防災 会議

関連計画名	内 容	所管部局名
栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例行動計画	計画見直年 令和2年(2020)3月 計画期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)(5年間) 本計画は、総合計画に基づき、また、市を取り巻く環境変化に併せ、市民や地域が主役となるまちづくりを進めていけるよう計画を見直したものである。 地域計画では、市民協働による文化財の保存と活用を検討していく上でも本計画との連携・整合を図る必要がある。	市長公室 自治振興課
第3次栗東市食育推進計画	計画策定年 令和2年(2020)3月 計画期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)(5年間) 本計画は、「おいしくたのしく食べて心も体も健康に！」を基本理念とし、目標のうち、「食を意識したつながりを意識し感謝の心をはぐくむ」において、郷土料理など食文化の継承の取り組みが記載されている。 地域計画では無形文化財の保存と活用の面で本計画との連携・整合を図る必要がある。	産業経済部 農林課 教育委員会 学校教育課 学校給食共同調理場 学校教育課 子ども青少年局 子育て応援課 幼児課 健康福祉部 健康増進課
第8期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画	計画策定年 令和3年(2021)3月 計画期間 令和3年度(2021)～令和5年度(2023)(3年間) 本計画は「高齢者の安心を支え合い、ともに元気に暮らせるまちづくり」を基本理念とし、基本方向のうち「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」において「生涯学習の支援と充実／文化・芸術活動の推進」が記載される。 地域計画では人づくり・市民参画を重要な柱のひとつとする本計画との連携を図る必要がある。	健康福祉部 長寿福祉課
栗東市観光振興ビジョン	計画策定年 令和2年(2020)3月 計画期間 令和2年度(2020)～令和6年度(2024)(5年間) 本計画は、栗東の経済効果を最大化する観光戦略を目指すもので、観光振興を通じて総合計画にある市の将来像の実現を目的とするものである。本計画では、基本的方向性の一つに市内に残る豊富な歴史・文化遺産や自然を活用した周遊型観光の推進を挙げている。 地域計画では、市の歴史文化の活用面での検討にあたり、本計画との連携を図る必要がある。	産業経済部 商工観光労政課

関連計画名	内 容	所管部局名
第四次栗東市 都市計画マ スタープラン	計画策定年 令和2年（2020）8月 計画期間 令和2年度（2020）～令和12年度（2030）（10年間） 本計画は、自然環境や歴史的街道、数多くの歴史遺産などの特徴を最大限に生かした“風格都市栗東”を目指す。都市づくりの目標の推進方針にある「いつまでも住み続けたいとなる安心な元気都市栗東」の実現に向け、金勝山系の山並みや麓の田園地域、里山、歴史街道などを守り、景観協定や景観地区などを活用しつつまちづくりを進めるとある。 地域計画では、市の文化的景観の保存などに向け、本計画との連携・整合を図る必要がある。	建設部 都市計画課
第三次栗東市 道路整備プロ グラム（中間 見直し）	計画見直年 平成31年（2019）3月 計画期間 平成31年度（2019）～令和4年度（2022）（4年間） 本計画は、市道路の計画的かつ効率的な整備を進めるためのプログラムであり、都市の風格をはぐくむための道路網づくりとして旧街道への通過交通を抑制する道路整備などを検討している。 地域計画では、歴史的景観の維持ならびに防災・防犯の観点などから本計画との連携・整合を図る必要がある。	建設部 都市計画課
第二次栗東市 緑の基本計画	計画策定年 平成29年（2017）4月 計画期間 平成29年度（2017）～令和12年度（2030）（14年間） 本計画は、栗東の豊かな緑（緑地）を維持するため、基本理念「“風格都市栗東”～心安らぐ空間と優しい人を育む、水と緑の風格づくり～」を掲げ、里山環境・景観の保全、寺社境内地などの空間を活かした拠点整備などを示す。 地域計画では、寺社の歴史的建造物の保存環境や鎮守の森の保全の観点から本計画との連携・整合を図る必要がある。	建設部 都市計画課
第二次栗東市 住生活基本 計画	計画策定年 令和4年（2022）3月 計画期間 令和4年度（2022）～令和13年度（2031）（10年間） 本計画は、市の住生活施策を計画的に進めていくことを目的に策定されたもので、課題の一つとして、市内の空き家数の増加をあげている。 地域計画では、市内の歴史的な建造物の保護などを図るうえで本計画との連携・整合を図る必要がある。	建設部 住宅課

関連計画名	内 容	所管部局名
栗東市空き家等対策計画	計画策定年 平成30年（2018）10月 計画期間 平成30年度（2018）～令和6年度（2024）（7年間） 本計画は、地域防災・防犯、景観、生活環境などに影響を及ぼす空き家について適切な管理などを図ろうとするものである。市内の空き家について、今後、市の歴史文化の構成要素も含まれてくる可能性がある。 地域計画では、当該要素の保存などに向け、本計画との連携・整合を図る必要がある。	建設部 住宅課
栗東市農業振興基本計画	計画策定年 令和4年（2022）3月 計画期間 令和4年度（2022）～令和11年度（2029）年度（8年間） 本計画は将来にわたる持続可能な地域農業の確立および健全な発展を図ることを目的とするもので、中山間地域の鳥獣害対策や棚田保全、農村文化の継承が含まれる。 地域計画は、文化的景観の維持などを図るうえで、本計画との連携・整合を図る必要がある。	産業経済部 農林課

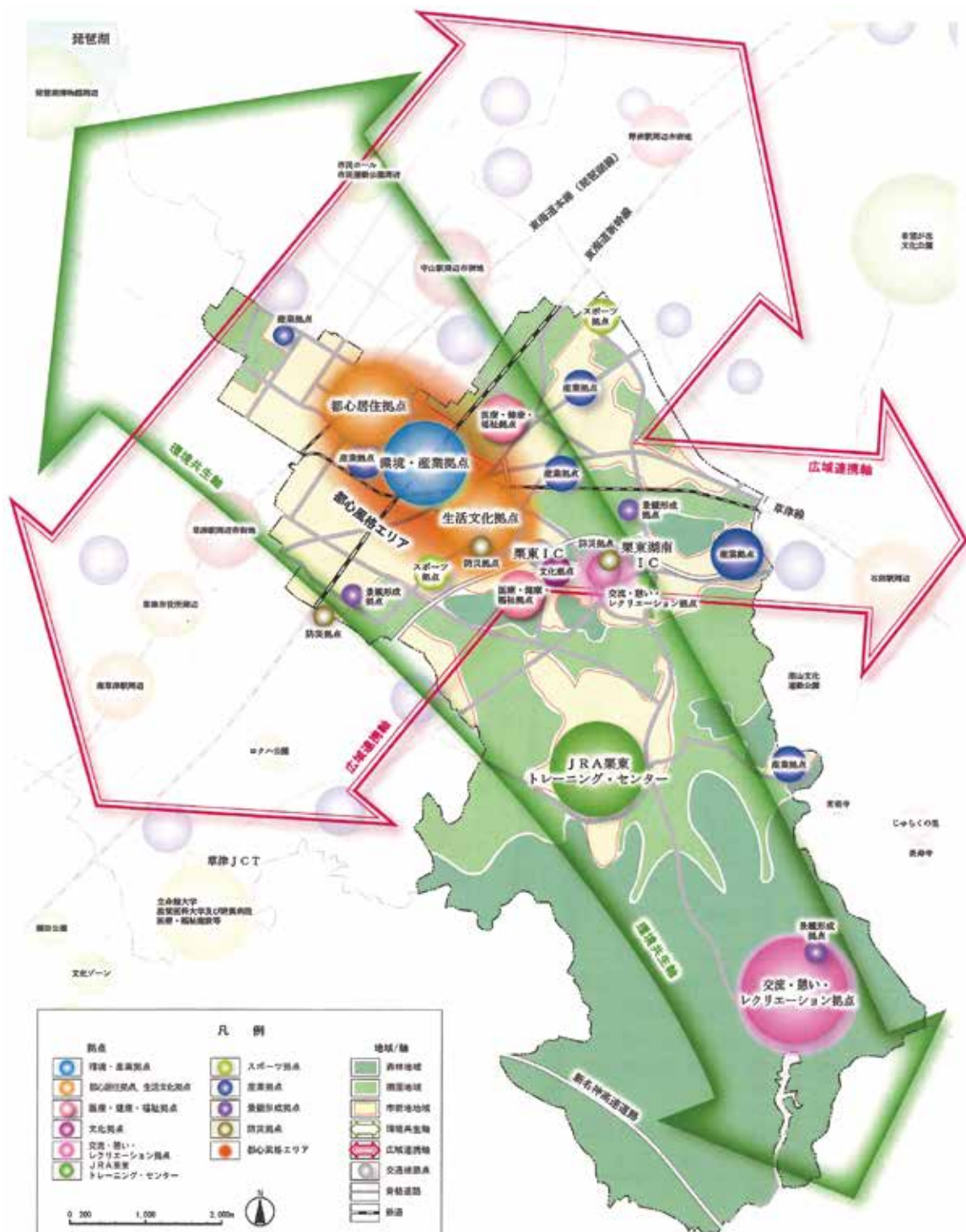


図 1-3 将来都市構造図（栗東市『第四次栗東市都市計画マスタープラン』令和 2 年（2020）より）

『第四次栗東市都市計画マスタープラン』であげられる将来都市構造図です。南部の金勝連峰より広がる丘陵地、中央部の田園地域、北部の市街地地域を基本的な骨格とし、安養寺山や日向山などの里山や地形の変化により、多様で特徴的な景観を作り出しています。森林・田園・市街地・里山それぞれの特性を磨きながら相互に連携し、相乗効果を高めることにより、市全体の発展と市民生活の質の向上を目指しています。マスタープランではこうした空間構造や地域特性を活かした都市づくりを進めるため、環境・土地利用のまとまりをしめす「地域」、機能の集積や高度化を目指す「拠点」、発展・連携の方向を示す「軸」と、それぞれの方針を示しています。

3 計画期間

地域計画は、栗東の最上位計画である総合計画と整合性を保ち、さらに市内の歴史文化の保護施策と市の施策との整合を図っていけるよう、総合計画の計画期間に合わせた期間を設定します。

したがって、今回の地域計画の計画期間は、総合計画の最終年度である令和11年度（2029）までの8年間とします。

表 1 - 7 地域計画進捗管理表

計画名		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)
地位経過	期 間			1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目
	見直し						●				●
	点 検										
総合計画	期 間	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目	10 年目
	見直し					●					●
	点 検										

●●見直し時期

4 進捗管理と自己評価の方法

最上位計画である総合計画では、社会情勢の変化に対応するため、計画期間10年を半期（5年）ごとに分割し計画見直しを行い、さらに各年で計画内容の点検を行います。

地域計画で計画の実効性の維持及び向上のために、事業計画の内容に基づき毎年の点検を行い、点検結果を栗東市文化財審議会に報告します。さらに計画期間8年間の中間年である令和7年度（2025）には、市民意識調査を行い、市の取り組みや文化財に対する市民意識の変化などを把握します。そのうえで、総合計画の見直し、毎年の点検結果、総合計画見直しの結果および財政状況をもふまえ、栗東市文化財保存活用地域計画協議会（仮称）を設置して事業の検証をおこない、必要であれば後期事業の計画内容や期間の見直しを検討し、文化財審議会で意見徴収を行います。

地域計画を見直しする場合は、文化財保護法第183条の4に基づき国の変更認定を受けるとします。なお、文部科学省令に定める「計画期間の変更」「市町村の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」「文化財保存活用地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」以外の軽微な変更については、その内容について滋賀県を通じて文化庁に報告を行うこととします。

5 歴史文化要素の保存と活用プロセスにかかる用語の定義

地域計画においては、歴史文化、歴史文化要素、歴史文化資産の用語の定義を以下の通りとします。

【用語定義】

●歴史文化

歴史文化とは栗東にそなわっている歴史や文化の事象、さらに栗東独自の風土によって育まれてきた人々の知恵や活動の成果、及びそれらが存在する時間・空間、さらには自然的・地理的な環境をも把握した概念です。歴史文化の特徴は栗東らしさをあらわします。

●歴史文化要素

歴史文化要素とは、文化財保護法にある6類型に埋蔵文化財・文化財の保存技術など、そしてそれらを取りまく栗東らしいものを加え、知恵や活動および先人たちの努力により保存されてきた、栗東の歴史文化を形成する様々な歴史文化の事象・事物（要素）をさします。

●歴史文化資産

歴史文化資産とは、歴史文化要素のなかで活用・運用が可能なものです。すべての歴史文化要素は歴史文化資産となることが期待されます。さらに歴史文化資産として活用・運用するとともに、計画的に調査を行い保存の措置をとっていきます。活用・運用、調査、保存・継承していくなかで、さらなる価値の創出や、あらたな歴史文化要素の発見が可能となり、保存と活用について継続的に好循環をもたらすことができます。

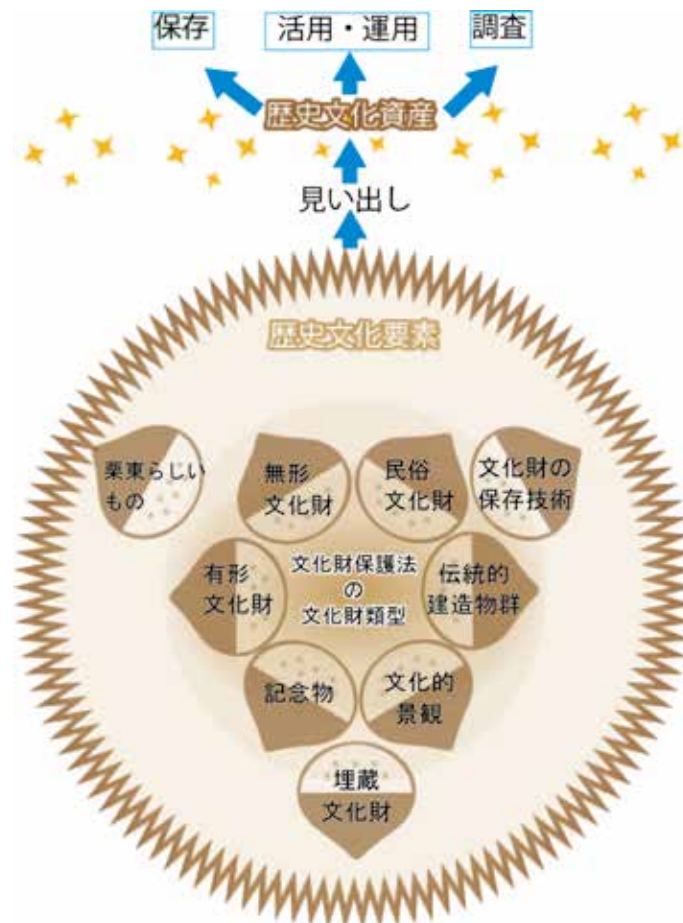


図 1-4 歴史文化要素及び歴史文化資産イメージ図

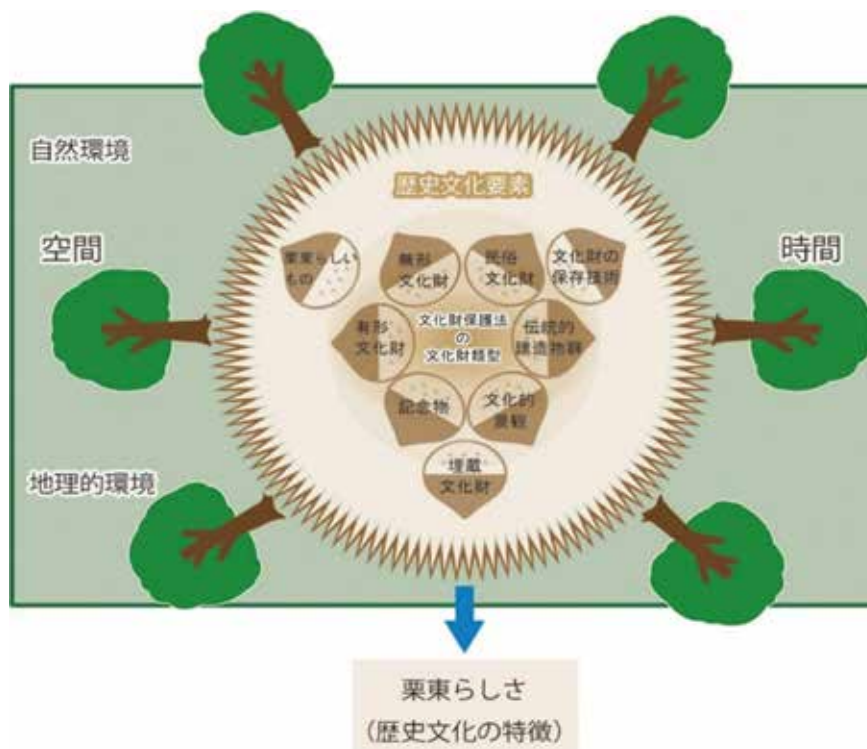


図 1-5 歴史文化のイメージ図

6 地域計画作成の経過

地域計画の作成にあたっては、令和2年（2020）8月に栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会（以下協議会という。）を設置し、有識者・関連団体・文化財所有者ならびに市民など11名を委嘱、当該協議会にて内容の検討などを行いました。また、ワークショップやアンケートなどにより市民の意見を聴取し、さらに庁内関係部課で組織する栗東市文化財保存活用地域計画策定連絡会議にて、計画の検討などを行いました。また栗東市文化財審議会（以下、審議会という。）に内容について意見を求めました。なお随時、文化庁に指導・助言を、滋賀県文化スポーツ部文化財保護課に助言を得ました。

事務局（栗東市教育委員会）では、これらの協議会や関係機関からの意見などを踏まえ地域計画を取りまとめ、審議会の意見聴取を経て作成しました。



写真 1-1 協議会開催状況



写真 1-2 ワークショップ開催状況（多喜山城）



写真 1-3 大学生による活用検討（京都橘大学）



写真 1-4 大宝神社信仰圏の調査（下鉤日吉神社）

表 1-8 栗東市文化財審議会委員

令和 3 年（2021）12月時点

氏 名	所属及び役職	備 考
小笠原 好彦（会長）	滋賀大学名誉教授	考古学
吉見 静子 （令和 2 年度まで）	岐阜女子大学名誉教授	住居・建築史
山本 喜三雄	元（財）栗東市文化体育振興事業団常務理事	地域史
佐々木 進	元 栗東歴史民俗博物館館長	仏教美術史
宇野 日出生	元 京都市歴史資料館主任研究員	歴史学
石川 慎治 （令和 3 年度から）	滋賀県立大学人間文化学部教授	建築史・保存修景

事務局 栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課

表 1-9 栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会委員名簿

委嘱期間 令和 2 年（2020）8月28日 ～ 計画作成完了まで

※役職等は令和 3 年（2021）12月時点

氏 名	所属及び役職	備 考
一瀬 和夫（会長）	京都橘大学文学部教授	学識経験者
岩崎 奈緒子	京都大学総合博物館教授	
石川 慎治	滋賀県立大学人間文化学部教授	
市川 秀之	滋賀県立大学人間文化学部教授	
松岡 久美子	近畿大学文芸学部准教授	
田中 康人	栗東市商工会副会長	商工に関する機関・団体の関係者
勝山 圓昭	一般社団法人栗東市観光協会副会長	観光に関する機関・団体の関係者
宇野 日出生（副会長）	栗東市文化財審議会委員	文化財審議会委員
大角 淳子	文化財所有者	文化財所有者
大角 實（令和 2 年度）	栗東市自治連合会 会長	市民の代表者
中村 豊（令和 3 年度）	栗東市自治連合会 幹事	市民の代表者
小森 鐘二	栗東市ボランティア観光ガイド協会会長	市民の代表者
文化庁		オブザーバー
滋賀県文化スポーツ部文化財保護課		オブザーバー

事務局 栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課
博物館

栗東市文化財保存活用地域計画策定連絡会議

表 1-10 栗東市文化財保存活用地域計画策定連絡会議の庁内関連部局

所 属	
市長公室（令和 3 年度） 市民政策部（令和 2 年度）	自治振興課
産業経済部（令和 3 年度） 環境経済部（令和 2 年度）	商工観光労政課
建設部	都市計画課
建設部	住宅課
教育部	歴史民俗博物館

事務局 栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課

表 1-11 計画作成の経緯

協議会・イベントなど	年月日など	内 容
第 1 回栗東市文化財保存 活用地域計画策定協議会	令和 2 年（2020） 8 月 28 日 14：00～ 会場 博物館研修室	①地域計画作成方針 ②作成スケジュール ③地域計画内容 ④総合調査内容ほか
令和 2 年度栗東市文化財 審議会	令和 3 年（2021） 2 月 19 日 13：30～ 会場 栗東市危機管理 センター防災研修室	①地域計画作成方針 ②地域計画内容
ワークショップ	令和 2 年（2020） 10 月 18 日 12：30～ 11 月 8 日 9：30～ 11 月 15 日 9：30～ 11 月 22 日 9：30～ 場所：各旧 4 ケ村地域	文化財の保存と活用を考えるため、実際に まちを歩きながら文化財の探訪コースを考 える。 「大宝神社例大祭の神輿渡御をたどる（10 月 18 日）」「金勝山山麓の社寺とその周辺 （11 月 8 日）」「梅ノ木立場と日向山をめぐる （11 月 15 日）」「古墳をめぐる～近江有数の 中期古墳（11 月 22 日）」
アンケート	令和 2 年（2020） 8 月～10 月	①文化財の保存活用について（自治会） ②意識調査（自治会、事業参加者） ③学校アンケート
第 2 回栗東市文化財保存 活用地域計画策定協議会	令和 3 年（2021） 3 月 4 日 13：30～ 会場 コミュニティセン ター治田東大会議室	①栗東市文化財保存活用地域計画（素案） について ②アンケート及びワークショップについて ③その他

協議会・イベントなど	年月日など	内 容
令和３年度栗東市文化財審議会	令和３年（2021） 8月18日 13：30～ （書面開催）	栗東市文化財保存活用地域計画（素案） について
第３回栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会	令和３年（2021） 8月20日10：00～ （書面開催）	①栗東市文化財保存活用地域計画（素案） について ②ワークショップと講演会について
ワークショップ	令和３年（2021） 8月７日10：00～（中止） 会場 大角家住宅	歴史文化の保存と活用についてのワーク ショップ「東海道の街並みを活かそう」
第４回栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会	令和３年（2021） 11月５日14：00～ 会場 博物館	栗東市文化財保存活用地域計画（案） について
講演会	令和４年（2022） 1月23日（中止） （３月11日～27日動画配信）	栗東市文化財保存活用地域計画講演会 「栗東の歴史文化を語る」
第５回栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会	令和４年（2022） 2月４日～３月７日 （書面開催）	栗東市文化財保存活用地域計画（案） について
令和３年度栗東市文化財審議会	令和４年（2022） 2月7日～２月14日 （書面開催）	栗東市文化財保存活用地域計画（案） について

栗東市文化財保存活用地域計画策定連絡会議運営記録

表 1-12 栗東市文化財保存活用地域計画策定連絡会議運営記録

内容	年月日など	主要検討項目
第 1 回策定 連絡会議	令和 2 年（2020） 8 月 12 日 11：00～12：00 会場 栗東市役所第 5 会議室	(1)文化財保存活用地域計画の作成の概要について (2)栗東市の文化財保護にかかる問題点の抽出
第 2 回策定 連絡会議	令和 2 年（2020） 12 月 3 日 13：30～15：30 会場 栗東市役所第 5 会議室	(1)栗東市の文化財の考え方 (2)関連文化財群とその課題・方針・措置
第 3 回策定 連絡会議	令和 3 年（2021） 6 月 4 日 10：00～12：00 会場 栗東市役所第 5 会議室	(1)栗東市文化財保存活用地域計画について (2)関連文化財群とその課題・方針・措置
第 4 回策定 連絡会議	令和 3 年（2021） 9 月 29 日 10：00～12：00 会場 栗東市役所第 2 会議室	栗東市文化財保存活用地域計画素案について

第2章 栗東市の概要

- 1 自然的・地理的環境
- 2 社会的状況
- 3 歴史的環境

第2章 栗東市の概要

1 自然的・地理的環境

(1) 位置と概要

栗東は、滋賀県の南部、湖南地域に位置しています。市域は東西 6 km、南北14km、面積は52.69km²です。

市域の東は湖南市、西は草津市及び大津市、南は甲賀市、北は守山市及び野洲市と接し、琵琶湖には面していません。

このうち草津市の全域及び守山市と大津市の一部は栗東とともに旧栗太郡に属し、歴史的、文化的にも共通性が多い地域です。

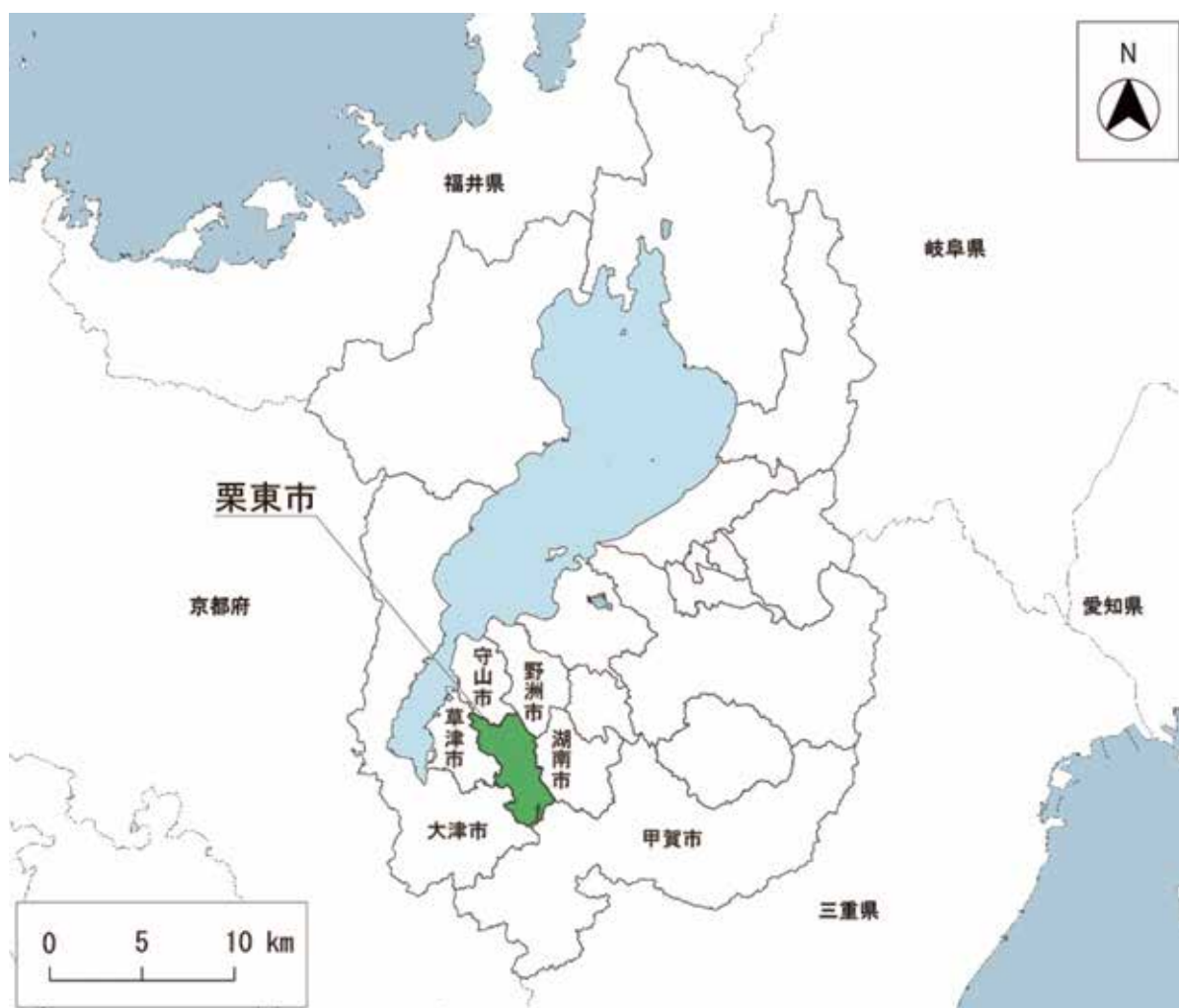


図2-1 滋賀県における栗東市の位置（国土数値情報（湖沼、行政区域）令和2年（2020）取得を加工して作成）

(2) 行政単位の変遷

栗東は古代から栗太郡³に属しており、江戸時代は、41の村から構成されていました（表2-1）。

明治5年（1872）の大区小区制施行や、同11年（1878）郡区町村編制法制定、同21年（1888）の市制・町村制公布などにより、明治22年（1889）には、金勝・葉山・治田・大宝の4ヶ村が成立しました。その後、各村は合併などによりその内容などを変化させています。

昭和28年（1953）の町村合併促進法施行によって栗東は、昭和29年（1954）に上記4ヶ村が合併し、「栗太郡の東に位置する町」であることから栗太郡栗東町の名称となりました。その後、昭和31年（1956）に治田村に属した大字渋川が栗東町から草津市に編入され、現在の市域となりました。

さらに平成13年（2001）10月1日に市制施行され栗太郡栗東町から栗東市になりました。また、近年の人口増加などにより、かつての4地区は9小学校区に細分されました。各地区内には124の自治会が設置され（令和3年（2021）11月1日現在）、地域活動の単位となっています。



図2-2 近江国栗太郡の範囲（1871年ころ）（国土数値情報（湖沼、行政区画）令和2年（2020）取得を加工して作成）

³古代においては「くるもと」もしくは「くりもと」と表記された。

表 2-1 栗東市行政区域変遷

江戸時代	明治7年 (1874)	明治22年 (1889)	昭和29年 (1954)	昭和31年 (1956)	平成13年～ (2001)	
荒張村		金勝村	栗太郡 栗東町 (金勝村 治田村 葉山村 大宝村)		栗東市 (小学校区 金勝学区 治田学区 治田東学区 治田西学区 葉山学区 葉山東学区 大宝学区 大宝東学区 大宝西学区) ※大宝東学区は平成 18年度(2006)から	
井上村						
上砥山村						
観音寺村						
東坂村						
上山依村	御園村					
金勝中村						
安養寺村		治田村				大字渋川 草津市へ編入
岡村						
小柿村						
坊袋村						
川辺村						
渋川村						
下戸山村						
下鉤村						
中沢村						
東目川村	目川村					
西目川村						
上鉤村	上鉤村					
寺内村						
伊勢落村		葉山村				
大橋村						
小野村						
辻村						
出庭村						
手原村						
林村						
六地藏村						
今里村	高野村					
小坂村						
土村						
笠川村						大宝村
半刈村	苅原村					
市川原村						
北中小路村						
小平井村						
十里村						
野尻村						
蜂屋村						
縄村						
霊仙寺村						

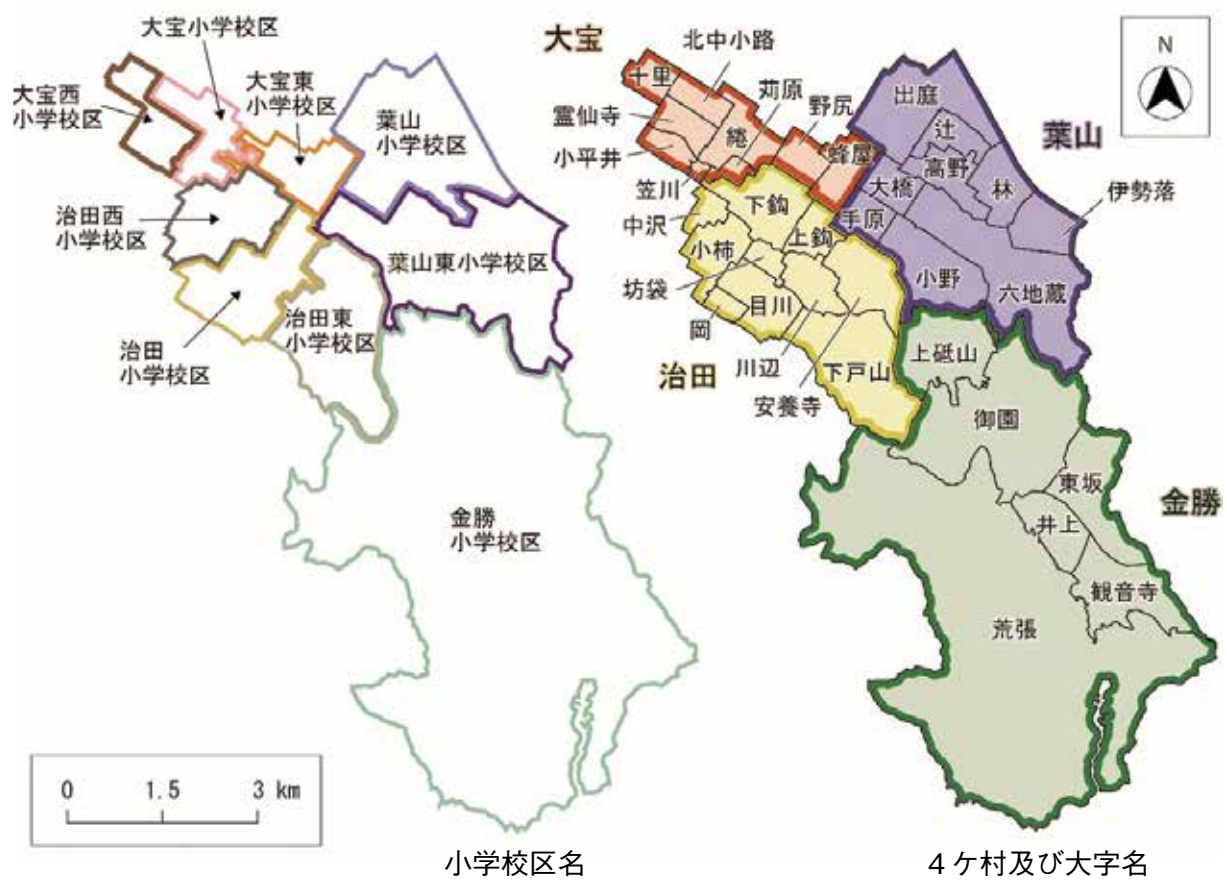


図2-3 現在の小地域（国土数値情報（行政区域データ）令和3年（2021）取得、政府統計の総合窓口（e-Stat）（国勢調査 平成27年（2015）（小地域（町丁・字等別））を加工して作成）

(3) 地形・地質

栗東は地形的に見て、南部の山地、中部の丘陵地、北部の平地に大別されます。このうち南部の山地は、信楽山地（金勝山系）の北縁にあたる阿星山、竜王山などからなります。また、栗東は標高693mの阿星山から標高90m程度の扇状地と氾濫原からなる平地まで600m程度の標高差があり、平地は南から北に5～8%の緩傾斜となっています。

地質は、大別して花崗岩、変成岩（チャート）、古琵琶湖層、沖積層が分布しています。金勝山系を中心とする山地・山麓地は、風化が進む花崗岩から成っており、脆弱な地盤となっています。さらに丘陵地は古琵琶湖層、低地は沖積層から形成されています。

丘陵地に点在する古墳時代後期の横穴式石室では所在する地域で採取しやすいチャートや石英斑岩、黒雲母花崗岩などを使用しています。



写真 2-1 花崗岩が露頭している金勝山系

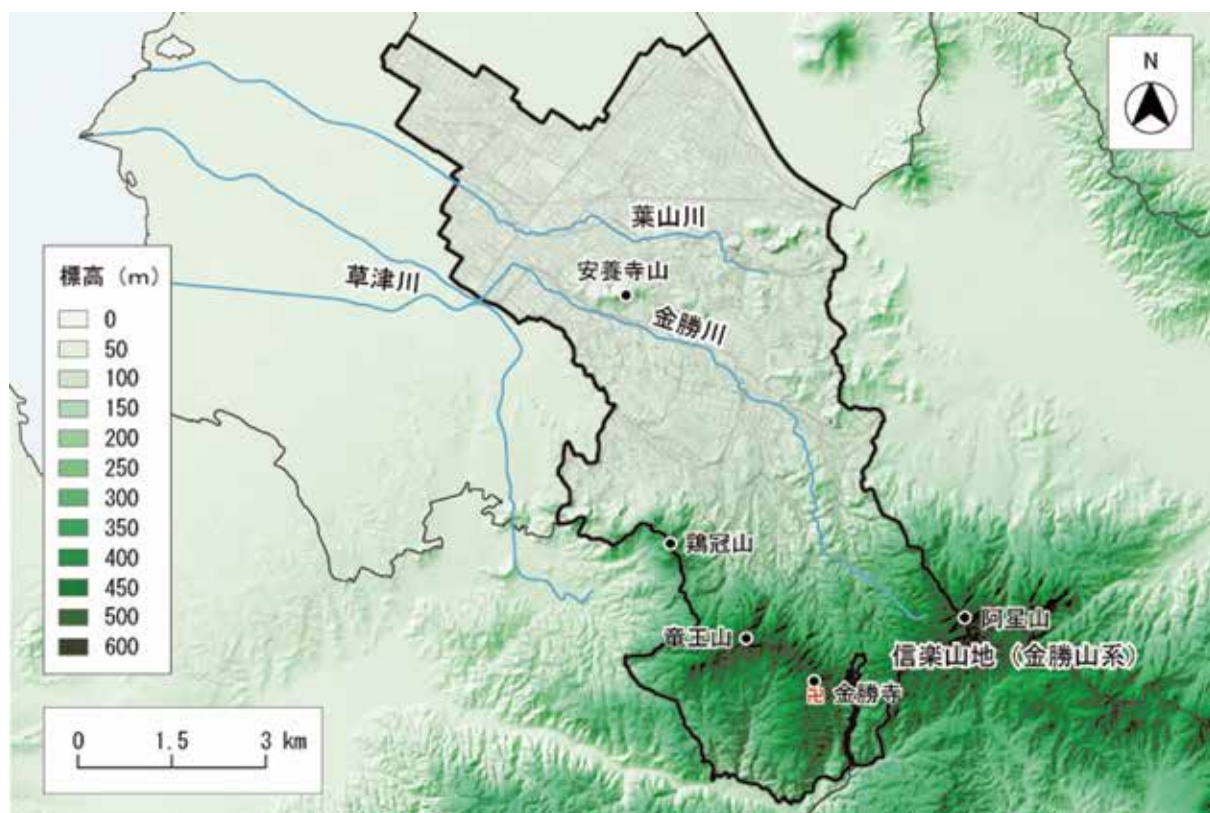


図 2-4 栗東市の地形（国土数値情報（湖沼、行政区域）令和 2 年（2020）取得、基盤地図情報（数値標高モデルデータ）令和 2 年（2020）取得を加工して作成）

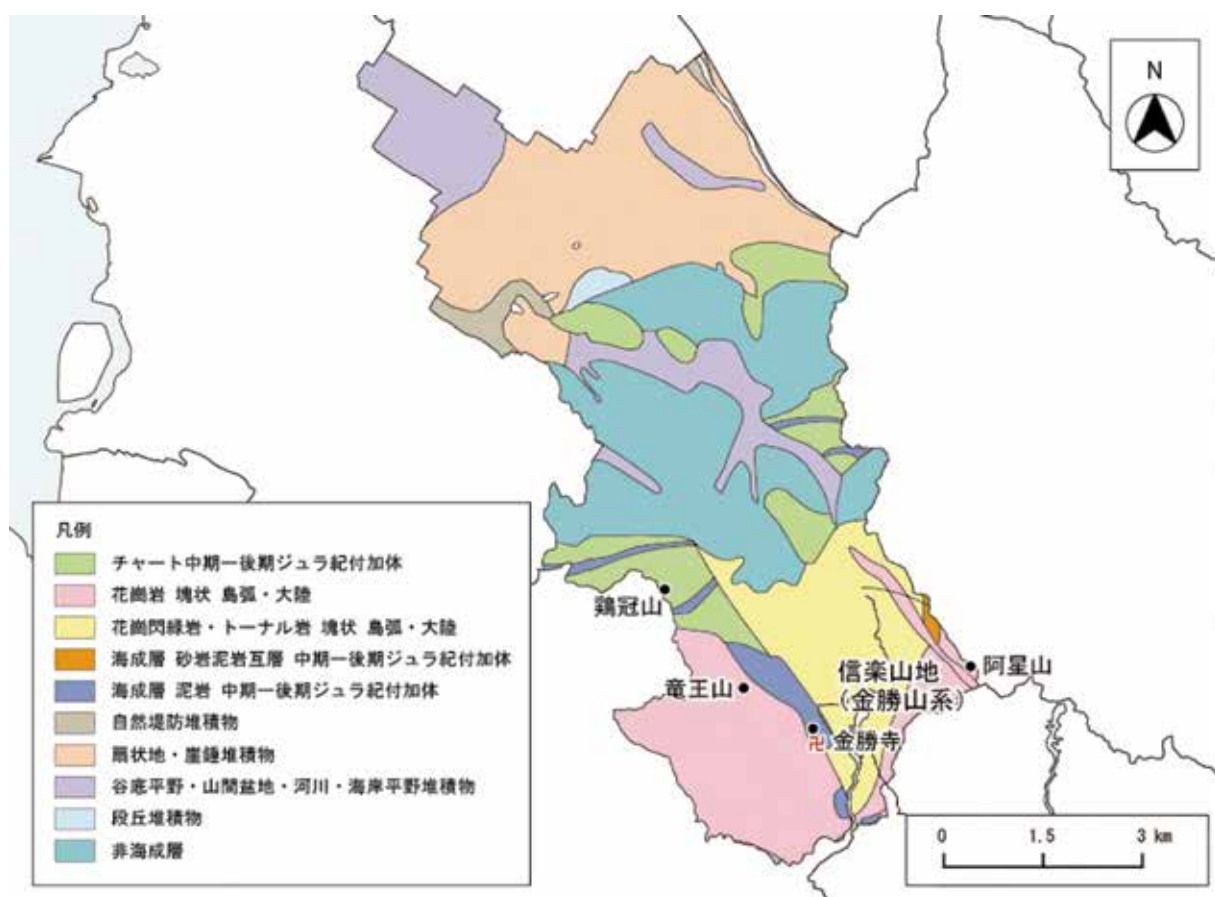


図2-5 栗東市の地質（20万分の1日本シームレス地質図V2（産総研地質調査総合センター）令和2年（2020）取得、国土数値情報（湖沼、行政区画データ）令和2年（2020）取得を加工して作成）

(4) 水系

主要河川には野洲川、葉山川、金勝川、美濃郷川などがあります。栗東の北東端を流れ湖南の扇状地を形成する野洲川は「近江太郎」といわれた暴れ川で、かつては記録に残る大災害をもたらしました。その反面、人々の暮らしを育む豊かな川であり、野洲川からの取水による中ノ井川は、栗東の平野部を潤しています。野洲川は守山・野洲市域にあたる下流が放水路として付け替えられた後は、河川敷に運動公園がつくられるなど、人々に親しまれる川となっています。

金勝川と美濃郷川は、金勝山系に源を発し、草津川と合流し琵琶湖へと向かって流れています。葉山川は六地藏丘陵に源を発します。葉山川、金勝川は中流域より天井川化します。滋賀県では天井川の平地化や新河道への切り替え工事などを進めています。一方、江戸時代に琵琶湖から河川を遡^{さかのぼ}って荷物を運搬していた記録が残り、東海道や中山道などの陸上交通路とともに河川などの内陸水運路が栗東の物流や経済に大きな影響を持っていました。また、川の水利を巡る争いや問題の記録や伝承も多く残っており、川と人々との深いつながりをあらわしています。



図2-6 栗東市の水系（国土数値情報（湖沼、河川、行政区域データ）令和2年（2020）取得を加工して作成）

(5) 気候

栗東は、夏季は高温多湿で冬季は少雨乾燥のいわゆる太平洋側気候に属しており、平均気温が零度以下になることが少ない過ごしやすい気候となっています。しかし、栗東の地形的な状況により、北部の平野部と南部の山地で気温差が大きく、南部の山地にある金勝寺^{こんしょうじ}などでは厳冬の降雪や道路凍結などで、往来できなくなることがあります。

降水量では、過去10年間ではそれ以前の10年に比べ全体的に増加しています。地球温暖化の影響もあり、極端な降雨や台風の激化など市の歴史文化要素に与える被害は大きくなっています。

表 2-2 栗東市の過去10年間の平均気温及び降水量⁴ ※平均気温は℃、
平均降水量は mm を表す

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	3.81	4.56	8.02	13.25	18.8	22.46	26.93	28.07	23.73	18.1	12.45	6.57
平均降水量	48.8	68.35	97.2	113.9	124.7	173.6	188.6	154.1	204.0	142.9	58.9	54.5

表 2-3 栗東市の過去10～20年間の平均気温及び降水量⁵

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	3.96	4.51	7.48	13.5	18.46	22.54	26.42	27.41	23.73	17.5	11.72	6.48
平均降水量	58.95	62.05	87.85	83.5	122.9	175.2	185.3	127.7	124.2	122.6	81.16	56.8

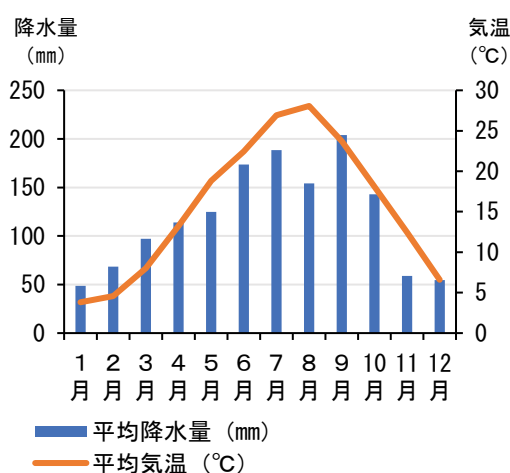


図 2-7 栗東市の過去10年間の平均気温及び降水量（栗東市『栗東市統計書』（平成22年～令和元年度版より）

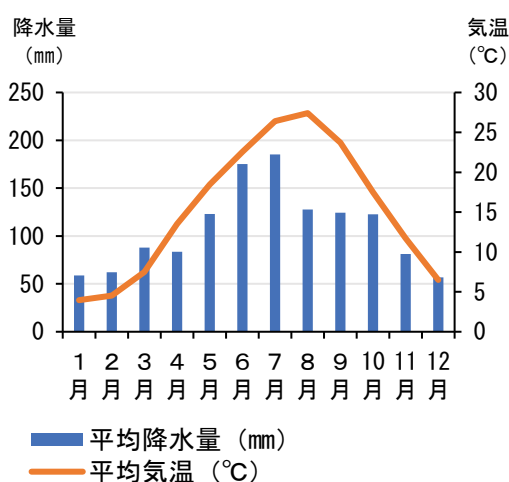


図 2-8 栗東市の過去10～20年間の平均気温及び降水量（栗東市『栗東市統計書』（平成12年～平成21年度版より）

⁴栗東市『栗東市統計書』（平成22年～令和元年度版）平成23年（2011）～令和2年（2020）

⁵栗東市『栗東市統計書』（平成12年～平成21年度版）平成13年（2001）～平成22年（2010）

(6) 自然災害

風水害

栗東南部の山地は脆い花崗岩質であり、山間部の集落では土石流の被害に見舞われることがありました。また河川は中流域から天井川化することで台風などの風水害の影響を受けやすく、破堤などによる流域の洪水被害もたびたび報告されてきました。

金勝川や葉山川などの天井川は背後の山地が開発・荒廃し、降雨などで河川幅を追い込み土砂が集中して河床が上昇し、土砂を堤防として盛り上げたことでできました。これらの河川は、江戸時代中期以降に川涪えなどの記録⁶が多く、この頃から天井川化が進んでいたことがわかります。天井川は集水機能に乏しく、少雨でも溢水の恐れがあり、人命に影響を及ぼした記録も残っています。平成25年（2013）の台風18号では目川付近で決壊し、住宅など17棟に被害がありました。

近年は局地的な豪雨被害も発生しています。平成25年（2013）の台風18号では、安養寺山が崩れ、麓の五百井神社（下戸山）を含む住宅17棟が全半壊し、1名の人命が失われています。文化財にも被害がみられ、平成29年（2017）の台風21号では大角家住宅の白壁が崩落しました。平成30年（2018）の台風21号では、宇和宮神社本殿や春日神社表門に被害があったほか、指定等文化財以外にも鎮守の森などで多くの木が倒れました。こうしたことから、歴史文化要素の風水害対策はますます重要となっています。



写真2-2 国重文建造物宇和宮神社本殿への倒木状況（平成30年（2018））

表2-4 栗東市の主な風水害⁷（町名などは当時のまま）

発生年	被害原因	被害状況
宝暦6年 (1756)	山津波	被害域：観音寺村（金勝）及び金勝川水系の村々 死者19名
昭和9年 (1934)	室戸台風（9月21日）	被害域：栗太郡 死者21人、重傷者36人、軽傷者187人 住家全壊187戸、住家半壊197戸、非住家全壊362戸、非住家半壊284戸
昭和43年 (1968)	大雨（7月2日～7日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水120戸、栗東信楽線・水田浸水、 農業用頭首工流出、水路埋没、道路法面崩壊

⁶『膳所藩郡方日誌』

⁷栗東市防災会議『栗東市地域防災計画 資料編』令和2年（2020）に加筆 詳細は巻末資料

発生年	被害原因	被害状況
昭和43年 (1968)	大雨 (7月2日～7日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水120戸、栗東信楽線・水田浸水、 農業用頭首工流出、水路埋没、道路法面崩壊
昭和43年 (1968)	台風10号 (8月25日～26日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水14戸、金勝川の堤防欠損、 水田、水路の埋没
昭和44年 (1969)	大雨 (7月3日～11日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水13戸
昭和46年 (1971)	大雨 (7月22日～27日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水30戸、林道に被害
昭和54年 (1979)	台風16号 (9月30日～10月1日)	被害域：栗太郡栗東町 住家の一部損壊6棟、道路1箇所
昭和57年 (1982)	台風10号 (8月1日～2日)	被害域：栗太郡栗東町 住家一部破損2棟、床上浸水30棟、床下浸水44棟、田の 流出・埋没0,79ha、浸水77,21ha、畑の浸水0,66ha、道路 12箇所、河川3箇所、崖崩れ44箇所
昭和60年 (1985)	台風6号と梅雨前線豪雨 (6月21日～7月19日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水4棟、道路9箇所、河川4箇所、崖崩れ12箇所
昭和62年 (1987)	梅雨前線豪雨 (7月14日～21日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水4棟、畑の浸水10ha
平成11年 (1999)	梅雨前線豪雨 (6月30日)	被害域：栗太郡栗東町 御園で、崩壊により茶室1戸一部損壊
平成25年 (2013)	台風18号 (9月15日～16日)	被害域：栗東市 死者1名 住家の被害：全壊4棟、半壊13棟、一部損壊16棟、床上 浸水12棟（全壊家屋の浸水1棟、半壊家屋の浸水10棟を 含む）、床下浸水127棟（半壊家屋の浸水2棟、一部損壊 家屋の浸水11棟を含む） 非住家被害：公共建物1棟、その他12棟、安養寺山斜面 山崩れ12箇所、目川地先金勝川決壊、農地、農業施設 158箇所、市道被災路線20路線、林道崩壊箇所61箇所、 五百井神社本殿等全壊、神像・狛犬被害
平成29年 (2017)	台風21号 (10月22日～23日)	被害域：栗東市 国重文建造物大角家住宅白壁剥落

発生年	被害原因	被害状況
平成30年 (2018)	台風21号（9月4日）	被害域：栗東市 ビニールハウス全壊55棟、半壊36棟、被覆材破損210棟、 国重文建造物宇和宮神社本殿屋根破損、国重文建造物春日神社表門扉破損

地震

栗東は、琵琶湖西岸断層帯と大鳥居断層帯付近にあたることから、『栗東市地域防災計画』において南海トラフ地震発生時に想定される地震の規模として、琵琶湖西岸断層帯でマグニチュード7.8を、また、大鳥居断層帯でマグニチュード7.1を想定しています⁸。

過去の地震の痕跡は、遺跡の発掘調査で明らかになっています。粘土層を突き破り砂礫を噴き上げる噴砂^{ふんさ}の跡は、辻・高野遺跡（縄文時代前期以降）、霊仙寺^{りょうせんじ}・総遺跡^{へそ}（奈良時代以前）、野尻遺跡（時代不明）などで確認されており、野尻遺跡では鎌倉時代から江戸時代中期とみられる断層が確認されています。また、史料では江戸時代前期の寛文2年（1662）に発生した、寛文近江・若狭地震で、栗東地域の寺社で多くの建物が倒壊などしたことが記録に残されています⁹。この地震は、琵琶湖西岸の花折断層と若狭湾沿岸の日向断層を震源とする連動地震で、最大震度6以上といわれています。このような琵琶湖西岸断層帯を震源とした地震が起きれば栗東でも図2-9のような震度になると予想されています。今後、上記断層帯での地震ならびに南海トラフ地震などを想定した歴史文化要素の防災対策を進めていく必要があります。

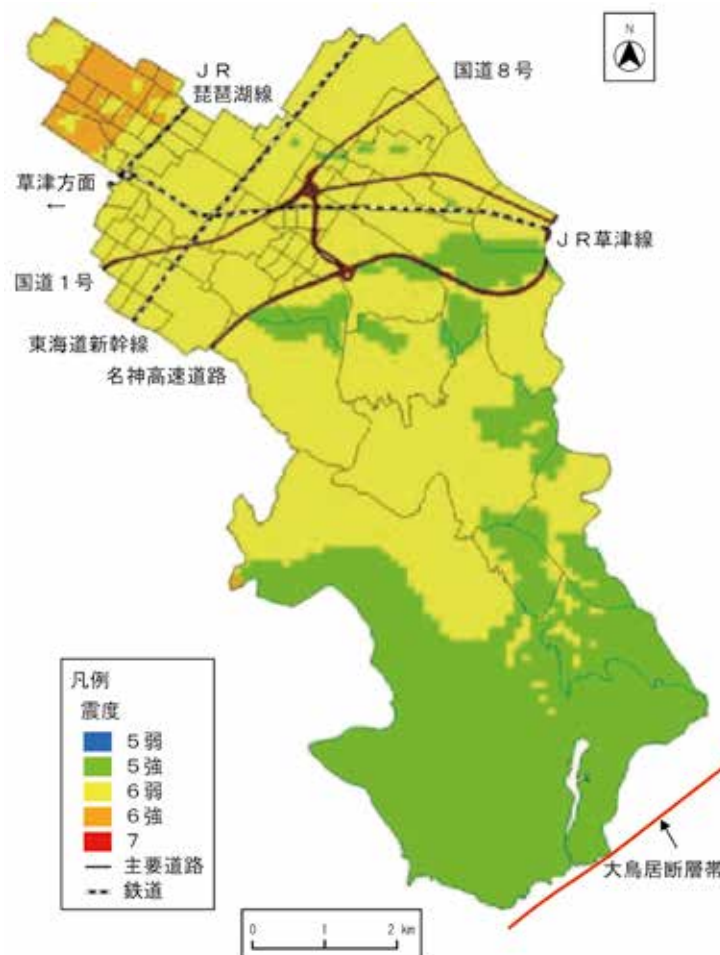


図2-9 計測震度分布図（栗東市防災アセスメント調査（概要）報告書～地震被害想定～令和2年（2020）取得より一部加工。産総研地質調査総合センターウェブサイト活断層データベース（<https://gbank.gsj.jp/activefault/search>）をもとに大鳥居断層帯を追加）

⁸ 『栗東市地域防災計画』栗東市防災会議 令和2年（2020）3月

⁹ 『膳所藩郡方日誌』



写真 2-3 霊仙寺・総遺跡で発見された噴砂跡

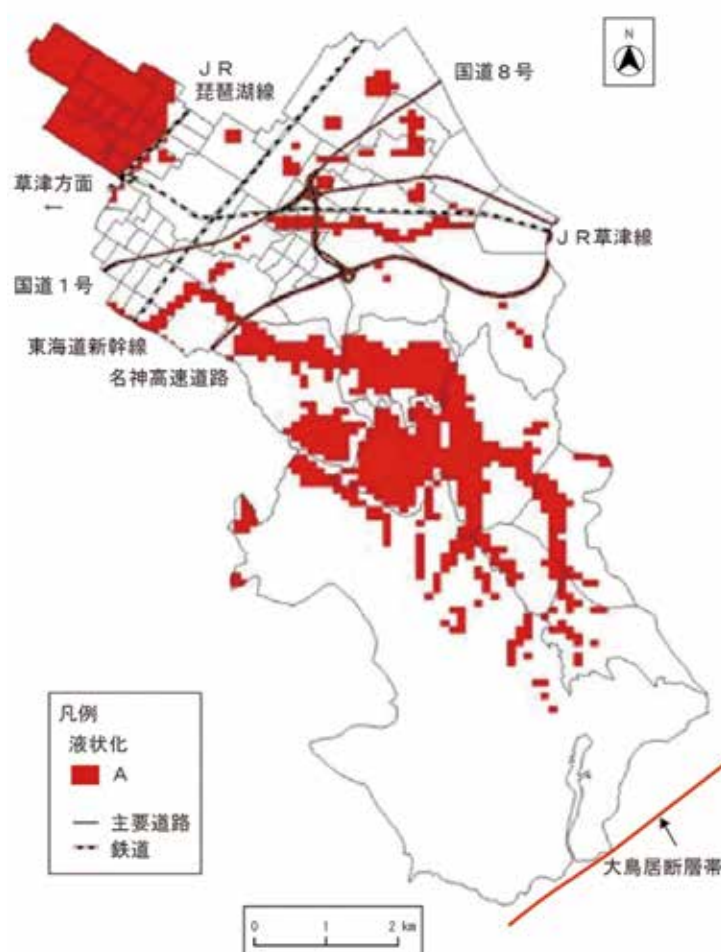


図 2-10 液状化危険度評価図 (栗東市防災アセスメント調査(概要)報告書～地震被害想定～令和 2 年(2020)取得 より一部加工。産総研地質調査総合センターウェブサイト活断層データベース <https://gbank.gsj.jp/activefault/search>) をもとに大鳥居断層帯を追加)

(7) 自然環境

植生

栗東では、スギやヒノキの人工林、アカマツ林やコナラ・クヌギ・アベマキ・クリなどの雑木類林といった二次林が大部分を占め、人の影響を受けていない原植生としては、金勝寺から竜王山にかけての山稜部分に残されたモミ林があります。

栗東には、樹高25mを超えるモミやアカマツ・アカガシ・スギなどの針葉樹から樹高10m程度のアカガシやヤブツバキ、樹高1.5～5.0mのシキミ・ヒサカキ・モミの幼木やアセビ・クロモジなどの樹木、そして樹高1.5m以下のミヤコザサ・高木層の幼木・ヒサカキ・ヒイラギ・イヌツゲなどが生育しています。また、原植生の照葉樹林が、大宝神社（^{（さび）}総）や菌神社（中沢）、稻荷神社（手原）、日吉神社（^{（かみとやま）}上砥山）、八王子神社（御園）、春日神社（^{（あらはり）}荒張）などの鎮守の森にその姿を留めています。こうした鎮守の森は、集落に近接する緑地空間や信仰空間として人々の暮らしと密接な関わりがあり、栗東の歴史文化を構成する重要な要素といえることから、保護、育成する方法などを検討していく必要があります。

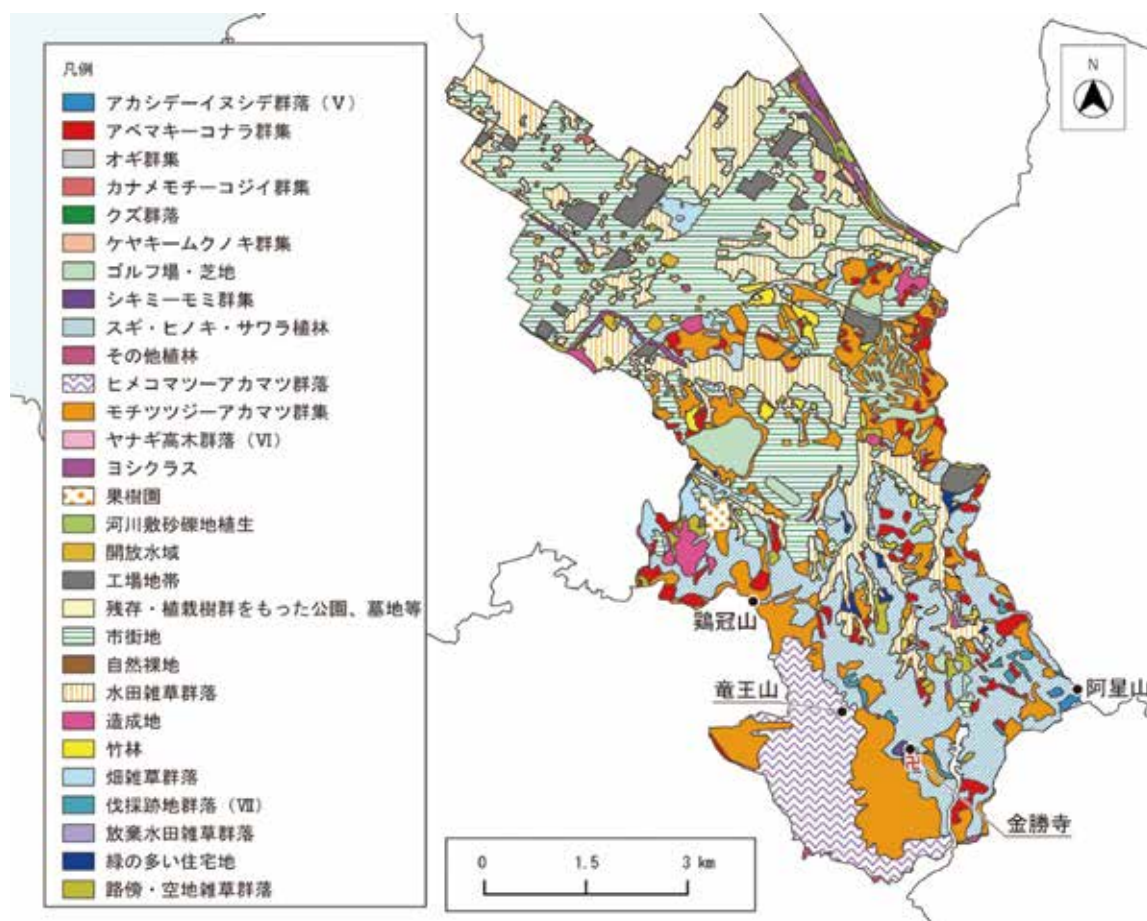


図2-11 植生図（「第6・7回自然環境保全基礎調査植生調査報告書」（環境省生物多様性センター）令和2年（2020）取得、国土数値情報（湖沼、行政区域データ）令和2年（2020）取得を加工して作成）

動物

栗東は、山地、丘陵地、平地で構成される変化に富む地形となっており、各地点で特有の動物の生息が確認されています。特に栗東の歴史文化要素の保存と活用に関連が深い鳥類及び哺乳類は以下の通りです。

鳥類は、山地にヤマゲラやオオルリ・サシバ・カケスのほか、ヒヨドリ・ホオジロ・ウグイス・カシラダカ、メジロなどが確認されています。一方、人里付近では、スズメ・ムクドリ・ハシボソガラス・ツバメ・キジバトなどが確認されています。このうち、ハト類やカラス類は、営巣のため、寺社に葺かれた檜皮や柿、茅葺民家の茅を抜き去ることが多く、建造物の傷みの原因となっています。また、菌神社などで多数のサギが繁殖のため飛来し神社内の高木に営巣することから、糞害、悪臭などの被害があります。市や地域により、巣の撤去や樹木剪定等の対応をしていますが、根本的な解決には至っていません。

哺乳類では、里山付近にニホンアナグマ・ニホンリス・アカネズミ・ニホンノウサギ・コウベモグラ・アライグマ・アブラコウモリ・ハクビシンなどが確認されています。このうち、アブラコウモリやアライグマ・ハクビシンは指定等文化財をはじめとした建造物内に侵入し、糞やツメなどで汚損、き損を与えることがあることから注意が要ります。

一方、山間地ではイノシシやニホンジカの生息が確認されています。これらは樹皮などを食害し弱らせます。また山麓の集落では畑や水田に影響を与えることから、金勝山周辺の自然環境や里山の文化的景観を保全していく上で、獣食害などについて検討していくことが必要です。



写真2-4 ヒヨドリ
(栗東自然観察の森HPより)



写真2-5 ニホンノウサギ
(栗東自然観察の森HPより)

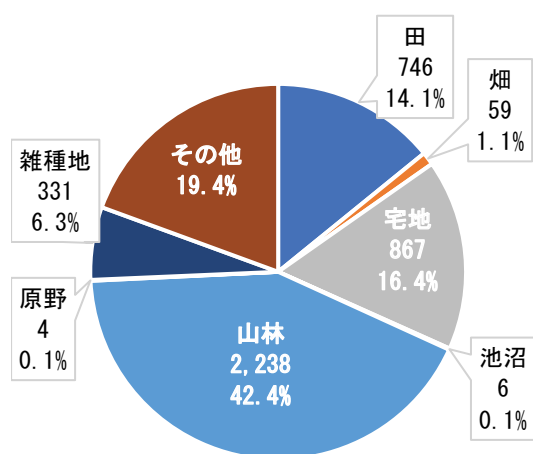
2 社会的状況

(1) 土地利用

栗東の土地利用の形態は古代の土地区画である条里地割に遡ります。栗東の条里地割は古代東山道の方角と合致する約30度東へ傾くもので、平野部で広く確認され、現代まで引き継がれていることがわかります。

栗東の地目別土地面積は、平成31年度（2019）には山林が2,219ha（約42%）、宅地が951ha（約18%）、田が640ha（約12%）となっています。また、JRA（日本中央競馬会）栗東トレーニング・センター（以下、栗東トレーニング・センターという。）やゴルフ場を含む企業敷地などのその他項目も1,061ha（約20%）と割合が高くなっています¹⁰。10年前の平成22年度（2010）のデータを見ると、宅地が867ha（約17%）、田が746ha（約14%）となっており、宅地化が進んでいる傾向がみられます。

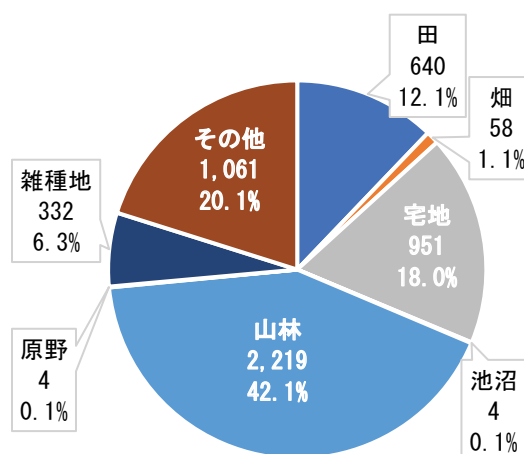
栗東は全域が都市計画区域に指定されており、市街化区域が約27%（1,405.5ha）、市街地調整区域には約73%（3,863.5ha）が指定されています。また滋賀県内の11の都市計画区域のうち、6市（大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市）により構成される大津湖南都市計画区域に含まれています¹¹。



(単位 : ha)

■ 田 ■ 畑 ■ 宅地 ■ 池沼
■ 山林 ■ 原野 ■ 雑種地 ■ その他

図 2-12 平成22年（2010）の地目別土地面積（栗東市統計書 平成22年度版より）



(単位 : ha)

■ 田 ■ 畑 ■ 宅地 ■ 池沼
■ 山林 ■ 原野 ■ 雑種地 ■ その他

図 2-13 平成31年（2019）の地目別土地面積（栗東市統計書 令和元年度版より）

¹⁰栗東市『栗東市統計書 令和元年度』令和2年（2020）

¹¹滋賀県『滋賀県の都市計画2019』令和2年（2020）

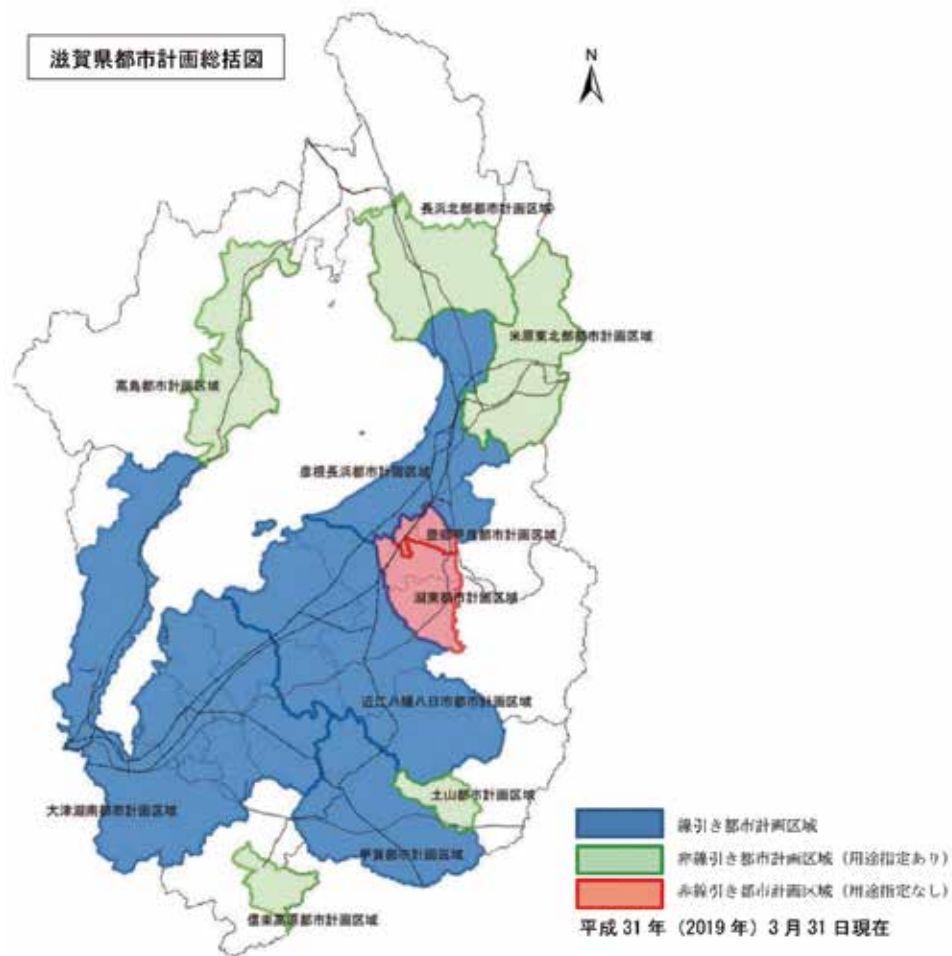


図 2-14 滋賀県都市計画総括図 (滋賀県『滋賀県の都市計画2019』令和 2 年 (2020) より)

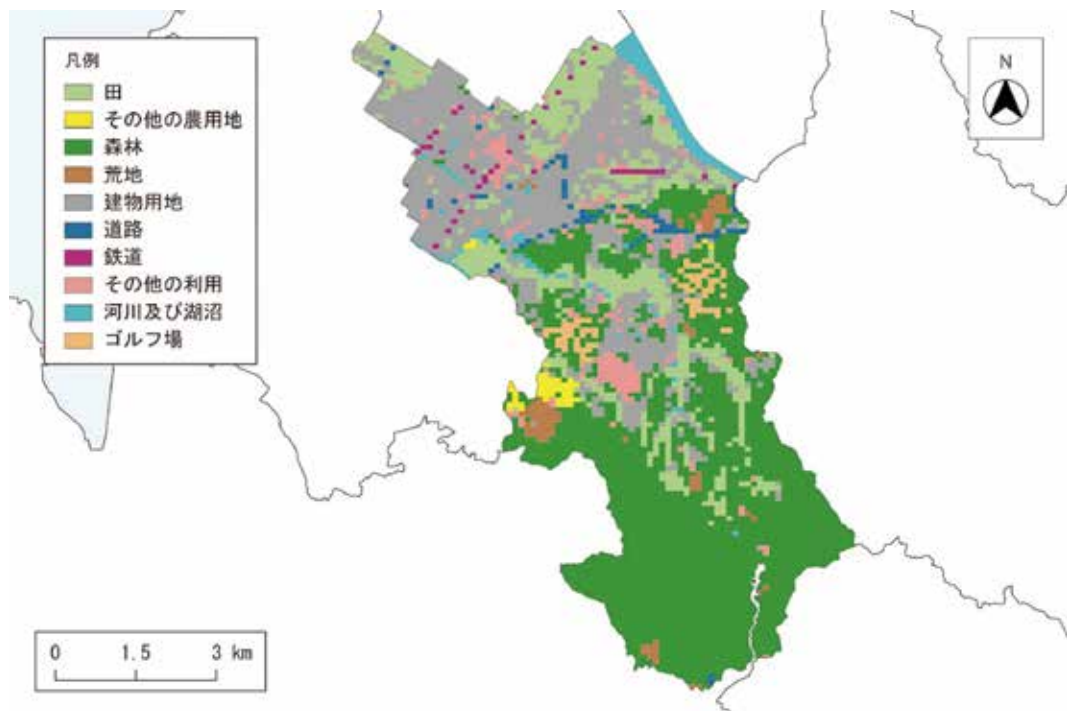


図 2-15 土地利用図 (国土数値情報 (湖沼、行政区画、土地利用 3 次メッシュデータ) 令和 2 年 (2020) 取得を加工して作成)

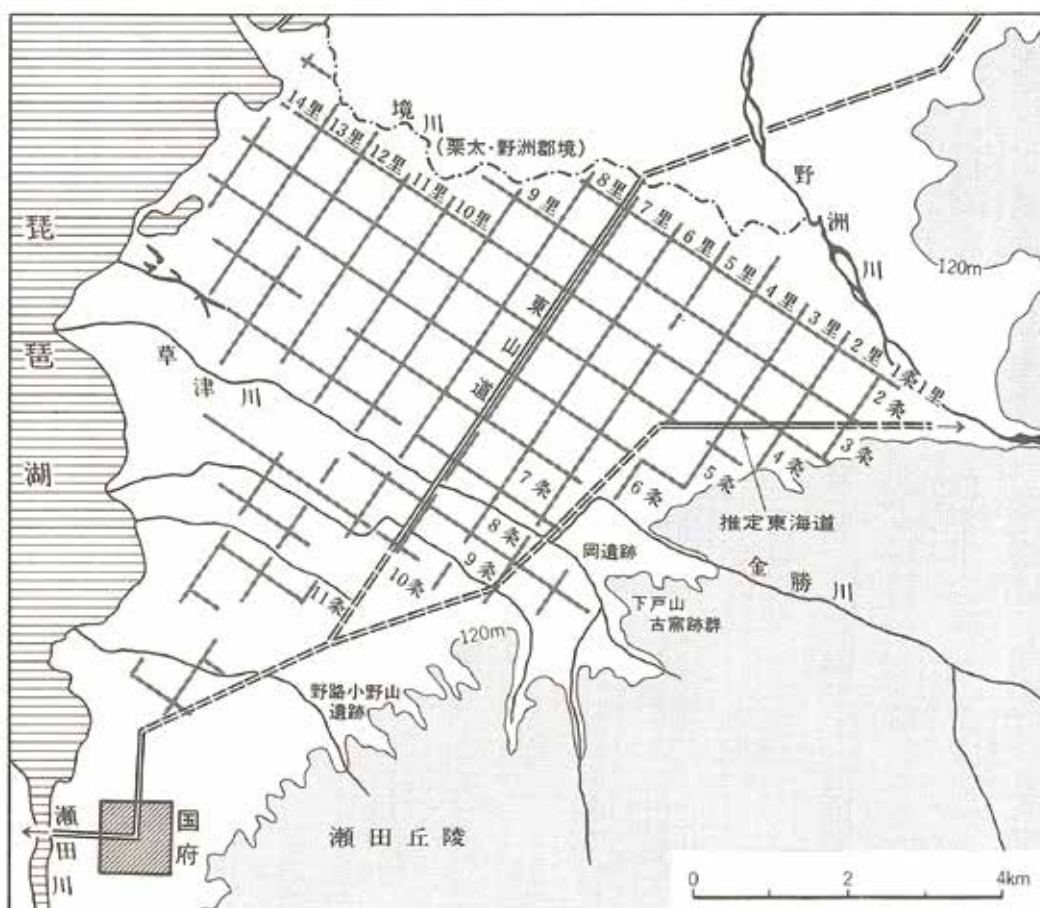


図2-16 古代栗太郡の土地計画（条里地割と古道）
 （栗東町史編さん委員会『栗東の歴史 第1巻』昭和63年（1988）より）



写真2-6 竜王山山頂から栗東トレーニング・センター、平野部を望む

(2) 人口

栗東の総人口は、令和3年（2021）7月1日で70,205人となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、令和17年（2035）の71,362人までは緩やかに増加傾向にあります。令和22年（2040）には減少に転じ、令和27年（2045）には70,518人と、減少傾向になることが予測されています。

年齢別にみると、15歳未満の年少人口は昭和60年（1985）の10,812人からその後の平成7年（1995）まで減少傾向でしたが、平成12年（2000）以降は緩やかに増加しています。平成22年度（2010）にピークを迎え、その後は減少傾向にあります。

15～64歳の生産人口は令和22年（2040）をピークに減少することが予測されています。近年では20～30歳代の流入人口の伸びが鈍化、40歳代以降の人口の流出傾向も見られ、企業の働き手（人材）の確保が難しい状況にあります。

65歳以上の高齢者人口は年々増加傾向にあり、昭和60年（1985）では2,908人と総人口の7%程度でしたが、令和27年度（2045）には18,883人と総人口の27%を占めるまでに増加する見込みです。

人口集中地区は、原則として市町村の境域内で人口密度の高い基本単位区（人口密度が1km²当たり4,000人以上）が隣接しており、かつそれらの地域の人口が、5,000人以上を有する場合に設けられる統計上の地域単位です。栗東における人口集中地区は、市域の約12.5%（6,58km²）を占め、北部の平地、JR琵琶湖線沿線に集中しています。栗東の全人口の約66.6%（44,491人）が人口集中地区に居住しています。

栗東では比較的若い階層の新規流入世帯によって、少子化・高齢化のペースも比較的緩やかですが、これまで歴史文化要素を守ってきた地域住民の高齢化が進み、保存・継承の担い手が少なくなっています。また新規住民と従来の住民との地域の歴史文化に対する意識の違いや、種々の取り組みでの連携不足によっても、歴史文化要素の担い手不足が加速する可能性があります。

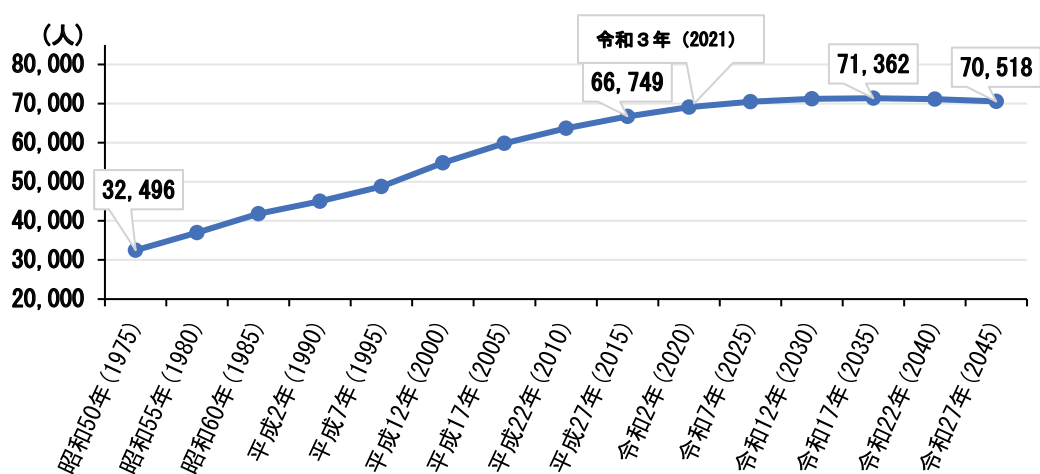


図2-17 総人口の推移（国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計 平成29（2017）年より）

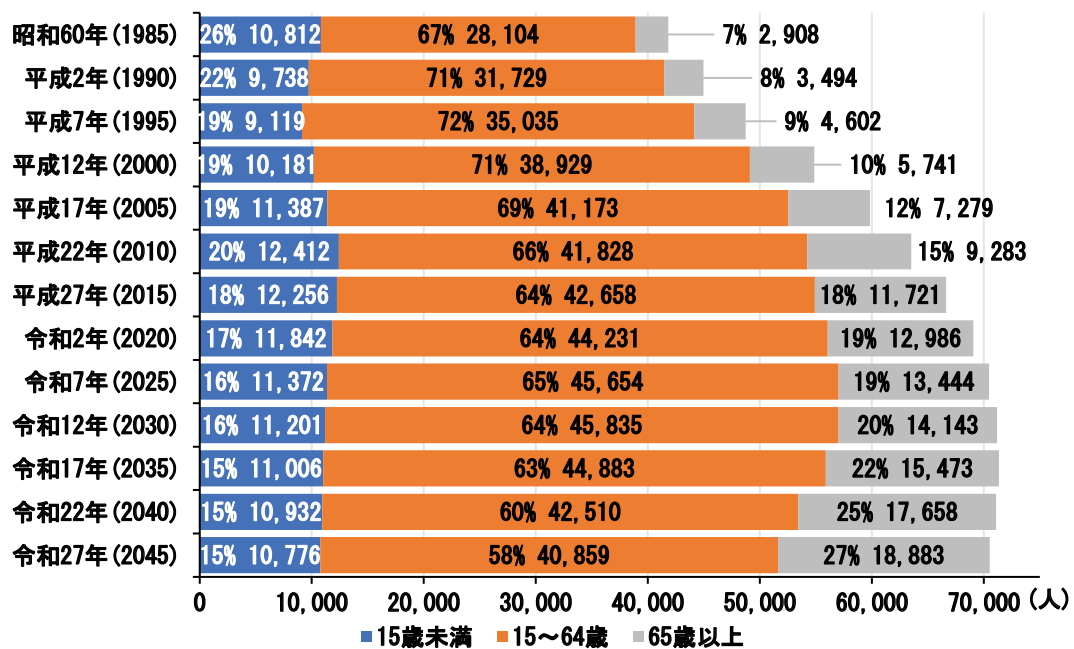


図 2-18 人口構成の推移（国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計 平成29（2017）年より）

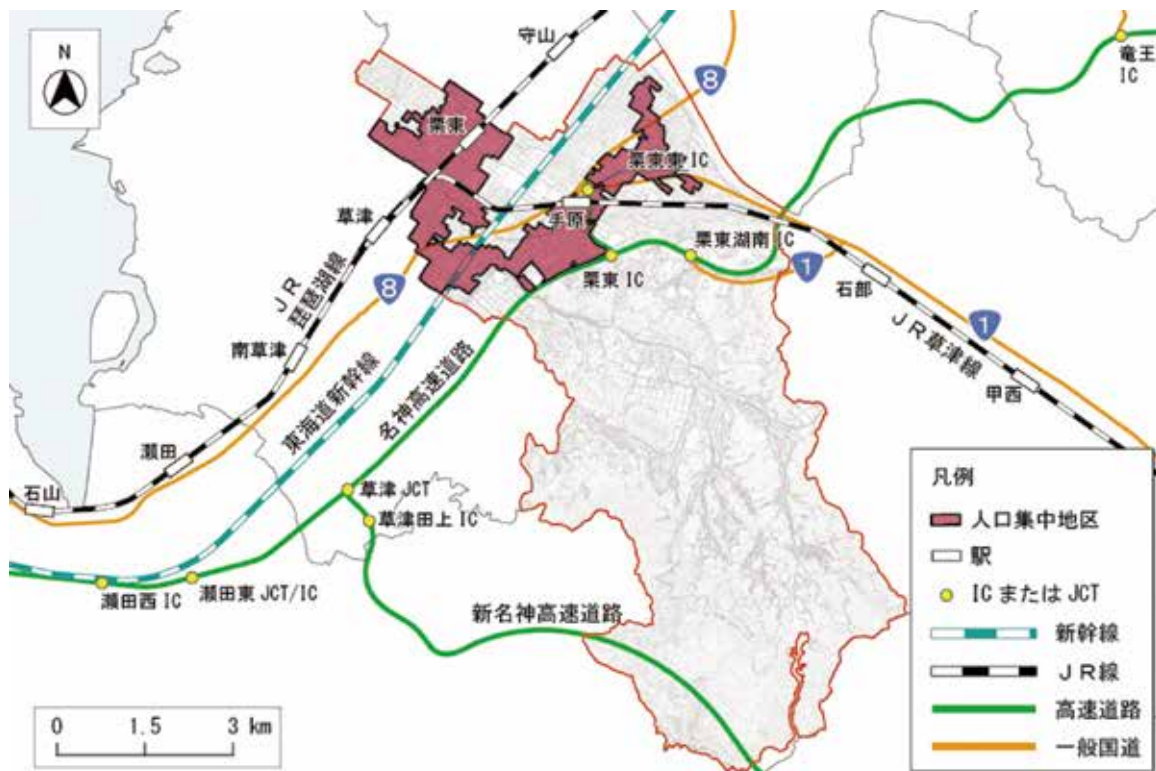


図 2-19 人口集中地区範囲図（国土数値情報（湖沼、行政区域、高速道路時系列、緊急輸送道路、鉄道データ）令和 2 年（2020）取得 を加工して作成、人口集中地区：栗東市『栗東市統計書 令和元年度版 令和 2 年（2020）より¹²⁾）

¹²⁾ 「平成27年国勢調査 地図シリーズ 我が国の人口集中地区」（「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。（承認番号 平成27情使、第49-GISMAP36191号）」）

(3) 交通

栗東は、古来より畿内と東国の結節点として、東海道や東山道、中山道が通る交通の要衝でした。さらに野洲川や葉山川、中ノ井川などの内陸水運路を介して琵琶湖の周辺地域とのつながりを有してきました。

現在でも名神高速道路、国道1号・8号などの幹線が横断し、さらにJR琵琶湖線（東海道本線）やJR草津線などの鉄路が通るとともに、名神高速道路に栗東インターチェンジ、JR琵琶湖線に栗東駅、JR草津線に手原駅が整備されるなど、京阪神、中京、北陸地域における交通ネットワークの結節点となっています。また、市内の公共交通機関として帝産湖南交通株式会社、滋賀バス株式会社の路線バスのほか、市のコミュニティバス（くりちゃんバス）が運行されています。このほか春、秋の観光シーズンには観光協会により、観光地をむすぶ「めぐりちゃんバス」が運行しています。

一方、種類別の交通手段は、平成22年（2010）で自動車が54.8%、二輪車が20.3%、徒歩が16.8%、公共交通機関（鉄道・バス）が8.0%となっており、自動車利用率が高いことが指摘できます。今後、歴史文化資産の活用・運用を進めていくにあたり、駐車場や公共バス路線などの整備を進めていく必要があります。

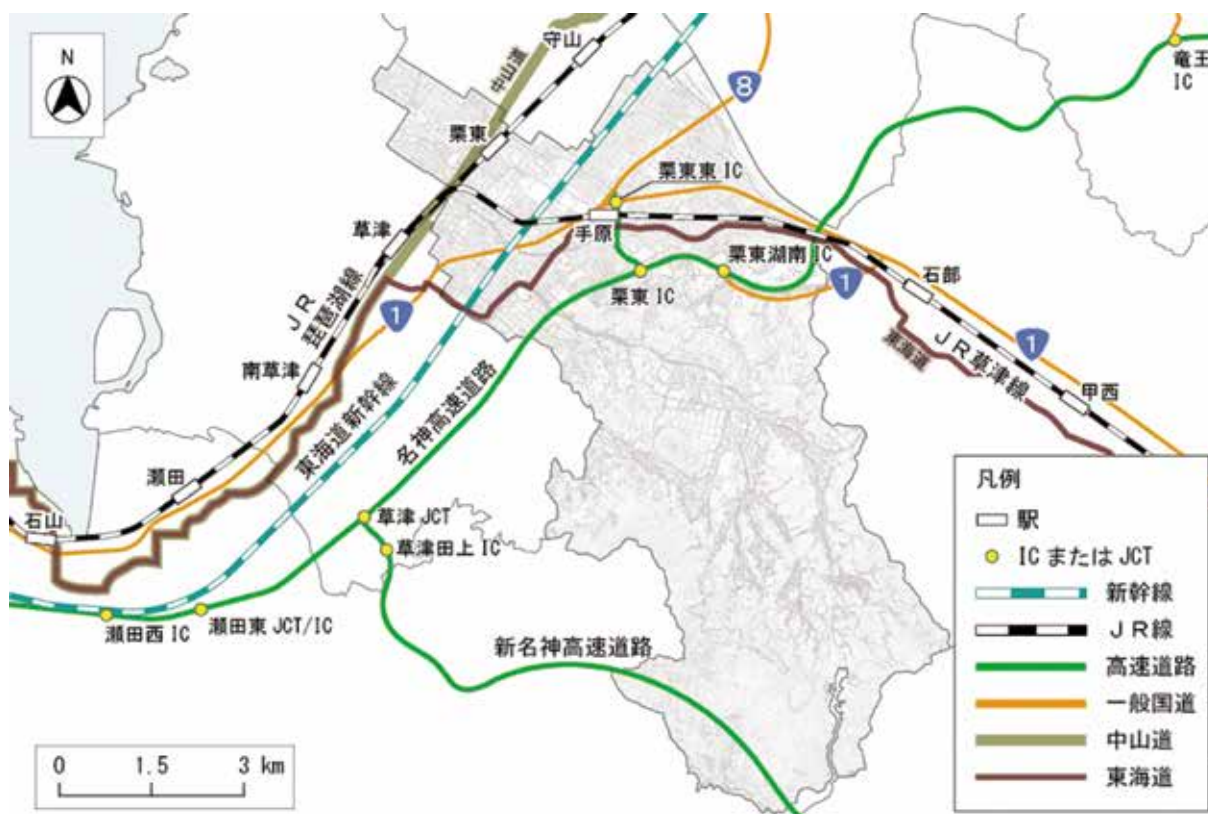


図2-20 栗東市の主要交通網（国土数値情報（湖沼、行政区域、高速道路時系列、緊急輸送道路、鉄道データ）令和2年（2020）取得を加工して作成）

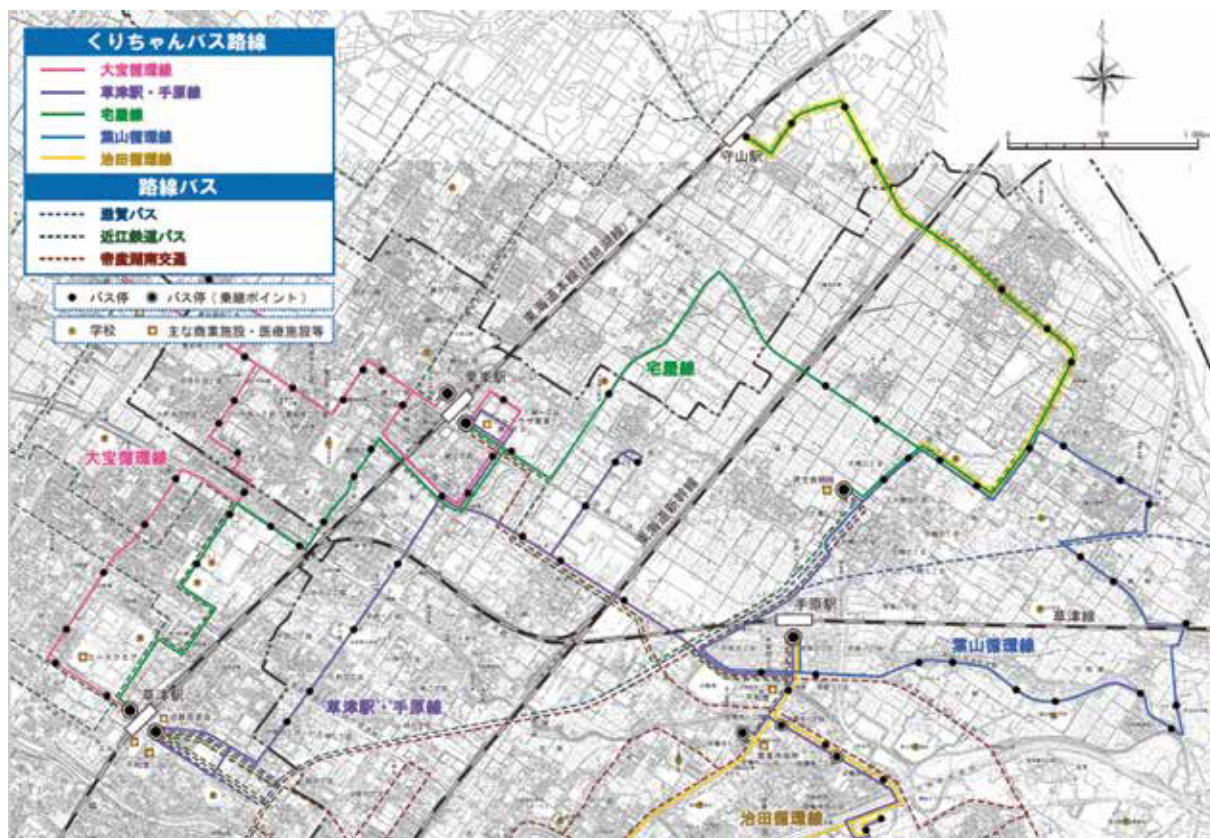


図2-21 バス路線図 (栗東市HPより <http://www.city.ritto.lg.jp/material/files/group/18/04504529.pdf> 令和2年(2020)改正)

(4) 産業・伝統産業

平成27年度（2015）の国勢調査結果によると、栗東の産業別の就業者数は第一次産業で575人、第二次産業で10,580人、第三次産業で20,528人、分類不能は1,115人であり、就業者数の総数は32,798人となっています。

第一次産業は、昭和55年（1980）以降減少傾向にある一方で、第二次産業は30%台で安定し、また、第三次産業は増加傾向にあります。就業者数の総数は、昭和55年（1980）以降、増加し続けています。

栗東では、かつて街道の名物として道中薬和中散や目川田楽などが知られていました。また青花紙や瓦、酒・醤油なども盛んに生産されていました。鋳物師は辻を本拠地として全国で活躍し、多くの製品が残されています。しかしながら、これらの名物や工芸品、伝統技術は近代以降衰退していききました。

近代以降に生産の記録がある目川ひょうたんは、地域の人々の手により守られてきましたが、後継者不足が課題になっています。製菓業では文化年間開業の阿波屋が現在も営まれ、「善光寺ういろ」が栗東名物になっています。伝統技術や伝統工芸は、記録化や作品・道具類の保存、衰退した技術を復興する可能性を探っていくことが必要です。



写真2-7 目川ひょうたん

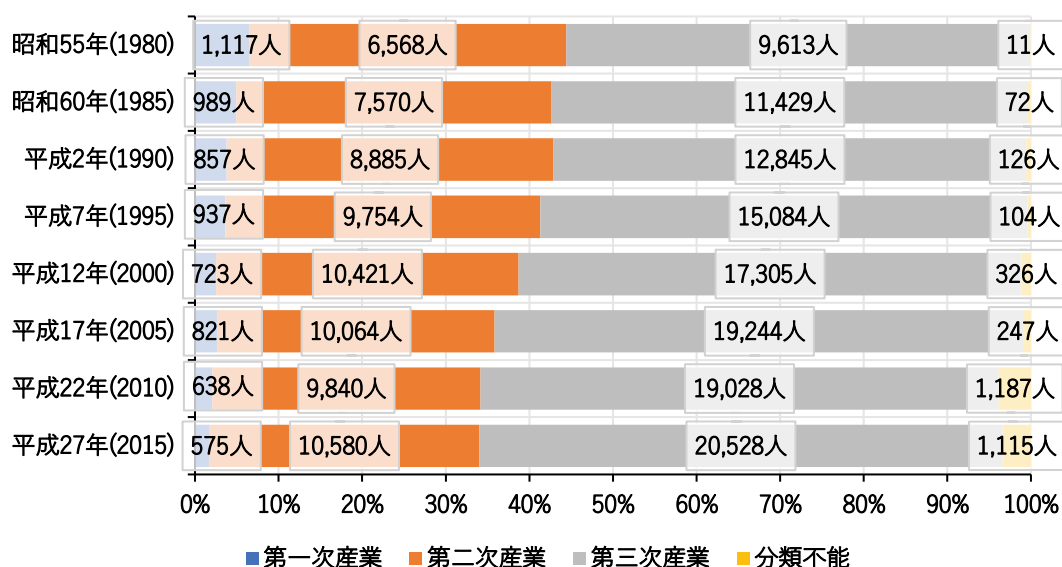


図2-22 栗東市の産業別就業者数¹³

¹³ 『国勢調査』（昭和55年（1980）～平成27年（2015））

(5) 観光

滋賀県への観光客数は、平成30年（2018）に約5,254万人と過去最高を記録し、その後も増加傾向でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止や観光施設などでの閉館、休業が相次いだことなどから、令和2年（2020）に約3,642万人に減少しています。栗東では、平成30年（2018）に865,100人と過去最高を記録しました。令和2年（2020）には宿泊施設の開業により、宿泊客数が過去最高の20,900人となりました。

令和2年（2020）の月別観光入込客数をみると、緊急事態宣言が発令、滋賀県緊急事態措置が実施された4～5月は前年よりも減少していますが、外出自粛要請が解除された6月には回復しています。

また、目的別にみると「その他」「都市型観光（買物・食など）」「スポーツ施設、キャンプ場など」が高く、「自然」「歴史」「博物館・美術館など」「行祭事・イベント」が低い割合となっています。

市内には、金勝寺や大角家住宅などの様々な歴史文化要素がありますが、『栗東市観光振興ビジョン』によると、市内外の来訪者のうち、半数以上がインターネット、パンフレットなどを参考にせず訪れているとあります。市内外の方に歴史文化要素を知っていただき、「自然」「歴史」「博物館・美術館など」「行祭事・イベント」への参加を増やすため普及啓発などの情報発信の強化、周遊ルートの検討やマップ作成などの検討が必要となっています。

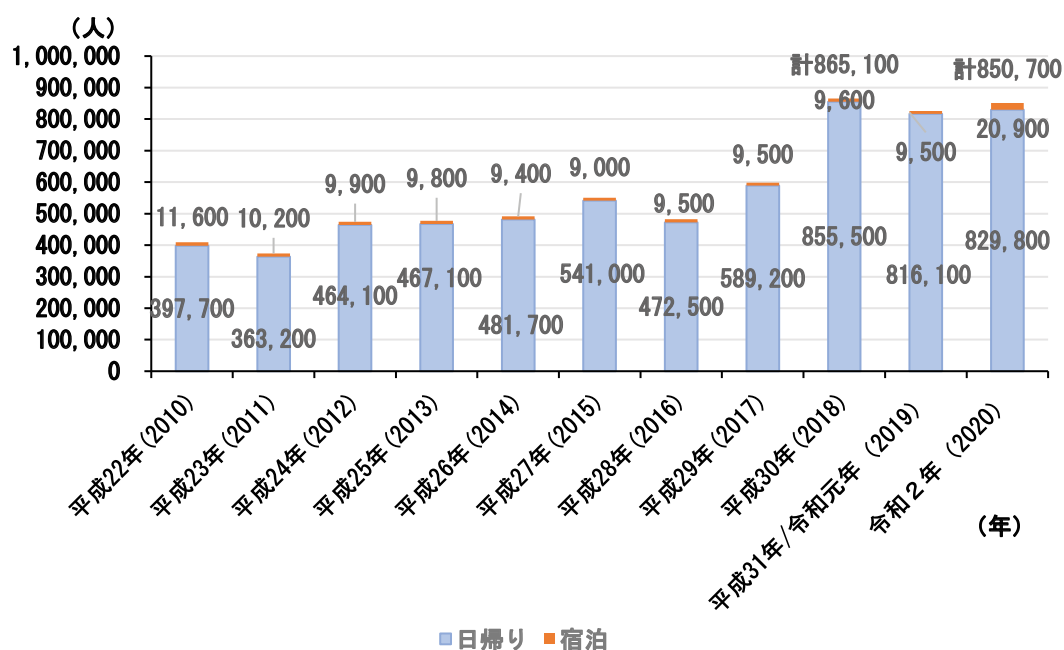


図2-23 栗東市の観光入込客数（滋賀県観光入込客統計調査 平成22年（2010）～令和2年（2020）より）

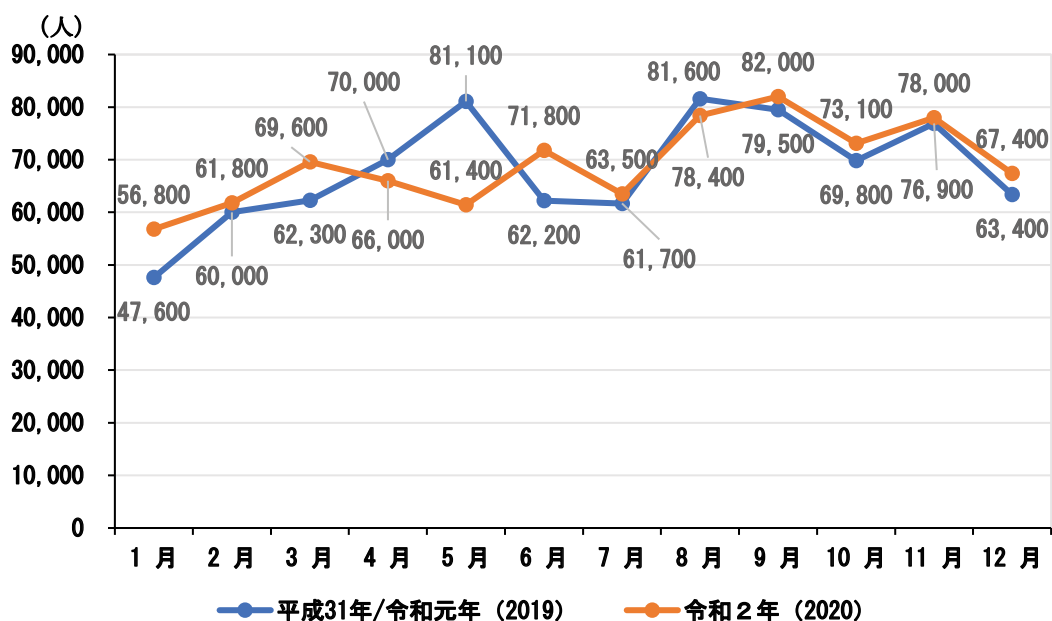


図2-24 栗東市の平成31年/令和元年（2019）と令和2年の月別観光入込客数（日帰り観光客数）（滋賀県観光入込客統計調査 平成31年／令和元年（2019）～令和2年（2020）より）

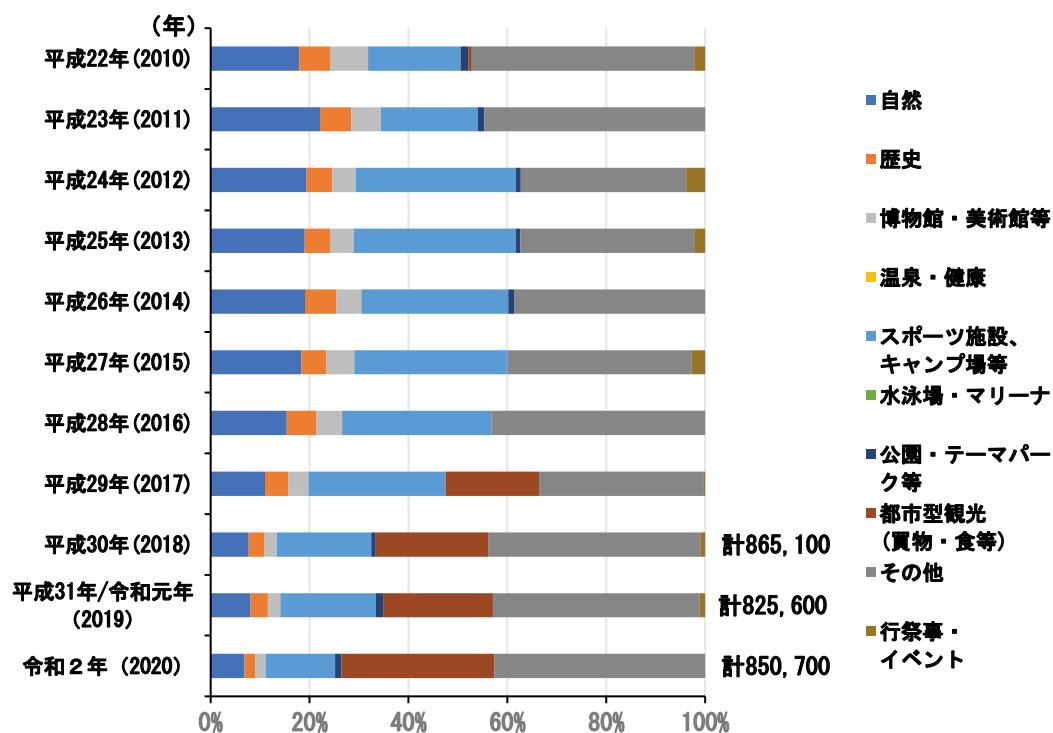


図2-25 栗東市の目的別観光入込客数（滋賀県観光入込客統計調査 平成22年(2010)～令和2年(2020)より）

(6) 歴史文化資産活用・運用の取り組み

栗東ではこれまでに、歴史文化を活かした取り組みが地域や所有者、行政により行われています。所有者による取り組みでは、歴史文化資産を活かし親しめるイベントが企画されてきました。博物館では、移築民家旧中島家住宅のかまど体験などの教室や講座が実施されています。栗東市教育委員会では、埋蔵文化財調査機関である（公財）栗東市スポーツ協会とともに、「栗東の文化財を活用しよう」事業などを実施しています。

さらに市内には、9小学校区にコミュニティセンターが設置され、市民活動の拠点となるほか地域の特色を生かした講座やウォーキングなどが実施されています。ほかにも図書館や道の駅、観光案内所など、各地に拠点施設があります。

●地域・所有者を中心とした取り組みの例

表2-5 地域・所有者を中心とした取り組み

場所 イベント名	内 容
金勝寺	毎年11月の紅葉シーズンにライトアップが行われ、和太鼓やピアノなどの音楽イベントも企画されています。
旧和中散本舗 (大角家住宅)	通常の見学（予約制）に加え、春と秋に特別公開を実施しています。ボランティア観光ガイドの案内があります。
東方山安養寺	様々な年中行事に加え、5月に青葉祭、11月に秋の大祭を実施し、書道展やマルシェを開催しています。（※新型コロナウイルス感染症拡大防止によりマルシェ中断中）
ほっこりまつり	東海道の町並みを活かしたイベントです。（※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中断中）10月に行われ、街道沿いに屋台などが並びます。
いちょうまつり	安養寺景観まちづくり協議会などが開催するイベントです。市史跡椿山古墳で古墳公開、市役所で「古きよき安養寺博物館」が実施されます。（※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中断中）

●博物館で行われる取り組みの例

表2-6 博物館で行われる取り組み

取り組み	内 容
かまどめしを炊こう！	移築民家旧中島家住宅のかまどで炊飯体験をします。（※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中断中）
公開講座	市民学芸員とともに様々なジャンルでの講演会を実施。市民学芸員の研修も兼ねます。（※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中断中）
ミュージアムロビー コンサート	音楽振興会が博物館ロビーや旧中島家住宅で、ピアノやハープなど様々なコンサートを実施。年3回。

●教育委員会と（公財）栗東市スポーツ協会が行うイベントの例

表2-7 教育委員会と（公財）栗東市スポーツ協会が行うイベント

取り組み	内 容
調査研究報告会	発掘調査成果をもとに、栗東に関連の深いテーマで近隣市町の成果も含め調査研究成果を発表。
発掘体験	市内で実施される発掘現場で、実際に発掘を体験。
栗東の文化財を活用しよう	地域の団体と協働して実施する地域の歴史文化要素を活用する取り組み。シンポジウムや講演会、椿山古墳測量ワークショップなどを開催。
耐寒アベック登山大会	金勝小学校から金勝寺までを走るイベント。競技団体とともに実行委員会を組織して開催。



写真2-8 博物館でのミュージアムロビーコンサート



写真2-9 耐寒アベック登山大会



写真2-10 遺跡での発掘体験



写真2-11 栗東の文化財を活用しよう（シンポジウム）

●地域の拠点施設を活かした取り組み

表2-8 地域の拠点施設

地域の拠点施設	
博物館	栗東とそれを取りまく地域の歴史と文化について積極的に調査・研究・資料収集につとめ、展示公開を行っています。敷地に移築された旧中島家住宅では火吹き体験やかまどめしを炊こう！などの体験教室が行われています。
栗東市出土文化財センター(以下、文化財センターという)	栗東市内での発掘調査で得られた出土品や発掘調査の記録写真・図面などの資料を、整理・保管する施設。施設の見学、資料の閲覧や貸し出しも行っています。
コミュニティセンター(9小学校区に配置)	各学区の住民自治組織が管理運営する地域の特性にあった住民主導のまちづくりの拠点施設。住民による管理運営、主体的・自立的な事業の展開を目指しています。
自治ハウス(自治会館)	各自治会におけるコミュニティ活動の拠点となる施設です。
栗東市立図書館・栗東市立栗東西図書館	市民が気軽に利用できる図書館。郷土資料や行政資料を所蔵するほか、栗東にゆかりの深い馬関連の資料を収集しています。
栗東観光案内所	JR手原駅2階にあり、観光名所の案内をはじめ、栗東ならではの特産品の展示販売、「馬のまち栗東」にちなんだ馬に関連したグッズの販売、金勝寺をはじめとする観光名所の写真の展示などを行っています。
栗東芸術文化会館さくら	栗東芸術文化会館さきは、「水や緑と親しむ芸術文化の拠点」として、芸術文化を楽しむ場づくり、芸術文化を創造する人づくり、芸術文化ゾーンの形づくりを目指しています。
道の駅アグリの郷栗東	県道145号片岡栗東線の道の駅で、農産物加工施設。林業師講の神饌であるごぼうの煮物を使った割木の巻寿司が販売されています。施設から新幹線を眺めることができます。
道の駅こんぜの里りっとう	全国植樹祭跡地にある日産リーフの森に隣接しており、広場で遊ぶ人や金勝山系を歩くハイカーの憩いの場になっています。地元の野菜が、朝採り直送で店頭に並びます。
JAレーク滋賀 田舎の元気や	農産物販売所にレストラン・おにぎりドライブスルーが併設。旬の地元農産物、加工品、花卉、栗東産米などがならぶ施設。



写真2-12 道の駅アグリの郷栗東

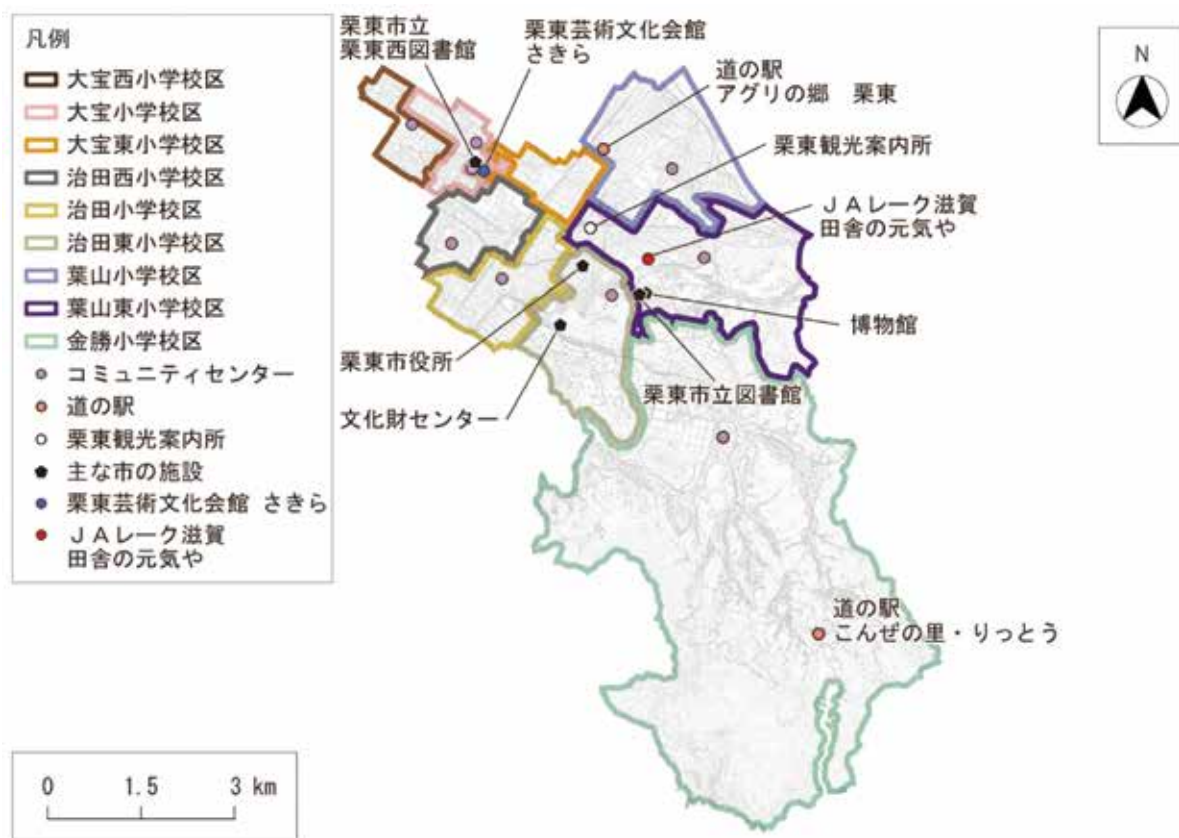


図 2-26 地域拠点施設の分布図 (国土数値情報 (湖沼、行政区域データ) 令和 3 年 (2021) 取得、政府統計の総合窓口 (e-Stat) (国勢調査 2015 小地域 (町丁・字等別)) を加工して作成)

3 歴史的環境

(1) 原始

栗東に初めて人々の活動の痕跡が確認されるのは、縄文時代前期の高野遺跡（高野）です。これ以後、下鈎遺跡（下鈎）、霊仙寺遺跡（霊仙寺）、狐塚遺跡（川辺）などで石鏃や石錘などの狩猟・漁労具の他、石皿や磨石などの粉食用具が出土し、人々の生活の痕跡が発見されています。

大陸より稲作が伝来し、弥生時代（紀元前3世紀～紀元3世紀）の幕開けとなります。霊仙寺遺跡は、県内でも最も早くから稲作が行われた遺跡として知られています。共同作業による稲作は、集落のまとまりを大きくし、生産量や人口も増大していきます。弥生時代中期末には、下鈎遺跡などでムラを濠で囲む環濠集落が出現しました。後期になると下鈎遺跡や伊勢遺跡などで大型建物を配置する集落が出現し、地域の拠点として青銅器や赤色顔料などを生産していたことがわかります。

古墳時代（3世紀～7世紀）になると野洲川左岸微高地上の、高野遺跡（高野・大橋）、出庭遺跡（出庭）、辻遺跡（辻）、岩畑遺跡（高野・林）などで、近江でも有数の大規模な集落が形成されます。集落内では、渡来系氏族と関わりを持ちながら、鉄鍛冶や、碧玉・滑石・ガラスの玉作りなど、特殊な製品も生産していました。墓域は亀塚古墳（出庭）など、集落に近接した古墳のほか、安養寺山周辺（安養寺・川辺）及び金勝川左岸（岡・下戸山・目川）に集中します。なかでも**椿山古墳（安養寺）**は、古墳時代中期（5世紀）では近江最大の古墳です。椿山古墳と同時期に築造された**新開1号墳（安養寺）**では馬具・武具などが大量に出土しており、朝鮮半島からもたらされた最初期の馬具が発見されています。ほかに新開4号墳では船形埴輪が出土しています。金勝川左岸には**下戸山古墳（下戸山）**、地山古墳など地域の首長墓が築造されます。後期（6世紀～7世紀）には**日向山古墳（六地藏）**、**龍王古墳（上砥山）**、春日神社古墳群（御園）、**和田古墳群（下戸山）**などで横穴式石室を持つ古墳が造られました。和田古墳群では装飾品や武器などの副葬品のほか、イモガイ装馬具など搬入された貴重な製品も発見されています。



写真2-13 龍王古墳

(1) 原始に関連する歴史文化要素

有形文化財【国】近江新開古墳出土品

【未】木製琴（下鈎遺跡）、盤龍鏡・天王日月獸文帶三神三獸鏡（岡山古墳）、三角縁三神三獸鏡（亀塚古墳）、笠形木製品（椿山古墳）、船形埴輪（新開4号墳）、副葬品一括（和田古墳群）

記念物【市】椿山古墳、下戸山古墳、日向山古墳、龍王古墳、和田古墳群

【未】伊勢遺跡（守山市域は国史跡）、地山古墳、春日神社古墳群

(2) 古代

古墳時代が終わりを迎え、代わって律令制度に基づく国づくりがはじまります。飛鳥時代の^{じゅうり}十里遺跡（^{きのとり}十里）では乙酉（天武14年・685）の紀年銘のある木簡が出土し、役所の初源的な施設の存在が推定されています。

^{はちや}蜂屋遺跡（蜂屋）では、法隆寺若草伽藍出土瓦と同じ型で作られた瓦が出土しました。このほか^{てはら}手原廃寺（手原）、^{こびらい}小平井廃寺（小平井）、下鉤東遺跡（蜂屋）でそれぞれ特徴のある瓦を有する寺院の存在が判明しています。手原廃寺などで出土する川原寺式の瓦は山田窯（下戸山）で須恵器とともに焼成されています。

律令期（奈良～平安時代）、近江国は「大国」に位置づけられ、^{こくが}国衙は栗太郡に置かれました¹⁴。当時の栗太郡は、宮都や寺院の建設に大量に必要な木材や金属の供給地でもありました。また、東山道・東海道といった官道が整備され、交通の要所として国家を支える重要な土地でした。



写真 2-15 毘沙門天立像（金勝寺）



写真 2-14 木簡（手原遺跡）

^{ぐんが}栗太郡衙は岡遺跡（岡・目川・下戸山）におかれました。郡を治めた郡司は、金勝から治田、草津市域の一部に勢力を持った^{おつきやまのきみ}小槻山君で、山林資源を管掌していた氏族であると考えられています。このほか奈良時代後半になると^{てはら}手原遺跡（手原）で官衙的な建物群が広がり、「坂本麻呂」などの木簡や墨書土器が多量に発見されています。

^{こんぜ}金勝山中の^{こまさかまがいはつ}粕坂磨崖仏（^{こうちゅう}荒張）は、^{とういつしんらぎ}統一新羅様式の影響を受けたとされる古代屈指の磨崖仏です。幽玄な金勝山中では、奈良時代に良弁が^{こんしょうじ}金勝寺（^{こうちゅう}荒張）を創建したとされます。金勝寺は平安時代初期に、興福寺の^{がんあん}願安が、国家鎮護を目的とする寺として伽藍を整備しました。さらに金勝寺は、天長10年（833）に国家公認の^{じょうがくじ}定額寺¹⁵となります。当初は興福寺など奈良の仏教文化の影響が濃厚であったこの地にも、平安時代中期になると、比叡山を中心とした天台宗の影響が及ぶようになります。とりわけ金勝

¹⁴ 国衙は勢多（現在の天津市）におかれた。

¹⁵ 定額寺 奈良時代から平安時代、官寺に次ぐ寺格を有した寺院。

山北麓の金勝谷周辺には金胎寺（荒張）や吉祥寺（井上）、大通寺（荒張）、薬師寺（御園）、善勝寺（御園）、観音寺（観音寺）など多くの寺院が営まれ、金勝寺を中心とする宗教的文化圏が形成されました。特に金胎寺阿弥陀如来像の胎内には永治2年（1142）年銘及び40名近い結縁者の名が残されています。平野部の福正寺（法界寺地蔵院・六地蔵）、東方寺（小柿）、安養寺、地蔵院（目川）、正楽寺（霊仙寺）などには、天台宗の影響を受けた仏教彫刻の優品が伝わっています。

一方、栗太郡内には延喜式内社が8座伝えられ、このうち栗東には蘆井神社（五百井神社・下戸山）、小槻大社（下戸山）、高野神社（高野）の3座が知られています。さらに大宝神社（総）境内社追来神社の狛犬台座には「伊不伎里惣中」とあり、栗太郡で所在が比定できない式内社である意布伎神社を追来神社にあてる説があります。五百井神社や小槻大社、大宝神社などの神社や金勝寺などでは、平安時代の神像が伝わっています。

(2) 古代に関連する歴史文化要素

有形文化財【国】木造薬師如来坐像（阿弥陀寺・旧善勝寺）、木造虚空蔵菩薩半跏像（金勝寺）、木造毘沙門天立像（金勝寺）、木造地蔵菩薩坐像（金勝寺・旧山口寺）、木造地蔵菩薩立像（福正寺・法界寺地蔵院）、木造阿弥陀如来及両脇侍像（金胎寺）、木造四天王立像（金胎寺）、木造釈迦如来坐像（金勝寺）、木造軍荼利明王立像（金勝寺）、木造千手観音立像（阿弥陀寺・旧善勝寺）

【県】木造僧形八幡神坐像・木造女神坐像（金勝寺）、木造広目天立像（大通寺保存会）、木造薬師如来坐像（東方寺）、木造四天王立像（金勝寺）、木造天部形立像（金勝寺）、木造男神坐像（五百井神社）、紺紙金字金光明経巻第一（金勝寺）

【市】木造聖観音菩薩及両脇侍像（観音寺）木造阿弥陀如来及両脇侍像（正楽寺）、木造月光菩薩立像・木造十一面観音菩薩立像（東方寺）、木造薬師如来坐像（薬師寺）、木造地蔵菩薩立像（金勝寺）、木造十一面観音菩薩立像（大野神社）、木造阿弥陀如来立像（阿弥陀寺）、木造日光菩薩立像（阿弥陀寺・旧善勝寺）、木造月光菩薩立像（阿弥陀寺・旧善勝寺）、木造毘沙門天立像（東方山安養寺）、木造阿弥陀如来立像（東方山安養寺）、木造聖観音菩薩立像（東方寺）、木造天部立像（東方寺）、木造天部形立像（吉祥寺）、木造伝観音菩薩立像（目川地蔵院）、木造男神坐像・木造僧形坐像（金勝寺）、木造持国天立像・木造多聞天立像（薬師寺）、木造神像（大宝神社）、木簡（十里遺跡）、木簡（手原遺跡）、石帯巡方（手原遺跡）

【未】木造金剛力士像（金勝寺）、土馬（手原遺跡）

記念物【国】狛坂磨崖仏

【市】金勝寺遺跡

【未】岡遺跡

(3) 中世

古代末から中世にかけて砥山庄や栗太庄といった荘園が見られますが、鎌倉時代には近江守護佐々木氏の一族が各地で分立し、栗太郡では青地氏が力をつけ、治田地区ならびに金勝地区の一部を勢力範囲としました。青地氏は**小槻大社（下戸山）**の神事に関与し在地支配を強化しました。

南北朝時代の争乱は各地に被害をもたらし、足利尊氏方の京極道誉と後醍醐天皇の合戦では、郡内の神社の多くが焼かれたとされます。一方で金勝寺は両陣営からの信仰を集め、地元勢力に影響を及ぼしました。

応仁の乱（1467～1477年）以降、公家や寺社の荘園が武士に横領されることが多くなりました。近江南部に力を強めていた佐々木六角氏を抑えるため、長享元年（1487）、將軍足利義尚が近江に出陣し、まず、東方山安養寺（安養寺）に、その後、鈎の「真宝館」に陣を構えました。**永正寺（上鈎）**がその陣所跡と伝えられています。出陣は失敗に終わったものの、將軍の出陣にあわせ、公家や僧侶までが居を移したことで、一時、当地が政治の拠点となり、京文化がもたらされることになりました。

室町時代には湖南の地で浄土宗、浄土真宗が盛んになります。浄土宗は応永年間に、川辺出身の僧隆堯が東坂に草庵を結び、やがてそこに宗真が**阿弥陀寺（東坂）**を建立し、近江における浄土教の拠点として興隆します。浄土真宗は、蓮如が栗太郡各地を流転し布教に努めました。特に安養寺や手原などの道場を拠点として、聖教類、十字名号や親鸞画像などを下付して門徒を教化しました。**圓徳寺（手原）**には下付された三帖和讃が、**西琳寺（綾）**には蓮如の裏書がある方便方身尊号が残されています。蓮如のあとを継いだ実如



写真 2-16 絹本著色阿弥陀如来像（鈎山安養寺）

の時代にもひきつづいて興隆し、下付物が市内寺院に多数残されています。この頃には**常勝寺（小柿）**などの時宗寺院も出現します。こうした寺院のなかには、**敬恩寺（荒張）**、**正徳寺（荒張）**、**永正寺**、**浄光寺（下鈎）**のように、寺院開基以前の鎌倉時代に遡る仏像を本尊としている場合も多く、栗東地域に根差していた天台浄土教の影響をうかがうことができます。

中世の信仰の形は石にも刻まれ、鎌倉時代の阿弥陀如来像（蜂屋）・阿弥陀如来坐像（通称大日如来像・坊袋）・小屋谷観音（荒張）、南北朝時代～室町時代の阿弥陀如来坐像（松源院・高野）などが点在しています。また金勝寺参詣道には丁石（町石）が置かれ、金勝荘総社の大野神社を起点に、



写真 2-17 石造不動明王立像（廿九丁石）

金勝寺までの参詣道の案内をしました。石造不動明王立像（走井）は、丁石のひとつです。天台宗や天竺宗に関連の深かった正楽寺（靈仙寺）、成谷寺（荒張）などの寺院では石造宝塔の優品が残されます。さらに金勝寺・万年寺（小野）・新善光寺（林）・徳生寺（伊勢落）などには宝篋印塔が、東方山安養寺や福正寺（六地藏）には層塔が伝わっています。

戦国時代には、六角氏（佐々木氏）や青地氏のもと、中・小の在地勢力が割拠し、

井上城（井上）などの丘城や、伊勢落城（伊勢落）といった館が複数集まった平地城館が築されました。

浄土真宗も勢力を拡大する中、六角氏を駆逐した織田信長によって、日向山山頂に多喜山城（六地藏）が築かれ、湖南一向一揆や甲賀をにらむ拠点となり、在地勢力を傘下に組み込んだことで、宮城豊盛など、統一政権の下で活躍する武将が現れました。

信長を継いだ豊臣秀吉の時代には、街道近くに浄土真宗の寺院を核として上鉤や六地藏で寺内集落が作られ、街道を中心とする経済が整備されようとしていました。

神祇信仰は平安時代から室町時代にかけて盛んとなります。このうち、小槻大社は、青地氏により本殿（重要文化財）が造営されています。また、この頃、いずれも国重要文化財である大宝神社境内社追来神社や宇和宮神社（蜂屋）などの社殿も建築され、中世の人々の信仰の篤さをうかがわせます。金勝の大野神社楼門（荒張）は県下での現存最古の楼門建築です。春日神社表門（荒張）は桃山時代の優美な建築様式を伝えいづれも国重要文化財に指定されています。神祇信仰は、人々の農耕にねざした日常生活に結びつくところが多く、小杖祭りの祭礼芸能（岡・下戸山・目川・坊袋・川辺・草津市山寺）、上砥山の田楽踊（上砥山）、御園太鼓踊（御園）といった様々な民俗芸能や祭礼神事として、今に伝わっています。



写真 2-18 宇和宮神社本殿

(3) 中世に関連する歴史文化要素

有形文化財【国】大野神社楼門、春日神社表門、大宝神社境内社追来神社本殿、宇和宮神社本殿、小槻大社本殿、安養寺十三重塔、木造阿弥陀如来立像（敬恩寺）、木造阿弥陀如来立像（正徳寺）、木造阿弥陀如来立像（新善光寺）、木造薬師如来座像（東方山安養寺）、木造阿弥陀如来立像（浄光寺）、木造狛犬（大宝神社）

【県】木造狛犬（大宝神社）、木造如意輪観音坐像（井上・吉祥寺）、黒漆金銅装蔓柏文鞍（五百井神社）、銅独鈷杵・銅五鈷杵（金勝寺）、金勝寺制札（金勝寺）

【市】木造地藏菩薩立像（峯の堂）、石造隆堯法印宝篋印塔（金勝寺）、石造宝塔（金勝寺）、石造宝塔（正楽寺）、大野神社摂社本殿、石造宝塔（成谷寺）、石造多層塔（福正寺）、石造宝篋印塔（万年寺）、宇和宮神社拝殿、大宝神社拝殿、石造宝篋印塔（徳生寺）、木造毘沙門天立像・石造阿弥陀如来坐像（松源院）、木造十一面観音菩薩立像（敬恩寺）、木造月光菩薩立像（東方山安養寺）、木造日光菩薩立像（東方山安養寺）、木造聖観音菩薩立像（万年寺）、石造不動明王像（廿九丁石・廣徳寺）、石造阿弥陀如来像（蜂屋）、木造阿弥陀如来坐像（仏眼寺）、木造阿弥陀如来立像（永正寺）、銅造阿弥陀三尊像（新善光寺）、板絵著色三十番神像（白髭神社）、絹本著色阿弥陀如来像（安養寺）、絹本著色釈迦三尊十六羅漢像（東方山安養寺）、絹本著色方便法身尊号蓮如裏書・附 絹本著色方便法身尊像順如裏書（西琳寺）、紙本墨書三帖和讃（圓徳寺）、紙本墨書金勝寺本堂再建勸進状（金勝寺）、紙本墨書狛坂寺本尊縁起（金勝寺）、石灯籠（阿弥陀寺）、懸仏（金銅製不動明王・金胎寺）、木造華鬘（観音寺）、鰐口（大野神社）

【未】木造毘沙門天立像（蜂屋）、木造不動明王立像（西琳寺）、木造阿弥陀如来立像（常勝寺）、木造吉祥天立像（金勝寺）、木造聖徳太子立像（万年寺）、石造如来形坐像（荒張・小屋谷観音）、木造男神坐像（手原稻荷神社）、紙本墨刷松源院大般若経、大宝神社文書、善導大師版木・法然上人版木（阿弥陀寺）、鑄銅製神輿飾鳳凰・鑄銅製華鬘（小槻大社）、石造宝塔（松源院）、石造宝塔（出庭神社）、石造宝塔（常勝寺）、石造宝篋印塔（常勝寺）、石造宝篋印塔（新善光寺）、石造三重塔宝篋印塔笠（仏眼寺）、石造宝塔（常福寺）

民俗文化財【国】近江湖南のサンヤレの踊り（小杖祭りの祭礼芸能）

【市】御園太鼓踊、上砥山の太鼓踊

【県・選択】御園太鼓踊 上砥山の太鼓踊、小杖祭りの祭礼芸能

記念物【市】足利義尚公陣所跡、僧巖誉宗真墓（阿弥陀寺）

【未】多喜山城

(4) 近世



写真 2-19 大角家（旧和中散本舗）製薬機械

江戸時代には、街道と宿駅地の整備が進められました。栗東では東海道の梅ノ木（六地藏）、目川、中山道の出屋敷（中沢）に立場が置かれ、このうち梅ノ木は草津宿と石部宿の間の宿として賑わうこととなりました。梅ノ木立場の道中薬和中散や目川の菜飯田楽は、『東海道名所図会』（1797年）にも描かれ、全国的にも有名になりました。**大角家住宅（六地藏）**は、和中散を製造販売する店舗であり、街道に面したその表構えは豪壮で、大きな製薬機械では薬

の製造実演販売が行われました。店舗の東脇には座敷が増築され、大名が休息する小休み本陣とされました。その上段の間から鑑賞できる池泉鑑賞式庭園は現在に残され四季折々の表情をみせます。大角家住宅には**瀟湘八景図屏風**や**楼閣山水図**など優れた近世絵画も伝えられています。街道を挟んで向かい側には隠居所があり入母屋本瓦葺きの本格的な構えを今に残しています。

街道の往還は文化の高揚をもたらし、医師鎌田右内（目川）、画家岡笠山（岡）、金工家奥村菅次（川辺）、算学者北村茂則（小柿）などを輩出しました。旧善勝寺には和算の問題が記された**算額**が奉納されていました。

戦乱の世に荒廃が進んだ寺社は近世になり地域住民の力を得て復興します。鉤の陣により寺勢が衰えた**東方山安養寺**は戒山慧堅をむかえ、地元安養寺村の協力を得て堂舎を再建し、律宗寺院として復興しました。江戸時代中期には客殿と庫裏に面して池泉鑑賞式庭園が作庭されます。**新善光寺**は善光寺阿弥陀如来の分身を安置し、寛文年間（1661～1673）に寺観が整うとともに枯山水庭園が作庭されたとされます。**万年寺（小野）**や円光寺（北中小路）などは、戦乱



写真 2-20 紙本著色慧極道明像（万年寺）



写真 2-21 安養寺庭園（東方山安養寺）

の世に荒廃した寺院を黄檗寺院として再興します。菌神社（中沢）、日吉神社（野尻）、大宝神社・稲田姫社本殿などは近世に再建され、維持されています。

栗東地域における江戸時代の村々は、街道沿いを中心に、大名や旗本領が複雑に入り込んでいました。猪飼家（手原）は旗本渡辺氏の代官で、居宅は陣屋所として機能し、東海道に面して格式ある長屋門を残しています。所領の複雑さにも関わらず、村落指導者層は自由な村の運営をおこない、相給の村においても一村全体での解決を諮るなど団結しました。広域的な訴訟などに発展する対立もありましたが、村組同士の調停で紛争は最小限に留められました。

こうしたなか、村々は生産力を高め、青花・菅笠・醤油などの商品作物や特産品が諸稼を促進しました。鋳物師は辻村を本拠地として全国に出職し名を馳せました。その作品は大宝神社・蓮台寺（下鉤）、常勝寺（小柿）などの梵鐘などに残されています。本貫地である辻の井口天神社には鋳物師たちにより青銅製の鳥居が寄進されています。幕末には本拠地での操業が衰退しましたが、わずかに残された作業場では鍋釜や梵鐘などと共に膳所藩に献上する弾丸を製造しています。

里内文庫資料など市内に残る文書には、災害の歴史も記録されています。特に脆弱な地盤を持つ金勝山系は、金勝川などに土砂を流出させて堤防の決壊を招き、度々洪水・氾濫をもたらしました。これを防ぐため、川の浚渫を行い、その土砂が盛り上げられました。この人々の努力が現在の天井川の景観につながっています。



写真 2-22 井口天神社鳥居

(4) 近世に関連する歴史文化要素

有形文化財【国】大角家住宅

【県】算額（阿弥陀寺・旧善勝寺）、里内文庫資料

【市】紙本著色隠元禅師像（万年寺）、紙本著色慧極道明像（万年寺）、紙本墨画瀟湘八景図屏風、梵鐘（常勝寺）、日吉神社本殿（野尻）、菌神社本殿、稲田姫社本殿（大宝神社）、井口天神社鳥居、紙本墨書東方山安養寺本堂再建勸進状（東方山安養寺）

【国・登録】猪飼家住宅長屋門

【未】絹本著色教如上人像（西琳寺）、紙本墨画楼閣山水図・松竹梅図襖・襖絵（曾我蕭白筆）、絹本著色夏景山水図（岡笠山筆）、紙本墨画立鶴図（岡笠山筆）、旧和中散本舗什器・調度品 鋳銅製梵鐘（大宝神社）、石造宝塔（蜂屋）、辻鋳物師関係資料、紙本墨書慧極道明書跡（万年寺）、紙本墨書慈雲飲光書跡（東方山安養寺）、大宝神社表門、金勝寺本堂、万年寺本堂、福正寺本堂、宗安寺本堂 東方山安養寺文書

記念物【国】旧和中散本舗、大角氏庭園

【県】安養寺庭園

【市】新善光寺庭園

【未】石造板碑（松源院）、丁石（荒張）、阿弥陀寺宮城家墓所

(5) 近現代

明治維新を迎え、明治4年(1871)、栗東市域は大津県となり、さらに大津県は犬上県と合併し滋賀県となりました。近世からの村々は金勝・治田・葉山・大宝の4ヶ村へとまとまっていくこととなりました。昭和29年(1954)には4ヶ村が合併して栗東町が誕生しました。昭和31年(1956)には浜川村が草津市に分離編入しました。平成13年(2001)には市政施行され、現在に至ります。教育の分野では、大宝神社宮司の足助楓崖が明治初めに修身堂をひらき近隣子弟の教育に従事しました。このほか各地に、現在の小学校の前身にあたる多くの学校が設立されました。明治22年(1889)に町村制が施行されて以降、順次金勝・治田・葉山・大宝の尋常小学校に統合され、今日の市内小学校の基礎となりました。



写真2-23 里内文庫と里内勝治郎

また、中学校は、昭和22年(1947)の学制改革により各地区に設けられましたが、翌23年(1948)に四ヶ村組合立栗東中学校が設立され、栗東中学校の基礎となりました。また、民間では明治43年(1910)に里内勝治郎により里内文庫(手原)が開設され、展覧会や講習会を開き、図書館活動や郷土史研究の原点となりました。

栗東の主要作物は米ですが、明治のころには裏作として麦・豆のほか、菜種・実綿・青花・葉タバコ・ひょうたんなどを生産し経済的な支えとなりました。農村の家内工業も発達し、絞り油、酒、しょうゆ、藍染め、鋳物、瓦、菓子などが製造されました。昭和30年(1955)以降は、地の利を生かして企業の生産工場が栗東に進出するようになります。

交通では、明治22年(1889)に、草津―三雲間を結ぶ関西鉄道が開通しましたが、請願の末、大正11年(1922)手原駅が設置され、鉄道の利便性が向上しました。平成3年(1991)にはJR琵琶湖線(東海道線)に栗東駅が開業し、京阪神のベッドタウンとして人口の増加につながりました。道路では、国道1号、国道8号が開通し、さらに昭和38年(1963)には日本で初めて名神高速道路栗東―尼崎間が開通し、栗東トレーニング・センターをはじめとした現在の企業誘致につながっています。



写真2-24 新善光寺山門

(5) 近現代関連する歴史文化要素

有形文化財【県】里内文庫資料

【国・登録】新善光寺本堂・山門

記念物【市】石造足助楓崖碑

(6) 民俗

栗東では南部の山間部から北部の平野部にかけて、農業を主な生業としてきました。米をはじめとする農作物の豊作や、厳しい自然と闘いながら働く人々の安全を祈願し、四季折々の多様な行事が行われてきました。

年頭には一年の豊作の予祝行事として、特に山間部の集落を中心に山の神行事が行われてきました。なかでも旧暦1月1日から上砥山で行われる山の神行事では、当番が別火生活をして精進潔斎し、コシラエヤドに男女2組の神体をまつるなど、1週間がかりの神事を行っていました。ほかの村々でもそれぞれに特徴的な神事を行っていますが、近年担い手の不足から行事が縮小されつつあります。また、市内各村において、年頭にはサギッチョが、年の初めから立春ころまでに豊作を願う祈祷行事であるオコナイが行われます。また、各地域で伊勢講・行者講などが実施されてきましたが、近年実施をとりやめたり、縮小したりする地域が増加しています。

春にはその年の豊作を願って、地域の神社で例大祭が行われます。なかでも大宝神社例大祭（縋・小平井・北中小路・霊仙寺・苅原・笠川・上鈎・下鈎・安養寺・小柿、守山市伊勢・阿村・二町・焰魔堂・今宿）、小槻大社例大祭（岡・下戸山・目川・坊袋・川辺・草津市山寺）、高野神社例大祭（伊勢落・林・六地藏・高野）、大野神社例大祭（御園・荒張・井上・東坂・観音寺）などは複数の村々により広範囲で行われます。各神社の春祭りでは三輪神社（大橋）ではドジョウズシ、菌神社ではジャコのなれずし、出庭神社（出庭）の小豆をまぶした餅といった特徴的な神饌が供えられます。また、小槻大社では国重要無形民俗文化財である**小杖祭りの祭礼芸能**が奉納されます。笠川のサンヤレ踊りは昭和7年（1932）にとだえていましたが、近年地域住民の熱意により復興され、大宝神社例大祭で奉納されています。

夏には、地域の神社にてその年の無病息災、五穀豊穡を願っての湯立神事が行われます。また、上砥山では野上神社において地域で醸造した濁酒^{どぶろく}を奉納する濁酒祭りが実施されます。自治会単位では近年各地で夏祭りが行われ、地域住民の交流の場となっています。

秋の行事として日吉神社では上砥^{かみと}山^{やま}の太鼓踊^{たいこどり}の奉納があります。また昭和60年（1985）頃には各地域でのソウモク（相撲）が行われていましたが、現在では大宝神社での相撲祭^{そうもく}など、実施している地域が少なくなっています。新嘗祭などは各地で行われています。神社などの祭りが縮小する一方、各地域でのふれあいまつりや区民運動会が地域住民の交流の場となっています。



写真2-25 小杖祭りの祭礼芸能
（近江湖南のサンヤレ踊り）

(6) 民俗に関連する歴史文化要素

有形文化財【国・登録】川崎睦男家住宅、川崎光雄家住宅、里内家住宅、西田家住宅、旧中島家住宅

民俗文化財【国】近江湖南のサンヤレ踊り（小杖祭りの祭礼芸能）

【市】御園太鼓踊、上砥山の太鼓踊

【県・選択】御園太鼓踊、上砥山の太鼓踊、小杖祭りの祭礼芸能

【未】各地の山の神、各地のオコナイ 大橋三輪神社（ドジョウズシ）、中沢菌神社（ジャコなれずし）、上砥山日吉神社野神祭（濁酒祭り）、出庭神社餅搗祭、大宝神社（相撲祭）

第3章 歴史文化要素の概要と特徴

- 1 指定等文化財の状況
- 2 未指定文化財の状況
- 3 歴史文化要素の状況

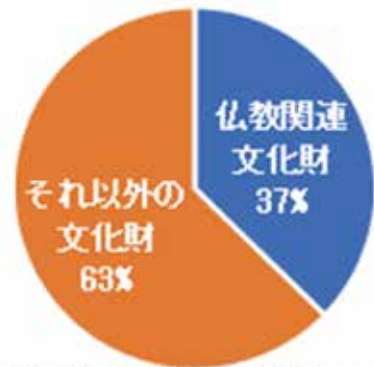
第3章 歴史文化要素の概要と特徴

1 指定等文化財の状況

令和4年（2022）3月時点で、栗東には文化財保護法などに基づく指定等文化財が合計140件（内、県選択3件）あります。このうち国指定は28件、県指定は15件、市指定は77件、国登録は18件です。

類型・種別では、有形文化財が建造物39件、美術工芸品が81件（絵画6件、書跡5件、彫刻55件、工芸品8件、歴史資料4件、考古資料3件）であり、民俗文化財は無形民俗文化財3件、記念物は遺跡（史跡）11件、名勝地（名勝）3件です。一方、無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群、選定保存技術は、国、県、市を問わず、指定等がありません。

栗東の指定等文化財には、仏像などを中心とした彫刻や建造物といった仏教関連の文化財が全体の37%を占め、神社の建造物や祭礼なども含め、信仰に関する歴史文化要素が多いことが特徴の一つになっています。



■ 仏教関連文化財 ■ それ以外の文化財

図3-1 仏教関連文化財の比率

表3-1 指定等文化財の件数内訳

類型・種別		国指定	県指定等	市指定	国登録	合計	指定等比率(%)
有形文化財	建造物	7	0	14	18	39	27.9
	美術工芸品	0	0	6	0	6	4.3
		0	1	4	0	5	3.6
		17	8	30	0	55	39.3
		0	2	6	0	8	5.7
		0	3	1	0	4	2.9
		0	0	3	0	3	2.1
民俗文化財	有形民俗文化財	0	0	0	0	0	0.0
	無形民俗文化財（選択）	1	3（選択）	2	0	6	4.3
記念物	遺跡（史跡）	2	0	9	0	11	7.9
	名勝地（名勝）	1	1	1	0	3	2.1
	動物、植物、地質鉱物（天然記念物）	0	0	0	0	0	0.0
無形文化財		0	0	0	0	0	0.0
文化的景観		0				0	0.0
伝統的建造物群		0				0	0.0
選定保存技術		0	0	0	0	0	0.0
合 計		28	18	76	18	140（3）	100.0

■：割合が多い文化財（25%以上） ■：指定等がない文化財（令和4年3月現在）

指定等文化財の分布状況を見ると、歴史文化要素が集中する旧村¹⁶地域の傾向をうかがうことができます。大宝、治田、金勝の各地域においてその多くは寺社を中心としており、それぞれ大宝神社、東方山安養寺、金勝寺が指定等文化財など分布の中心と重なっていることがわかります。栗東の信仰に由来する歴史文化要素の傾向を表しています。

一方、葉山地域では、史跡旧和中散本舗をはじめとする近世や近代の建造物などが旧東海道沿いに点在しており、沿道の人々の営みに由来するものが多くあります。



図3-2 市内の指定等文化財の分布（国土数値情報（行政区域データ）令和2年（2020）取得を加工して作成）

¹⁶金勝・葉山・治田・大宝…明治22年（1889）に成立した旧4ヶ村。

2 未指定文化財の状況

令和4年（2022）3月時点で、指定等がない歴史文化要素の総数は1,073件です。これらは、『栗東の歴史』、博物館展示図録、『栗東の文化』などのほか、従来の石造物調査や建造物調査、計画作成にともなう把握調査成果によるものです。

有形文化財 建造物は寺社や民家のほか、石造物調査で明らかになっている石塔などが含まれます。美術工芸品のうち彫刻は、金勝地域を中心に寺社に伝来するものが中心です。歴史資料は寺社伝来のもののほか、近世の一大産業であった辻鋳物師関連資料が多く含まれます。

民俗文化財 各地に伝来する伝統行事ですが、「山の神」「伊勢講」「左義長」などは市全域のものを一括してリスト記載しており、今後の調査で細分化される可能性があります。

埋蔵文化財 遺跡（史跡）は遺跡台帳で周知している埋蔵文化財包蔵地数によります。

文化的景観・伝統的建造物群 この計画による調査で、未指定ではあるものの文化的景観や伝統的建造物にあたるものが存在することが確認されました。

栗東らしいもの 令和2年度（2020）に実施した意識調査（巻末資料参照）によるものです。

表3-2 未指定文化財の状況

類型・種別		数	
有形文化財	建造物		207
	美術工芸品	絵画	40
		書跡	21
		彫刻	82
		古文書	17
		典籍	14
		工芸品	63
		歴史資料	249
		考古資料	68
民俗文化財	有形民俗文化財		23
	無形民俗文化財		82
記念物	遺跡（史跡）		152
	名勝地（名勝）		6
	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)		6
無形文化財			0
文化的景観			6
伝統的建造物群			1
栗東らしいもの			36
合 計			1,073

（令和4年3月現在）



写真3-1 未指定の歴史文化要素
（金勝寺山門仁王像）

3 歴史文化要素の状況

計画作成にあたり、指定等文化財や未指定文化財を含めた歴史文化要素リストを作成しました。歴史文化要素の概要やその傾向についてまとめます。

有形文化財 建造物は大野神社楼門（鎌倉時代・国重文）や春日神社表門（桃山時代・国重文）、金勝寺本堂（江戸時代・未指定）などが所在する山間部の金勝地域や、大角家住宅（江戸時代・国重文）、猪飼家住宅（江戸時代・国登録）、新善光寺本堂・山門（明治時代・国登録）、川崎睦男家住宅（明治・昭和・国登録）、川崎光雄家住宅（大正・国登録）などが所在する東海道の通る葉山地域に多く確認されます。

美術工芸品のうち彫刻では、金勝寺を中心とする宗教的文化圏が形成された金勝地域に金勝寺の木造虚空蔵菩薩半跏像（平安時代・国重文）や木造軍荼利明王立像（平安時代・国重文）、金胎寺の木造阿弥陀如来及両脇侍像（平安時代・国重文）、旧善勝寺の木造千手観音立像（平安時代・国重文）などの仏教彫刻が、平野部には東方寺の木造薬師如来坐像（平安時代・県指定）、正楽寺の木造阿弥陀如来及両脇侍像（平安時代・市指定）、大宝神社の木造狛犬（鎌倉時代・国指定）はじめ市内には数多くの優品が伝わっています。工芸品は五百井神社の黒漆金銅装蔓柏文鞍（鎌倉時代・県指定）や金胎寺の懸仏（鎌倉時代・市指定）といった寺社に関係するものが多く伝来しています。

絵画は鈎山安養寺の絹本著色阿弥陀如来像（鎌倉時代・市指定）や東方山安養寺の絹本著色釈迦三尊十六羅漢像（室町時代・市指定）、書跡・典籍は東方山安養寺の紙本墨書東方山安養寺本堂再建勧進状（室町時代・市指定）、東方山安養寺中興祖戒山堅和尚伝（江戸時代・未指定）のように治田地域に多くみられます。

歴史資料は里内文庫資料（室町時代～近代・県指定）、看板類資料（江戸時代・未指定）、辻鋳物師関係資料（近世・未指定）のように葉山地域に多く、東海道沿いの歴史文化によるものとみられます。古文書では安養寺共有文書、大橋共有文書といった大字単位の共有文書をはじめ多く残されています。

無形文化財 このジャンルでは、これまで歴史文化要素として把握されていません。早急に今後の掘り起こしが期待されます。

民俗文化財 無形民俗文化財は中世の風流踊りの流れを汲むといわれる、小槻大社の小杖祭りの祭礼芸能（国指定）や御園太鼓踊（県選択）、太鼓踊りと呼ばれる芸能の流れである上砥山の太鼓踊り（県選択）などの民俗芸能、山の神行事やオコナイ、サギッチョをはじめとする民俗行事が多く伝承されてきています。有形民俗文化財では、阿弥陀寺二十五菩薩面（江戸時代・未指定）をはじめ各地の祭礼用具が残されています。

記念物 遺跡（史跡）は狛坂磨崖仏（奈良時代・国史跡）、旧和中散本舗（江戸時代・国史跡）や椿山古墳（古墳時代・市史跡）、龍王古墳（古墳時代・市史跡）、日向山古墳（古墳時代・市史跡）といった古墳、名勝地（名勝）としては大角氏庭園（江戸時代・国名勝）、安養寺庭園（江戸時代・県名勝）、新善光寺庭園（江戸時代・市名勝）などの庭園が、動物・植物・地質鉱物（天然記念物）では五百井鉾山のマンガン鉾（未指定）や金勝寺の良弁杉（未指定）といった巨木などが伝わっています。

文化的景観・伝統的建造物群 これまで文化財指定にされていなかった街道や山村といっ

た地域特性に即した集落形態や、金勝地域にみられる棚田といった文化的景観や、東海道の手原周辺の民家に代表される伝統的建造物群も各地域で把握できます。

埋蔵文化財 栗東の平野部は旧河川や谷地形の部分を除き、ほとんどが埋蔵文化財包蔵地として遺跡台帳に登録され周知されています。その中で縄文時代の遺跡は点在し、北部では霊仙寺遺跡や十里遺跡など弥生時代の遺跡が顕著に見られます。野洲川左岸には辻遺跡・出庭遺跡・高野遺跡・岩畑遺跡など古墳時代の集落が濃密に分布しています。また、丘陵端部では安養寺古墳群をはじめとした古墳が連綿と築かれています。律令期には岡遺跡（栗太郡衙推定地）と、手原の周辺に官衙に関わる遺跡が集中して分布します。また金勝地域の丘陵端部には須恵器窯などの生産遺跡などが分布しています。岡遺跡や地山古墳、伊勢遺跡などの遺跡（史跡）や新開1号墳出土の近江新開古墳出土品（古墳時代）や椿山古墳出土品（古墳時代）、十里遺跡出土木簡（飛鳥時代）、手原遺跡出土木簡（奈良時代）、和田古墳群出土資料など考古資料は古代近江の歴史を語るうえで重要なものです。さらに中世の遺跡は、栗東の平野部全域に広がっています。

栗東らしいもの このほかに、令和2年度（2020）の自治会アンケート調査では、各地域での祭やイベントなどの行事、各地域からの眺望といった、子どもたちに引き継ぎたい栗東らしいものについて収集し、歴史文化要素リストに追加しました。

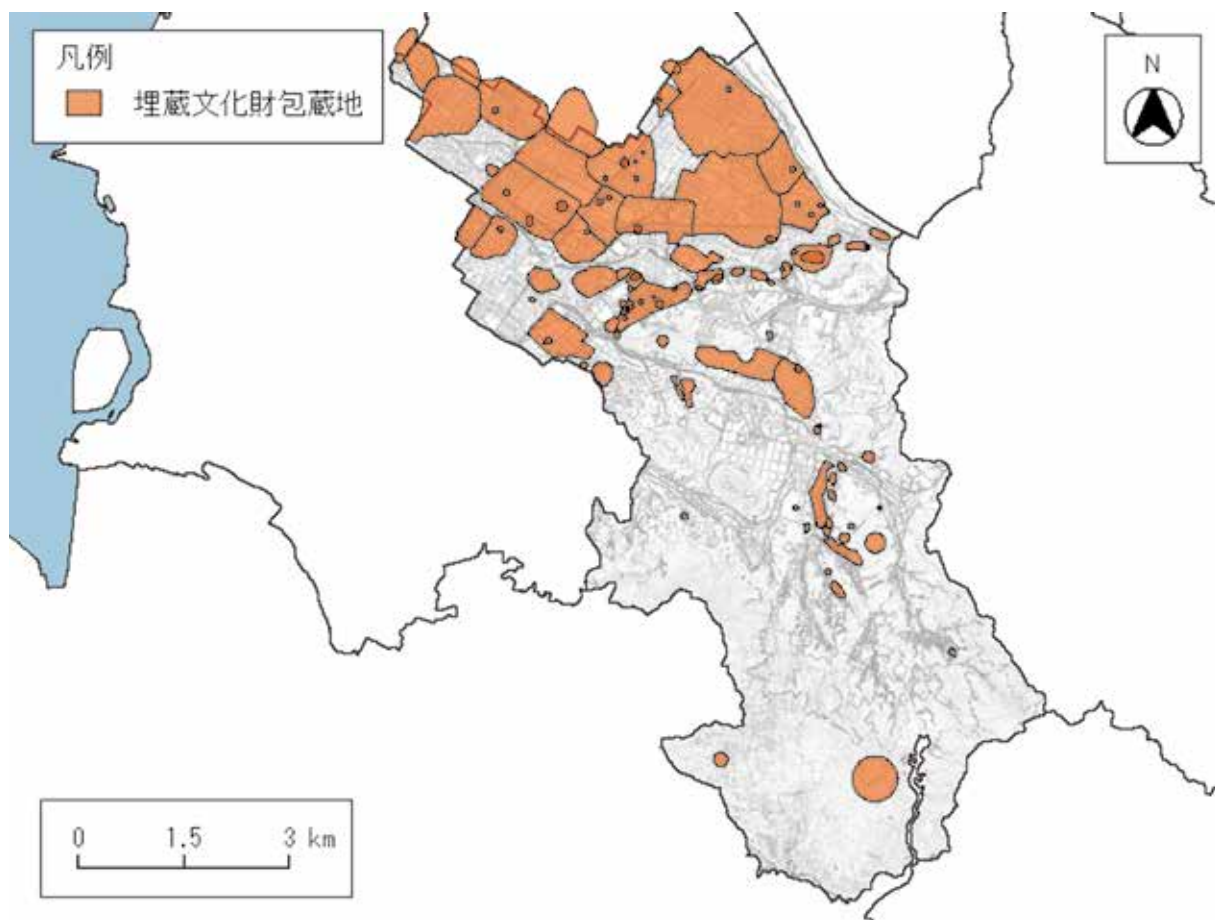


図3-3 周知の埋蔵文化財包蔵地分布図
(国土数値情報（湖沼、河川、行政区域データ）令和2年（2020）取得を加工して作成）



写真 3-2 岡遺跡 発掘調査の状況



写真 3-3 手原遺跡 発掘調査の状況



写真 3-4 なんべい 南平古墳群 発掘調査の状況



写真 3-5 辻遺跡 発掘調査の状況

写真 3-2～5 発掘調査の状況



写真 3-6 建造物（出庭神社宝塔）



写真 3-7 建造物（市川原トンネル）

写真 3-6・7 未指定の歴史文化要素



写真3-8 建造物（川崎家住宅）



写真3-9 無形民俗文化財（笠川のサンヤレ踊り）



写真3-10 史跡（地山古墳）



写真3-11 史跡（しろいし揺石）



写真3-12 天然記念物（五百井マンガン鉱）



写真3-13 伝統的建造物群（東海道沿い）

写真3-8～13 未指定の歴史文化要素

第4章 栗東の歴史文化の特徴

◆材が織りなす繁栄

運搬される多様な資源と技術の往来や受け入れを基盤として原始・古代より集落が栄えました。弥生時代、地域の中心となる集落であった下鈎遺跡では土器、青銅器など各地からの多様なものの移動とその交流がみられます。古墳時代、野洲川左岸では各地から石材や鉄などの材料を入手し、鍛冶や玉作などを行う大集落が展開します。これらを背景に豊富な山林資源を掌握した古代豪族の小槻山君が湖南一帯を治めました。中央との関係も深く、帆立貝形などの墳形や副葬品に特徴ある古墳も営まれました。奈良時代には小槻山君の本拠地に栗太郡衙が置かれ、勢多¹⁷にあった国衙や古代栗太郡の丘陵部に展開する製鉄を中心とした生産遺跡とともに、湖南のみならず近江の要となりました。



写真 4 - 1 椿山古墳

◆材が織りなす繁栄を示す 歴史文化要素

5世紀前半～中ごろの帆立貝形古墳です。全長99m、周濠幅18m。昭和27年(1952)に京都大学が実施した発掘調査で、粘土槨から短甲や武器類が出土しました。平成28年度(2016)の周濠調査では、日本最大級の笠形木製品が出土しています。

¹⁷栗太郡の南端部

◆まじわり・にぎわい・結び

古代より畿内と東国を結ぶ東山道・東海道が栗東の地を通過し、多様なものや情報が行き交い、ときには戦乱にも巻き込まれました。室町時代、鈎の地に九代将軍足利義尚が六角氏討伐の陣を置いたことで、中央の公家・武家・僧侶などが往来し、にぎわいをみせました。やがて地域の混乱が増した室町・戦国時代には、神社を中心に武士や農民が結びつきを強めるとともに、浄土宗、浄土真宗など念仏系の諸宗が興隆し、人々の精神的な柱となり、一揆となって時の権力に対抗しました。街道の要所には山城（多喜山城など）が築かれました。

近世には東海道、中山道が整備され人馬が往きかいました。東海道沿いの梅ノ木は草津宿から石部宿までの間の宿として賑わい、名物の道中薬和中散を売る店が軒を連ねました。

近代以降には鉄道や道路が整備されました。現代もまた、交通の要所であり、地の利を活かした拠点として企業が集まっています。こうした企業誘致のひとつとして昭和には日本中央競馬会の競走馬育成を行う栗東トレーニング・センターが誘致され、「馬のまち」として本市の新しいイメージを築きました。さらに京阪神を通勤圏とするベッドタウンとして、今なお人の交流が絶えません。



写真 4-2 大角家住宅

◆まじわり・にぎわい・結びを示す歴史文化要素

大角家住宅は、東海道石部草津間の梅ノ木(六地藏村)にあり、名物「和中散」を製造販売する和中散本舗でした。街道に面して開け放たれた店の間は、旅人に憩いの場を提供しました。併設された書院は諸大名の小休みどころとなり、優れた建具・調度を残しています。

特徴2 奥深い山から扇状地まで、変化に富んだ地形に展開する豊かな歴史

特徴2のイメージ



特徴2の構成要素



図4-2 歴史文化の特徴2のイメージ図

(国土数値情報(湖沼、行政区域データ令和2年(2020)取得)、基盤地図情報(数値標高モデルデータ令和2年(2020)取得)を加工して作成)

栗東の南部は、湖南アルプスともいわれる600m級の山々が連なる山間部です。山地は花崗岩が露呈する独特の地形をみせています。山々から水を集めた河川は谷底平野を形成しつつ流下します。中下流では流れ出た砂を川浚えし、堤防として盛り上げることで天井川となり、人々の自然の脅威との闘いを象徴しています。

北部は野洲川が主として形成する扇状地と氾濫原が広がる平野部です。丘陵と平野部との間には安養寺山や日向山などの独立丘陵が点在し、起伏に富みます。

◆山の祈りと業（なりわい）

金勝山中には、高さ約6.3mの狛坂磨崖仏が造像され、早くから仏教文化の開花がみられます。幽玄な山間部は古代から山林修行の地となり、平安時代には金勝寺の伽藍が整備されます。さらに天台宗の影響を受け、金勝谷を中心に展開します。

山間部の集落には、民家や棚田といった景観、山の神や講などの祭礼などが今に受け継がれています。



写真 4-3 狛坂磨崖仏

◆山の祈りと業（なりわい） を示す歴史文化要素

金勝山系にある、高さ6.3m花崗岩の巨石を半肉彫りにした古代屈指の磨崖仏です。中央に説法印の如来と両脇侍を彫出しており、統一新羅の系譜とされます。狛坂寺縁起では平安時代前期の開基を伝えますが、磨崖仏の近くからは飛鳥時代後半頃の瓦も出土しています。

◆川と水が紡ぐ村々

栗東の東端、野洲市との境に流れる野洲川は、鈴鹿山地に源を発する河川で、伊勢落付近を扇央として、栗東の北部に広大な扇状地を形成します。平野部の耕作地では水利が重要です。中ノ井川など、野洲川からの取水により水系が整備されました。水と耕作地、集落との関わりは、平野部に広大な信仰圏を持つ大宝神社の水利権争いに起源をもつ相撲祭に代表される祭礼にも残されます。

六地蔵古琵琶湖層段丘上に源を発する葉山川は、山麓より天井川となり、かつては東海道に沿うように流れていました。金勝山系に源を発する金勝川は、上流で谷地をひろげ、棚田の景観を形成します。金勝川は谷底平野を形成する中流域から天井川化し、葉山川とともに、かつての災害との戦いの歴史を物語ります。現在は、暮らしの安全のため、河川の平地化が進められています。



写真 4-4 大宝神社境内社追来神社本殿

◆川と水が紡ぐ村々を示す 歴史文化要素

常に鎮座する大宝神社は、牛頭天王の祠として信仰を集め、氏子圏も50余村におよびました。追来神社は若宮であり、この地の地主神とされます。大宝神社に伝来する狛犬台座には「伊不伎里/惣中」との墨書があることから、追来神社が、栗太郡の式内社で唯一比定地が不明の意不伎神社の可能性にあります。

第5章 歴史文化要素の把握調査

- 1 これまでの調査概要
- 2 分野別把握調査の現状・課題

第5章 歴史文化要素の把握調査

1 これまでの調査概要

栗東では、昭和38年（1963）に栗東町文化財保護条例（当時）が施行され、同条例に基づき市内の歴史文化要素の調査ならびに保護の取り組みを進めています。ここでは栗東の歴史文化要素に関する主要な調査研究の状況について述べます。

① 『栗東の歴史』編さん事業に係る調査・研究

栗東では、昭和58年（1983）より平成7年（1995）まで、栗東町史編さん委員会（当時）を組織して町史編さん事業に係る調査研究を行っており、美術工芸品や古文書などの有形文化財を中心とした目録が作成され、主要な歴史文化要素の所在などを把握し、随時周知しています。また民俗調査を実施し、昭和60年（1985）頃の暮らし、民俗行事の状況を記録化しています。

② 滋賀県教育委員会の調査

これまで滋賀県教育委員会¹⁸が行う県内の歴史文化要素調査に随伴して、市内の歴史文化要素の^{しっかい}悉皆調査を行っています。これらの調査では、以下の通り、建造物、祭礼、街道、郷土料理など様々な分野を対象に行っています。

表5-1 歴史文化要素調査

調査名	文化財類型	調査年度
近世社寺建築調査	有形文化財	昭和60年度（1985）
滋賀県石造建造物調査	有形文化財	平成2年度（1990）
滋賀県の祭礼行事調査	民俗文化財	平成3～6年度（1991～1994）
滋賀県の近代和風建築調査	有形文化財	平成4～5年度（1992～1993）
中近世古道調査「中山道」	記念物 等	平成6年度（1994）
滋賀県の伝統食文化調査	民俗文化財	平成6～9年度（1994～1997）
滋賀県の近世民家調査	有形文化財	平成7～9年度（1995～1997）
滋賀県の民俗芸能	民俗文化財	
中近世古道調査「東海道」	記念物 等	平成8～10年度（1996～1998）
滋賀県の近代化遺産調査	有形文化財 等	平成10～11年度（1998～1999）
滋賀県の自然神信仰調査	民俗文化財 等	平成14～18年度（2002～2006）

¹⁸令和2年度より滋賀県文化スポーツ部

③ 『栗東の文化』 発刊による調査・研究

『栗東の文化』は、(財) 栗東町文化体育振興事業団（現、(公財) 栗東市スポーツ協会）が、昭和59年（1984）12月から平成11年（1999）4月まで、栗東の歴史文化を紹介する目的で1～57号を刊行しました。発刊にあたって市内全域の指定等文化財、石造物、伝統行事、郷土食、城郭などを調査し、さらに昭和から平成にかけて移り変わる栗東の人物や風景などの様子を記録しています。

④ 博物館による調査・研究

平成2年（1990）に開館した博物館では、市内の歴史文化要素についてさまざまな調査研究活動を行っています。調査研究成果は、企画展や特集展示、各種講演会、『栗東歴史民俗博物館紀要』などで報告を行っています。なかでも、平成12年度（2000）より毎年開催している小地域展では、旧大字ごとに民俗行事や古文書などの悉皆調査を行い、継続することで市内を網羅する調査を実現し、歴史文化要素の把握に貢献しています。

表5-2 博物館の小地域展開催一覧

展覧会名	開催年度
小野の歴史と文化	平成12年度（2000）
縄の歴史と文化	平成13年度（2001）
下戸山の歴史と文化	平成14年度（2002）
御園の歴史と文化	平成15年度（2003）
高野の歴史と文化	平成16年度（2004）
十里の歴史と文化	平成17年度（2005）
安養寺の歴史と文化	平成18年度（2006）
上砥山の歴史と文化	平成19年度（2007）
伊勢落の歴史と文化	平成20年度（2008）
蜂屋の歴史と文化	平成21年度（2009）
下鉤の歴史と文化	平成22年度（2010）
東坂の歴史と文化	平成23年度（2011）
大橋の歴史と文化	平成24年度（2012）
野尻の歴史と文化	平成25年度（2013）
中沢の歴史と文化	平成26年度（2014）
林の歴史と文化	平成27年度（2015）
霊仙寺の歴史と文化	平成28年度（2016）
坊袋の歴史と文化	平成29年度（2017）
出庭の歴史と文化	平成30年度（2018）

展覧会名	開催年度
北中小路の歴史と文化	令和元年度（2019）
川辺の歴史と文化	令和2年度（2020）
小平井の歴史と文化	令和3年度（2021）

表5-3 今後開催される小地域展

旧 村	今後取り上げる予定の小地域展
金勝	井上・観音寺・荒張
葉山	辻・六地藏・手原
治田	上鉤・目川・岡・小柿
大宝	荻原・笠川

⑤ 埋蔵文化財の調査・研究

栗東の発掘調査の黎明は、昭和8年（1933）の大塚越古墳発掘調査に始まります。京都大学により調査が実施されましたが古墳は土砂採取により消滅しました。昭和27年（1952）には椿山古墳で京都大学により調査が行われました。この調査は地域住民や中学生の参加を得て実施され、調査後は古墳が保存されることになりました。昭和34～35年（1959～1960）には名神高速道路建設工事に伴い滋賀県教育委員会によって安養寺古墳群の発掘調査が実施され、新開1号墳の調査で発見された副葬品は一括して重要文化財に指定されました¹⁹。



写真5-1 名神高速道路建設に先立つ安養寺古墳群の発掘調査

昭和56年（1981）に町において調査体制が整備された後は、教育委員会の指導のもと、（財）栗東町文化体育振興事業団（現、（公財）栗東市スポーツ協会）による緊急発掘調査を行っています。栗東の遺跡については昭和46年度（1971）滋賀県教育委員会発行の滋賀県遺跡目録（湖南地区）を基本としてきましたが、町（市）教育委員会では昭和56年度（1981）から昭和63年度（1988）の7ヵ年にかけて遺跡分布調査を実施し、その成果を町（市）内遺跡分布調査報告書として発刊しました。以降それに基づき、その後実施した発掘調査や試掘調査の成果を反映させながら遺跡の範囲を定めて周知し、対応しています。

¹⁹所蔵は滋賀県（安土城考古博物館）。

栗東では遺跡が集中し、かつ開発も多いことから、県下でも発掘調査件数が多い地域となっています。これまでに栗太郡衙跡とみられている岡遺跡、弥生時代の大型建物が発見された下鈎遺跡など多数の調査を実施し、その成果は埋蔵文化財発掘調査報告書や栗東市文化財年報などにて報告されています。

表5-4 黎明期の埋蔵文化財調査

内 容	調査年
大塚越古墳発掘調査（京都大学考古学研究室）	昭和8年（1933）
椿山古墳発掘調査（京都大学考古学研究室）	昭和27年（1952）
安養寺古墳群発掘調査（滋賀県教育委員会） ※名神高速道路建設に伴う新開古墳などの発掘調査	昭和34～35年 （1959～1960）

栗東市教育委員会と（公財）栗東市スポーツ協会は、緊急発掘調査の実施のほか、遺跡の理解に向け、協働して埋蔵文化財の調査研究に取り組み、その成果を遺跡の把握に活かしています。

⑥ 市民協働による調査研究

A 市民学芸員

博物館では、平成15年（2003）から市民学芸員制度を設けて、市民と協働した歴史文化要素の調査・研究ならびに保護活動にあたっています。これまでに、古文書入門や掛け軸の取り扱い方法など、一定の市民学芸員研修を受けた約40名が市民学芸員として活動しています。市民学芸員の会の活動では、「竹村定治コレクション」²⁰を中心に寄贈品の調査、民具を素材とした復元研究など様々であり、市民とともに歴史文化の調査研究をすすめる重要な取り組みとなっています。



写真5-2 竹村定治コレクションの整理

²⁰故竹村定治氏が収集した鉄道および交通に関する、総数3000点以上におよぶ資料群。平成19年（2007）に博物館に寄贈された。

表5-5 市民学芸員による文化財調査研究活動の一覧

内容	年度
市民学芸員募集、研修開始	平成15年度（2003）
「いがぐりの会」（市民学芸員の会前身）発会	平成17年度（2005）
金勝寺参道丁石保護	平成19年度（2007）
市民学芸員の会発足	平成20年度（2008）
竹村定治コレクション調査・整理	
小学生向け体験学習プログラム「竿秤体験」開始	平成21年度（2009）
竹村定治コレクション展開催	平成22年度（2010）
国登録有形文化財旧中島家住宅かまど再生事業	平成26～27年度 （2014～2015）
上記事業ワークショップ支援および竈開き	平成27年度（2015）
第2回竹村定治コレクション展開催	
文化財と拓本展開催	平成27年度（2015）
市民学芸員10年の歩み展開催	平成30年度（2018）
「綿棉くらぶ」活動開始	令和2年度（2020）

B 霊仙寺跡調査会による住民参加型の発掘調査

平成2年（1990）頃、霊仙寺行政区（当時）で地域史研究の気運が高まり、霊仙寺一帯に残る寺院伝承を確かめることが事業の一つとして考えられました。検討の末、平成10年（1998）から栗東町教育委員会を主体とし、調査機関として霊仙寺行政区などからなる霊仙寺遺跡調査会を結成し、伝承地の発掘調査が行われました。発掘調査には公募により地域住民や市内を中心とした小学生などが参加し



写真5-3 発掘体験

ました。調査は4年間継続し、寺院の存在は明らかになりませんでした。弥生時代の遺構・遺物が発見され、地域史の一端が明らかになりました。この住民参加型発掘調査は、その後教育委員会による発掘体験事業に引き継がれ、現在に至っています。

表5-6 霊仙寺遺跡調査会による住民参加型の発掘調査

内 容	調査年度
住民参加による霊仙寺遺跡発掘調査事業	平成10年度（1998）
住民参加による霊仙寺遺跡発掘調査事業Ⅱ	平成11年度（1999）
住民参加による霊仙寺遺跡発掘調査事業Ⅲ	平成12年度（2000）
住民参加による霊仙寺遺跡発掘調査事業Ⅳ	平成13年度（2001）

C その他市民団体

栗東市ボランティア観光ガイド協会、街道をいかしたまちづくりの会、大宝村ふるさと絵図の会、安養寺景観まちづくり協議会里山部会、古文書研究会などの諸団体が、独自に歴史文化の調査を行っています。

また、赤坂、山入、栗東ニューハイツ、岡、縋北出、縋、辻、下鉤、野尻などの自治会では独自に地域資料の収集を行い、自治会誌の編さんを行っています。

表5-7 各団体の内容と主な取り組み

※構成人数は令和3年（2021）時点

団体名	構成人数※	主な取り組み内容	設立年
栗東古文書研究会	9人	古文書の研究	昭和59年 （1984）
栗東市ボランティア 観光ガイド協会	29人	歴史文化冊子作成 かるたの作成 祭りなど集成	平成7年 （1995）
NPO法人 街道をいかしたまちづくり の会	45人	街道沿いの屋号の調査 町家の記録を残すとりくみ	平成18年 （2006）
安養寺景観まちづくり協議会 里山部会	11人	古き良き安養寺博物館開催 椿山学習会の開催 椿山古墳測量	平成25年 （2013）
大宝村ふるさと絵図の会	18人	五感アンケート、ふるさと絵 図作成	令和元年 （2019）

表5-8 自治会誌作成の取り組み

名 称	発 行	発行年
岡の歴史（宇野茂樹先生講演記録）	岡区住民会議 文化教養部	昭和56年（1981）
栗東の野尻	大字野尻	昭和63年（1988）
開魂 開拓45周年記念誌	浅柄野自治会	平成2年（1990）
ニューハイツ20年の歩み	栗東ニューハイツ	平成4年（1992）
大橋区誌	大橋区	平成9年（1997）
鋳物師の郷・辻の歴史	辻区史編さん委員会	平成11年（1999）
赤坂30年の歩み	赤坂自治会30年誌編集委員会	平成16年（2004）
小柿の歴史	小柿の歴史を語る会	
30周年記念誌	栗東ニューハイツ自治会	
民誌・綾の歴史と文化	綾の歴史と文化編集委員会	平成18年（2006）
「岡」って、どんなところ？	岡自治会	平成19年（2007）
山入の歴史と風俗	山入自治会	平成20年（2008）
40周年記念誌	ニューハイツ	平成25年（2013）
50年の歩み 悠久の街神の前	川辺住宅自治会	平成30年（2018）
下鈎の歴史とくらし	下鈎甲自治会	令和元年（2019）



写真5-4 大宝村ふるさと絵図の会の取り組み



写真5-5 教育委員会と地域が実施する椿山古墳の測量

2 分野別把握調査の現状・課題

これまでの把握調査では、美術工芸品、民俗文化財の各分野では『栗東の歴史』編さんにとまなう悉皆調査が行われていますが、中世の建造物、天然記念物（動物・植物・地質・鉱物）、埋蔵文化財以外の歴史文化要素は全地域対象に悉皆調査が行えていないなど、調査ができていません。また古文書を中心に近代・現代の資料の把握ができていません。古文書の所在調査や民俗文化財の現況調査は、博物館で実施される小地域展に伴う資料調査をベースとしているため、未実施の地域での調査ができていません。またすでに実施された地域でも統一したデータベース化ができていません。

悉皆調査の終了している天然記念物（動物・植物・地質・鉱物）ではも、環境変化に伴う再調査ができていません。

この計画による調査で未指定の歴史文化要素と認識された、金勝地域や下戸山、宅屋などの文化的景観も、調査が終わっていません。

埋蔵文化財調査成果では、フィルムや紙などのアナログで記録した既調査資料が数多くあり、調査結果がデータベース化できていません。

分野をまたぐ調査として大宝神社圏の撰末社調査を行いました。小槻大社・高野神社・大野神社など他地域の神社圏の調査ができていません。さらに「馬のまち栗東」をアピールするための原始・古代からの馬とのかかわりについて、調査ができていません。

また、自治会などの団体が自ら実施した把握調査との調査データの共有、連携もすすんでいません。

表5-9 分野別把握調査の現状（令和4年（2022）3月時点）

◎全地域対象に悉皆調査 ○全地域対象に一部調査 △一部調査 -該当なし

種 別			現 状						備 考	課 題
			原 始	古 代	中 世	近 世	近 代	現 代		
有形文化財	建造物		-	-	◎	○	○	△	県調査。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。石造物調査。計画作成に伴う概要調査（街道沿い民家、下戸山周辺民家、金勝の民家の一部）	民家・寺社建造物・石塔の一部が未了
	美術工芸品	絵画	-	-	△	△	△	△	美術工芸品の実態調査（悉皆調査）。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館調査（収蔵・寄託資料等）。	博物館寄託品、収蔵品以外が未了
		書跡典籍	-	-	△	△	△	△	『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館調査（収蔵・寄託資料等）。	既調査資料のデータ化が未了
										博物館寄託品、収蔵品以外が未了
										既調査資料のデータ化が未了

種 別			現 状						備 考	課 題
			原 始	古 代	中 世	近 世	近 代	現 代		
有形文化財	美術工芸品	彫刻	－	○	○	△	△	△	美術工芸品の実態調査（悉皆調査）。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館調査（収蔵・寄託資料等）。	博物館寄託品、収蔵品以外が未了
										既調査資料のデータ化が未了
		古文書	－	－	○	○	○	△	『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館での小地域展調査。	今後「小地域展」を開催する地域が未了
										既調査資料のデータ化が未了
		工芸品	－	○	○	○	△	△	美術工芸品の実態調査（悉皆調査）。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館調査（収蔵・寄託資料等）。	博物館寄託品、収蔵品以外が未了
										既調査資料のデータ化が未了
		歴史資料	○						『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。石造物調査。博物館調査（収蔵・寄託資料等）。	博物館寄託品、収蔵品以外が未了
										既調査資料のデータ化が未了
		考古資料	○	○	○	○	○	－	埋蔵文化財発掘出土資料の整理調査。	既調査資料のデータ化が未了
無形文化財			△						『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。	未了
民俗文化財	有形	△						『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館調査（収蔵・寄託資料等）。	博物館寄託品、収蔵品以外が未了	
									既調査資料のデータ化が未了	

種 別			現 状						課 題
			原 始	古 代	中 世	近 世	近 代	現 代	
民俗文化財	無形	民俗芸能	△					『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館での小地域展調査。	今後「小地域展」を開催する地域が未了
									山の神・オコナイ・講などの再調査が必要
									既調査資料のデータ化が未了
		風俗慣習	△					『栗東の文化』発刊での悉皆調査。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館での小地域展調査。	今後「小地域展」を開催する地域が未了
									既調査資料のデータ化が未了
		食文化	△					『栗東の文化』発刊での悉皆調査。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館での小地域展調査。	今後「小地域展」を開催する地域が未了
									既調査資料のデータ化が未了
		生業	△						『栗東の文化』発刊での悉皆調査。『栗東の歴史』編さんでの悉皆調査。博物館での小地域展調査。
既調査資料のデータ化が未了									
記念物	史跡 (遺跡)	△						包蔵地の分布調査。埋蔵文化財包蔵地台帳に基づき調査を実施。	発掘調査資料のデータ化
	名勝 (名勝地)	△						『栗東の歴史』編さんでの把握調査。計画作成に伴うアンケート。	未了 継続的なアンケート調査が必要
	天 然 記 念 物 (動 物・植物 ・ 地 質・ 鉱 物)	◎						『栗東町の自然』総合学術調査研究。	環境変化、土地改変の調査が必要
文化的景観			△					『栗東の歴史』編さんでの把握調査。本計画作成に伴い概要の把握。	未了（金勝・下戸山・宅屋など）
伝統的建造物群			△					本計画作成に伴い概要の把握。	未了（東海道 中山道）
埋蔵文化財			◎					包蔵地の分布調査。	継続的な遺跡分布の確認が必要

表5-10 栗東らしいものの把握調査の現状

(令和4年(2022)3月時点)

種 別	現 状	課 題
栗東らしいもの	本計画作成に伴いアンケートの実施。	継続的なアンケート調査が必要

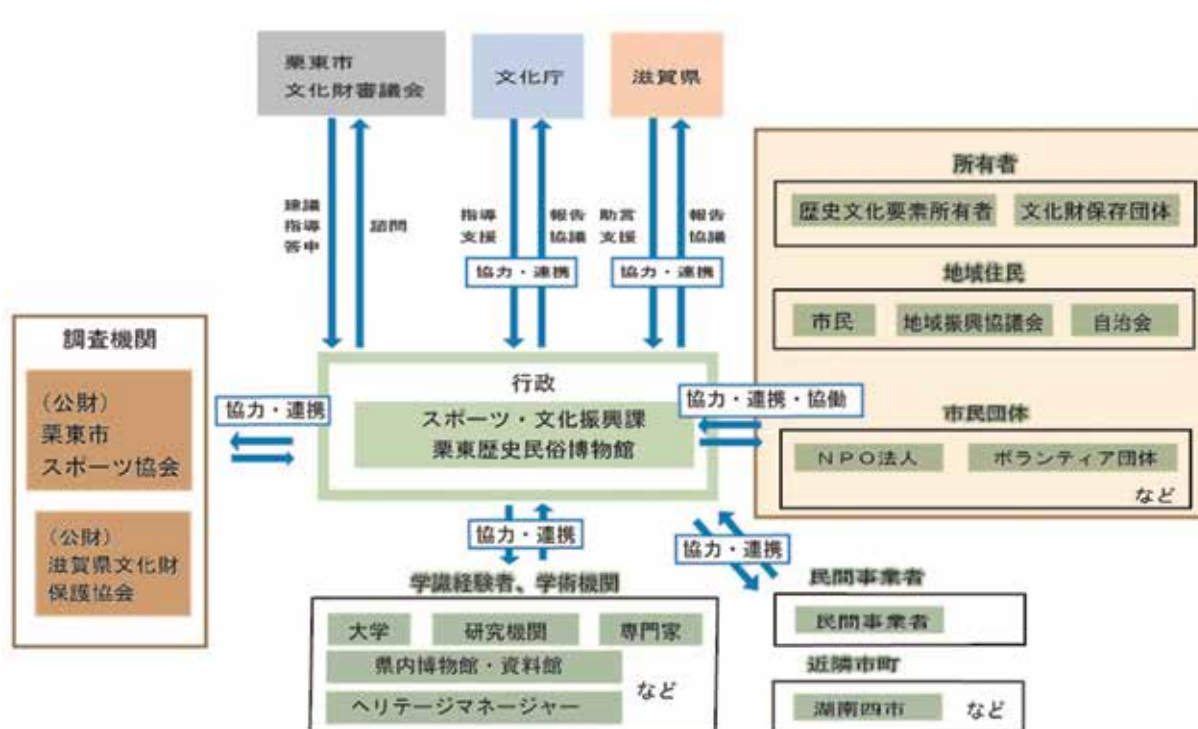


図5-1 調査実施に向けた関係各所などとの協働体制

第6章 歴史文化要素の保存と活用

- 1 保存と活用の基本的な考え方
- 2 課題
- 3 方針
- 4 措置

第6章 歴史文化要素の保存と活用

1 保存と活用の基本的な考え方

これまで先人の努力によって守り育てられ、生活の基盤となってきた歴史文化。

栗東に生まれ育った人、新しく住む人、栗東に関わるすべての人の心の風景を彩る歴史文化と、それを構成する様々な歴史文化要素をみんなの手で守っていくことが、いつまでも住み続けたい、みんなのふるさとづくりにつながります。地域計画では栗東の歴史文化の特徴をふまえ、歴史文化要素の保存と活用に向けた基本的な考え方を次の通りとします。

**生活の基盤をなし、心の風景を彩る歴史文化を地域で守り、
みんなのふるさとを目指します。**



写真6-1 みんなのふるさとを俯瞰する

これにより、歴史文化要素を地域で守り、歴史文化資産として活用・運用を図っていくために、いま考えられる課題をあぶりだし、課題解決に向けた今後8年間の方針と、具体的な取り組みを以下に掲げます。

2 課題

1 歴史文化要素の調査について

① 歴史文化要素の再確認・掘り起こし不足

栗東の歴史文化の調査は『栗東の歴史』編纂事業がベースになっていますが、調査から長期間を経て眠っている歴史文化要素、また調査がまだ行えていない、知られていない歴史文化要素の再確認と掘り起こしについて、教育委員会と博物館による主体的な取り組みが不十分です。また、古文書を中心に近代・現代の調査資料が不足しています。各分野の悉皆調査は博物館の小地域展に伴うものがベースになっており、未実施の地域での調査ができておらず、これまでに実施された地域でもリスト化が進んでいません。また、民家や伝統行事などは変容が著しく、過去に把握した記録とは状況が異なっています。悉皆調査が実施されている天然記念物（動物・植物・地質鉱物）では、環境変化に伴う調査ができていません。計画で確認された金勝や下戸山の景観は、まだ調査が終わっていません。

分野を超える調査として、計画作成にあたり大宝神社信仰圏の調査を実施しましたが、広域の信仰圏を持つ高野神社や小槻大社、大野神社の調査はできていません。さらに栗東は馬のまちとしてアピールしていますが、原始・古代より、馬と関連が深かったことについて、掘り起こしができていません。

② 市民主体の調査との連携・支援不足

自主的に歴史文化要素の調査研究を行っている団体の把握が不足しています。さらにそうした団体への支援もすすんでいません。

③ 計画的な埋蔵文化財調査の取り組み不足

栗東では開発に伴う埋蔵文化財緊急調査件数が多く対応に追われています。また、岡遺跡（栗太郡衙）など特に重要な遺跡の計画的な調査ができていません。

④ 「栗東らしいもの」調査が不十分

計画作成に伴い、調査を実施しましたが、件数が少なく年代にも偏りがあり、収集が十分ではありません。

2 歴史文化要素の保存・継承について

① 担い手不足

土地の開発による景観の変化や新規住民の増加による意識の多様化により地域の改変が著しく進んでいます。特に山間部では高齢化や人口減少が進んでおり、歴史文化要素を守る担い手が不足しています。またそのことは歴史文化要素の防災体制に支障をきたし、盗難事象増加の大きな背景となっています。栗東の代表的な歴史文化要素である旧和中散本舗・大角家住宅・大角氏庭園は個人の所有であり、その維持が困難になってきています。

② 市民との協働体制が不十分

市民一人一人が主体となる歴史文化要素の保存・継承の取り組みと、それをバックアップする体制が充実していません。

③ 埋蔵文化財調査資料の収蔵管理の手段・体制の逼迫

埋蔵文化財の記録保存の成果物は膨大であり、データベース化が進んでいません。また一次資料である写真・図面資料は、保管環境により劣化や汚損などが進む恐れがあります。また金属製品や木製品などは腐朽する恐れがあります。さらに、これら資料や出土遺物の保管施設である栗東市出土文化財センター（以下、文化財センターという）では収蔵スペース不足と老朽化の進行による不具合が発生しています。

④ 歴史文化要素の保管管理の手段・体制の逼迫

歴史文化要素保存の中心的な役割を果たす、博物館施設の老朽化の進行と収蔵スペースがひっ迫化しています。

3 歴史文化要素の活用と人づくりについて

① 地域コミュニティ力の劣化

栗東では平野部を中心に人口の流入が著しく、新規住民と従来の住民との歴史文化への関心の差が生まれ、また山間部での歴史文化要素に対する担い手が不足するなど、歴史文化要素を継承・発展させていく基盤となる地域コミュニティ力が低下しています。

② 人材育成不足

歴史文化要素の活用と継承を担うボランティア団体や市民団体と、市との連携や支援が不十分です。

③ 埋蔵文化財資料の活用が不十分

埋蔵文化財は発掘調査で様々な成果がありますが、その価値を十分に活かしきれていません。また旧栗太郡エリアの官衙遺跡や生産遺跡が広がる草津市、伊勢遺跡がある守山市といった近隣市町との連携、観光・まちづくり分野などとの連携も不十分です。

④ 学校との連携不足

次代の歴史文化の担い手を育成するため、学校との連携が必要ですが、社会状況の変化により、生きた歴史文化学習が取り組みにくくなっています。

⑤ 市内への情報発信不足

栗東には豊かな歴史文化がありますが、市内の人々の理解が深まっているとは言い難く、市内に向けた情報発信が求められます。また、歴史文化要素が広範囲に点在していますが、公共交通機関や看板、パンフレットなど、周遊を行うための環境の整備が整っていません。

⑥ 市外への情報発信不足

観光客は増加傾向にありますが、通過型の観光客がほとんどを占めています。また、目的別の観光客では歴史文化に関連した項目が低い傾向にあり、訪れた市外の人々に栗東の歴史文化の魅力が伝わっていません。公共交通機関は、特に観光客が増える休日の便が充実していません。

また栗東は「馬のまち」として発信していますが、古代から馬とかかわりが深かったことについて、アピールができていません。

⑦ 市民意識のデータ不足

計画作成にあたり市民意識のアンケートを実施しましたが、1回のみアンケートであり、歴史文化に関する市民意識の傾向に関するデータが不足しています。

3 方針

前項で整理を行った課題の解決のため、栗東の歴史文化要素の保存と活用・運用に向けた方針を以下のとおりとします。



図6-1 方針のイメージ図

栗東の歴史文化を形成する全ての事象・事物（**歴史文化要素**）は、価値を見出すことにより、**歴史文化資産**として【**活用・運用**】できるようになります。

歴史文化資産は、【**保存・継承**】しながら【**活用・運用**】【**調査**】することで、あらたな価値を生み出し、価値を深めて、これまで気づかなかった新たな視点も見出すことができ、歴史文化要素を守っていく上での好循環につながります。

歴史文化要素の【**見出し**】から、【**調査**】【**保存・継承**】【**活用・運用**】の好循環は、栗東に住む人や関連する多くの人のふるさとづくりに活かされることが期待されます。多くの人々が関わることにより、歴史文化資産を増やしていき、地域で自らの歴史文化～みんなのふるさと～を育み、継承していくことが期待できます。

方針1 歴史文化要素の調査

歴史文化要素を、歴史文化資産として活用・運用していくためには、まずその価値を見出し、顕在化させていくことが必要です。これまでの栗東における歴史文化要素の調査研究をベースとして、計画的な悉皆調査、詳細調査を実施し、さらなる価値を見出していきます。その成果はリスト化し、保存と活用につなげます。

◆方針1－① 歴史文化要素の再確認と掘り起こし

栗東市・栗東市教育委員会による歴史文化要素把握の推進

市では、市内の歴史文化要素の把握に努めます。特に建造物・伝統行事・景観は変容される可能性が高く、現状の把握をすすめます。取りまとめた歴史文化要素リストを充実させ、調査を計画的に進めます。その成果は一元的に把握し、リストを整備します。調査が終わっている天然記念物（動物・植物・地質鉱物）は、環境変化による再確認が必要であり、今後の調査計画を検討します。

博物館の資料調査の推進

博物館は地域の歴史文化要素を把握する拠点として、歴史文化要素に関する調査を計画的に行っていきます。また小地域展を中心に企画展などの開催に伴い、市内の歴史文化要素の把握を行うとともに、必要に応じて市内の歴史文化に関連する市外資料の調査を行います。特に「小地域展」に伴う調査は継続的に実施し継続的な把握調査につなげます。特に町史編さん事業で不足していた近現代資料について古文書を中心に把握をすすめます。調査内容は、歴史文化要素リストで共有し、リスト化を図ります。



写真6-2 市民学芸員の綿繰りの復元研究

詳細調査の推進

栗東市教育委員会・博物館は把握された歴史文化要素リストに基づき、大学などの研究機関と協働しながら計画的に詳細調査を行います。指定や登録などの保護措置が必要な歴史文化要素から優先して調査を行います。

分野を超えた調査の実施

計画作成で実施した大宝神社信仰圏の調査は、祭礼などの記録を追加調査し報告書作成につなげます。また、高野神社・大野神社・小槻大社の信仰圏についても後の調査計画を検討します。

「馬のまち栗東」としてアピールしていくために古墳時代以降の馬具をはじめとした考古資料や民俗資料などのリスト化を進めます。

◆方針１－② 市民が主体となる調査の連携と支援の促進

市民誰もが歴史文化を自分事として捉え、大切にしていくために、市民主体の調査は大切です。市ではこうした活動を把握し、連携を促進するとともに支援を行います。

◆方針１－③ 埋蔵文化財緊急調査の対応と詳細調査の推進

埋蔵文化財は、栗東市教育委員会を主体として（公財）栗東市スポーツ協会が調査を実施し、調査データの管理や公表などで協力します。膨大な調査成果は、データベース化を図ります。

また市内で多く調査されている埋蔵文化財のうち、岡遺跡（栗太郡衙）など特に重要であるものについては、現地保存をはかりつつ本質的な価値を見出すことを目的として計画的に詳細な調査を実施します。

◆方針１－④ 「栗東らしいもの」の継続的な調査

また、歴史文化要素の把握の一環として、「栗東の文化財を活用しよう」などの事業参加者へのアンケートで、子どもたちに引き継ぎたい「栗東らしいもの」を継続して聞き取り、リストの拡充を図ります。

方針2 歴史文化要素の保存・継承

これまで多くの人々によって守られてきた栗東の歴史文化は、現在、少子高齢化や流入人口の増加など、地域の変化によりその基盤が揺らいでいます。市民一人一人が歴史文化とその要素を知り、保存していくことで、多くの歴史文化要素を資産として蓄えることができます。このような好循環により、栗東に住む全ての人がわがまち栗東に誇りを持ち、歴史文化を「みんなのふるさと」の拠り所として場を生み出し、次世代に継承していくことを目指します。

◆方針2-① 地域における歴史文化要素の維持・保存

指定等文化財保存事業の推進 指定等文化財の管理・修理事業を計画的に実施し、保存・継承に努めます。特に個人所有の文化財は今後の維持管理について検討します。

国登録文化財への積極的な提案 歴史文化要素を保存していくため、積極的に国登録文化財へ提案していきます。

市指定文化財として維持管理の推進 歴史文化要素を適切に保存するために、その価値を明らかにした上で市指定文化財として指定を行い、維持管理への補助を行います。

歴史文化要素の一体的な維持管理の推進 関連文化財群を設定し、未指定の歴史文化要素をふくめ一体的に保存・継承します。

防犯・防災の推進 歴史文化要素リストに基づき、火災や盗難などの被害を想定しながら巡回ルートや巡回の頻度を検討・実施します。また、文化財保護指導委員の設置を検討します。

◆方針2-② 市民などとの協働体制構築

市は市民の歴史文化やふるさとに対する愛着をはぐくみながら、歴史文化要素を保存継承する団体や個人の主体的な活動をバックアップします。また、市内の歴史文化要素の保存管理に向け、所有者などとの連携をもちながら、価値の保存・継承に努めます。

◆方針２－③ 埋蔵文化財調査資料の保存・管理の推進

埋蔵文化財を保管する文化財センターでは、適切な収蔵環境の整備や公開活用を進めます。また、埋蔵文化財の記録保存の成果である写真・図面資料は、デジタル化を進めるなど、適切な保存と管理に努めます。

さらに出土遺物の特性に見合った継続的な保存処理を行っていきます。



写真 6-3 文化財センター

◆方針２－④ 歴史文化要素の保管・管理の推進

博物館では、市内の歴史文化要素の調査における成果を収蔵保管しています。また、地域での保管が困難な状態にある歴史文化要素などの保管も行っています。今後もこうした資料を良好な状態で収蔵保管していくことが求められるため、収蔵環境の整備や防災・防犯機器の更新を行っていきます。

方針3 歴史文化資産の活用・運用

歴史文化要素は、価値を見出し、それを市民一人一人のものとして、保存していくことで活用・運用することのできる歴史文化資産となります。様々な構成要素からなる栗東の歴史文化を分かりやすく伝えるために、テーマ・ストーリー化して、歴史文化資産として活用・運用していくことで、新たな歴史文化要素の気づきや発見に結び付く好循環につながります。歴史文化資産の持続可能な活用・運用により、地域への誇りを育み、みんなのふるさとづくりにつながることを期待しています。

◆方針3-① 地域での場づくりと拠点整備の推進

市民の歴史文化への関心を高めるには、歴史文化資産を活用・運用する場の整備と充実が必要です。

博物館 歴史文化資産の活用・運用の拠点です。展示などの設備を更新し、詳細調査や文化財新指定・登録などの成果ともリンクしながら魅力ある展覧会を開催します。また博物館講座・公開講座などを行い、歴史文化の特性を活かした学びの場を提供します。



写真6-4 博物館

文化財センター 歴史文化要素（出土文化財）の活用・運用の拠点です。古墳巡りの拠点となるとともに、入門講座（発掘体験など）を実施し、考古学やふるさとへの愛着を深めてもらいます。

コミュニティセンター 地域と協働しながら、展示コーナーの設置や歴史講座の開講をすすめる、歴史文化を市民のコミュニケーションツールとして展開していきます。

このほか図書館、道の駅、福祉施設などを活用して情報発信を行います。

◆方針３－② 市民団体と人材の育成支援

ボランティア団体や市民団体の支援やその活動の情報発信を継続して行い、歴史文化要素を保存・継承し、歴史文化資産として活用・運用していく仕組みづくりに努めます。

◆方針３－③ 埋蔵文化財資料の活用における連携の推進

官衙遺跡、生産遺跡、弥生集落といった共通したテーマで、近隣市町および観光・まちづくり分野と連携し、シンポジウムやイベントといった共同事業を展開していきます。



写真 6-5 ボランティア観光ガイドの活動

◆方針３－④ 学校連携の推進

小中学校 児童生徒は、地域の歴史文化を守り育てていく次世代の主体・担い手です。歴史文化の担い手となる人材を育成するため、学校教育に歴史文化資産を取り入れたプログラムづくりを推進していきます。

高等学校 市内に所在する県立の高等学校とは歴史文化資産の活用・運用において連携し、歴史文化発信の新たな切り口とするとともに、成果発表の場として活かします。



写真 6-6 大宝村ふるさと絵図の会と栗東高校美術科のコラボ

大学 近隣の大学とは調査や保存・活用の面で連携し、次代の担い手の実習の場とするとともに新しい視点の取り入れにつなげます。

◆方針３－⑤ 市内への情報発信の推進

歴史文化要素を保存・継承し、歴史文化資産として活用・運用していくためには、市内にむけた情報発信が必要です。これには市広報誌に加え、SNSの活用に取り組みます。令和元年度（2019）から実施している「栗東の文化財を活用しよう」事業では、市民と協働しながら市内へ情報発信します。

さらに歴史文化要素の適切な保存を前提とし、関連の深い他市町や観光分野、地域の団体などと連携しながら、周遊ルートやパンフレットの作成を行います。



写真 6-7 椿山古墳イベントでの野点

◆方針３－⑥ 市外への情報発信の推進

市外から訪れた人々に向けて観光案内所、道の駅などの市内施設を活用して情報発信します。また、SNSの活用、ロケ地の誘致、ユニークベニュー²¹の取り組みを実践し、市外の人々に栗東の歴史文化を知るきっかけづくりを行い、観光客の増加につなげます。

さらに栗東は古墳時代に朝鮮半島からもたらされた最初期の馬具が出土するなど、古くから馬と関わりが深いいため、馬の歴史文化についての調査に基づき、活用の検討を計っていきます。

◆方針３－⑦ 市民意識の継続的な調査

地域計画の推進には市民の積極的な参画が必要です。その成果を確認するために、地域計画の見直しなどに合わせ、歴史文化の保存と活用に関する市民意識調査を行い、市の取り組みや歴史文化に対する市民の意識変化を把握します。

²¹独特の雰囲気を持った歴史的建造物・神社仏閣などで、会議・レセプション・イベントなどを実施することで、特別感や地域特性を演出することを目的したもの。こうした本来の用途とは異なるニーズに応じて特別に貸し出される会場を「ユニークベニュー」と呼ぶ。

4 措置

前項の方針に基づき、歴史文化要素を調査してその価値を見出し、保存を図ることにより、歴史文化資産に磨き上げていきます。歴史文化資産は保存・継承に努め、調査するとともに活用・運用していくことであらたな価値と視点を得て、持続可能な歴史文化の保護につなげます。

事業期間は、令和4～6年（2022～2024）の3年間を前期、令和7～9年（2025～2027）の3年間を中期、令和10～11年（2028～2029）の2年間を後期と設定しました。

進捗管理では、毎年 の点検を文化財審議会に報告し、中間年には協議会を設置して見直しを行います。後期には第2期の計画作成に着手します。

事業の財源は市費の他、県費、国費（文化財補助金や地方創生推進交付金など）、民間資金などの活用も検討していきます。

方針1 「歴史文化要素の調査」に対する措置

歴史文化要素を、歴史文化資産として活用・運用していくために、価値を見出して保存していく事業を実施します。特に改変の可能性が高い民家や民俗行事は優先的に把握を進めます。各地域の悉皆調査は、博物館で行う小地域展に伴い継続的に実施しリスト化を進めていきます。また、歴史文化要素リストに基づき作用再調査を実施します。さらに、地域誌づくりや市民学芸員の会など地域で活動する団体の調査を支援します。

「歴史文化要素の調査」の重点項目としては、岡遺跡（栗太郡衙）など、重要遺跡範囲確認調査があげられ、これまで進められてこなかった遺跡の価値検討を行います。

埋蔵文化財調査では、増加する緊急調査に対応できるよう体制を整備します。

市民アンケートでは「栗東らしいもの」の収集、歴史文化に対する意識を調査します。

表6-1 方針1 歴史文化要素の調査での事業計画

【財源】

国：国費 県：県費
市：市費 民間：民間資金

方針			措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	前期 令和4～6年 (2022～24)	中期 令和7～9年 (2025～27)	後期 令和10～11年 (2028～29)	取り組み主体				財源
							行政	地域	機調 関査	専門 家	
方針1 歴史文化要素の調査	1-① 歴史文化要素 の再確認と 掘り起こし	1. 歴史文化要素状況把握事業★ 改変の可能性が高い歴史文化要素の調査。金勝地域、下戸山地域、街道沿いの民家と景観を調査。 (関連文化財群Ⅰ～Ⅲ) (前期) 街道 (中期) 下戸山 (後期) 金勝	↔				◎	▽	○	▽	国 県 市
		分野別把握調査の実施。地域にのこる伝統行事の現況調査。	↔								
		2. 歴史文化要素リストの充実・更新★ 各調査を受けてリストを充実、更新。	↔				◎	○	◎	○	市
		3. 博物館展覧会に伴う調査 「小地域展」などにおける古文書・民俗・美術工芸品などの悉皆調査を実施し、リスト化。(1件/年)	↔				◎	▽	○	○	国 県 市
		4. 詳細調査 歴史文化要素に基づき、指定や登録など保護措置が必要なものから、計画的な詳細調査を実施。 (前～中期) 黄檗宗関係調査 街道沿いの民家調査 (後期) 下戸山民家調査	↔				◎	▽	○	▽	国 県 市
	1-② 市民が主体 となる調査 への連携と 支援	5. 分野を超える調査の実施 大宝神社信仰圏の総合的な調査の実施と報告書作成 (前～中期) 総合的な調査 (後期) 報告書作成	↔				◎	—	◎	◇	国 県 市
		6. 市民が主体となる調査に支援・協力 地域誌づくり、ふるさと絵図の作成、市民学芸員による調査などを支援し協力。	↔				◇	◎	○	○	市
	1-③ 埋蔵文化財 緊急調査の 対応と詳細 調査	7. 緊急調査(記録保存)への対応 改変等で緊急で対応が必要な埋蔵文化財の調査を実施し、記録化。 これまでの埋蔵文化財発掘調査成果のデータベース化。	↔				◎	▽	◎	▽	国 県 市
		8. 重要遺跡範囲確認調査★ 重要遺跡の範囲確認調査、整備に向けた検討。(関連文化財群Ⅰ・Ⅲ) (前期) 岡遺跡 阿弥陀寺宮城家墓所 他	↔				◎	▽	◎	▽	国 市
		9. 埋蔵文化財調査体制の強化と人材育成 増加する緊急調査に対応できるよう、発掘調査体制の整備と人材の育成。	↔				◎	○	◎	○	市
1-④ 「栗東らしいもの」調査	10. 「栗東らしいもの」調査★ 「栗東の文化財を活用しよう事業」などにおいて、アンケートにて「子どもたちに引き継ぎたい栗東らしいもの」を収集。(1回/年)	↔				◎	○	○	—	市	

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は(公財)栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

方針2 「歴史文化要素の保存・継承」に対する措置

歴史文化要素を歴史文化資産とし、保存継承するための措置を実施します。歴史文化要素のうち重要なものは市指定とし、保存します。また建造物や無形民俗文化財などを積極的に国登録に推薦します。「歴史文化要素の保存・継承」に対する措置の重要項目として旧和中散本舗・大角家住宅は保存・継承の課題解決のため保存活用計画の策定に着手します。また指定、未指定に関わらず一体的な歴史文化要素の保存・継承のため、関連文化財群の設定を行います。歴史文化要素の保存にかかる拠点施設としては、文化財センター及び博物館の整備を行います。

【財源】

国：国費 県：県費
市：市費 民間：民間資金

表6-2 方針2 歴史文化要素の保存・継承での事業計画

方針			措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	前期 令和4～6年 (2022～24)	中期 令和7～9年 (2025～27)	後期 令和10～11年 (2028～29)	取り組み主体				財源	
							行政	地域	機調 調査	専門 家		
方針2 歴史文化要素の保存・継承	2-①	地域における歴史文化要素の維持・保存	11. 文化財指定等の推進 文化財指定を推進し、歴史文化要素を保護。(1件/年) 歴史文化要素を積極的に国登録に提案。	←→			見直し	◎	▽	▽	○	国 県市
			12. 文化財保存事業 指定文化財の管理、修理等の事業を実施。 (前期) 大野神社摂社本殿屋根葺替 (中期) 大宝神社拝殿屋根葺替	←→				◇	◎	▽	○	国 県市 民間
			13. 保存活用計画作成★ 旧和中散本舗・名勝大角氏庭園などの保存活用計画の作成。(関連文化財群Ⅲ)	←→				◎	◎	○	▽	国 市
			14. 関連文化財群による一体的な保存★ 歴史文化の特徴に基づき、関連文化財群を設定し、関連する歴史文化要素を一体的に保存。	←→				◎	◎	○	○	市 民間
			15. 歴史文化要素のパトロール実施★ 歴史文化資産の現況を把握し、火災や盗難などの被害を想定しながら巡回ルートや頻度を検討・実施。文化財保護指導委員の設置の検討。	←→				◎	◎	○	—	市 民間
	2-②	市民などとの協働体制構築	16. 市民が主体となる歴史文化要素の保存 元気創造まちづくり事業での団体支援。指定文化財保存団体への支援。	←→			◇	◎	—	○	市 民間	
			2-③	埋蔵文化財調査資料の保存・管理	17. 文化財センターの整備 空調機など更新、屋根等修繕、地盤調査・改良を行い、出土遺物の良好な状態での収蔵管理の実施。 (前期) 地盤調査 (中期) 空調整備更新 (後期) 屋根等修繕	←→			◎	—	◎	—
	18. 埋蔵文化財調査資料の保存 記録保存した資料を保管・管理し、デジタル化の実施。報告書を刊行し、記録保存のバックアップ実施。	←→			◎	○	◎	○	国 県市			
	19. 出土遺物の保存処理 出土した木製品、金属製品などの計画的な保存処理。(1件/年)	←→			◎	—	◎	○	国 県市			
	2-④	歴史文化要素の保管・管理	20. 博物館の整備 歴史文化要素の収蔵のための施設整備として博物館の整備を実施。防災監視盤やエレベーターなど更新、屋根・外壁など改修、空調機更新し、良好な保管環境の整備。 (前期) 防災監視盤、エレベーター、照明などの更新 (中期) 屋根・外壁などの改修 (後期) 空調施設の更新	←→			◎	▽	—	○	国 県市	

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体
◇：補助金など支出など
▽：積極的な協力
○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

方針3 「歴史文化資産の活用・運用」に対する措置

見出され、保存された歴史文化資産を持続的に活用・運用することで、新たな価値や視点が生まれ、みんなのふるさとづくりにつながります。

重要項目として活用・運用の拠点として地域のコミュニティセンターを活用し、展示や講座を実施します。また、博物館、文化財センターの充実を図ります。

さらに、活用・運用の担い手である市民団体を育成支援し、協働して「文化財を活用しよう」事業を継続していきます。また小中学校や高等学校と連携して担い手育成につなげます。

「歴史文化資産の活用・運用」に対する措置のもう一点の重点項目として、歴史文化要素をめぐるルートや看板の整備を行います。また、歴史文化要素の公開も継続して行います。

【財源】

国：国費 県：県費

市：市費 民間：民間資金

表6-3 方針3 歴史文化資産の活用・運用での事業計画

方針			措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	前期 令和4～6年 (2022～24)	中期 令和7～9年 (2025～27)	後期 令和10～11年 (2028～29)	取り組み主体				財源	
							行政	地域	機調 関査	専門 家		
方針3 歴史文化資産の活用・運用	3-①	地域での場 づくりと拠 点整備	21. コミュニティセンターの活用★ コミュニティセンターを歴史文化保存 活用の拠点とし、展示・歴史講座など を実施。(展示1回/年)	←→			見 直 し	◇	◎	○	—	市
			22. 博物館の展示・活用 磨崖仏レプリカ修理。旧中島家住宅の 屋根葺替。トイレ更新を実施。映像展 示などの展示施設の更新。 講座などの実施による歴史文化の発信。 ホームページを更新し、わかりやすい 情報の発信。 (前期) 狛坂磨崖仏レプリカ修理、旧中 島家住宅の屋根葺替、トイレの更新、 映像展示などの展示施設の更新。 (前期～後期) 展示活用講座などの実施	←→				◎	▽	—	○	国 県市
			23. 文化財センターの活用 バリアフリーに配慮しエレベーター の修繕。 発掘体験、調査研究報告会などの入 門講座の実施。 収蔵品を活用し、定期的な展示公開 の実施。 (関連文化財群Ⅰ) (前期) エレベーター修繕 (前期～後期) 展示公開、入門講座の実 施。	←→				◎	○	◎	○	国 県市
	3-②	人材育成	24. ボランティア・市民団体の育 成・支援 観光ボランティアガイドの養成講座 (1回/年)。市民学芸員の会などへの支 援と情報発信。 市民団体が交流する仕組みづくり。	←→				◎	▽	◎	○	国 市
			←→									
	3-③	歴史文化要 素の活用と 連携	25. 栗東の文化財を活用しよう事業 〈市民協働事業〉 シンポジウム (1回/年)、ワークショッ プ (1回以上/年)、見学会の実施。	←→				◎	▽	◎	○	市
	3-④	学校連携	26. 歴史文化を取り入れた学習プロ グラムの作成と実践★ 出前講座、博物館教室、教員研修プロ グラムの作成 (中期) と実践。県立栗 東高等学校美術科との協働や大学との 連携。	←→				◎	▽	◎	○	県 市

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は(公財)栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

方針			措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	前期	中期	後期	取り組み主体				財源	
				令和4～6年 (2022～24)	令和7～9年 (2025～27)	令和10～11年 (2028～29)	行政	地域	機調 関査	専門 家		
方針3 歴史文化資産の活用・運用	3-⑤	市内へのアピール	27. 歴史文化資産公開事業 旧和中散本舗 金勝寺 東方山安養寺 新善光寺等で歴史文化資産の公開。	←→			見 直 し	▽	◎	—	—	民間
			28. 発掘調査成果の公開（現地説明 会・報告書刊行） 緊急発掘調査の状況を随時公開。	←→				◎	▽	◎	○	市民間
			29. 観光、市内交流への活用 パンフレット、看板などで周遊型観光 ルートの整備。トイレや自販機の整備。 交通機関の維持拡充、健康事業とタイ アップしたウォーキングルートの活用。 関連文化財（ストーリー）に基づく講 演会の実施。 市内の見学ツアー開催（実施主体はボ ランティアガイド等）。	←→				◎	◎	○	○	国県市 民間
			30. 馬に関する歴史文化の発信 馬に関連した歴史文化要素の情報発信。 （前期）リスト化 （中～後期）パンフレット作成など発信 事業	←→				◎	◎	○	○	市民間
	3-⑥	市外への情 報発信	31. 市外への情報発信 観光案内所、道の駅など市内施設を活用しての情報発信。 ユニークベニューの取り組みによるアピール。 SNSなどを活用し最新の情報を提供。 ロケ地の活用をし、市の歴史文化要素をアピール。	←→				◎	◎	○	○	国県市 民間
			3-⑦	市民意識の調査	32. 市民意識調査実施★ 計画見直しに向けアンケート、ヒア リングを実施。	←→			◎	▽	—	○

進捗管理	・措置一覧をもとに、毎年の点検を実施、文化財審議会に報告。 ・令和7年（2025）に、協議会を設置して中間見直し。 ・令和10、11年（2028、29）に次期計画作成	←→	←→	←→	【取り組み主体】 ◎：実施主体 ◇：補助金など支出など ▽：積極的な協力 ○：協力 ※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む
		中間見直し実施	第2期計画作成		

重要項目

第7章 歴史文化要素の一体的・総合的な保存と活用

- 1 関連文化財群設定の目的
- 2 関連文化財群の考え方
- 3 関連文化財群及びその保存活用計画

第7章 歴史文化要素の一体的・総合的な保存と活用

1 関連文化財群設定の目的

歴史文化要素の個別の把握にとどまらず、関連性やテーマで、その周辺環境を含めて群的・面的にとらえ、地域に根ざした有機的な関係を強固なものにすることで、一体的・総合的な保存・活用が可能です。市民と行政の間で、歴史文化の保存と活用に向けての持続可能な取り組みを進め、より多くの歴史文化資産を活用・運用していくため、地域特有のストーリーで連続する関連文化財群を設定します。

これにより、これまで個別のものとして把握されてきた歴史文化要素を関連文化財群としてとらえることで、様々な要素が結び付いて地域の歴史文化があることに気づき、身近な歴史文化要素や地域に対する愛着をはぐくむことが期待できます。



写真 7-1 関連文化財群のイメージ

2 関連文化財群の考え方

○関連文化財群について

歴史文化要素を、歴史的な性格や位置づけに応じて、周辺の環境を舞台に一体的・総合的にとらえたものを関連文化財群とします。なお、関連文化財群の設定方針を以下の通りとします。

－関連文化財群の設定方針－

- 特徴から導いた4つのテーマに応じ、関連文化財群（ストーリー）を設定します。
- 歴史文化要素は、相互に結びつき、グループ化されて、複数の関連文化財群をつくりあげます。関連文化財群を構成する要素は、複数のストーリーに関係することがあります。
- これらの関連文化財群に含まれない要素についても、把握調査や調査などの取り組みを進め、価値を見出されることによって、新たに関連文化財群（ストーリー）に加わることがあります。
- 歴史文化要素の調査を進めていくうえで、新たな関連文化財群（ストーリー）が生まれることが期待されます。

歴史文化の特徴

特徴①原始・古代から現代まで交通の結節点

特徴①には次の2つのテーマがあります。

- ・材が織りなす繁栄

豊かな資源の往来にいろどられた、原始・古代の遺跡が中心です。

- ・まじわり・にぎわい・結び

街道の往来がもたらすテーマ。江戸時代とその前後が中心となります。

特徴②奥深い山から扇状地まで、変化に富んだ地形に展開する豊かな歴史文化

特徴②には次の2つのテーマがあります。

- ・山の祈りと業（なりわい）

山間部に展開する平安時代を中心とした仏教文化、そして山間部の暮らしや祭礼がテーマ。

- ・川と水が紡ぐ村々

栗東の北部扇状地に展開する、現代につながる暮らしと信仰がテーマ。

4つのテーマに基づき、栗東の歴史の流れを加味し、10のストーリーが生まれました。

3 関連文化財群及びその保存活用計画

栗東の歴史文化の特徴から導き出された、4つのテーマに基づき10の関連文化財群（ストーリー）を設定します。ストーリーごとに、それらの連続的・一体的な保存と活用を行うための課題を洗い出し、方針と措置を提示します。

歴史文化の特徴のテーマ 関連文化財群（ストーリー）

		ページ
I 材が織りなす繁栄	I - A 栗太の小国の誕生	109
	I - B 躍動する古代豪族	113
	I - C 古代近江の要	118
II 山の祈りと業（なりわい）	II - A 金勝の神仏の風	124
	II - B 山の暮らしと神まつり	129
III まじわり・にぎわい・結び	III - A さまざまな争乱	134
	III - B 東海道と中山道	139
IV 川と水が紡ぐ村々	IV - A 水でつながる大宝神社圏	146
	IV - B 野州川と耕地	151
	IV - C 金勝川と葉山川	155

図 7-1 歴史文化の特徴のテーマと関連文化財群のストーリー

歴史文化の特徴のテーマⅠ 材が織りなす繁栄

運搬される多様な資源と技術の往来や受け入れを基盤として原始・古代より集落が栄えた栗東。遺跡から発見される豊富な出土遺物と大地に残された遺構が繁栄を物語ります。

テーマⅠでは3つのストーリーで栗東を語ります。

- ストーリーⅠ-A 栗太の小国の誕生
- ストーリーⅠ-B 躍動する古代豪族
- ストーリーⅠ-C 古代近江の要



写真7-2 歴史文化の特徴のテーマⅠの眺望 (横ヶ峯展望所)



写真7-3 歴史文化の特徴のテーマⅠの眺望 (和田古墳群)



図7-2 眺望の位置図

ストーリー I-A 栗太の小国の誕生

縄文時代、山河からの恵みを糧に、前期（約6,000年前）には辻・高野遺跡などで人々の生活の痕跡が残ります。下鈎遺跡では前期の竪穴建物が発見され、多くの石器が出土し、また霊仙寺遺跡では、中期の土器と多種多量の石器が出土することから、当時の生活が伺えます。狐塚遺跡では中期から後期の集落が発見されています。

弥生時代、湖南の地でいちはやく米作りを始めたのは霊仙寺遺跡で、約2,500年前と考えられています。やがてムラがまとまり、中沢遺跡・下鈎遺跡・坊袋遺跡などで集落が発展します。後期には下鈎遺跡や伊勢遺跡で近畿でも突出した大型建物を持つ小国が誕生します。下鈎遺跡では、銅鏃^{どうそく}が多数出土しているほか、鑄型^{どうさい}や銅滓、石杵が出土するなど各地からの資源の交流をもとにして青銅器や赤色顔料の生産がわかっています。また、各地域の土器が出土し多様な地域との交流がうかがえます。

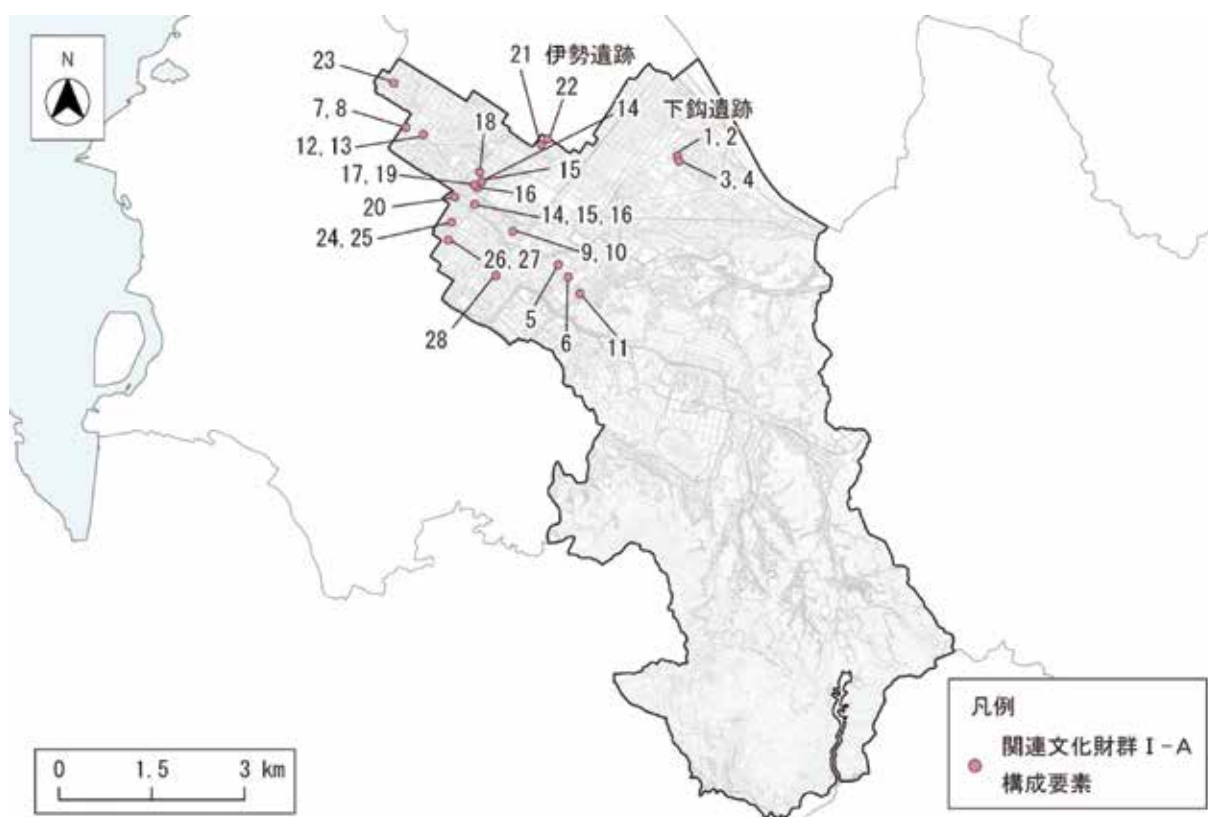


図7-3 ストーリー I-A 栗太の小国の誕生の構成要素位置図
(国土数値情報（湖沼、行政区域）令和2年（2020）取得を加工して作成）

表7-1 ストーリー I-A 栗太の小国の誕生の構成要素 市教委：栗東市教育委員会

番号	名称 (網掛けは分布図には非表示)	所蔵	時代	地域	指定など
1	辻遺跡	—	縄文	辻	未指定
2	辻遺跡配石遺構	市教委	縄文	高野・辻	未指定
3	高野遺跡	—	縄文	高野	未指定
4	高野遺跡出土品（市内最古級の縄文土器・炭化木の実）	市教委	縄文	高野	未指定
5	狐塚遺跡	—	縄文	川辺	未指定

番号	名称 (網掛けは分布図には非表示)	所蔵	時代	地域	指定など
6	狐塚遺跡出土品（石囲炉）	市教委	縄文	川辺	未指定
7	霊仙寺遺跡	－	縄文	霊仙寺	未指定
8	霊仙寺遺跡出土品（石器一括）	市教委	縄文	霊仙寺	未指定
9	下鉤遺跡	－	縄文	下鉤	未指定
10	下鉤遺跡出土品 (滑石製管玉、土製耳栓)	市教委	縄文	下鉤	未指定
11	南平古墳群出土品 (有茎尖頭器、有溝砥石)	市教委	縄文	川辺	未指定
12	霊仙寺遺跡	－	弥生	霊仙寺	未指定
13	霊仙寺遺跡出土品（遠賀川式土器）	市教委	弥生	霊仙寺	未指定
14	下鉤遺跡	－	弥生	下鉤ほか	未指定
15	下鉤遺跡出土品（翡翠製勾玉、石杵）	市教委	弥生	下鉤ほか	未指定
16	下鉤遺跡出土品（青銅製品一括）	市教委	弥生	下鉤ほか	未指定
17	下鉤遺跡大型掘立柱建物	市教委	弥生	下鉤ほか	未指定
18	下鉤遺跡出土品（琴）	市教委	弥生	下鉤ほか	未指定
19	下鉤遺跡出土品（絵画土器）	市教委	弥生	下鉤ほか	未指定
20	下鉤遺跡出土品（前漢鏡）	市教委	弥生	下鉤ほか	未指定
21	伊勢遺跡	－	弥生	野尻	未指定
22	伊勢遺跡掘立柱建物	－	弥生	野尻	未指定
23	十里遺跡	－	弥生	十里	未指定
24	中沢遺跡	－	弥生	中沢	未指定
25	中沢遺跡出土品（琴）	市教委	弥生	中沢	未指定
26	小柿遺跡	－	弥生	小柿	未指定
27	小柿遺跡出土品（琴、臼）	市教委	弥生	小柿	未指定
28	坊袋遺跡	－	弥生	坊袋・目川	未指定

【課題】

栗東の北部に広がる平野部では、埋蔵文化財包蔵地が広がっており、縄文時代以降の遺跡が重なり合っています。一方、現在も宅地造成をはじめとした開発が多く、これに伴う発掘調査件数も多くなっています。遺跡の記録保存の正確さを期すためにも埋蔵文化財調査の体制を強化することが必要です。また平野部の遺跡で出土した遺物を保管する文化財センターの老朽化と収蔵スペースの限界があり、記録資料のデータ化もできていません。

遺跡が立地する沖積地では、木製品などの脆弱な遺物が出土することが多く、保存処理を行わないと滅失の危険があります。

調査成果の公開については調査中に実施する現地説明会が中心になりますが、地域において継続的な公開をする機会がなく、遺跡を巡るルートや看板も整備されていません。発掘された成果を地域で盛り上げていくための団体の掘り起こしや支援もできていません。

また、構成要素である伊勢遺跡は、守山市側では国史跡に指定されており史跡整備が進められていますが、栗東市側の保存・活用の検討ができていません。また栗東市側の伊勢遺跡のほとんどが大宝東小学校の敷地にふくまれています、学校との連携が不十分です。

【方針】

このストーリーの構成要素は遺跡とその出土品が主なものになるため、開発に伴う記録保存を行う場合は精度の高い発掘調査が必要です。そのため調査体制の整備、及び出土した遺物や成果としての写真・図面を保管する文化財センターの修繕をしていきます。出土した遺物は、恒久的な保存と活用のため、計画的に保存処理を実施します。

また、地域での機運の盛り上がりにつながるよう、弥生時代の遺跡を巡るルートや看板の整備、パンフレット作成など、歴史文化要素の価値発信と団体への支援を進めます。

伊勢遺跡は、遺跡の所在する大宝東小学校や守山市と連携を取りながら、看板設置などによる遺跡の周知など、栗東市側の保存・活用の検討を行います。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリー I-A 栗太の小国の誕生」では、以下の事業を進めていきます。

【財源】

国：国費
市：市費
県：県費
民間：民間資金

表 7-2 ストーリー I-A 栗太の小国の誕生の事業計画

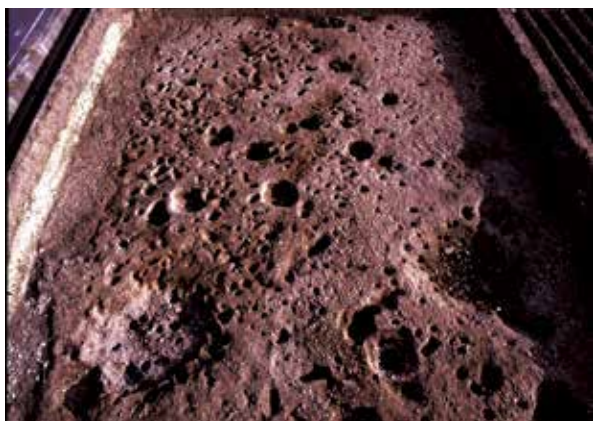
歴史文化の特徴の テーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022 ～24)	中期 令和7 ～9年 (2025 ～27)	後期 令和10 ～11年 (2028 ～29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門 家						
I I A 栗 太 の 小 国 の 誕 生	I I A 栗 太 の 小 国 の 誕 生	33. 埋蔵文化財調査体制の強化と人材育成 縄文～弥生時代の遺跡調査（緊急・詳細）に対応できる よう、発掘調査体制の整備と人材育成。	◎	○	◎	○	←→			市	1-③	調査体制の 強化
		34. 伊勢遺跡の価値の検討★ 伊勢遺跡の価値について、栗東市域の適切な保存活用 を検討する。	◎	○	▽	▽			◇	市	2-①	遺跡の価値 について 検討
		35. 出土遺物の保存処理 下鈎遺跡などから出土した木製品、金属製品などを計 画的に保存処理する。	◎	-	◎	○	←→			国市	2-③	出土遺物と 記録資料の 保存
		36. 埋蔵文化財調査(縄文・弥生時代)資料の保存 記録保存した資料を保管・管理し、デジタル化。報告 書を刊行し、記録保存のバックアップ。	◎	-	◎	○	←→			市		
		37. 文化財センターの整備 空調機などの更新、屋根などの修繕、地盤調査・改良 を行い、縄文・弥生時代の遺物を良好な状態で取蔵管 理する。	◎	-	◎	○	←→			国市		
		38. 伊勢遺跡遺構表示板の設置★ 大宝東小学校への遺構表示板の設置。	◎	○	○	○			◇	市	3-④	学校連携
		39. 弥生時代の遺跡をめぐる観光ルート整備活用 (看板・パンフレット) ★ 弥生時代遺跡を紹介するパンフレットを作成。ウォー キングの企画。	◎	○	▽	○		←→		市	3- ⑤、⑥	市内への アピール、 市外への情 報発信
		40. 縄文・弥生時代の発掘調査成果の公開（現地 説明会・報告書刊行） 緊急発掘調査などの状況を随時公開。	◎	○	◎	○	←→			市	3-⑤	調査成果の 公開
		41. 下鈎・伊勢遺跡などを発信するためのボラン ティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力 情報発信。	◎	◎	○	-			◇	市	3-②	人材育成

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体
◇：補助金など支出など
▽：積極的な協力
○：協力
※調査機関は（公財）栗東市スポー
ツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



14 下鉤遺跡 葉山川中流域の右岸にあり、竪穴建物が発見され、縄文時代前期の土器が多く出土しました。石鏃や石匙などの石器類や滑石製管玉のほか、関東地方や北陸の特徴を持つ土器もあります。



8 霊仙寺遺跡の石器 葉山川右岸の平野部の霊仙寺遺跡では、沼沢地や土壌が発見され、縄文時代中期の土器や、石鏃・石錘・磨石など、当時の食生活を知ることができる遺物が多量に出土しました。



5 狐塚遺跡 安養寺山裾から広がる丘陵の端部にあります。石囲炉を持つ竪穴建物が発見され、縄文時代後期はじめの土器が出土しました。また、別の地点でも多量の石器類や土偶があります。



13 霊仙寺遺跡の弥生土器(遠賀川式) 列島で水稲稲作を始めた弥生時代前期、この遺跡では、その最も古い段階の土器が出土しています。当地周辺が、近江でいち早く米作りを始めた地域であることがわかります。



16 下鉤遺跡の青銅製品 弥生時代後期、下鉤遺跡では大型建物を配置する拠点的な集落が生まれます。集落内の河川からは青銅製品や鋳型、銅滓が出土し青銅製品の製作を行っていたことがわかります。



22 伊勢遺跡掘立柱建物 守山市にかけて広がる遺跡です。弥生時代後期の多種多様な大型建物が集中して建築される国内有数の遺跡。栗東市域でも大型建物1棟、井戸などが発見されています。

ストーリー I-B 躍動する古代豪族

古墳時代、野洲川左岸の微高地の高野遺跡、岩畑遺跡、辻遺跡、出庭遺跡などで大集落が展開します。盛んな物流を背景に資源を入手し玉作や鍛冶などを行うほか、交流は朝鮮半島に及びました。4世紀には帆立貝形古墳の亀塚古墳が造られ、三角縁神獣鏡を副葬しています。5世紀には安養寺山麓に新開古墳群などが築造され、甲冑・馬具の鉄製品をはじめとした豊富な副葬品がみられるほか船形埴輪が出土しています。丘陵の端部に築造された椿山古墳は、中期では近江最大の帆立貝形古墳で、周濠からは日本最大級の笠形木製品を樹立していたことがわかっており、その背景には豊富な森林資源の把握がありました。また、金勝川左岸には下戸山古墳、地山古墳などの首長墓が築造されるほか、小槻大社境内にも古墳群がみられます。

古墳時代後期には安養寺山麓に和田古墳群が築造され、横穴式石室の内部には馬具や武器、装飾品など多彩な副葬品が納められました。また栗東中部の丘陵端部にある日向山古墳、龍王古墳、金山古墳群が、金勝山系から連なる丘陵部には春日神社古墳群で横穴式石室が残されています。

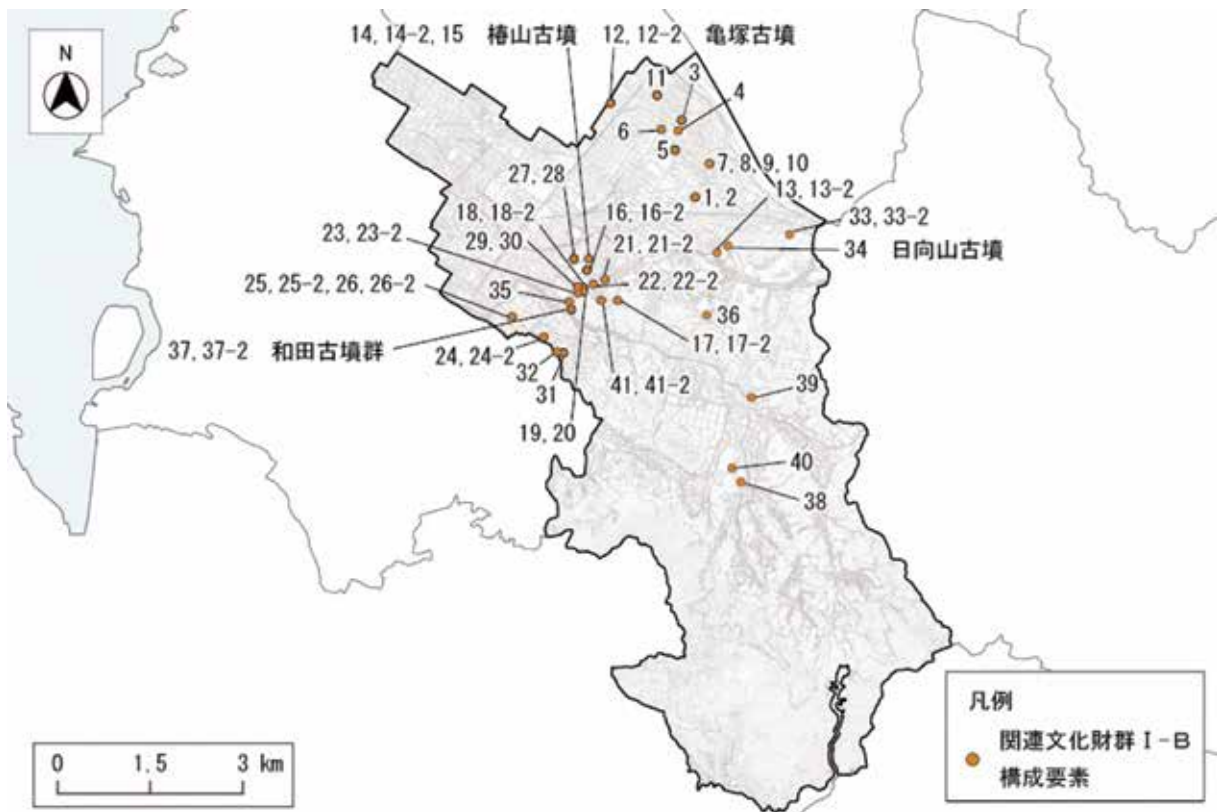


図 7-4 ストーリー I-B 躍動する古代豪族の構成要素位置図

(国土数値情報(湖沼、行政区域)令和2年(2020)取得を加工して作成)

表7-3 ストーリー I-B 躍動する古代豪族の構成要素

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
1	高野遺跡	－	古墳	高野・辻	未指定
2	高野遺跡出土品（鍛冶遺構、鉄製品）	市教委	古墳	高野・辻	未指定
3	辻遺跡	－	古墳	高野ほか	未指定
4	辻遺跡出土品（韓式系土器）	市教委	古墳	高野ほか	未指定
5	辻遺跡出土品（玉作関係遺物）	市教委	古墳	高野ほか	未指定
6	辻遺跡前方後方形周溝墓	－	古墳	高野ほか	未指定
7	岩畑遺跡	－	古墳	高野・林	未指定
8	岩畑遺跡出土品（玉作関係遺物）	市教委	古墳	高野・林	未指定
9	岩畑遺跡出土品（鉄製品）	市教委	古墳	高野・林	未指定
10	岩畑遺跡出土品（前方後方形周溝墓）	市教委	古墳	高野・林	未指定
11	出庭遺跡	－	古墳	出庭	未指定
12	亀塚古墳	－	古墳	出庭	未指定
12-2	亀塚古墳出土品（三角縁神獣鏡）	博物館	古墳	出庭	未指定
13	岡山古墳	－	古墳	六地蔵	未指定
13-2	岡山古墳出土品（三角縁神獣鏡・盤龍鏡）	－	古墳	六地蔵	未指定
14	椿山古墳	個人	古墳	安養寺	市指定
14-2	椿山古墳出土品（短甲など）	京都大学	古墳	安養寺	未指定
15	椿山古墳出土品（大型笠形木製品）	市教委	古墳	安養寺	未指定
16	大塚越古墳	－	古墳	安養寺	未指定
16-2	大塚越古墳出土品	京都大学	古墳	安養寺	未指定
17	新開1・2号墳	－	古墳	安養寺	未指定
17-2	近江新開古墳出土品	滋賀県	古墳	安養寺	国重文
18	新開3号墳	－	古墳	安養寺	未指定
18-2	新開3号墳出土品（鏡など）	市教委	古墳	安養寺	未指定
19	新開4号墳	－	古墳	安養寺	未指定
20	新開4号墳出土品（船形埴輪、家形埴輪）	博物館	古墳	安養寺	未指定
21	山ノ上古墳	－	古墳	安養寺	未指定
21-2	山ノ上古墳出土品	－	古墳	安養寺	未指定
22	山寺屋敷古墳	－	古墳	安養寺	未指定
22-2	山寺屋敷古墳出土品	滋賀県	古墳	安養寺	未指定
23	下味古墳	－	古墳	安養寺	未指定
23-2	下味古墳出土品	滋賀県	古墳	安養寺	未指定
24	下戸山古墳	－	古墳	下戸山	市指定
24-2	下戸山古墳出土品	市教委	古墳	下戸山	未指定
25	地山古墳	個人	古墳	岡	未指定
25-2	地山古墳出土品	市教委	古墳	岡	未指定
26	地山2号墳	－	古墳	岡	未指定
26-2	地山2号墳出土品（形象埴輪）	市教委	古墳	岡	未指定
27	狐塚古墳群	－	古墳	安養寺・川辺	未指定
28	狐塚3号墳出土品（笠形木製品、鳥形木製品）	市教委	古墳	安養寺・川辺	未指定
29	南平古墳群	－	古墳	川辺	未指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
30	南平1号墳出土品（内行花文鏡など）	市教委	古墳	川辺	未指定
31	小槻大社古墳群	小槻大社ほか	古墳	下戸山	未指定
32	小槻大社10号墳出土品（角杯）	市教委	古墳	下戸山	未指定
33	金山古墳群	－	古墳	伊勢落	未指定
33-2	金山古墳群出土品（須恵器）	博物館	古墳	伊勢落	未指定
34	日向山古墳群	－	古墳	六地藏	市指定
35	灰塚山古墳群	－	古墳	川辺	未指定
36	龍王古墳（上砥山古墳群）	－	古墳	上砥山	市指定
37	和田古墳群	市	古墳	下戸山	市指定
37-2	和田古墳群出土品	市教委	古墳	下戸山	未指定
38	春日神社古墳群	－	古墳	御園	未指定
39	善勝寺山古墳・石棺	－	古墳	御園	未指定
40	大野神社古墳・石棺	－	古墳	荒張	未指定
41	新開西古墳群	－	古墳	安養寺	未指定
41-2	新開西古墳群出土品（須恵質有蓋長胴棺、陶製露玉）	博物館	古墳	安養寺	未指定

【課題】

ストーリーの中心となる安養寺古墳群と金勝川左岸の古墳は、地域でも有数の首長墓として知られています。しかし、安養寺古墳群では多くの古墳が開発により消滅しています。消滅した貴重な古墳がそこに存在したことが明示されておらず、古墳巡りルートの整備もできていません。

開発を免れた椿山古墳・地山古墳・下戸山古墳などの古墳では、墳丘などの調査が十分に行われておらず、出土品の保全も整っていないとは言えません。特に椿山古墳などで発見された副葬品は、調査や保存処理ができていません。

地山古墳をはじめ古墳の多くが個人や地域の所有になっており、雑木の伐採や除草など継続して実施していくための資金や労力が不足しています。椿山古墳では地域により整備が進められていますが、活動の維持が困難です。また、複数の古墳を一体のものとしてとらえ、歴史文化資産として活用・運用していくための地域の盛り上がりが広がっていません。

一方、野洲川左岸地域に広がる微高地では、古墳時代の大集落が明らかになっています。現在も交通の利便性を背景とした開発が多く、これに伴う発掘調査件数も多くなっていますが、埋蔵文化財調査の体制が脆弱です。また出土した遺物を保管する文化財センターが老朽化し、収蔵スペースも限界となっています。また記録資料のデータ化ができていません。

【方針】

安養寺古墳群の中心的な首長墓である椿山古墳や、金勝川左岸の首長墓である地山古墳は、出土品を含め保存に向けた長期的な展望を検討します。また古墳群の価値を理解するため、椿山古墳・下戸山古墳を中心に、近隣の大学などと連携しながら地中レーダー探査の実施や地域と協働した調査を進めます。

市指定の古墳（椿山古墳、下戸山古墳）は所有者による整備に継続的に補助を行います。整備が行われていない地山古墳では、環境整備に着手します。

また、地域での盛り上げにつながるよう、消滅古墳の明示をはじめとした古墳巡りルートの整備など、古墳群を歴史文化資産として運用・活用していくための価値発信と、団体への支援を進めます。

さらに、調査体制の整備、及び出土した遺物や成果としての写真・図面を保管する文化財センターの修繕をしていきます。出土した遺物は、恒久的な保存と活用のため、計画的に保存処理を実施します。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリー I-B 躍動する古代豪族」では、以下の事業を進めていきます。

表 7-4 ストーリー I-B 躍動する古代豪族の事業計画

【財源】

国：国費
市：市費

県：県費
民間：民間資金

歴史文化の特徴のテーマ	関連文化財群（ストーリー）	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022 ～24)	中期 令和7 ～9年 (2025 ～27)	後期 令和10 ～11年 (2028 ～29)	財源	備考
			行政	地域	調査機関	専門家					
I I B 躍動する古代豪族	I I B 躍動する古代豪族	42. 椿山古墳測量ワークショップ 地域の団体が主体となる古墳測量を継続的に実施。	▽	◎	○	○	←→			市民間	1-② 住民主体の調査
		43. 下戸山古墳、椿山古墳の調査★ 下戸山古墳、椿山古墳の地中レーダー探査を実施。椿山古墳のから出土した副葬品の保存処理の検討。	◎	○	◎	◎	←→			国 県市 民間	1-③ 古墳の本来持つ価値の調査
		44. 春日神社古墳群指定に向けた調査★ 春日神社古墳群の測量調査を実施。	◎	○	◎	◎	←→			国 県市	1-③ 古墳の本来持つ価値の調査
		45. 埋蔵文化財調査体制の強化と人材育成 古墳時代の遺跡調査（緊急・詳細）に対応できるよう、発掘調査体制の整備と人材育成。	◎	○	◎	○	←→			市	1-③ 調査体制の強化
		46. 地山古墳環境整備・市史跡指定★ 雑木を伐採し観光活用できるよう誘導路の整備をし、史跡として指定。	◎	◎	▽	○	←→			市 県	2-① 地山古墳環境整備と史跡指定
		47. 指定等文化財環境整備 市指定史跡（椿山古墳、下戸山古墳、日向山古墳、龍王古墳）の継続した環境整備。	◇	◎	○	-	←→			市 民間	2-① 指定等文化財環境整備
		48. 出土遺物の保存処理 古墳時代の遺跡から出土した木製品、金属製品などを計画的に保存処理。	◎	-	◎	○	←→			国 市	2-③ 出土遺物と記録資料の保存
		49. 埋蔵文化財調査（古墳時代）資料の保存 記録保存した資料を保管・管理し、デジタル化。報告書を刊行し、記録保存のバックアップ。	◎	-	◎	○	←→			市	
		50. 文化財センターの整備 空調機などの更新、屋根などの修繕、地盤調査・改良を行い、古墳時代の遺物を良好な状態で収蔵管理する。	◎	-	◎	○	←→			国 市	
		51. 栗東の古墳を発信するためのボランティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力情報発信。	◎	◎	○	-	←→			市	3-② 団体の支援
		52. 椿山古墳イベント★ 古墳公開イベントを実施。	▽	◎	▽	○	←→			市	3-②、③ 人材育成、埋蔵文化財資料の活用と連携
		53. 古墳をめぐる観光ルート整備活用（看板・パンフレット）★ JRとタイアップし古墳めぐりツアーを実施する。消滅した古墳を表示し、古墳をめぐる観光ルートを充実させる。ウォーキングの企画。	◎	◎	▽	○	←→			市 民間	3-⑤、⑥ 市内へのアピール、市外への情報発信

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体
◇：補助金など支出など
▽：積極的な協力
○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



12 亀塚古墳 平野の出庭古墳群で唯一現存している古墳。全長45mとみられます。4世紀の前方後円墳。明治時代に出土した三角縁三神三獣鏡は、全国各地に同范の鏡を持っています。



4 辻遺跡の韓式系土器 出土した5世紀の韓式系土器には脚付壺、短頸壺、甑、取手付鍋などがみられますが、その中には朝鮮半島南部洛東江下流域から直接もたらされたものがあります。



15 椿山古墳の大型笠形木製品 5世紀の椿山古墳周濠から出土した笠形木製品です。コウヤマキ製で、「木製埴輪」ともいわれ、埴丘に立て並べられたものです。径76.2cm～64.2cmの楕円形で、日本最大級です。



20 新開4号墳の船形埴輪 5世紀の新開古墳群は昭和34年(1969)に1、2号墳が発掘され、1号墳から武具、馬具など多様な副葬品が出土しました。4号墳からは船形埴輪、家形埴輪などが出土し、古墳時代の葬送儀礼の様子的一端を知ることができます。



34 日向山古墳 葉山地域の古墳時代集落遺跡を一望できる日向山の西麓に立地します。直径18mの円墳で、南にむけて開口した横穴式石室は、栗東で最大です。6世紀代の古墳です。



37 和田古墳群 安養寺山の西麓に築造された後期古墳群です。6世紀中葉～7世紀初頭の9基の円墳があります。すべて横穴式石室をもち、馬具や武器、玉類など豊富な副葬品を持っています。

ストーリー I-C 古代近江の要

古代の栗太郡は、東山道と東海道が通る要衝の地でした。また琵琶湖対岸には近江大津宮が、奈良時代には近接して紫香楽宮や保良宮が造営されるなど、中央の文化が流入しました。近接する宮都・官衙や寺院の建設では、栗太郡の山林資源が不可欠であり、木材や鉄資源などを供給したと考えられています。手原廃寺・蜂屋遺跡・下鉤東遺跡・小平井廃寺では、中央の氏族と関連を持つ特色のある瓦を葺く寺院が建立されました。

奈良・平安時代、栗太郡衙岡遺跡は郡の政治の中心地であり、長舎で囲まれた正殿や八脚門をかまえ、地域支配の拠点となりました。ほかにも十里遺跡や手原周辺で木簡などが出土するなど、役所関連の施設は周辺に広がっていました。

栗太郡衙がおかれた地は、郡司を勤め山林資源を掌握していた小槻山君の本拠地でもありました。小槻大社は小槻氏の祖先を祀ります。中世、青地氏により小槻大社本殿が建立されます。現代に伝えられる小杖祭り（小槻大社例大祭）の祭礼芸能は、中世からの風流踊りの伝統を汲みます。小槻大社と五百井神社を支える下戸山地域は、石垣をかまえ近世庄屋の暮らしぶりを残します。

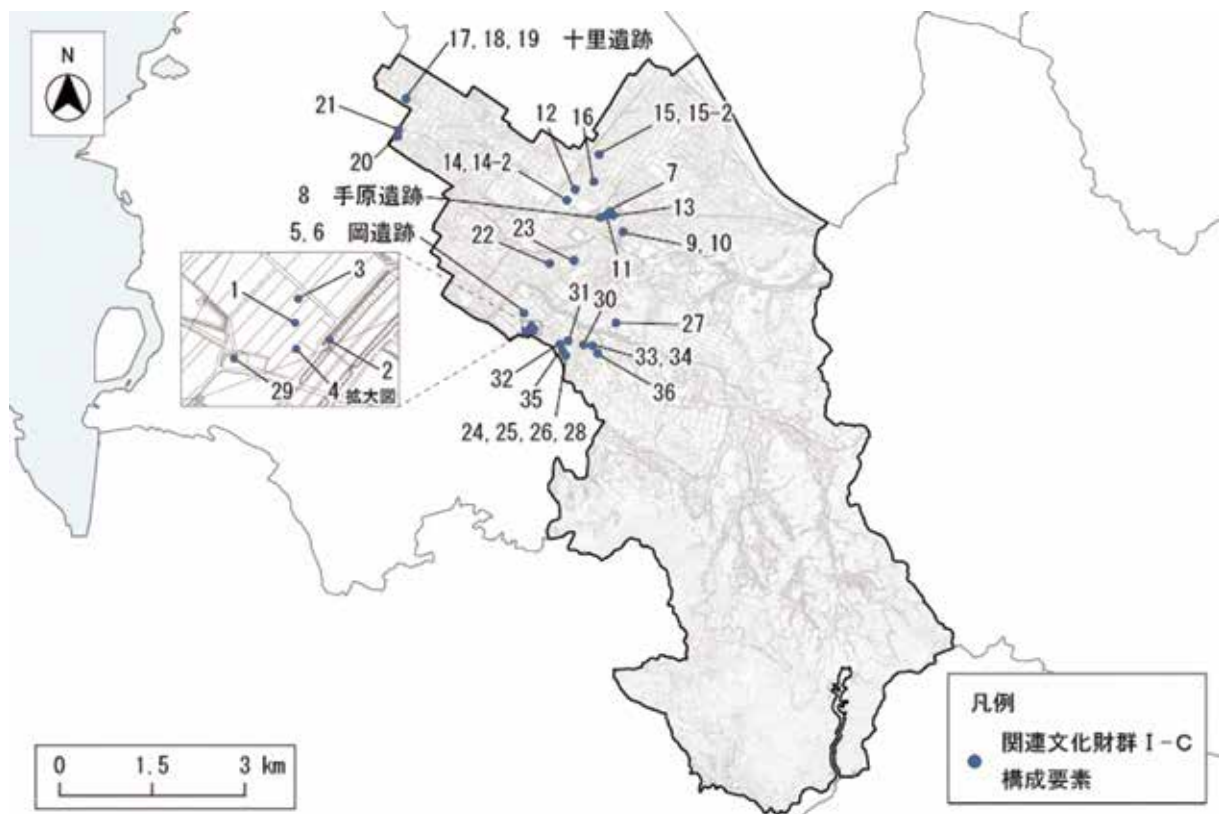


図7-5 ストーリー I-C 古代近江の要の構成要素位置図

(国土数値情報(湖沼、行政区画) 令和2年(2020)取得を加工して作成)

表7-5 ストーリー I-C 古代近江の要の構成要素

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
1	岡遺跡	－	奈良～平安	岡ほか	未指定
2	岡遺跡出土品（柱根）	市教委	奈良	岡ほか	未指定
3	岡遺跡出土品（硯類）	市教委	飛鳥～奈良	岡ほか	未指定
4	岡遺跡出土品（石帯）	市教委	平安	岡ほか	未指定
5	岡遺跡出土品（皇朝十二銭）	市教委	平安	岡ほか	未指定
6	岡遺跡出土品（土馬）	市教委	奈良	岡ほか	未指定
7	手原遺跡	－	奈良～平安	手原ほか	未指定
8	手原廃寺出土品（出土瓦）	市教委	飛鳥	手原	未指定
9	手原遺跡出土品（木簡）	市教委	奈良	手原ほか	市指定
10	手原遺跡出土品（墨書土器）	市教委	奈良	手原ほか	未指定
11	手原遺跡出土品（土馬）	市教委	奈良	手原ほか	未指定
12	手原遺跡出土品（陶馬）	市教委	奈良	手原ほか	未指定
13	手原遺跡出土品（石帯）	市教委	平安	手原ほか	市指定
14	下鈎東遺跡	－	飛鳥	蜂屋	未指定
14-2	下鈎東遺跡出土品（出土瓦）	市教委	飛鳥	蜂屋	未指定
15	蜂屋遺跡	－	飛鳥	蜂屋	未指定
15-2	蜂屋遺跡出土品（瓦）	滋賀県	飛鳥	蜂屋	未指定
16	蜂屋遺跡出土品（木簡）	市教委	奈良	蜂屋	未指定
17	十里遺跡	－	飛鳥	十里	未指定
18	十里遺跡出土品（木簡）	市教委	飛鳥	十里	市指定
19	十里遺跡出土品（墨書土器）	市教委	飛鳥	十里	未指定
20	小平井廃寺とその出土瓦	市教委	飛鳥	小平井	未指定
21	小平井廃寺出土品（無文銀銭）	市教委	飛鳥	小平井	未指定
22	狐塚遺跡	－	飛鳥	川辺・安養寺	未指定
23	狐塚遺跡出土品（墨書土器、無文銀銭）	市教委	奈良	川辺・安養寺	未指定
24	小槻大社本殿	小槻大社	室町	下戸山	国重文
25	小槻大社男神坐像（伝落別命）	小槻大社	平安	下戸山	国重文
26	小槻大社男神坐像（伝大己貴命）	小槻大社	平安	下戸山	国重文
27	五百井神社男神坐像	五百井神社	平安	下戸山	県指定
28	小杖祭りの祭礼芸能	－	中世	下戸山ほか	国無形民俗 県選択
29	小槻大社御旅所	－	－	岡	未指定
30	伝統的建造物（近世民家）	個人	江戸	下戸山	未指定
31	伝統的建造物（近世民家）	個人	江戸	下戸山	未指定
32	伝統的建造物（近世民家）	個人	江戸	下戸山	未指定
33	伝統的建造物（近代和風建築）	個人	明治	下戸山	未指定
34	伝統的建造物（近代和風建築）	個人	昭和	下戸山	未指定
35	伝統的建造物（近代和風建築）	個人	明治	下戸山	未指定
36	下戸山集落景観	－	－	下戸山	未指定

【課題】

岡遺跡は、古代の郡衙遺跡として地域の歴史のみならず古代社会を物語る貴重な遺跡であり、地域での協力のもと地下保存が図られた経緯があります。しかし、今なお保存と活用に向けた調査には着手できていません。手原遺跡・十里遺跡・蜂屋遺跡などの古代寺院や官衙の関連遺跡では、現在も緊急調査が多く実施されていますが、遺跡の記録保存の正確さを期すための埋蔵文化財調査の体制が脆弱です。また出土した遺物を保管する文化財センターは老朽化し、収蔵スペースにも限界があります。

古代の栗太郡司を務めた小槻山君の本貫地である下戸山地域は多くの歴史文化要素が集中し、重要無形民俗文化財の小杖祭りの祭礼芸能や下戸山の集落景観などの歴史文化が現在の生活にも息づいています。こうした要素を一体のものとしてとらえ資産とするための調査が実施できていません。中世の芸能を源とする小杖祭りの祭礼芸能では新型コロナウイルス感染症により活動ができておらず継承が危ぶまれます。

さらに下戸山を中心とする地域に集中する歴史文化要素を回遊するコースの看板やルートの整備、パンフレットなどによる情報発信ができていません。回遊コースの拠点となる文化財センターの展示機能も休止のままです。

【方針】

ストーリーの核となる岡遺跡は、歴史文化資産として恒久的に保存し活用していくために、大学などの調査機関や地域と協働して本質的な価値を明らかにする調査を実施し、その成果はシンポジウムなどで公開します。また出土した遺物や調査成果である写真・図面資料を良好な状態で保管するため、また地域回遊の拠点として文化財センターを整備します。

歴史文化要素が集中する下戸山地域では、集落景観をとらえるための調査を行います。また、小杖祭りの祭礼芸能（花笠踊り）の動画記録をすすめます。

さらに調査情報の公開、歴史文化の要素を巡るルートの看板整備、祭礼の動画配信など、歴史文化資産として活用・運用していくための情報発信と、団体への支援を進め、地域での盛り上げにつなげます。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリー I-C 古代近江の要」では、以下の事業を進めていきます。

表7-6 ストーリー I-C 古代近江の要の事業計画

【財源】

国：国費

県：県費

市：市費

民間：民間資金

歴史文化の特徴のテーマ	関連文化財群（ストーリー）	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022 ～24)	中期 令和7 ～9年 (2025 ～27)	後期 令和10 ～11年 (2028 ～29)	財源	備考	
			行政	地域	調査機関	専門家						
I 材が織りなす繁栄	I C 古代近江の要	54. 下戸山集落の民家調査★ 下戸山の景観をとらえるため民家の詳細調査を実施。	◎	○	-	◎		↔		国 県市	1-①	民家調査
		55. 花笠踊りの記録★ 各地域での伝承のため花笠踊りの記録を実施。	◇	◎	-	○		↔		市 民間	1-①、②	無形民俗文化財の記録
		56. 埋蔵文化財調査体制の強化と人材育成 奈良時代～中世の発掘調査（緊急・詳細）に対応できるよう、発掘調査体制の整備と人材育成。	◎	○	◎	○	↔			市	1-③	調査体制の強化
		57. 岡遺跡検討委員会範囲確認調査★ 岡遺跡調査整備委員会を設置。本質的価値解明の調査を実施し、整備に向けた検討。	◎	▽	◎	▽	↔			国 県市	1-③	岡遺跡の本質的価値の検討
			◎	▽	◎	▽			↔	国 県市	2-①	岡遺跡の整備の検討
		58. 花笠踊りの道具整備★ 各地域で伝承される花笠踊りの道具を整備。	◇	◎	-	○	↔			国 民間	2-①	無形民俗文化財の維持
		59. 出土遺物の保存処理 岡遺跡、手原遺跡など奈良時代～中世の遺跡から出土した木製品、金属製品などを計画的に保存処理。	◎	-	◎	○	↔			国 市	2-③	出土遺物と記録資料の保存
		60. 埋蔵文化財調査資料の保存 岡遺跡、手原遺跡など奈良時代～中世の遺跡調査で記録した資料を保管・管理し、デジタル化。報告書を刊行し、記録保存のバックアップ。	◎	-	◎	○	↔			市		
		61. 文化財センターの整備 空調機などの更新、屋根などの修繕、地盤調査・改良を行い、出土遺物の良好な状態での収蔵管理。	◎	-	◎	○	↔			国 市		
		62. 岡遺跡シンポジウム 「栗東の文化財を活用しよう」事業で地域と協働して、継続したシンポジウム実施。	◎	○	◎	○		↔		市 民間	3-①	文化財活用事業
		63. 文化財センターの活用 岡・目川・下戸山地域の回遊の拠点として整備。定期的な公開とイベントを実施。	◎	○	◎	-	↔			国 市	3-①	地域での場づくり
		64. 岡遺跡とその周辺を発信するためのボランティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力情報発信。	◎	◎	○	-		↔		市	3-②	団体の支援
		65. 奈良時代～中世の発掘調査成果の公開（現地説明会・報告書刊行） 緊急発掘調査などの状況を随時公開。	◎	○	◎	○	↔			市 民間	3-⑤	調査成果の公開
		66. 花笠踊りの動画発信★ 動画を使って花笠踊りの魅力を発信し、披露をする場の設置。各地域の花笠踊りを記録化。	◇	◎	-	○	↔			市 民間	3-⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信
		67. 岡・目川・下戸山地域をめぐる観光ルート整備活用（看板・パンフレット）★ 岡・目川・下戸山を回遊しやすいように看板などを設置。岡遺跡を紹介するパンフレットを作成。ウォーキングの企画。	◎	◎	▽	○			↔	市 民間	3-⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



17～19 十里遺跡木簡 「乙酉年四月一日召大夫
勾連渚相謀賜 而下」と書かれた飛鳥時代（7世紀）
の木簡です。十里遺跡周辺に飛鳥時代の役所があった
ことが推察されます。



1～6 岡遺跡 小槻大社の西に延びる丘陵の端部に
位置します。奈良時代（8世紀）には長大な建物によ
る方形の空間や、大規模な倉庫群からなる区画などを
企画的に配置することから、古代栗太郡の郡衙跡と推
定されています。



25 小槻大社男神坐像伝落別命 小槻大社の主神、
落別命は、古代栗太郡の郡司を勤めた小槻山君の祖神
です。ヒノキの一木造で、幘頭冠を頂き、両眼を大き
く見開く平安時代（11世紀）の像。大己貴命が合祀さ
れています。



8 手原廃寺 古代東海道沿いの交通の要衝に立地しま
す。正方位地割が残され、白鳳時代（7世紀）の瓦が出
土することから古代寺院が推定されます。近接して官衙
関連とみられる奈良時代の遺構遺物も出土しています。



24 小槻大社本殿 一間社流造、檜皮葺葺棟。棟札
写によれば、永正16年（1519）、青地氏によって建立
された社殿です。木割が太く装飾をおさえ、簡明雄健
な建築です。



36 下戸山集落景観 金勝川左岸の緩やかな丘陵地
に形成され、石垣をめぐる集落です。大型農家が点
在し、庄屋の暮らしぶりを今に残しています。

歴史文化の特徴のテーマⅡ 山の祈りと業（なりわい）

幽玄な金勝地域の山間部は古代から山林修行の地となり、金勝寺を中心に個性豊かな仏教文化が花開きます。山間部の集落には、民家や棚田、山の神やオコナイなどの祭礼などが今に受け継がれています。

テーマⅡでは2つのストーリーで栗東を語ります。

- ストーリーⅡ-A 金勝の神仏の風
- ストーリーⅡ-B 山の暮らしと神まつり



写真7-4 歴史文化の特徴のテーマⅡの眺望（天狗岩から）

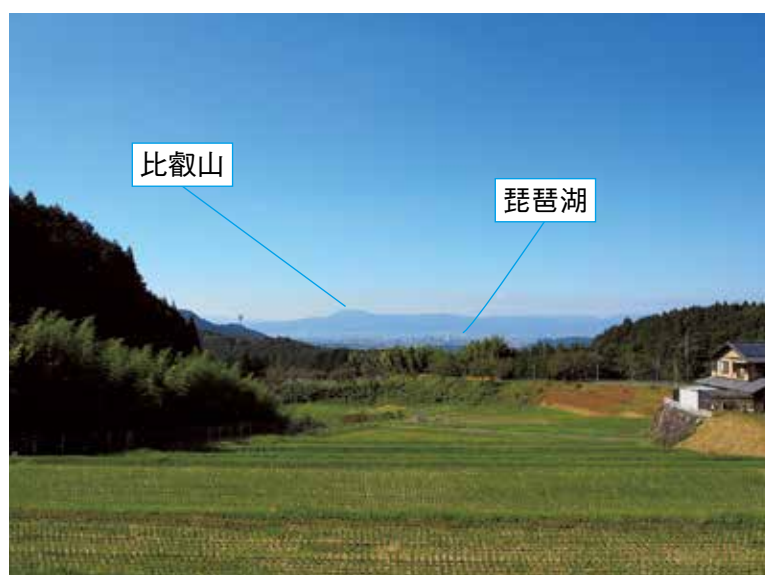


写真7-5 歴史文化の特徴のテーマⅡの眺望（観音寺から）



図7-6 眺望の位置

ストーリーⅡ-A 金勝の神仏の風

湖南の山間部は花崗岩の巨石が露出しています。古代、この地には豊富な森林資源を求めて、多くの工人が往来しました。金勝山中の露頭花崗岩に刻まれた高さ6.3mもある狛坂磨崖仏は、渡来系の工人による、統一新羅様式のものです。

幽玄な山間部は山林修行の場でもありました。奈良時代の良弁開基を伝える金勝寺が本格整備されたのは、平安時代、興福寺の僧願安によります。国家に認められた寺院として、琵琶湖対岸の比叡山に比肩しました。平安時代の中頃になると、栗太郡に天台宗の影響が広まり、金勝谷を中心に地方色豊かな彫刻文化が展開することになります。平安時代後期には天台浄土教の教えが広がります。室町時代、金勝寺浄巖坊に住した僧隆堯は東坂に草庵を結び、その後に三世の宗真の建立した阿弥陀寺が近江の浄土教集団の中心的な役割を担いました。

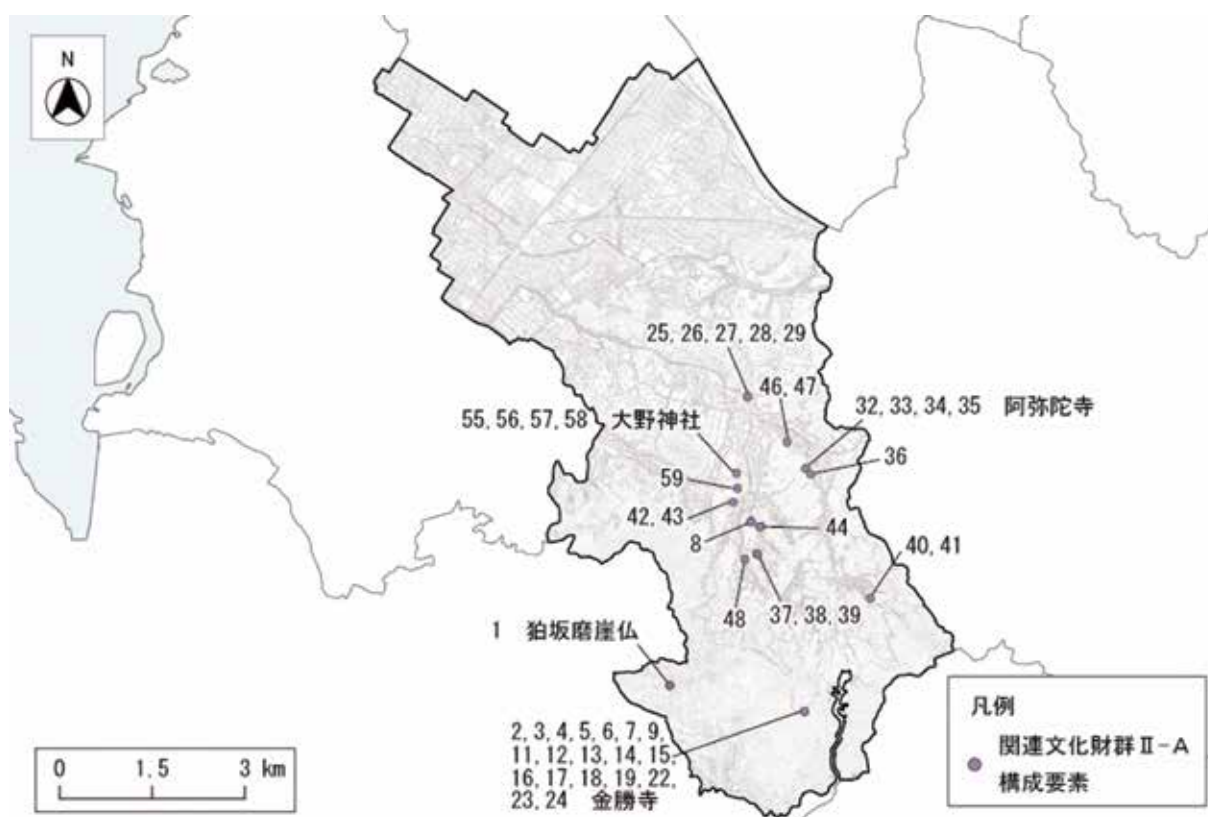


図7-7 ストーリーⅡ-A 金勝の神仏の風の構成要素位置図

(国土数値情報(湖沼、行政区画)令和2年(2020)取得を加工して作成)

表7-7 ストーリーⅡ-A 金勝の神仏の風の構成要素

番号	名称(網掛けは分布図には非表示)	所蔵	時代	地域	指定など
1	狛坂磨崖仏	国	奈良	荒張	国史跡
2	紙本墨書狛坂寺本尊縁起	金勝寺	室町	荒張	市指定
3	金勝寺	金勝寺	平安	荒張	市指定
4	金勝寺本堂	金勝寺	江戸	荒張	未指定
5	木造軍荼利明王立像	金勝寺	平安	荒張	国重文
6	木造虚空蔵菩薩半跏像	金勝寺	平安	荒張	国重文
7	木造毘沙門天立像	金勝寺	平安	荒張	国重文
8	木造地藏菩薩坐像	金勝寺 (旧山口寺)	平安	荒張	国重文

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
9	木造釈迦如来坐像	金勝寺	平安	荒張	国重文
10	木造不動明王立像	金勝寺 (旧山口寺)	鎌倉	荒張	未指定
11	木造僧形八幡神坐像 木造女神坐像	金勝寺	平安	荒張	県指定
12	木造四天王立像	金勝寺	平安	荒張	県指定
13	木造天部形立像	金勝寺 (旧山口寺)	平安	荒張	県指定
14	木造吉祥天立像	金勝寺	鎌倉	荒張	未指定
15	木造金剛力士像	金勝寺	平安	荒張	未指定
16	金勝寺制札	金勝寺	室町	荒張	県指定
17	紺紙金字金光明経巻第一	金勝寺	平安	荒張	県指定
18	独鈷杵 五鈷杵	金勝寺	鎌倉	荒張	県指定
19	石造隆堯法印宝篋印塔	金勝寺	室町	荒張	市指定
20	石造宝塔	金勝寺 (旧山口寺)	鎌倉	荒張	市指定
21	木造地藏菩薩立像	金勝寺	平安	荒張	市指定
22	木造男神坐像四軀 木造僧形坐像二軀	金勝寺	平安	荒張	市指定
23	紙本墨書金勝寺本堂再建勸進状	金勝寺	室町	荒張	市指定
24	木造薬師如来坐像	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	平安	東坂	国重文
25	木造千手観音立像	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	平安	東坂	国重文
26	木造日光菩薩立像	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	平安	東坂	市指定
27	木造月光菩薩立像	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	平安	東坂	市指定
28	算額	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	江戸	東坂	県指定
29	石灯籠	阿弥陀寺	鎌倉	東坂	市指定
30	僧巖誉宗真墓	阿弥陀寺	室町	東坂	市指定
31	木造阿弥陀如来立像	阿弥陀寺	平安	東坂	市指定
32	五輪塔群	阿弥陀寺	江戸	東坂	未指定
33	善導大師版木	阿弥陀寺	南北朝	東坂	未指定
34	法然上人版木	阿弥陀寺	室町	東坂	未指定
35	宗安寺本堂	宗安寺	江戸	東坂	未指定
36	木造阿弥陀如来及両脇侍像	金胎寺	平安	荒張	国重文
37	木造四天王立像	金胎寺	平安	荒張	国重文
38	懸仏	金胎寺	鎌倉	荒張	市指定
39	木造聖観音菩薩及両脇侍像	観音寺	平安・鎌倉	観音寺	市指定
40	木造華鬘	観音寺	室町	観音寺	市指定
41	木造阿弥陀如来立像	敬恩寺	鎌倉	荒張	国重文
42	木造十一面観音菩薩立像	敬恩寺	平安	荒張	市指定
43	木造阿弥陀如来立像	正徳寺	鎌倉	荒張	国重文
44	木造広目天立像	大通寺保存会	平安	荒張	県指定
45	木造薬師如来坐像	薬師寺	平安	御園	市指定
46	木造持国天立像 木造多聞天立像	薬師寺	平安	御園	市指定
47	木造地藏菩薩立像	峯の堂	鎌倉	荒張	市指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
48	木造如意輪観音坐像 附 木造吉祥天立像	井上	鎌倉	井上	県指定
49	木造天部形立像	井上	平安	井上	市指定
50	石造宝塔	成谷寺	室町	荒張	市指定
51	石造宝塔	常福寺	鎌倉	御園	未指定
52	石造丁石	金勝寺他	室町以降	荒張	未指定
53	石風呂	阿弥陀寺ほか	不明	東坂ほか	未指定
54	石造不動明王像	廣徳寺	南北朝	荒張	市指定
55	大野神社楼門	大野神社	鎌倉	荒張	国重文
56	大野神社摂社本殿	大野神社	室町	荒張	市指定
57	大野神社鰐口	大野神社	室町	荒張	市指定
58	春日神社表門	春日神社	桃山	荒張	国重文
59	小屋谷観音	－	鎌倉	荒張	未指定
60	茶沸観音	－	平安	荒張	未指定
61	重岩	－	室町	荒張	未指定

【課題】

金勝地域は、若い世代の地域外への移住がみられ、高齢化や人口減少が深刻化しており、山麓の寺社の維持など歴史文化の担い手が不足しています。このため、境内の維持や防犯が大きな課題です。また金勝の山間部や丘陵部では、土砂災害など風水害へのリスクがあります。山中の粕坂磨崖仏は近年の環境変化による劣化が懸念されます。点在する石造物の把握調査も求められています。

ストーリーの中心となる金勝寺は、栗東の歴史文化資産として市外からの観光客が多いところです。しかし、境内地の調査が不十分です。また現地までのアクセスは十分とは言えません。

また市民アンケートによれば、金勝地域では仏像などに対する関心が低い傾向にあり、地域にとって身近な、そして全体にとって特色ある歴史文化要素の発信ができていません。さらに市内他地域の居住者にも、金勝地域の魅力のアピールが十分にできていないとも言えません。

【方針】

金勝地域では、寺社や山林の維持や防犯・防災の基本情報となる歴史文化要素の悉皆調査を、継続的にを行います。金勝寺では市史跡の範囲の検討を行います。さらに粕坂磨崖仏は、環境変化による保存状況の詳細な現状調査と、周辺部の考古学的な調査を含めた総合的な調査の方法を探り、今後の調査と整備へつなげます。さらに点在する石造物は把握調査をすすめます。

歴史文化要素の緊急避難場所としては、博物館の機能拡充を検討します。さらに、歴史文化の要素を巡るルートの整備として、交通アクセスの利便性の向上など、歴史文化資産として活用・運用していくための利便性の維持向上を図ります。

また地域の景観などの魅力をアピールするため、ロケ地の誘致などをはじめとした情報発信と、団体への支援を進め、地域での盛り上げにつなげるほか、市内外からの訪問者を増

やします。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅡ-A 金勝の神仏の風」では、以下の事業を進めていきます。

表7-8 ストーリーⅡ-A 金勝の神仏の風の事業計画

【財源】

国：国費

県：県費

市：市費

民間：民間資金

歴史文化の特徴のテーマ	関連文化財群（ストーリー）	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022 ～24)	中期 令和7 ～9年 (2025 ～27)	後期 令和10 ～11年 (2028 ～29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門 家						
Ⅱ 山の祈りと業（なりわい）	Ⅱ-A 金勝の神仏の風	68. 粕坂磨崖仏環境調査★ 粕坂磨崖仏の環境調査を実施し、整備について検討。	◎	—	○	▽	↔			国市	1-①	石仏環境調査
		69. 金勝寺史跡範囲拡大の検討★ 塔跡などの確認調査を実施し、史跡範囲の拡大を検討。	◎	▽	○	○			↔	市国県	1-③	重要遺跡確認調査
		70. 指定等文化財環境整備 史跡の日常管理を継続的に実施。	◇	◎	—	—	↔			市民間	2-①	指定等文化財環境整備
		71. 大野神社摂社本殿屋根葺替★ 大野神社摂社本殿の屋根葺替を実施。	◇	◎	—	○	↔			市民間		建造物の保存修理
		72. 敬恩寺防災施設更新★ 敬恩寺の放水銃を更新。	◇	◎	—	—	↔			国県市民間		美工作品保管施設の防災強化
		73. 吉祥寺如意輪観音坐像（附吉祥天立像）修繕★ 吉祥寺如意輪観音坐像（附吉祥天立像）の修繕。修繕に伴い価値を発信。	◇	◎	—	○		↔		県市民間		美術工芸品修理
		74. 観音寺木造聖観音菩薩修繕★ 聖観音菩薩の修繕。修繕に伴い価値を発信。	◇	◎	—	○			↔	市民間		
		75. 歴史文化要素収蔵施設としての博物館の整備 空調機更新、防災監視盤などの更新、屋根・外壁などの改修、エレベーター更新などを行い、美術工芸品などの資料を良好な保管環境で管理。	◎	▽	—	○	↔			国県市	見直し	歴史文化要素保管・管理
		76. 金勝寺境内周遊ルートの維持 境内をめぐる既設ルートの点検整備。	○	◎	—	—	↔			市民間		市民協働の史跡保全
		77. 金勝地域の寺社を発信するためのボランティア・市民団体の育成・支援 市ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力情報発信。	◎	◎	○	—			↔	市	3-②	団体の支援
		78. ロケ地活用 金勝寺、阿弥陀寺など金勝地域の歴史文化を生かしてドラマや映画のロケ地を誘致。	○	◎	—	—	↔			市民間	3-⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信
		79. 観光ルート整備活用（看板・パンフレット）★ 市金勝地域で複数の観光ルートを設定、看板などを整備。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○	↔			市民間		
		80. 金勝寺あかりの演出 市金勝寺あかりのイベントを継続して実施。	○	◎	—	—	↔			市民間		
		81. 金勝地域の寺社をめぐる公共アクセスの利便性向上 市民の移動手段であるバスを、歴史文化と観光の視点により活性化。	◎	—	—	—	↔			市民間		観光の利便性の向上

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



5 金勝寺木造軍荼利明王立像 金勝寺二月堂に安置される、像高3.6mの巨像。髪を逆立てて眼をむく憤怒の像です。ヒノキの一材から彫成された平安時代(10世紀)の作です。



55 大野神社楼門 金勝庄の総鎮守であり、金勝寺参詣の起点でもあった大野神社です。本殿前の楼門は三間一戸で、屋根は入母屋造。鎌倉時代初期の建立で、楼門としては県下最古の建築です。



4 金勝寺本堂 良弁開基を伝える古刹、金勝寺です。平安時代(9世紀)に興福寺僧願安によって寺観が整備されます。本堂は戦乱の世に焼失。現在の本堂は元禄頃の建立で、本尊釈迦去来坐像を安置しています。



36 金胎寺木造阿弥陀三尊像 金勝山系北麓に点在する寺院の1つ金胎寺です。阿弥陀三尊像は定朝様の流れを引く穏やかで優美な作風。胎内の造像銘記から、永治2年(1142)の像で、結縁した氏族名も明らかです。



24~34 阿弥陀寺 室町時代(15世紀)、金勝寺浄厳坊に住した川辺出身の僧隆堯は、東坂に草庵を結びました。三世の宗真が阿弥陀寺として民衆の教化につとめ、近江浄土教集団の中心となりました。

ストーリーⅡ-B 山の暮らしと神まつり

観音寺、走井、井上など、金勝地域の集落は、山と関係が深い生活を送る特色ある景観を残しています。栗東の最高所にある標高400mの観音寺集落は、観音寺を頂点としてかつて宿坊であったと伝える民家が集まっています。集落の入り口には勧請縄が吊られ、特徴的な景観を構成しています。

山間部の村々を中心に年頭に行われる山の神まつりは、豊作を祈る予祝行事として各地域に伝承されています。祀り方は多様ですが、多くの地域で男女両神の股木人形であるオツタイメツタイをご神体とし、山の祭場で神事が行われます。年の初めから立春ころまでに、金勝寺を中心とした仏教文化の影響をうけ成立した祈祷行事であるオコナイは、観音寺・走井など山間部の集落をはじめ、林や小野などでもみられます。

また風流踊りの一種である、太鼓踊が金勝地域で見られます。不定期に開催されていた御園太鼓踊、日吉神社で奉納される上砥山の太鼓踊などは雨乞いに関する伝統行事として現代に伝わります。

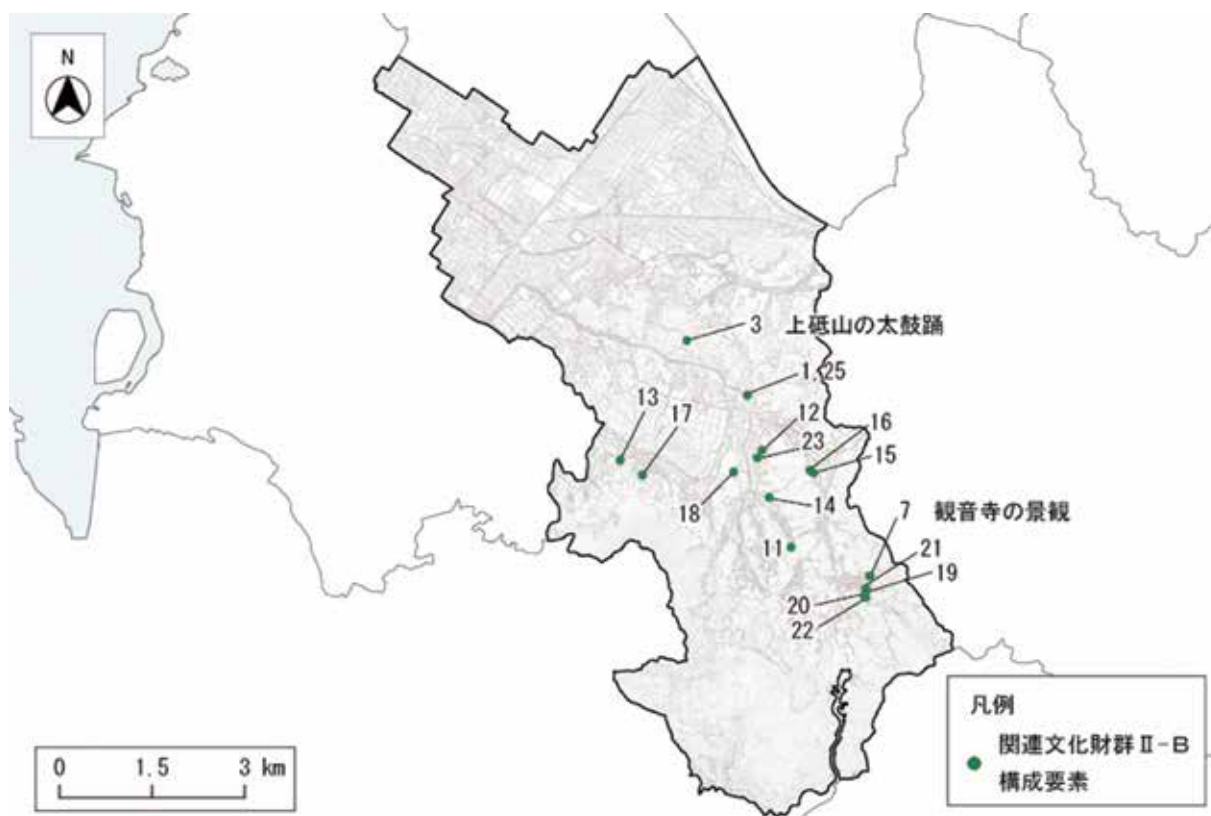


図7-8 ストーリーⅡ-B 山の暮らしと神まつりの構成要素位置図

(国土数値情報(湖沼、行政区域) 令和2年(2020)取得を加工して作成)

表7-9 ストーリーⅡ-B 山の暮らしと神まつりの構成要素

番号	名称(網掛けは分布図には非表示)	所蔵	時代	地域	指定など
1	算額(明和4年、文政2年)	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	江戸	東坂	県指定
2	御園太鼓踊	—		御園	県選択
3	上砥山の太鼓踊	—		上砥山	県選択
4	各地の山の神行事	—		各地	未指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
5	各地のオコナイ	－		各地	未指定
6	各地の勧請吊	－		各地	未指定
7	観音寺の景観	－		観音寺	未指定
8	走井の景観	－		走井	未指定
9	東坂の景観	－		東坂	未指定
10	蔵町の景観	－		蔵町	未指定
11	九品の滝	－		荒張	未指定
12	金勝部落有山林記念碑	－		御園	未指定
13	金勝興業事務所	個人	大正	荒張	未指定
14	伝統的建造物	個人	江戸	井上	未指定
15	高札場	個人	江戸	東坂	未指定
16	伝統的建造物	個人	江戸	東坂	未指定
17	伝統的建造物	個人	江戸	荒張	未指定
18	伝統的建造物	個人	江戸	荒張	未指定
19	伝統的建造物	個人	江戸	観音寺	未指定
20	伝統的建造物	個人	明治	観音寺	未指定
21	伝統的建造物	個人	明治	観音寺	未指定
22	伝統的建造物	個人	明治	観音寺	未指定
23	伝統的建造物	個人	明治・大正	御園	未指定
24	古文書	－			未指定
25	二十五菩薩面	阿弥陀寺	江戸	東坂	未指定

【課題】

金勝地域は、若い世代の地域外への移住がみられ、高齢化や人口減少が深刻化しており、祭礼や景観の維持など歴史文化の担い手が不足しています。これに加えて、山の神、オコナイ、田楽踊りなどの伝統行事は、新型コロナウイルス感染症対策としての活動停止により、継承が懸念されます。またこれらの要素は、これまで地域で守られていますが、情報発信はできていません。

また金勝の山間部や丘陵部では、空き家の増加、土砂災害などの風水害リスク、獣害リスクがあります。

【方針】

金勝地域では人口減少傾向にあり、祭礼や景観の維持が課題となるため、現段階での集落の景観、民家とそこに伝わる伝統行事の悉皆調査を実施し資料化したうえで、歴史文化資産として価値づけていきます。

景観の保全については、空き家や獣害の対策、自然災害に対する危機管理を進めるとともに、農村の景観を守る地域の取り組みを支援します。

またパンフレット作製などで情報発信を行い、地域での盛り上げにつなげるほか、市内外からの訪問者を増やします。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅡ-B 山の暮らしと神まつり」では、以下の事業を進めていきます。

【財源】

国：国費
市：市費

県：県費
民間：民間資金

表7-10 ストーリーⅡ-B 山の暮らしと神まつりの事業計画

歴史文化の特徴の テーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門家						
Ⅱ 山の祈りと業（なりわい）	Ⅱ-B 山の暮らしと神まつり	82. 山の神現状把握調査★ 各地域の山の神行事の把握調査を実施。	◎	○	-	◎	←→			国市	Ⅰ-①	無形文化財 の記録
		83. 集落調査★ 観音寺・走井・井上など山間部集落の文化的景観 の調査を実施。	◎	○	-	◎			↔	国市		景観の調査
		84. 古文書調査（金勝地域の資料） 「小地域展」を利用した悉皆調査を実施。	◎	◎	-	○	←→			市		博物館の調 査
		85. 走井の棚田保全 住民主体の棚田保全を継続的に実施。	◇	◎	-	-	←→			県 民間	Ⅱ-①	市民主体の 景観保全
		86. 金勝地域の空き家対策 空き家バンクを運用し、移住・定住のニーズに マッチした情報提供を実施。	◎	◎	-	○	←→			市 民間		空き家対策
		87. 鳥獣害対策 柵の設置などで獣害から景観を保全。	◎	◎	-	▽	←→			県市 民間		鳥獣害対策
		88. 土砂災害対策 土砂災害警戒区域の周知、啓発。	◎	◎	-	▽	←→			県市 民間		土砂災害対 策
		89. 金勝地域の魅力を発信するボランティ ア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・ 協力 情報発信。	◎	◎	○	-			↕	市	3-④	団体の支援
		90. ロケ地活用 金勝地域の文化的景観を生かしてドラマや映画の ロケ地を誘致し、地域の魅力をアピール。	○	◎	-	-	←→			民間	Ⅲ- ⑤、⑥	市内へのア ピール、市 外への情報 発信
		91. 金勝地域をめぐる観光ルート整備活用 (看板・パンフレット) ★ 金勝のくらしや民俗行事を紹介するパンフレット を作成。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○			↕	市 民間		公共アクセ スの利便性 向上
		92. 金勝地域の景観をめぐる公共アクセスの 利便性向上 市民の移動手段であるバスを、歴史文化と観光の 視点により活性化。	◎	-	-	-	←→			市 民間		

重要項目

【取り組み主体】

- ◎：実施主体
- ◇：補助金など支出など
- ▽：積極的な協力
- ：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



7 観音寺の集落景観 阿星山の中腹400mの高地に形成された集落です。観音寺を頂点に道路に沿って段々状に集まる民家は、観音寺の宿坊であったと伝えられています。集落の入り口には勧請縄が吊るされています。



4 山の神の祭場 山と深い関係のあるムラでさかに行われている山の神行事は、山の口にある神木の根元に祭場を設け、男女両神の股木人形を合体させ疑似性交させることにより、作物の豊穰を祈るものです。



8 走井の棚田 金勝寺詣道沿いの走井集落には棚田の景観が広がり、田植えや稲刈りの体験イベントなどが開催されています。道路沿いには、色とりどりのアジサイが植えられています。



3 上砥山の太鼓踊 9月第1土曜日夜（もとは旧暦8月15日）に上砥山日吉神社で奉納される太鼓踊は、雨乞い踊りや豊年踊りともいわれます。境内には百灯がともされ、3組に分かれて踊りが披露されます。

25 阿弥陀寺二十五菩薩面 嘉永2年（1849）に阿弥陀寺開祖の隆堯の四百回忌の回向のために企画された「二十五菩薩迎接会式」において行われた、二十五菩薩練り供養で造作・使用された遺品のひとつです。



歴史文化の特徴のテーマⅢ まじわり・にぎわい・結び

古来より都と東国を結ぶ交通の要衝、栗東。時代を通して多様なモノや情報が行き交い、ときには戦乱にもまきこまれました。

近世には東海道沿いの梅ノ木が、間の宿として多くの人で賑わいました。

テーマⅢでは2つのストーリーで栗東を語ります。

- ストーリーⅢ－A さまざまな争乱
- ストーリーⅢ－B 東海道と中山道



写真 7-6 歴史文化の特徴のテーマⅢの眺望（日向山山頂（多喜山城）から）



写真 7-7 歴史文化の特徴のテーマⅢの眺望（安養寺山から）



図 7-9 眺望の位置図

ストーリーⅢ-A さまざまな争乱

鎌倉時代、佐々木氏の流れをくむ青地氏が青地庄を拠点に、小槻大社祭礼の神事元である榊本衆を組織して在地支配を強めました。室町時代、近江では六角氏が守護となり勢力を強めたため、室町幕府九代将軍足利義尚は栗太郡まで出座しました。はじめに陣をおいた東方山安養寺は狭小であったことから、下鈎真宝館に陣が移され、「鈎御所」として幕府の武将や公家、守護大名の陣がおかれ、鈎の里は一時的に都さながらのにぎわいをみせました。

戦乱の世、農民は連帯や自治意識を高めました。野洲・栗太郡は真宗勢力が強く、蓮如の教化もあり一向一揆の拠点ができました。街道沿いの福正寺や真教寺では周囲が土塁で囲まれています。こうした勢力を抑える拠点として、街道沿いの要所である日向山山頂には多喜山城が築かれました。

宮城豊盛は、争乱の世から近世にかけて豊臣の家臣として活躍しました。その墓地は阿弥陀寺（東坂）にあります。

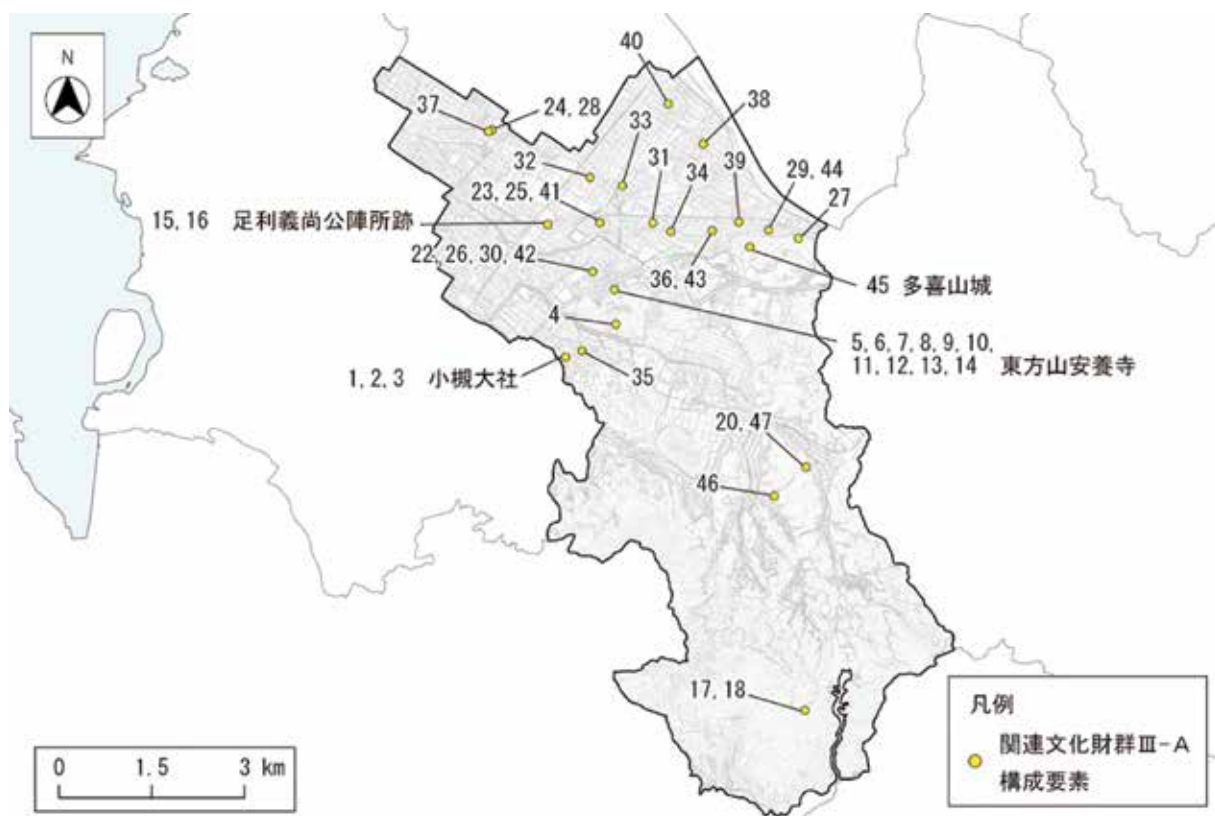


表7-11 ストーリーⅢ-A さまざまな争乱の構成要素

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
1	小槻大社	小槻大社	中世	下戸山	未指定
2	小杖祭りの祭礼芸能	－	中世	岡・目川・坊袋・川辺	国指定
3	神輿飾鳳凰・華鬘	小槻大社	室町	下戸山	未指定
4	黒漆金銅装蔓柏文鞍	五百井神社	南北朝	下戸山	県指定
5	東方山安養寺	東方山安養寺	中世	安養寺	未指定
6	安養寺庭園	東方山安養寺	江戸	安養寺	県指定
7	紙本墨書東方山安養寺本堂再建勸進状	東方山安養寺	室町	安養寺	市指定
8	絹本著色釈迦三尊十六羅漢像	東方山安養寺	室町	安養寺	市指定
9	安養寺十三重塔	東方山安養寺	鎌倉	安養寺	国指定
10	木造薬師如来坐像	東方山安養寺	鎌倉	安養寺	国指定
11	木造毘沙門天立像	東方山安養寺	平安	安養寺	市指定
12	木造月光菩薩立像	東方山安養寺	鎌倉	安養寺	市指定
13	木造日光菩薩立像	東方山安養寺	鎌倉	安養寺	市指定
14	木造阿弥陀如来立像	東方山安養寺	平安	安養寺	市指定
15	足利義尚公陣所跡	永正寺	室町	上鉤	市指定
16	木造阿弥陀如来立像	永正寺	鎌倉	上鉤	市指定
17	金勝寺制札	金勝寺	室町	荒張	県指定
18	金勝寺文書	金勝寺	室町	荒張	未指定
19	石造隆堯法印宝篋印塔	金勝寺	室町	荒張	市指定
20	善導大師・法然上人版本	阿弥陀寺	南北朝・室町	東坂	未指定
21	僧巖誉宗真墓	阿弥陀寺	室町	東坂	市指定
22	絹本著色阿弥陀如来像	安養寺	鎌倉	安養寺	市指定
23	紙本墨書三帖和讃	円徳寺	室町	手原	市指定
24	絹本著色方便法身尊号蓮如裏書	西琳寺	室町	纒	市指定
25	方便法身尊号蓮如裏書	円徳寺	室町	手原	未指定
26	方便法身尊号蓮如裏書	安養寺	室町	安養寺	未指定
27	方便法身尊号蓮如裏書	徳生寺	室町	伊勢落	未指定
28	方便法身尊像順如裏書	西琳寺	室町	纒	市指定
29	方便法身尊像実如裏書	真教寺	室町	伊勢落	未指定
30	方便法身尊像実如裏書	安養寺	室町	安養寺	未指定
31	方便法身尊像実如裏書	光圓寺	室町	小野	未指定
32	方便法身尊像実如裏書	永久寺	室町	蜂屋	未指定
33	方便法身尊像実如裏書	慶崇寺	室町	大橋	未指定
34	方便法身尊像実如裏書	高念寺	室町	六地藏	未指定
35	方便法身尊像実如裏書	源流寺	室町	下戸山	未指定
36	方便法身尊像実如裏書	福正寺	室町	六地藏	未指定
37	方便法身尊像実如裏書	本覚寺	室町	纒	未指定
38	方便法身尊像実如裏書	圓超寺	室町	辻	未指定
39	方便法身尊像実如裏書	長徳寺	室町	林	未指定
40	方便法身尊像実如裏書	法香寺	室町	出庭	未指定
41	親鸞画像実如裏書	円徳寺	室町	手原	未指定
42	親鸞画像実如裏書	安養寺	室町	安養寺	未指定
43	福正寺	福正寺	室町	六地藏	未指定
44	真教寺	真教寺	室町	伊勢落	未指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
45	多喜山城	－	中世	六地蔵	未指定
46	井上城	－	中世	井上	未指定
47	宮城豊盛墓（阿弥陀寺宮城家墓所）	阿弥陀寺	中世	東坂	未指定
48	宮城豊盛像	博物館	江戸	－	未指定

【課題】

ストーリーの象徴的な資産である足利義尚公陣所跡は、市指定史跡として保護されていますが、その周辺部分は開発が進み、景観が変わりつつあります。今後、史跡として保護していくための、本質的な価値を解明する調査ができていません。また東方山安養寺をはじめ、鉤の陣の足跡が面的にとらえられていません。

日向山（多喜山城）は争乱の時代を物語る貴重な要素ですが、これまで遺跡の価値を解明する調査がありません。また市内外からの地域外へのアピールや、アクセスが十分とは言えません。日向山の麓に展開する街道や寺院を一体のものとしてとらえられますが、地域での盛り上がりが薄く、情報発信できていません。

東方山安養寺、足利義尚公陣所跡、日向山（多喜山城）などの歴史文化要素の環境整備は地域や所有者に委ねられていますが、維持が困難な状況です。

さらに、阿弥陀寺墓地など戦国武将宮城豊盛関係の要素は、争乱の時代の終焉を物語りますが調査が進んでいません。

【方針】

鉤陣所跡では、史跡の本質的な価値の解明に向けた調査をします。また鉤の陣を総合的にとらえる調査研究を進めます。日向山では遺跡の価値を解明する調査をします。

東方山安養寺、足利義尚公陣所跡、日向山（多喜山城）の維持のための継続した補助を行います。

またアクセスが十分ではないため、歴史文化の要素を巡るルートの整備として、交通の利便性の向上など、歴史文化資産として活用・運用していくための利便性の維持向上を図ります。また周辺の寺社などを盛り込んだパンフレット作成などの情報発信と、団体への支援を進め、地域での盛り上げにつなげるほか、市内外からの訪問者を増やします。

さらに宮城豊盛関連として阿弥陀寺墓地の調査を行い、市指定につなげます。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅢ－A さまざまな争乱」では、以下の事業を進めていきます。

表7-12 ストーリーⅢ-A ささまざまな争乱の事業計画

【財源】

国：国費
市：市費県：県費
民間：民間資金

歴史文化の特徴の テーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門 家						
Ⅲまじわり・にぎわい・結び	Ⅲ-Aさまざまな争乱	93. 鈎の陣解明に向けた調査★ 史跡鈎の陣所跡や東方山安養寺など、鈎の陣関連の遺跡を総合的に調査。	◎	○	○	▽		↔		国 県市	1-①	鈎の陣の調査
		94. 阿弥陀寺宮城家墓所文化財指定★ 阿弥陀寺内の宮城豊盛墓所と関連資料を調査して市指定。	◎	○	○	▽	↔			市	1-③	阿弥陀寺墓地の総合的な調査
		95. 多喜山城調査★ 多喜山城の理解に向けた調査を実施し、赤色立体図を作成。	◎	○	▽	▽			↗	国 県市	1-③	多喜山城の価値の検討
		96. 名勝庭園の保全 安養寺庭園の保全に取り組む。	◇	◎	-	-	↔			国 県市	2-①	歴史文化要素の保存
		97. 多喜山城の保全 多喜山城の保全に取り組む。	◇	◎	-	-	↔			市 民間		
		98. 戦国時代の歴史文化要素を発信するボランティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力情報発信。	◎	◎	○	-			↗	市	3-②	団体の支援
		99. 多喜山城周辺をめぐる観光ルート整備活用(看板・パンフレット)★ 多喜山城とその周辺を発信するパンフレットを作成。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○			↗	市	3-⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信
		100. 東方山安養寺公開 青葉祭、石楠花鑑賞会を行い、薬師如来、庭園の特別公開。	○	◎	-	-	↔			民間		

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は(公財)栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



15 足利義尚陣所跡（永正寺） 長享元年（1487）、九代将軍、足利義尚は六角氏成敗のため近江親征をおこない、まず東方山安養寺に陣所を構えた後、鈎の真宝館に移りました。真宝館の場所は特定することはできませんが、上鈎の永正寺はその有力な候補の一つです。



4 黒漆金銅装蔓柏文鞍 五百井神社に伝わる蔓柏文の金銅板で装飾された鞍で、その全体形状は古様式ですが、蔓柏文は鎌倉時代以降の意匠です。在地領主である青地氏による奉納と推察されます。



7 紙本墨書東方山安養寺本堂再建勸進状

大永4年（1524）本堂修造のために作成された勸進状で、青蓮院流の流麗な書風で墨書しています。卷子装で斐紙を四紙継ぎ、上下に金泥界を施しています。



45 多喜山城 野洲川と東海道を北に望む、日向山山頂に位置する城郭で、主郭と2つの曲輪で構成されます。遺構から見て虎口（出入口）の形成などに特徴を持つ織田系の武将による築城と考えられます。



48 宮城豊盛像 宮城豊盛は豊臣家の譜代家臣から徳川家康の家臣となり、家康の没後は徳川秀忠の御伽衆となりました。東坂の阿弥陀寺に墓所があります。

◀ 17 金勝寺制札 長享元年（1487）、足利義尚による鈎の陣の直前、幕府により出された禁制。金勝寺庄内における乱暴狼藉を禁じています。

ストーリーⅢ-B 東海道と中山道

栗東は古代から東山道と東海道の通る交通の要衝でした。江戸時代には東海道と中山道が通る交通の大動脈であったことから、人や物、文化が行きかい、まじわり、にぎわいました。

東海道の目川立場、梅ノ木立場は、石部宿から草津宿の間にあり、間の宿として旅人の休息・憩いの場となりました。道中薬の和中散は当地の名物として広く知られ、梅ノ木立場には和中散を販売する店が軒を連ねました。その一つ、旧和中散本舗大角家住宅は往時のままだに残されています。大角家住宅は大名たちが休息する小休み本陣も兼ねました。目川立場では菜飯田楽^{なめしでんがく}が旅人を癒し、名物として、『東海道名所図会』に描かれました。

中山道には出屋敷立場があり梅ノ木和中散の出店がありました。また、大宝神社周辺では膏薬などを売っていました。

このほかにも江戸時代には交通網を活かした産業が発展しました。辻村は鋳物師の本拠地であり、全国各地に出店を設けて活躍しました。

現在、栗東には琵琶湖線・草津線や、国道・高速道路が通り、企業誘致が盛んです。その一つが、栗東トレーニング・センターで、「馬のまち栗東」のイメージを築きました。

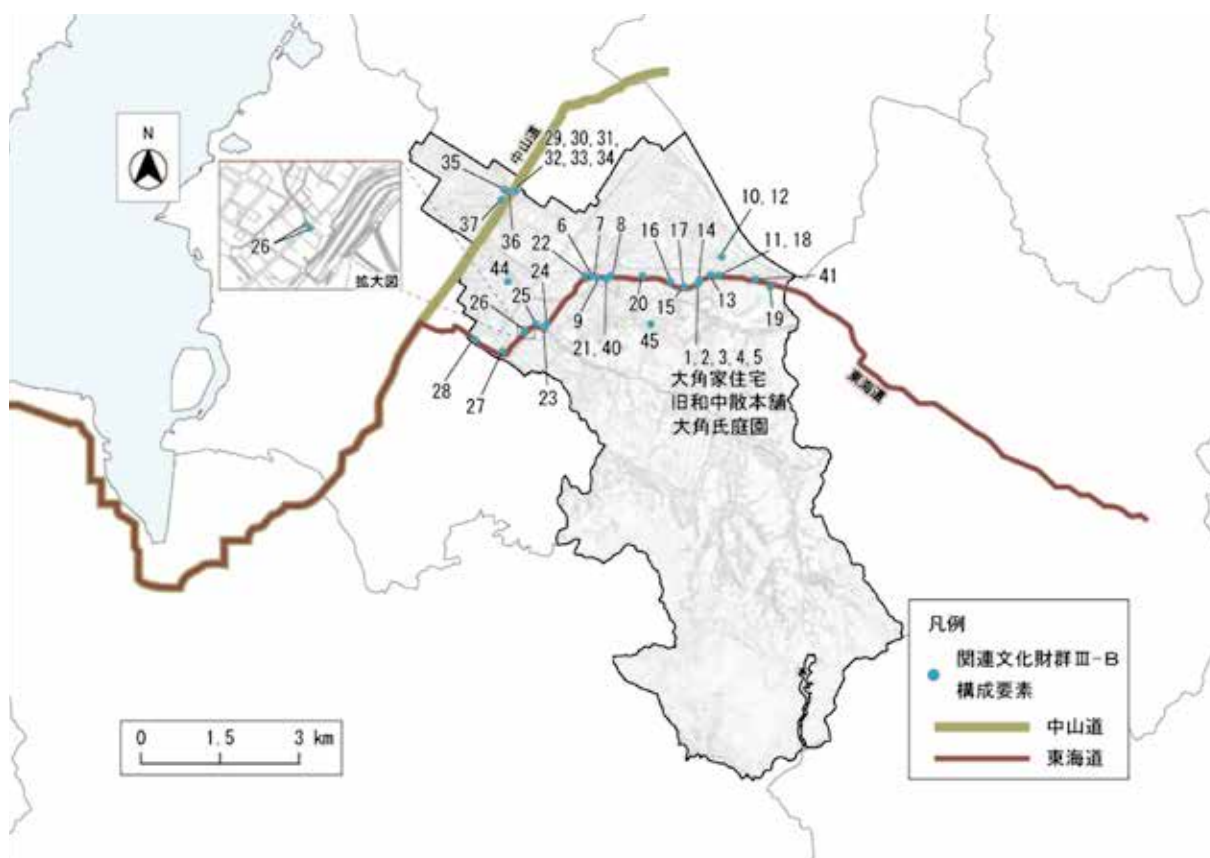


表7-13 ストーリーⅢ-B 東海道と中山道の構成要素

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
1	大角家住宅	個人	江戸	六地藏	国重文
2	旧和中散本舗	個人	江戸	六地藏	国史跡
3	大角氏庭園	個人・市	江戸	六地藏	国名勝
4	大角家文書	個人	江戸	六地藏	未指定
5	紙本墨画 瀟湘八景図屏風	個人	江戸	六地藏	市指定
6	川崎睦男家住宅	個人	明治・昭和	手原	国登録
7	川崎光雄家住宅	個人	大正	手原	国登録
8	里内家住宅	個人	明治・昭和	手原	国登録
9	猪飼家住宅	個人	大正	手原	国登録
10	新善光寺山門・本堂	新善光寺	明治	林	国登録
11	膳所藩私領傍示石	－	江戸	林	未指定
12	石造道標「新善光寺道「石道印」」	－	江戸	林	未指定
13	石造道標「新善光寺道」	－	江戸	六地藏	未指定
14	艾屋亀屋看板	個人	江戸	六地藏	未指定
15	酒屋鈴鹿川看板	個人	江戸	六地藏	未指定
16	木造地藏菩薩立像	福正寺（旧法界寺）	平安・江戸	六地藏	国重文
17	一里塚跡	－	江戸	六地藏	未指定
18	鰐口	薬師堂	江戸	林	未指定
19	宝篋印塔	徳生寺	鎌倉	伊勢落	市指定
20	肩かえの松	－	江戸	小野	未指定
21	稲荷神社	稲荷神社	江戸	手原	未指定
22	すずめ茶屋跡	－	江戸	手原	未指定
23	新日吉の霊泉	－	江戸	川辺	未指定
24	善性寺	善性寺	江戸	川辺	未指定
25	木造伝観世音菩薩立像	地藏院	平安・江戸	目川	市指定
26	一里塚跡	－	江戸	目川	未指定
26	一里塚跡	－	江戸	目川	未指定
27	目川田楽（京伊勢屋跡）	－	江戸	岡	未指定
28	老牛馬養生所跡	－	江戸	小柿	未指定
29	大宝神社	大宝神社	－	滝	未指定
30	大宝神社四脚門	大宝神社	江戸		未指定
31	大宝神社社叢	大宝神社	－	滝	未指定
32	大宝神社例大祭	大宝神社	－	滝	未指定
33	大宝神社相撲祭	大宝神社	－	滝	未指定
34	大宝神社文書	大宝神社	鎌倉～近代	滝	未指定
35	仏眼寺	仏眼寺	－	滝	未指定
36	地藏堂	仏眼寺	－	滝	未指定
37	西田家住宅	個人	明治	滝	国登録
38	辻鋳物師関係資料	市	近世		未指定
39	竹村定治コレクション（鉄道資料）	栗東市	現代		未指定
40	S L 公園	栗東市	現代	手原	未指定
41	伝統的建造物（近世民家）	個人	江戸	伊勢落	未指定
42	東海道	市・県	近世～	小柿～伊勢落	未指定
43	中山道	県	近世～	笠川・下鉤～滝	未指定
44	梵鐘	常勝寺	江戸	小柿	市指定
45	岡笠山 夏景山水図	博物館	江戸	－	未指定

【課題】

ストーリーの中心である旧和中散本舗、大角家住宅は、昭和45年（1970）の大規模な修理から半世紀が経ち、屋根や壁などが劣化しています。大角家住宅は個人の所有であるため、修理の体制や所有者の高齢化など、今後の継承が困難な状況です。また、史跡和中散本舗には重文建造物以外にも史跡を構成する複数の建造物があり、地域のコアゾーンとしての役割を果たす必要がありますが、保存・活用の検討ができていません。旧和中散本舗、大角家住宅は市を代表する歴史文化資産として、活用・運用していく必要がありますが、アクセスやガイダンス施設、トイレ・便益施設が不足しています。またイベントの企画などが十分とは言えません。東海道・中山道沿いには、街道沿いの景観を構成する民家や寺社が軒を連ねます。しかし景観の改変が著しいこと、伝統的なたたずまいの民家を中心に空き家化が進んでいます。街道沿いの松並木や一里塚、名物であった菜飯田楽、名産品の青花紙生産など過去のにぎわいが記憶から失われようとしています。

また、近世の一大産業として知られた鋳物師の業績の記録化も不十分です。

近代以降の鉄道文化は、竹村定治コレクションとして栗東歴史民俗博物館に収蔵され、市民学芸員によって整理されましたが、それらの今後の活用に向けての方策が求められます。

【方針】

旧和中散本舗、大角家住宅は、今後の保存や活用の方向を定めるため、保存活用計画を作成します。そのうえで、課題になっている屋根修繕を行います。

東海道、中山道沿いの景観については、今後の保存・活用に向け、民家などを調査します。街道沿いのにぎわいをあらわす伝統産業の記録化も進めます。また建物デザインの規制や空き家の利活用、景観木の保護や植樹、一里塚復活の検討など景観に配慮した取り組みを進めます。

街道沿いの文化の情報を発信し、市内外からの訪問者を増やすために、大角家特別公開の継続や、アートコラボ事業を実施します。また、東海道・中山道周辺の寺社などを盛り込んだパンフレット作成などの情報発信を進めます。さらに訪問者の便宜を図るため、史跡に隣接して活用に向けたトイレなどの便益施設を設置します。

街道名物であった菜飯田楽は継続して給食での取り組みを進めていきます。また街道沿いの歴史文化を、市内の小中学生の歴史学習に取り入れます。

さらに近世の一大産業であった辻鋳物師は、その系譜の把握のため墓地調査などを行います。

東海道と重ねた近代の鉄道文化を知りうる竹村定治コレクションは、栗東歴史民俗博物館などで定期的な公開を行います。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅢ－B 東海道と中山道」では、以下の事業を進めていきます。

表7-14 ストーリーⅢ-B 東海道と中山道の事業計画

【財源】

国：国費
市：市費県：県費
民間：民間資金

歴史文化の特徴の テーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考		
			行政	地域	調査 機関	専門 家							
Ⅲまじわり・にぎわい・結び Ⅲ-B東海道と中山道		101. 街道詳細調査 街道沿いの民家と暮らし、過去のにぎわいを知ることのできる伝統産業を記録化。	◎	◎	-	○	↔			市民間	1-①	調査	
		102. 大角家古文書調査 大角家に伝来する古文書の整理を行い、価値を理解。	◎	◎	-	○		↔		市	1-①、②	博物館による調査	
		103. 大角家・旧和中散本舗保存活用計画作成★ 大角家・旧和中散本舗の今後の保存活用について、委員会を設置して検討。プランニングを実施。	◎	▽	○	◎	↔			国 県 市 民間	2-①	大角家・旧和中散本舗保存活用計画作成	
		104. ロケ地活用 大角家住宅などの街道文化を生かしてドラマや映画などのロケ地を誘致。	○	◎	-	-	↔			民間	見直し	市内へのアピール、市外への情報発信	
		105. 東海道をめぐる観光ルート整備活用（看板・パンフレット）★ 街道文化を紹介するパンフレットの作成や街道から分岐する交通路の表示、老牛馬養生所の解説。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○	↔			市民間			
		106. 大角家アートコラボイベント★ 大角家住宅での写真、絵画、立体などのアート展示を実施。	○	◎	-	-	↔			市民間			
		107. 東海道を活用したイベント★ 東海道を活用したイベントを企画し、イベントを通して東海道やその街道沿いの情報発信。	○	◎	○	○	↔			市民間			
		108. 旧和中散本舗特別公開 春秋に旧和中散本舗の特別公開。	○	◎	-	-	↔			市民間		3-⑤、⑥	イベントによる情報発信
		109. 旧和中散本舗への公共アクセスの利便性向上 市民の移動手段であるバスを、歴史文化と観光の視点により活性化。	◎	-	-	-	↔			市民間			
		110. トイレ、便益施設の整備★ 大角家住宅周辺をコアゾーンとして、街道歩きで使用するができるトイレを整備。	◎	◎	-	-		↔		国 市 民間		観光の利便性の向上	

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【財源】

国：国費
市：市費

県：県費
民間：民間資金

歴史文化の特徴の テーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門家						
Ⅲまじわり・にぎわい・結び	Ⅲ－B東海道と中山道	111. 大角家住宅主屋製薬機械の調査★ 大角家主屋の製薬機械の構造を調査したうえで、活用可能なように修理。	○	◎	－	▽				国 県 市 民間	1－①	大角家建物 内の調査
		112. 辻鋳物師調査★ 鋳物師の系譜記録化のため墓所などの調査。	◎	○	○	○				市 民間	1－ ①、②	地域協働に よる調査
		113. 街道沿いの景観保全★ 松並木、一里塚の復活を検討。	○	◎	－	○				市 民間	2－①	街道沿いの 環境保全
		114. 大角家屋根（うだつ）修繕★ 大角家住宅主屋の屋根（うだつ）を修繕。	◇	◎	－	○				国 県 市 民間	2－①	建造物の保 存修理
		115. 史跡和中散本舗内建造物の整備★ 馬つなぎや薬師堂など、史跡内建造物の整備	◇	◎	－	○				国 県 市 民間	2－①	建造物の保 存修理
		116. 大角家住宅主屋製薬機械の修理★ 大角家主屋の製薬機械を、活用可能なように修理。	◇	◎	－	○				国 県 市 民間	2－①	建造物の保 存修理
		117. 街道沿いの歴史文化を発信するボラン ティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・ 協力 情報発信。	◎	◎	○	－				市 民間	3－②	団体の支援
		118. 竹村定治コレクション活用 市民学芸員と博物館が協働して第3回目展覧会を 開催。	◎	◎	－	－				市 民間	3－②	市民協働に よる展覧会 開催
		119. 小中学生の歴史学習メニューの作成 街道沿いの歴史文化を学ぶことができる学習メ ニュー（学習シート）を開発し、市内の学校に情 報提供。	◎	○	○	○				市	3－③	学校連携
		120. 目川田楽の継承 学校給食で目川田楽の体験を実施し、地域で の継承につなげる。	◎	▽	－	－				市	3－④	地域伝統食 の継承

【取り組み主体】

- ◎：実施主体
- ◇：補助金など支出など
- ▽：積極的な協力
- ：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポー
ツ協会、専門家は大学を含む

【主な構成要素】



1～3 旧和中散本舗・大角家住宅・大角氏庭園 六地蔵は東海道の草津宿と石部宿の中間にあたり、旅人の休憩などに利用される間の宿でした。大角家はそこで和中散という道中薬の製造・販売を行っていた商家で、書院は小休本陣も兼ねていました。庭園は池泉鑑賞式庭園で、書院で寛ぐ人々の旅の疲れをいやしていました。



43 中山道景観 中山道沿いの地域は都市化の波が激しいですが、大宝神社周辺は街道の面影を今も見ることができます。

44 常勝寺梵鐘 辻の鋳物師は安土桃山時代以降歴史に登場する職人で、江戸時代には諸国に出店を開始、江戸を始め関東・中部・東北地方を中心に、辻村を離れて大いに活躍しました。この梵鐘は寛永8年（1631）の銘のある辻鋳物師の手によるもので、栗東に現存する最古のものです。



45 岡笠山 夏景山水図 岡笠山は元伊勢屋を屋号とする目川田楽の茶屋に生まれ、長じて京都に出て与謝蕪村に私淑したと伝えられますが、詳細は不明です。



27 目川田楽・菜飯 目川立場で商われていた、豆腐に味噌を塗りつけて焼き上げた田楽と飯に菜っ葉を混ぜ込んだ菜飯は名所図会や浮世絵にも取り上げられるほど、東海道の名物として有名なものです。

歴史文化の特徴のテーマⅣ 川と水が紡ぐ村々

栗東の北部は肥沃な扇状地です。耕作のため、野洲川からの取水により水系が整備されました。水と耕作地、集落との関わりは、平野部に広大な信仰圏を持つ大宝神社の祭礼に残されます。

テーマⅣでは3つのストーリーで栗東を語ります。

- ストーリーⅣ－A 水でつながる大宝神社圏
- ストーリーⅣ－B 野洲川と耕地
- ストーリーⅣ－C 金勝川と葉山川



写真 7-8 歴史文化の特徴のテーマⅣの眺望日向山山頂（(多喜山城) から）



写真 7-9 歴史文化の特徴のテーマⅣの眺望
(栗東芸術文化会館さきから)



図 7-12 眺望の位置図

ストーリーⅣ-A 水でつながる大宝神社圏

大宝神社は、疫病神を鎮める牛頭天王を祭神とし信仰を集めました。旧大宝村地域を中心として旧治田村地域や守山市域など、その信仰圏は50ヶ村に及んだとされ摂末社が広範囲に分布しています。地域計画作成に伴う摂末社の調査では栗東市・守山市に24社が確認され、今も地域で守られています。

大宝神社で盛大に行われる5月4日の例大祭は、中世からの伝統を受け継ぐものです。宮座「村生人」が主導してとり行われた祭礼の在り方は、今の大渡しにその姿が残されています。秋に実施される相撲祭は、水利権の争いを子供相撲で解決したとの由来があります。

大宝神社の社叢^{しゃそう}は、人口が集中する大宝地域で歴史文化の核となり、今も人々の憩いの場となっています。



図7-13 ストーリーⅣ-A 水でつながる大宝神社圏の構成要素位置図
(国土数値情報（湖沼、行政区域）令和2年（2020）取得を加工して作成）

表7-15 ストーリーⅣ-A 水でつながる大宝神社圏の構成要素

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
1	大宝神社境内社追来神社本殿	大宝神社	鎌倉	糺	国指定
2	大宝神社境内社稲田姫神社本殿	大宝神社	江戸	糺	市指定
3	大宝神社拝殿	大宝神社	江戸	糺	市指定
4	大宝神社本殿	大宝神社	明治	糺	未指定
5	大宝神社四脚門	大宝神社	江戸	糺	未指定
6	大宝神社狛犬	大宝神社	鎌倉	糺	国指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
7	大宝神社狛犬	大宝神社	鎌倉	総	県指定
8	大宝神社狛犬	大宝神社	鎌倉	総	未指定
9	大宝神社神像	大宝神社	平安～江戸	総	市指定
10	大宝神社文書	大宝神社	鎌倉～近代	総	未指定
11	大宝神社	大宝神社	－	総	未指定
12	大宝神社社叢	大宝神社	－	総	未指定
13	大宝神社例大祭	－	－	総	未指定
14	大宝神社相撲祭	－	－	総	未指定
15	笠川サンヤレ踊り	－	－	笠川	未指定
16	木造阿弥陀如来坐像	佛眼寺	鎌倉	総	市指定
17	古文書	－	－	各地	未指定
18	灯籠	一杵神社	江戸	安養寺	未指定
19	竈	一杵神社	江戸	安養寺	未指定
20	弁財天像	弁天社	江戸	安養寺	未指定
21	木造毘沙門天像	弁天社	江戸	安養寺	未指定
22	竈	天王神社	江戸	上鉤	未指定
23	灯籠	天王神社	江戸	上鉤	未指定
24	手水	泊瀬部神社	江戸	下鉤	未指定
25	灯籠	泊瀬部神社	江戸	下鉤	未指定
26	灯籠	小柿大宝神社	江戸	小柿	未指定
27	狛犬	小柿大宝神社	江戸	小柿	未指定
28	厨子入弁財天十五童子像	弁天社	江戸	小柿	未指定
29	狛犬	弁天社	江戸	小柿	未指定
30	石灯籠	弁天社	江戸	小柿	未指定
31	八幡社社殿	稻荷神社	江戸	笠川	未指定
32	鉄湯釜	八幡神社	江戸	荏原	未指定
33	木柱	唐崎神社	江戸	荏原	未指定
34	鉄湯釜	唐崎神社	江戸	荏原	未指定
35	唐崎神社 灯籠	唐崎神社	江戸	荏原	未指定
36	厨子入阿弥陀如来立像	八幡宮	安土桃山	霊仙寺	未指定
37	厨子台	八幡宮	安土桃山	霊仙寺	未指定
38	大黒天	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
39	浜床	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
40	大將軍社再建棟札	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
41	弁財天社再建棟札	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
42	灯籠	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
43	竈	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
44	手水	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
45	灯籠	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
46	灯籠	八幡宮	江戸	霊仙寺	未指定
47	八幡宮本殿 附棟札	八幡宮	江戸	北中小路	未指定
48	八幡神影	八幡宮	江戸	北中小路	未指定
49	灯籠	八幡宮	江戸	北中小路	未指定
50	灯籠	八幡宮	江戸	北中小路	未指定

【課題】

ストーリーの象徴的な資産である大宝神社では、檜皮葺の社殿が並んでいます。これらは、修理から年数が経っていることから計画的な修理が必要です。特に拝殿屋根に著しい傷みがみられます。

大宝神社で行われている例大祭は、氏子圈が輪番で参加する大規模な祭りですが、秋の相撲祭と併せ、詳細な調査ができていません。大宝神社文書をはじめ貴重な要素がありますが、総合的な調査ができていません。

大宝神社の摂末社では、地域独自の祭礼行事が行われています。人口集中地域ではあるものの、祭礼の担い手不足が深刻です。近年復興したサンヤレ踊りは、新型コロナウイルス感染症対策により活動ができず継承が困難です。

また、大宝神社やその関連の寺社では、貴重な歴史文化要素が数多くありますが、回遊ルートが整備されておらず、パンフレットなどでの情報発信も十分とは言えません。

【方針】

大宝神社では計画的な社殿の修理が必要です。短期的には拝殿屋根の改修に取り組みます。

大宝神社の例大祭や相撲祭などの祭礼の記録化を行ったうえで、計画作成の過程で調査された摂末社をはじめ、大宝神社に関連する歴史文化要素を総括します。さらに大宝神社に関連する歴史文化要素を盛り込んだ、地域を紡ぐ街道マップや看板作成などの情報発信と、団体への支援を進め、地域での盛り上げにつなげるほか、市内外からの訪問者を増やします。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅣ－A 水でつながる大宝神社圏」では、以下の事業を進めていきます。

【財源】

国：国費

県：県費

市：市費

民間：民間資金

表7-16 ストーリーⅣ-A 水でつながる大宝神社圏の事業計画

歴史文化の特徴の テーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考		
			行政	地域	調査 機関	専門 家							
Ⅳ川と水が紡ぐ村々	Ⅳ－A 水でつながる大宝神社圏	121. 大宝神社総合調査★ 古文書、美術工芸品、祭礼、摂末社などの調査とりまとめ。	◎	○	○	◎	↔			見直し	国市	1－①	大宝神社の総合的な調査
		123. 大宝地域の古文書調査 「小地域展」での悉皆調査を実施。	◎	◎	－	○	↔				市		博物館による調査
		124. 大宝神社拝殿屋根葺替★ 大宝神社拝殿の屋根葺替。	◇	◎	－	○		↔			市民間	2－①	建造物の保存修理
		125. 大宝神社文書指定★ 大宝神社文書を整理・公開し、指定して保護。	◎	▽	－	○			↔		市		市の文化財指定
		126. 大宝神社圏の歴史文化を発信するボランティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力情報発信。	◎	◎	○	－		↔			市民間	3－②	団体の支援
		127. 大宝神社圏の観光ルート整備活用（看板・パンフレット）★ 大宝神社に関連する歴史文化資産を集成したパンフレットを作成。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○		↔			市民間	3－⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信
		128. サンヤレ公開 大宝神社例大祭でサンヤレ踊りを奉納（公開）。	○	◎	－	－	↔				民間		

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

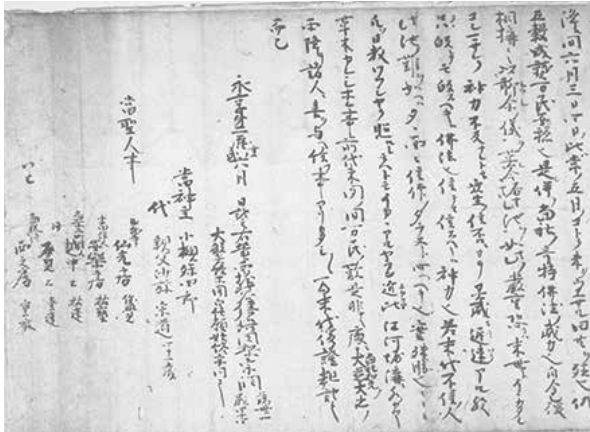
【構成要素の例】



1 大宝神社境内社追来神社本殿 追来神社本殿は良質のヒノキ材で作られた一間社流造で、棟札に弘安6年（1283）棟上の記載がみられ、鎌倉時代の優れた遺構です。



7、8 大宝神社の狛犬 州浜座に蹲踞する阿吽一對の狛犬で、その動きと写実味に富んだ卓抜な表現は、像高50cmに満たない小像とは思えないほどの迫力があります。もとは追来神社に置かれていたもので、鎌倉時代（13世紀）の作品です。



10 大宝神社文書 大宝神社には中世から近代にわたり、一千点を超える古文書・古記録類が伝わります。写真は享永2年（1430）付の雨乞神事紀で、神前読経などの神仏習合が色濃い雨乞いの実態を示すとともに、室町時代における村落と鎮守社との関係を知る好資料です。



13 大宝神社例大祭 疫病を神威によって鎮めたのが起源と伝わる大宝神社の例大祭は毎年5月4日に行われます。江戸時代には宮座組織が主導して祭礼が行われていました。現在、7年に一度の大渡しと呼ばれる神輿渡御にその姿が伝えられます。



14 大宝神社相撲祭 相撲（そうもく）は北中小路と守山市・二町の水利権争いを起したとき、大宝神社の神主が仲裁し両村の子どもに相撲をとらせて引き分けに終わらせた故事に由来し、現在も両村の子どもが三番勝負をし、それぞれ一勝して、行司の待ったで最後に勝負を来年に持ち越します。



16 木造阿弥陀如来坐像 佛眼寺の本堂に安置される阿弥陀如来の坐像で、作風からみて、鎌倉時代（13世紀）の慶派仏師の手になる優れた彫像。仏眼寺は隣接する大宝神社の神宮寺のひとつであったと考えられますが、本像の伝来については不明です。

ストーリーⅣ-B 野洲川と耕地

田畑の灌漑水利の確保は、稲作を主な生業とするその時々の方々に於いて最も重要な関心事でした。栗東の北部の方々では野洲川から引かれた、一ノ井、中ノ井、今井の三用水が各々をつなぎながら耕地を潤しました。中ノ井川は交通路としても利用され蜂屋村までは船が行き通っていました。

野洲川の豊富な伏流水は水田を潤し、井戸水としても使われました。野洲川河川敷はまた、緑肥や飼料にする草を刈る場所として、農業の維持に欠かせないものでした。このほか市内には各所に溜池が構築され灌漑用水とともに漁労にも利用されました。川とともに生きた人々の暮らしは、三輪神社祭礼のドジョウズシや菌神社祭礼のジャコなれずしなどの神饌にも見ることができます。

耕地の拡大や農具改良、肥料などの改良により農業生産は増大しました。加工業も発達し、なかでも友禅などの下絵の染料となる青花紙は中山道沿いの名産となりました。

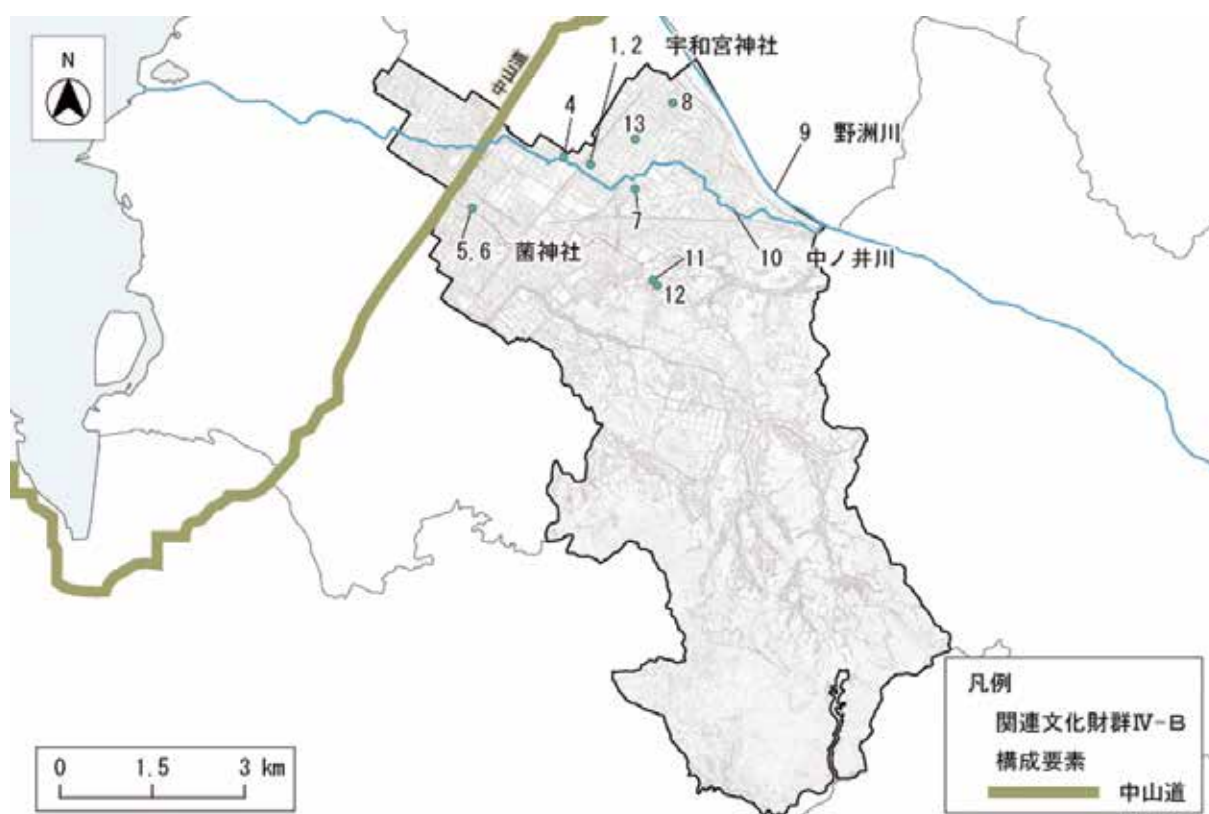


図7-14 ストーリーⅣ-B 野洲川と耕地の構成要素位置図

(国土数値情報(湖沼、行政区画) 令和2年(2020)取得を加工して作成)

表7-17 ストーリーⅣ-B 野洲川と耕地の構成要素

番号	名称(網掛けは分布図には非表示)	所蔵	時代	地域	指定など
1	宇和宮神社本殿	宇和宮神社	室町	蜂屋	国重文
2	宇和宮神社拝殿	宇和宮神社	室町	蜂屋	市指定
3	石造阿弥陀如来像	蜂屋区	鎌倉	蜂屋	市指定
4	日吉神社本殿	日吉神社	江戸	野尻	市指定
5	菌神社本殿	菌神社	江戸	中沢	市指定
6	菌神社の祭礼(ジャコなれずし)	—	—	中沢	未指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
7	三輪神社の祭礼（ドジョウズシ）	－	－	大橋	未指定
8	出庭神社宝塔	出庭神社		出庭	未指定
9	野洲川	－	－	－	未指定
10	中ノ井川	－	－	－	未指定
11	旧中島家住宅	博物館	明治	霊仙寺	国登録
12	一ノ井中ノ井今井井筋絵図（里内文庫）	博物館	江戸	－	県指定
13	宅屋の景観	－	－	宅屋	未指定
14	伝統的建造物	個人	江戸	出庭	未指定
15	古文書	－	－	－	未指定
16	青花紙関連資料	－	近世	－	未指定
17	大宝村ふるさと絵図	大宝ふるさと絵図の会	現代	－	未指定

【課題】

ストーリーを構成する要素の中心は、各地に残された絵図や古文書、地域に伝わる民俗行事です。刻々と変化する栗東において『栗東の歴史』編さん事業で調査された古文書・歴史資料や民俗行事の現状把握が十分にできていません。ドジョウズシなど水系とかかわりが深い食文化が伝承されていますが、記録化と普及が進んでいません。構成要素には神社など貴重な歴史文化要素が数多くありますが、その情報発信は十分とは言えません。

また、平野部は、人口集中地域であるものの、祭礼をはじめとした歴史文化要素の担い手は不足しています。環境変化による歴史文化要素の影響もみられ、特に菌神社などで鳥害（サギ）がみられます。

さらに各地で抱えることができなくなった歴史文化要素を収蔵する博物館では収蔵スペースが不足しています。博物館に移築された旧中島家住宅（旧大宝村）は、屋根の痛みが酷くなっています。また新型コロナウイルス感染症対策により、博物館講座なども実施できておらず、活用が十分とはいえません。

野洲川流域の暮らしぶりを伝えるには近隣市（守山市・野洲市・湖南市）との協働が必要となりますが、これまで十分にできているとはいえません。

【方針】

博物館において定期的に開催されている小地域展と関連し、地域に残る古文書や民俗行事、食文化の悉皆調査を継続します。菌神社などでは鎮守の森の整備を進めます。

博物館では、古地図や古文書、農具をはじめとした民具が収蔵・寄託されており、今後良好な状態で保管していくための施設を維持拡充します。また、収蔵品を中心に、テーマを決めて展示公開します。野洲川流域や中山道沿いの暮らしぶりは、近隣自治体とも協働して情報発信します。博物館に移築されている旧中島家住宅では、平野部の農家の暮らしを体験でき、博物館教室や博物館講座を継続して実施するほか、市民の交流の場とします。また市民学芸員が主体となって民具などを研究し、その成果をワークショップなどで広めます。

また、地域での盛り上げや、市内外からの訪問者を増やすため、歴史文化要素を盛り込

んだパンフレット作成などの情報発信と、団体への支援を進めます。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅣ－B 野洲川と耕地」では、以下の事業を進めていきます。

【財源】

国：国費 県：県費
市：市費 民間：民間資金

表7-18 ストーリーⅣ-B 野洲川と耕地の事業計画

歴史文化のテーマ	関連文化財群 (ストーリー)	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門 家						
Ⅳ川と水が紡ぐ村々	Ⅳ－B 野洲川と耕地	129. 地域伝統食の記録★ 地域伝統食メニューの調査を実施し、祭礼の神饌（ドジョウズシ、ジャコズシ、ごぼうの煮物など）の記録化。	◎	◎	-	○				市民間	1-①	地域伝統食の記録化
		130. 大宝・治田・葉山地域の民俗行事現況調査 「小地域展」での悉皆調査を実施。	◎	○	-	○				市	1-①	博物館による調査
		131. 大宝・治田・葉山地域の古文書調査 「小地域展」での悉皆調査を実施。	◎	◎	-	○				市	1-①、②	
		132. 綿の研究 市民学芸員の会綿綿くらぶで、機織りまでの復元的研究を実施。	○	◎	-	-				市民間	1-②	市民による調査研究
		133. 地域伝統食の継承★ 地域伝統食メニューの継承活動に努め、祭礼の神饌（ドジョウズシ、ジャコズシ、ごぼうの煮物など）の情報発信。	◎	◎	-	○				市民間	2-①	地域伝統食文化の継承
		134. 鎮守の森の環境整備 菌神社で鳥害対策として環境整備を実施。	◎	○	-	-				国県市 民間	2-①	環境整備
		135. 旧中島家住宅の保全 大宝地域の暮らしぶりをのこす旧中島家住宅（移築）の屋根葺替（前期）と環境整備。	◎	○	-	-				国市		旧中島家住宅の保全
		136. 民具・古文書収蔵施設としての博物館の整備 空調機更新、防災監視盤などの更新、屋根・外壁などの改修、エレベーター更新し、民具などの資料を良好な保管環境で管理。	◎	-	-	○				国県市	2-④	歴史文化要素保管・管理
		137. 旧中島家住宅を利用した歴史文化発信の場づくり 「かまどめしを炊こう」事業の開催やコンサートの開催。	◎	◎	-	-				市民間	3-①、②、④	地域の場づくり
		138. 大宝地域の歴史文化要素を発信するボランティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成や市民団体への支援・協力 情報発信。	◎	◎	○	-				市民間	3-②	団体の支援
		139. ロケ地活用 野洲川の自然を活かしたロケ地の活用。	○	◎	-	-				市民間		
		140. 大宝村ふるさと絵図活用★ 昭和20～30年代の暮らしを記録した絵図を用いた世代間交流の実施。	◇	◎	-	○				市民間	3-⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信
		141. 大宝地域を紡ぐ観光ルート整備活用（看板・パンフレット） 大宝地域を紡ぐ街道マップを作成。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○				市民間		

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

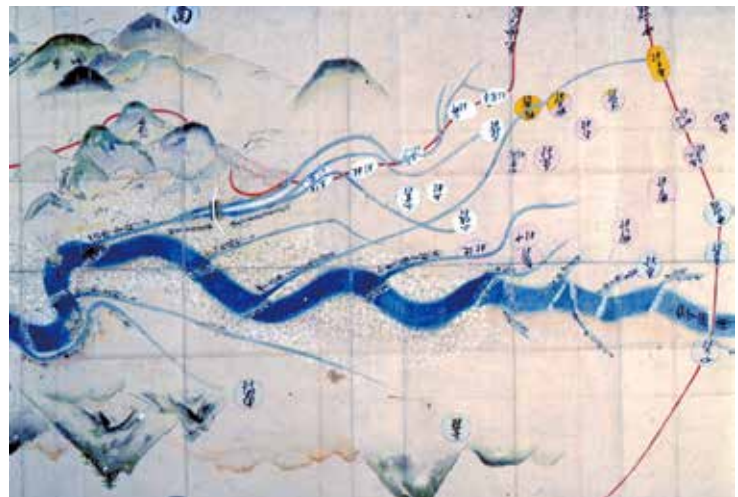
○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



3 石造阿弥陀如来像 中ノ井川の川筋（蜂屋）に安置されています。像の周囲に仁治2年（1241）に造立され、願主が供養料田として田地を寄進するとの内容の刻銘があり、鎌倉時代中期の信仰形態の一端を知ることができます。



12 一ノ井中ノ井今井井筋絵図 野洲川からの農業用水としての引水は、一ノ井・中ノ井・今井の3つの用水に分かれ、それぞれ井組と呼ばれる水利組合が組織され、管理にあたっていました。この図は流域の各村のそれぞれが属する井組ごとに色分けして描かれています。



11 旧中島家住宅 霊仙寺集落に所在し、現在、博物館に移築されている旧中島家住宅は、屋根は入母屋造茅葺きの四面が棧瓦葺の庇で、田の字型四間取りと呼ばれている間取りの居室を持つ、農家住宅の代表的な一類型。建造年代は明治時代初期と推定されています。



9 野洲川 湖南の扇状地を形成する野洲川はかつて近江太郎と呼ばれる暴れ川でしたが、野洲川から取水する中ノ井川などは市内平野部を潤し豊かな恵みを生み出し、栗東の歴史文化を形成する基盤となっています。



7 ドジョウウシ 大橋の三輪神社の春季大祭に神饌として供えられるもので、全国的に類を見ないドジョウとナマズのなれずしです。生業の生命線である水を象徴する、周辺でとれる魚を神饌として氏神に供えることで、豊作への願いと祈りを表現しています。



5 菌神社 菌神社は草平社もしくは草平大明神とも記され、「くさびら」と読みます。『近江栗太郡志』に収録されている棟札によれば嘉暦四年（1329）の本殿棟上と延文4年（1359）の再建を伝えますが、現存の本殿は元禄4年（1691）に新たに再建されたものです。

ストーリーⅣ-C 金勝川と葉山川

金勝山系は大部分が風化しやすい花崗岩からなっており、金勝地域を中心に、山崩れなどの災害が頻発しました。また中流域以降には、堤防の決壊などの災害との戦いがありました。耕作地を維持しつつ流出した土砂を盛り上げて堤防とした結果、明治時代には金勝川や葉山川の中流域から下流域が天井川化していたことがわかります。また、金勝川上流や支流には人々の知恵を結集した砂防堰堤が築かれます。

平成25年（2013）には安養寺山で山崩れがありました。その山裾に位置し面前に金勝川が流れる五百井神社は式内社ですが、山崩れにより倒壊してしまいました。倒壊した本殿からは、地域の人々の手により神像と狛犬が救出されました。平成30年（2018）には、本殿が再建され、地域の結びつきを強めました。

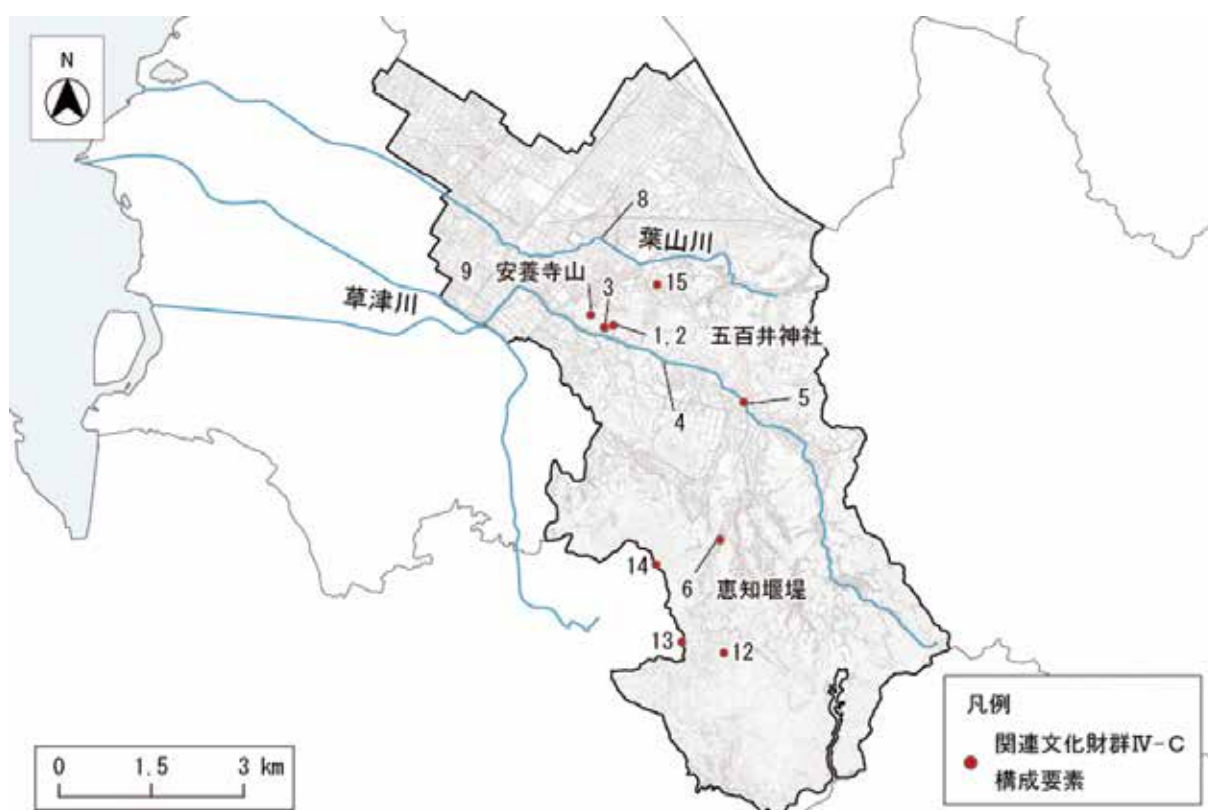


図7-15 ストーリーⅣ-C 金勝川と葉山川の構成要素位置図
(国土数値情報（湖沼、行政区画）を加工して作成)

表7-19 ストーリーⅣ-C 金勝川と葉山川の構成要素

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
1	神像	五百井神社	平安	下戸山	県指定
2	狛犬	五百井神社	室町	下戸山	未指定
3	マンガン鉱	—	明治～昭和	下戸山	未指定
4	金勝川	—	—	—	未指定
5	中村堰堤	—	明治	御園	未指定
6	恵知堰堤	—	大正	片山	未指定
7	黒岩砂防堰堤	—	大正	荒張	未指定

番号	名称（網掛けは分布図には非表示）	所蔵	時代	地域	指定など
8	葉山川	－	－	－	未指定
9	安養寺山	－	－	－	未指定
10	砥石（砂岩ホルンフェルス）	市教委	各時代	－	未指定
11	古文書	－	－	各地域	未指定
12	竜王山	－	－	荒張	未指定
13	天狗岩	－	－	荒張	未指定
14	鶏冠山	－	－	荒張	未指定
15	里内文庫	博物館	室町～近代	－	県指定

【課題】

ストーリーを構成する要素の核は、金勝山系と天井川であり、人々の自然との戦いです。こうした記録は『栗東の歴史』編纂事業において調査された古文書にも残されていますが、把握調査ができていません。また、流域の地質調査もできていません。砥石に使用される砂岩ホルンフェルス（梨目砥²²）をはじめ、鉱物の詳細な調査もできていません。

天井川は貴重な歴史文化要素ですが、同時に水害をもたらす可能性がある危険性を持っており、順次平地化が進められています。このため、近世・近代の暮らしに直結した水利とその争い、災害の歴史や土木工事を知る上での記録保存を進めなければ記憶から失われていきます。

また、災害の歴史を知る貴重な歴史文化要素である天井川や五百井神社の情報発信ができていません。

【方針】

博物館において定期的に小地域展を開催し、災害が記録された古文書・歴史資料の掘り起こしを行います。また、天井川の記録保存や地質・鉱物の調査など、県内の自然史系博物館、河川関係部所と協働して実施します。

さらに市の水利と災害、砂防など土木の歴史と今後の災害に備えるうえで欠かせない要素としてパンフレット作成などの情報発信を進めます。

【措置】

課題解決に向けた方針に基づき、「ストーリーⅣ－C 金勝川と葉山川」では、以下の事業を進めていきます。

²²木内石亭『雲根志』（安永2年（1773）、安永8年（1779）、享和元年（1801））に記載がある。遺跡調査では縄文時代から砥石として使用されていることがわかっている。

表7-20 ストーリーⅣ-C 金勝川と葉山川の事業計画

【財源】

国：国費

県：県費

市：市費

民間：民間資金

歴史文化の特徴のテーマ	関連文化財群（ストーリー）	措置 (ピンクの塗りは重要項目) ★は新規	取り組み主体				前期 令和4 ～6年 (2022～ 24)	中期 令和7 ～9年 (2025～ 27)	後期 令和10 ～11年 (2028～ 29)	財源	備考	
			行政	地域	調査 機関	専門家						
Ⅳ 川と水が紡ぐ村々	Ⅳ-C 金勝川と葉山川	142. 天井川・堰堤調査、記録化★ 聞き取り調査や地域の古写真などの掘り起こしを実施。古文書の記録とも合わせ、総合的に天井川の形成を調査。	◎	○	○	◎			⇄	市	1-①	大学などの専門家と協働した調査
		143. 鉱物調査 地質調査★ 金勝川上流から下流までの地質調査を実施。	◎	○	-	◎		⇄		市	1-①	大学などの専門家と協働した調査
		144. 災害史に関連する古文書・歴史資料調査「小地域展」での悉皆調査を実施。	◎	◎	-	○	⇄			市	1-①	博物館による調査
		145. 金勝川・葉山川の自然と歴史を発信するボランティア・市民団体の育成・支援 ボランティアガイドの育成。市民団体への支援・協力。情報発信。	◎	◎	○	-			⇄	市民間	3-②	団体の支援
		146. 金勝川・葉山川の自然と歴史をめぐる観光ルート整備活用(看板・パンフレット)★ 水利や土木の歴史や今後の災害に備える上で欠かせない要素として観光ルートの設定や整備。ウォーキングの企画。	◎	○	▽	○			⇄	市民間	3-⑤、⑥	市内へのアピール、市外への情報発信

重要項目

【取り組み主体】

◎：実施主体

◇：補助金など支出など

▽：積極的な協力

○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

【構成要素の例】



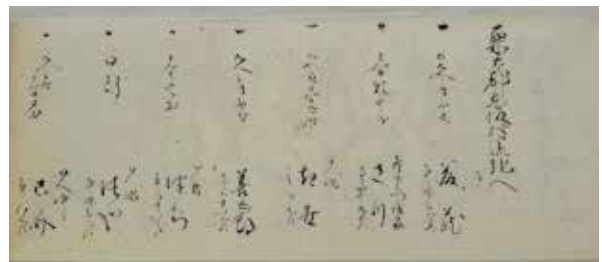
3 天狗岩 花崗岩を主体とする金勝山は風化の度合いによって巨石群が突出するような山頂を形成しています。また、尾根には大きな岩塊の突出地が点在しており、その周辺に樹木が疎らに生えて独特の景観を呈しています。



6 恵知堰堤 中下流域が天井川化する金勝川には明治以降、上流部に治水を目的とした堰堤が築かれました。



8 葉山川 天井川は水源である山地の開発・荒廃による流砂で、河床が上昇し、それを下げたための川浚えを繰り返し、その砂を積み上げて集中させていったことにより堤防が高くなり、川が人家の屋根近くの高さを流れるという独特の景観を生み出しました。



15 宝暦六年の災害の記録（里内文庫資料） 宝暦6年（1756）に近畿一帯を襲った暴風雨により観音寺村で発生した山津波は、隣接する東坂村を襲い、19名もの死者を出す大惨事となりました。本資料には、東坂村での被害状況、死亡者の一覧が記されています。



9 安養寺山 南部の山地と北部の平地の間に位置する独立丘陵で、北側には丘陵に沿って名神高速道路が通過し、その工事の際に発見された安養寺古墳群はじめ、山腹・山麓には多くの古墳が分布しています。



1 五百井神社神像 平安時代の作であるこの神像は、以前は実態が不明でしたが、平成25年（2013）の台風18号による山崩れにより倒壊した、五百井神社本殿から神社関係や地元の人々の懸命な努力によって救出され、詳細が明らかになるという経緯を持っています。

第8章 歴史文化要素における防災・防犯

- 1 現状と課題
- 2 方針
- 3 措置
- 4 推進体制

第8章 歴史文化要素における防災・防犯

1 現状と課題

栗東市では、これまでに台風や局地的豪雨による水害や土砂災害、地震などの自然災害によって歴史文化要素が被害を受けています。

特に近年では、気象の変化や森林管理者の不足によって落雷や倒木、土砂崩れなどの災害が頻発しています。平成25年（2013）には台風18号による土砂崩れによって、五百井神社の本殿や拝殿が被害を受けました。今後も、山地や森林に隣接した寺社などで、落雷や倒木、土砂崩れによる被害が懸念されます。

また、地震などによる歴史的建造物への被害も発生しています。こうした建造物は耐震工事が施されていないことが多く、避難訓練などの対策を講じたうえで、大規模な修理がある場合は耐震工事を行っていかねばなりません。重要文化財の大角家住宅では屋根などの劣化が進んでおり、屋根瓦の落下などの恐れがあります。



写真8-1 防火訓練（日吉神社・野尻）

歴史文化要素の防火対策としては、『栗東市地域防災計画』の文化財災害予防対策に基づき、湖南広域消防局や所有者・管理者、自治体と連携し、1月26日の文化財防火デーの前後に文化財防火運動として防火訓練を行うほか、消防署とともに防火査察をしています。また、指定等文化財の消防設備の設置・改修・点検を行い、火災に備えています。しかし未指定等文化財を含む全ての歴史文化要素に対しては、防災の体制整備や措置、意識の醸成を十分に行えていたとはいえません。

いざ災害が起こったときに、地域の歴史文化要素をどう救出し守っていくかは、消防や庁内、さらには近隣自治体の方々とともに、リスクマネジメントを考え、訓練を行っていかねばなりません。

歴史文化要素の防犯対策の面では、これまで地域で守り伝えられてきた身近な歴史文化要素が盗難の被害にあっている例があります。盗難防止のため、博物館で保管しているものも数多くありますが、博物館の収蔵スペースがひっ迫しています。また防犯防災体制の強化が急務となっています。

さらに近年では、氏子や檀家などの減少や高齢化によって担い手が不足しつつある中、感染症対策などによって従来の地域活動が制限されることによる地域力の低下も防災・防犯上の課題となっています。祭礼などの伝統行事は、存続そのものが危機的な状況です。

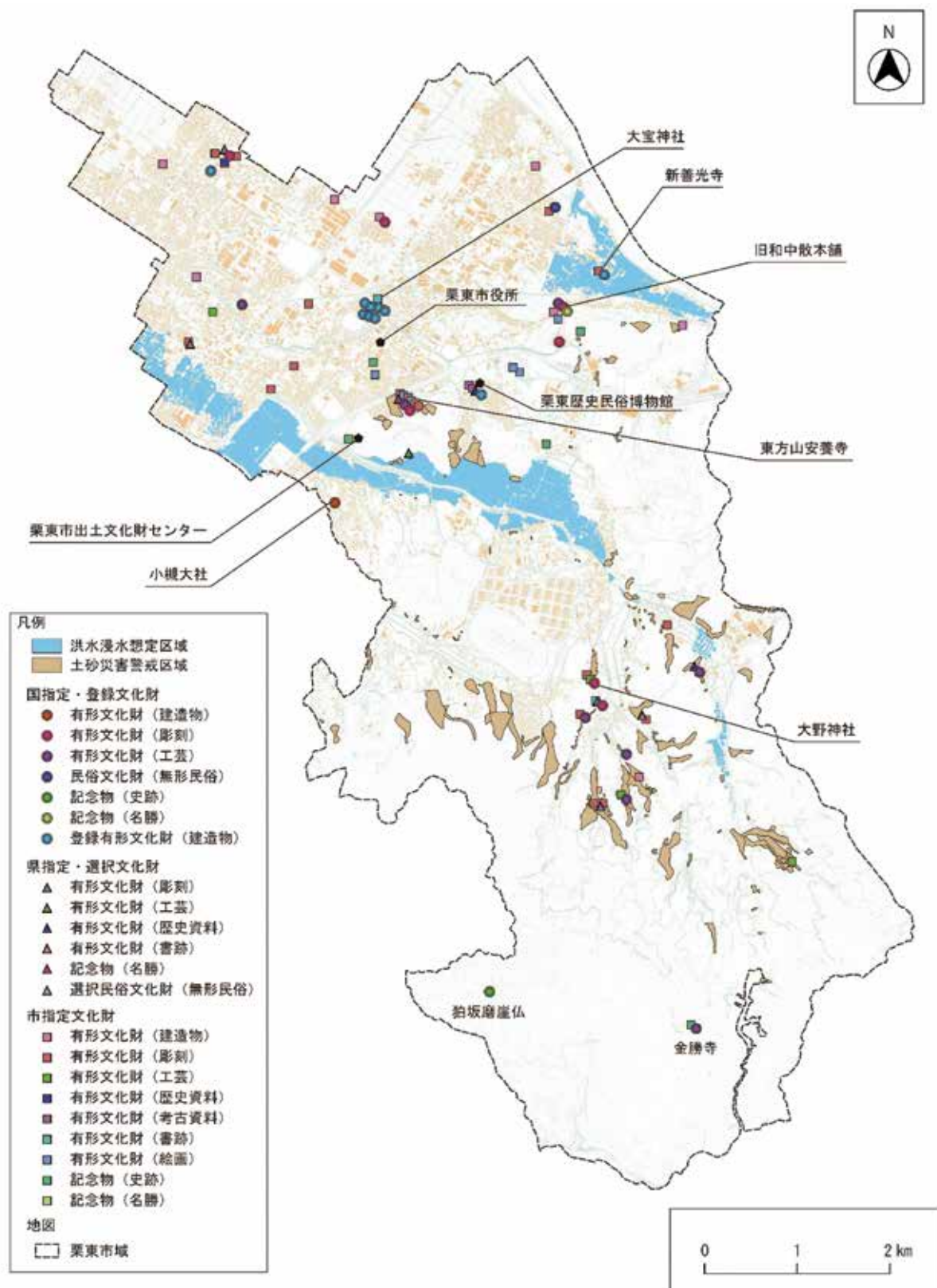


図8-1 指定等文化財の分布と想定浸水・土砂災害警戒区域図

(国土数値情報(行政区域データ)令和2年(2020)取得、滋賀県防災情報マップ
令和3年(2021)取得 を加工して作成)

2 方針

災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第42条の規定に基づく『栗東市地域防災計画（令和2年（2020）3月）』では災害発生時に、被害を最小化する「減災」の考え方を基本としています。歴史文化要素においては現況を把握し、予想される災害への予防対策や設備の推進とともに、防災マニュアルの作成、防災設備の設置・点検、訓練や現地指導を行っています。

取り組みを進めるにあたっては、栗東の歴史文化要素の価値を発信しながら、地域・所有者・消防・近隣自治体などと連携していきます。

- ・ 歴史文化要素の現況把握を行い、写真などでの記録化を図ってリスト化し、災害や盗難などの万が一の危機に備えます。
- ・ 歴史文化要素の周辺環境をハザードマップなどで確認して、危険個所の把握調査を進めます。必要な場合には周辺環境整備などを検討し、適切な工事を実施します。
- ・ 文化庁が定めた「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」令和元年（2019）に基づく「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」、「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づいて、文化財や文化財の収蔵施設の現状把握、設備の点検、歴史文化要素の特性に応じた設備の検討・整備などの防火対策を実施します。
- ・ 地域や歴史文化要素に即し、その取り扱い方法、連絡・連携体制、避難経路、緊急時の連絡網などを把握した防災マニュアルを作成し、定期的なパトロールを実施します。
- ・ コアとなる歴史文化要素（旧和中散本舗・大角氏庭園）では、個別の文化財保存活用計画を策定し、詳細な体制を取り込んだ防災計画を記載します。
- ・ 定期的な防災訓練、避難訓練の実施により防災体制を確認し、万が一の災害に備えます。また、地域や市が一体となって定期的な巡回を行い、状況を確認し盗難などに備えます。地域での保護体制が整わない場合、博物館での保管を行う必要があるため、博物館での受け入れ態勢を整備します。
- ・ 地域が主体となって行う祭礼など、無形の歴史文化要素は、コロナ禍における継承・存続のため、調査や記録化を行いながら、補助金などの支援や情報発信などを進めていきます。
- ・ 市民の歴史文化への理解を深め、歴史文化要素などを守る意識を醸成します。
- ・ 大規模な災害に備え、市域を超えた広域での防災体制の整備を行い、レスキュー体制を検討します。

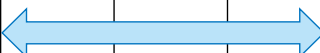
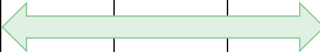
3 措置

2の方針に基づき、歴史文化要素の防災・防犯の取り組みとして以下の事業を行います。

表8-1 歴史文化要素の防災・防犯の事業計画

【財源】

国：国費 県：県費
市：市費 民間：民間資金

事業名 ★は新規	前期 令和4～6年 (2022～24)	中期 令和7～9年 (2025～27)	後期 令和10～11年 (2028～29)	取り組み主体				財源	
				行政	地域	機調 関査	専門 家		
147. 災害時に対応できる歴史文化要素状況把握事業 栗東市内の歴史文化要素の所有者や管理者に現況等を聞き取りした上で、現況を把握するとともに写真などで記録しリスト化。紙台帳での整理。				見 直 し	◎	▽	○	○	市
148. 危険個所の把握調査★ 土砂災害警戒区域、地域の安全度マップで歴史文化要素の立地を確認するなど、周辺の環境を把握。何らかの対策を講じる必要がある場合には、適切な対応を検討し、伐採や改良工事、避難経路の明示などの周辺環境整備などを適宜実施。					◎	▽	○	▽	市
149. 歴史文化要素の周辺環境整備★ 既に自然災害による倒木などによって歴史文化要素に被害がおよぶことが想定されている寺社などで、樹木伐採計画の検討やその実施。 (前期) 小槻大社（中期）吉祥寺（後期）菌神社					◎	◎	—	▽	県市 民間
150. 文化財センター地盤改良工事★ 地盤の調査を実施し、得られた結果をもとに改良工事を実施。					◎	—	◎	—	市国 県
151. 指定文化財防災設備の点検と改修・更新 指定文化財に設置された防災設備の点検の実施。また、その結果により不良個所の改修や機器の更新。 (前期) 敬恩寺防災施設改修					◇	◎	—	○	国県市 民間
152. 指定文化財建造物・史跡内建造物の防災対策 「旧和中散本舗保存活用計画」を策定し、計画に基づき、防災に配慮した建造物の保存修理を実施。					◎	◎	—	▽	国県市
153. 歴史文化要素の防災・防犯体制の整備 緊急時を想定した避難経路の検討や避難訓練、連絡先の共有を行い、マニュアルを作成。また、防火訓練や防火査察についての継続的な実施。さらに、歴史文化要素のレスキュー体制について検討。 地域の管理体制が整うまで歴史文化要素の避難施設として博物館の収蔵施設拡充。 (全期間) 避難訓練、避難経路明示、連絡網整備、歴史文化要素のレスキュー体制の検討（★） (全期間) 防火訓練、防火査察の継続					◎	◎	○	▽	国県市 民間
154. 歴史文化要素のパトロール実施 (第6章 措置21) 歴史文化要素の現況を把握。災害や盗難などの被害も想定しながら、巡回ルートや頻度を検討・実施。					◎	◎	○	○	市 民間
155. 歴史文化への防災・防犯意識の醸成 地域の歴史文化を守る意識を醸成するため、歴史文化の理解を深める講座などを実施。					◎	○	▽	▽	市
156. 民俗文化財の記録化と継承 (前期) 小杖祭りの動画発信（★） (中期) 無形文化財の調査、記録化（★） (全期間) 補助金などの支援				◎	◎	—	▽	国県市 民間	

【取り組み主体】

◎：実施主体
◇：補助金など支出など
▽：積極的な協力
○：協力

※調査機関は（公財）栗東市スポーツ協会、専門家は大学を含む

4 推進体制

歴史文化要素の日常管理においては、各自治会や所有者、文化財に関連する市民団体と協働して定期的な防災設備の点検、防災・防犯の訓練、パトロールなどを行います。

歴史文化要素が被災した場合は、『栗東市地域防災計画』に基づき、所有者などの発見者が消防署などに通報し、被害の拡大防止に努めます。そのうえで関係機関と協力し、速やかに歴史文化要素の被害状況を調査し、市教育委員会スポーツ・文化振興課に報告します。また広域災害の場合は湖南4市（栗東市のほか、草津市・守山市・野洲市）や文化財レスキューなどを含めた関係機関で協力して、被災した文化財の応急措置を検討・実施します。市教育委員会スポーツ・文化振興課では被災結果を取りまとめ、県指定等文化財の場合は県へ、国指定等文化財は県を経由して文化庁へ報告します。

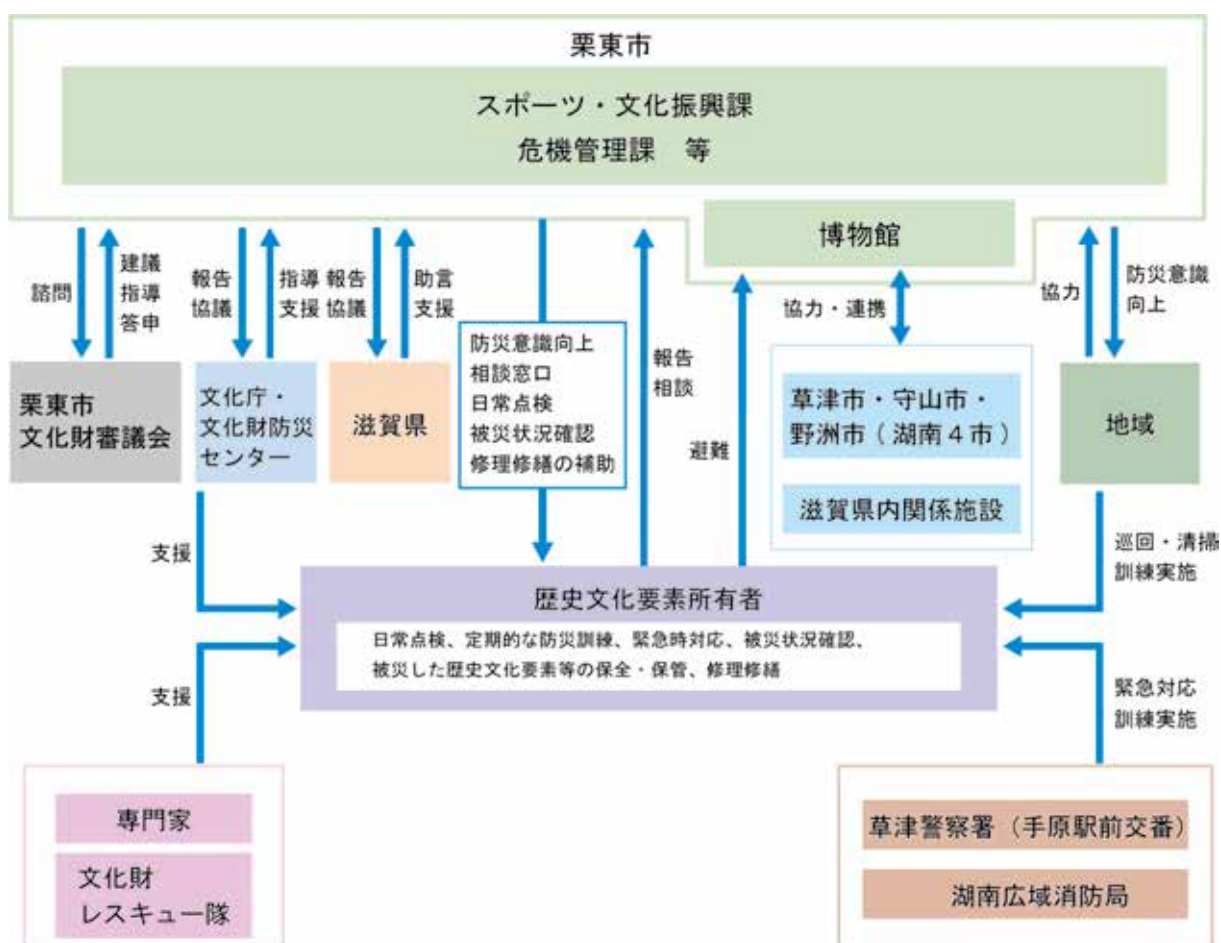


図8-2 防災・防犯の推進体制

第9章 保存・活用の推進体制

- 1 事業実施に向けた庁内運営体制
- 2 事業実施に向けた市民などとの協働体制
- 3 周辺自治体との協力体制

第9章 保存・活用の推進体制

1 事業実施に向けた庁内運営体制

事業実施にあたっては、栗東市教育委員会教育部スポーツ・文化振興課と博物館を中心として、文化庁や滋賀県に報告・協議し、指導・助言を仰ぎながら、関係部局と連携・協力して事業を進めていきます。

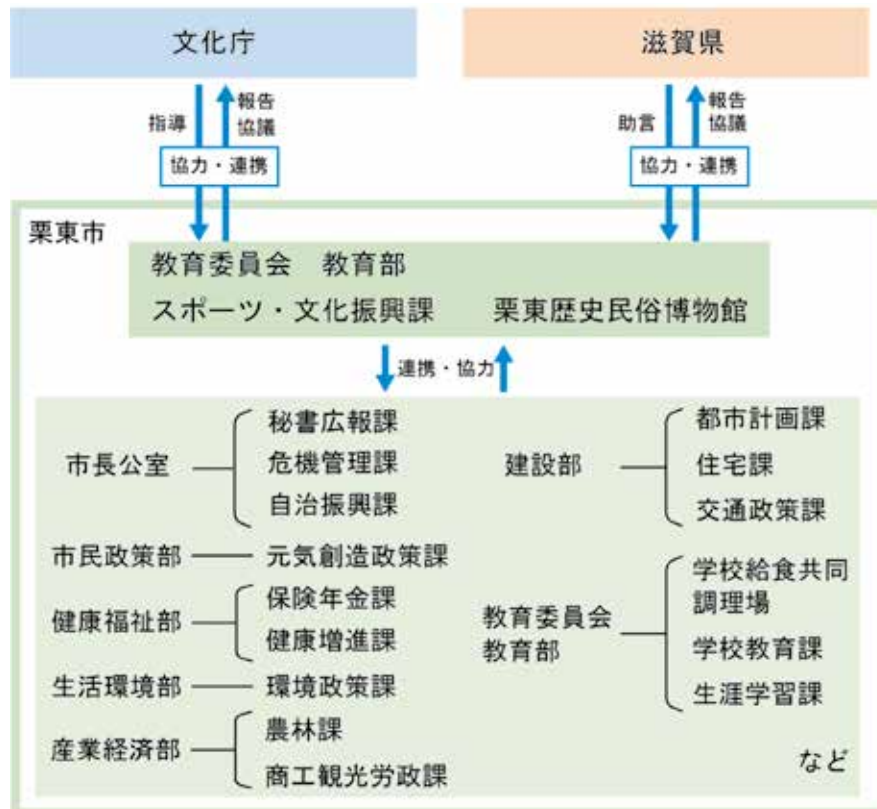


図9-1 事業実施に向けた庁内運営体制

表9-1 栗東市庁内関連部局（令和4年（2022）3月時点）※職員数は時点で記載

	部 局	課	業務内容	職 員
事務局	教育委員会 教育部	スポーツ・文化 振興課	歴史文化要素・歴史文化資産の調査・ 保存・活用に関わる全般、出土文化財 センターの管理運営	5名（埋蔵文化財 の専門職員3名）
		歴史民俗博物館	歴史文化要素・歴史文化資産の調査、 展覧会開催、博物館の管理運営業務	8名 （学芸員2名）
関連部局	市長公室	秘書広報課	広報による情報発信、市の魅力発信	
		危機管理課	危機管理の推進、総合防災	
		自治振興課	地域コミュニティの充実、協働による まちづくりの推進、市民団体の支援	
	市民政策部	元気創造政策課	総合計画や重要施策の企画・調整、 馬事業の推進	

	部 局	課	業務内容	職 員
関連部局	健康福祉部	保険年金課	健康づくり事業での歴史文化の活用	
		健康増進課	健康増進事業での歴史文化の活用、伝統食の継承	
	生活環境部	環境政策課	史跡などの歴史文化要素の環境整備	
	産業経済部	農林課	農林業の振興による景観保持、鳥獣害防止対策	
		商工観光労政課	観光振興、商工業の振興、観光案内所の運営	
	建設部	都市計画課	都市計画に関する全般、景観まちづくり、都市公園の維持管理	
		住宅課	空き家対策、市施設の改修	
		交通政策課	コミュニティバス（タクシー）の運営及び民間バス会社との連絡調整	
	教育委員会 教育部	学校給食共同調理場	おでん給食（目川立場の名物菜飯田楽）など、地域伝統食の普及、食育	
		学校教育課	学校教育に関する全般	
		生涯学習課	歴史文化を活用した講座の充実	

2 事業実施に向けた市民などとの協働体制

事業実施に向け、市民などとの協働体制を以下の図に整理しました。埋蔵文化財の発掘調査などについては（公財）栗東市スポーツ協会や（公財）滋賀県文化財保護協会と協力・連携しながら進めていきます。

また、所有者や地域住民、学識経験者、学術機関、民間事業者、市民団体とも協力・連携していきます。

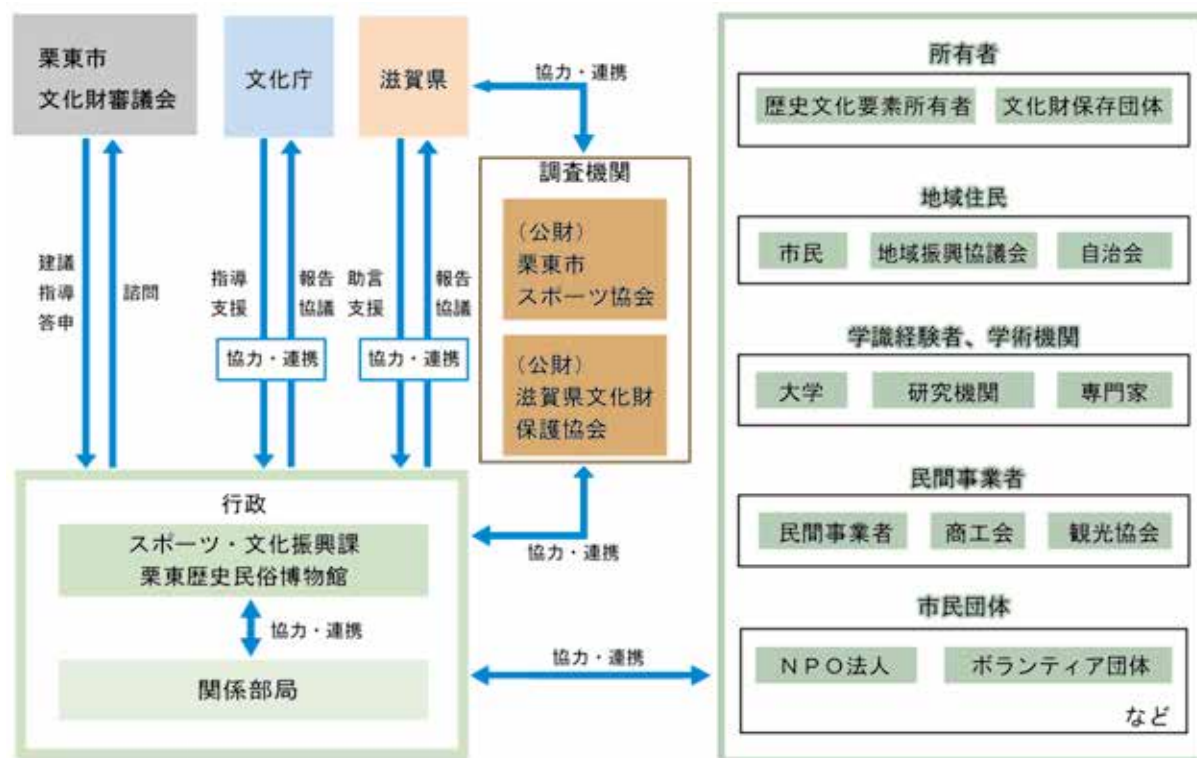


図9-2 事業実施に向けた関係各所などとの協働体制

表9-2 関係機関との連携

	名 称	備 考
行政機関	文化庁	
	滋賀県	
	近隣の自治体	大津市、草津市、湖南市、野洲市、守山市
	湖南広域消防局中消防署	
調査機関	公益財団法人栗東市スポーツ協会	
	公益財団法人滋賀県文化財保護協会	
学識経験者、学術機関	滋賀県立琵琶湖博物館	
	滋賀県立大学	
	滋賀大学	
	京都大学	
	京都橘大学	
	龍谷大学	

	名 称	備 考
関係団体	地域振興協議会	9 協議会
	自治会	124自治会
	文化財保存団体	小杖祭り保存会
		上砥山田楽踊保存会
		御園太鼓踊保存会
		サンヤレ踊り保存会など
	市民団体	NPO法人くらすむ滋賀
		こんぜ清流米研究会
		明日の走井を考える会
		手原SL同好会
		栗東市ボランティア観光ガイド協会
		NPO法人街道をいかしたまちづくりの会
		大宝村ふるさと絵図の会
		安養寺景観まちづくり協議会里山部会
		栗東古文書研究会
		栗東音楽振興会
		栗東市文化協会
		金勝の歴史を語ろう会
		栗東ふぁざ〜ず倶楽部
		栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会

3 周辺自治体との協力体制

歴史文化の保存と活用に関する周辺自治体との協力体制を以下の図に整理しました。旧栗太郡や防災、旧街道、遺跡などの関連などで関わりが深い、大津市、草津市、湖南市、野洲市、守山市とそれぞれ連携を図っていきます。



図9-3 周辺自治体との協力体制（国土数値情報（湖沼、行政区域）を加工して作成）

表9-3 周辺自治体との協力体制

	協力体制
伊勢・下鉤遺跡をめぐり連携	守山市
旧栗太郡での連携	大津市、草津市、守山市
古代の官衙と生産遺跡をめぐり連携	大津市、草津市
街道文化をめぐり連携	大津市、草津市、湖南市、野洲市、守山市
サンヤレ踊りでの連携	草津市
大宝神社信仰圏をめぐり連携	守山市
湖南4市による防災連携	草津市、野洲市、守山市

巻末資料

- 1 栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱
- 2 自然災害
- 3 計画作成に伴うアンケート結果（小中学校）
- 4 計画作成に伴うアンケート結果（自治会）
- 5 計画作成に伴うアンケート結果（意識調査）
- 6 これまでの調査・研究成果
- 7 歴史文化要素リスト
- 8 歴史文化要素リストの出典資料

1 栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱

栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱

(設置)

第1条 文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成30年法律第42号）による改正後の文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づき、栗東市文化財保存活用地域計画（以下「計画」という。）を策定するにあたり、栗東市文化財保存活用地域計画策定協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(組織及び役割)

第2条 協議会は、次号に掲げる事項について、指導及び検討を行うものとする。

(1) 計画の策定に関すること

(2) その他計画に関すること

(委員)

第3条 委員会は、次に掲げる者のうちから栗東市教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 文化財審議委員

(3) 文化財所有者

(4) 商工に係る機関・団体の関係者

(5) 観光に係る機関・団体の関係者

(6) 市民の代表者

2 協議会に会長及び副会長を置き、会長は委員の互選、副会長は会長の指名によりこれを定める。

3 会長は、会務を総括し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたとき、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、計画の策定が完了するまでとする。

(会議)

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。

2 会議の円滑な運営を図るため、連絡調整機関として栗東市文化財保存活用地域計画策定連絡会議（以下「連絡会議」という。）を設置する。

3 連絡会議は、計画に基づき文化財保護を推進する関係課の職員をもって構成する。

4 連絡会議の委員は、教育長が指名する。

(庶務)

第6条 協議会及び連絡会議の庶務は、教育委員会スポーツ・文化振興課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

2 自然災害

表1 栗東市の主な風水害

(栗東市地域防災計画 資料編p33～34より作成、一部改変)

発生年	被害原因	被害状況
宝暦6年 (1756)	山津波	被害域：観音寺村（金勝）及び金勝川水系の村々 死者19名
明治29年 (1896)	豪雨（9月）	被害域：栗太郡 死者1人、負傷者1人 住家流出30戸、住家全壊162戸、非住家全壊46戸、住家半壊174戸、非住家半壊51戸、家屋破壊1889戸、床上浸水2950戸、床下浸水734戸
大正10年 (1921)	台風（9月25日～26日）	被害域：栗太郡 住家全壊19戸、住家半壊7戸、非住家全壊57戸、非住家半壊25戸、住家破損75戸、非住家破損150戸、田702反、道路決壊・破損6箇所
昭和9年 (1934)	室戸台風（9月21日）	被害域：栗太郡 死者21人、重傷者36人、軽傷者187人 住家全壊187戸、住家半壊197戸、非住家全壊362戸、非住家半壊284戸
昭和40年 (1965)	梅雨前線 (7月6日～7日)	被害域：県南部～南西部 県の南部から南西部にかけて90mm以上の大雨 南部の小河川の氾濫が多く、特に葉山川が破堤し、人家、耕地に被害。
昭和43年 (1968)	大雨（7月2日～7日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水120戸、栗東信楽線・水田浸水、農業用頭首工流出、水路埋没、道路法面崩壊
昭和43年 (1968)	台風10号（8月25日～26日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水14戸、金勝川の堤防欠損、水田、水路の埋没
昭和44年 (1969)	大雨（6月25日～26日）	被害域：栗太郡栗東町 水田、畑の浸水、浸水
昭和44年 (1969)	大雨（7月3日～11日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水13戸
昭和44年 (1969)	大雨（8月1日～2日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水10戸
昭和44年 (1969)	大雨（6月14日～15日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水14戸、溜池に被害。
昭和46年 (1971)	大雨（7月22日～27日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水30戸、林道に被害。
昭和49年 (1974)	大雨（7月24日～25日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水10戸、頭首工、水路に被害。
昭和50年 (1975)	台風6号（8月21日～23日）	被害域：栗太郡栗東町 畦畔崩壊
昭和50年 (1975)	大雨（9月23日）	被害域：栗太郡栗東町 畦畔崩壊

発生年	被害原因	被害状況
昭和51年 (1976)	梅雨前線豪雨（6月9日）	被害域：栗太郡栗東町 水稲、農業用施設、林道に被害。
昭和54年 (1979)	台風16号 (9月30日～10月1日)	被害域：栗太郡栗東町 住家の一部損壊6棟、道路1箇所
昭和55年 (1980)	前線豪雨 (7月23日～24日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水15棟
昭和55年 (1980)	豪雨（8月26日～27日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水6棟
昭和56年 (1981)	集中豪雨（7月21日）	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水25棟、水田流出・埋没、農業用施設に被害。
昭和57年 (1982)	台風10号（8月1日～2日）	被害域：栗太郡栗東町 住家一部破損2棟、床上浸水30棟、床下浸水44棟、田 の流出・埋没0.79ha、浸水77.21ha、畑の浸水0.66ha、 道路12箇所、河川3箇所、崖崩れ44箇所
昭和58年 (1983)	台風10号 (9月27日～28日)	被害域：栗太郡栗東町 道路3箇所
昭和58年 (1983)	大雨（6月20日～21日）	被害域：栗太郡栗東町 道路3箇所、河川2箇所、崖崩れ1箇所
昭和60年 (1985)	台風6号と梅雨前線豪雨 (6月21日～7月19日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水4棟、道路9箇所、河川4箇所、崖崩れ12箇所
昭和61年 (1986)	梅雨前線豪雨 (6月28日～30日、7月9日 ～12日、7月21日～23日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水12棟、非住家4棟に被害。
昭和62年 (1987)	梅雨前線豪雨 (7月14日～21日)	被害域：栗太郡栗東町 床下浸水4棟、畑の浸水10ha
平成11年 (1999)	梅雨前線豪雨 (6月30日)	被害域：栗東市 御園で、崩壊により茶室1戸一部損壊
平成25年 (2013)	台風18号 (9月15日～16日)	被害域：栗東市 死者1名 住家の被害：全壊4棟、半壊13棟、一部損壊16棟、床 上浸水12棟（全壊家屋の浸水1棟、半壊家屋の浸水10 棟を含む）、床下浸水127棟（半壊家屋の浸水2棟、一 部損壊家屋の浸水11棟を含む） 非住家被害：公共建物1棟、その他12棟、安養寺山斜 面山崩れ12箇所、目川地先金勝川決壊、農地、農業施 設158箇所、市道被災路線20路線、林道崩壊箇所61箇所、 五百井神社本殿など全壊、神像・狛犬被害
平成30年 (2018)	台風21号（9月4日）	被害域：栗東市 ビニールハウス全壊55棟、半壊36棟、被覆材破損210棟、 国重文建造物宇和宮神社本殿屋根破損、国重文建造物 春日神社表門扉破損

表2 栗東市役所100km圏内で起こった地震一覧

(栗東市地域防災計画 資料編 p 43～47より作成、一部加筆)

番号	発生年月日	北緯東経	マグニ チュード	深度	地域	被害概要	地震名
1	寛文2年 (1662) 6月16日	35,2° N 135,95° E	7.5～7.75	－	山城・ 大和・ 河内・ 和泉・ 摂津・ 丹後・ 若狭・ 近江・ 美濃・ 伊勢・ 駿河・ 三河・ 信濃	比良岳付近の被害が甚大。滋賀 唐崎で田畑85町湖中に没し、潰 家1570、大溝で潰家1020余、死 37。彦根で潰家1千、死30余。 榎村で死300、所川村で死260余。 京都で町屋倒壊1千、死200余 など。諸所の城破損、大きな内 陸地震で、比良断層または花折 断層の活動とする説がある。	寛文近江 ・若狭地震
2	明治22年 (1889) 5月12日	35,4° N 136,8° E	5.9	－	岐阜 付近	家屋の壁、岐阜市内の長良川の 堤に亀裂。	－
3	明治24年 (1891) 10月28日	35,6° N 136,6° E	8.0	－	愛知県・ 岐阜県	根尾谷を通る大断層を生じ、 水鳥で上下に6m、 水平に2mのずれ。 全体で建物全壊14万余棟、 半壊8万余棟、 死者7,273名、山崩れ1万余。	濃尾地震
4	明治31年 (1898) 11月13日	35,3° N 136,7° E	5.7	－	木曾川中 流域	愛知県葉栗郡太田島村で家屋の 傾斜、土蔵壁の亀裂・墜落。 その他黒田町・中島郡稲沢町・ 大垣町（河水が灰白色となる、 石灯籠の転倒）・伊勢の沿岸で 小被害。	－
5	明治32年 (1899) 3月7日	34,1° N 136,1° E	7.0	－	紀伊半島 南東部	木ノ本・尾鷲で死者7名、 全壊35棟、山崩れ無数。 大阪・奈良で煉瓦煙突の破損。	－
6	明治33年 (1900) 3月22日	35,8° N 136,2° E	5.8	－	福井県鯖 江付近	県全体で家屋全壊2棟、 半壊10棟、破損488棟。	－
7	明治33年 (1900) 5月31日	35,7° N 136,6° E	5.3	－	岐阜県根 尾谷付近	中根尾村でところどころ山崩 れ。	－
8	明治36年 (1903) 7月6日	35,0° N 136,5° E	5.7	－	三重県菰 野付近	菰野で警察の壁、その他家屋に 小破損。	－

番号	発生日年月日	北緯東経	マグニ チュード	深度	地域	被害概要	地震名
9	明治42年 (1909) 8月14日	35.4° N 136.3° E	6.8	－	滋賀県姉 川付近	滋賀・岐阜両県で死者41名、住 家全壊978棟。姉川河口の湖底 が数十m深くなった。	江濃 (姉川) 地震
10	明治44年 (1911) 2月18日	35.4° N 136.3° E	5.5	－	滋賀県姉 川付近	虎姫村で障壁に亀裂	－
11	大正5年 (1916) 11月26日	34.6° N 135.0° E	6.1	－	神戸	死者1名 有馬温泉の泉温が1℃上がる	－
12	大正14年 (1925) 7月7日	35.4° N 136.5° E	5.8	－	岐阜 付近	四日市で煙突の倒壊、塀の破損	－
13	昭和2年 (1927) 3月7日	35.5° N 135.2° E	7.3	0	京都府北 西部	死者2,925名、 家屋全壊12,584棟。 地震に伴った地殻の変形、郷村 断層（長さ18km、水平ずれ最 大2.7m）とそれに直交する山 田断層（長さ7km）を生じた	北丹後 地震
14	昭和11年 (1936) 2月21日	34.6° N 135.7° E	6.4	0	大阪・奈 良	死者9名、家屋全半壊148棟。 地面の亀裂や噴砂・湧水現象	河内大和 地震
15	昭和27年 (1952) 7月18日	34.5° N 135.8° E	6.8	60	奈良県中 部	死者9名、住宅全壊20棟。 春日大社の石灯籠1,600基のう ち650基倒壊	吉野地震
16	昭和38年 (1963) 3月27日	35.8° N 135.8° E	6.9	0	福井県沖	住家全半壊6	越前岬沖 地震
17	昭和43年 (1968) 8月18日	35.2° N 135.4° E	5.6	0	京都府中 部	綾部市で住家半壊1、一部破損 1、和知町周辺で落石・道路の 亀裂などの小被害	－
18	平成2年 (1990) 1月11日	35.1° N 135.9° E	4.9	11	滋賀県南 部	東海道新幹線が一時ストップ。 京都でビルの窓ガラスが破損	－
19	平成6年 (1994) 5月28日	35.3° N 136.3° E	5.2	44.1	滋賀県中 東部	傷1	－
20	平成7年 (1995) 1月17日	34.6° N 135.1° E	7.2	17.9	阪神・淡 路	木造家屋、コンクリートの建物 のほか、高速道路、新幹線を含 む鉄道線路などが崩壊	平成7年 兵庫県南 部地震： 阪神・ 淡路 大震災

番号	発生年月日	北緯東経	マグニ チュード	深度	地域	被害概要	地震名
21 ※	平成30年 (2018) 6月18日	34.5° N 135.3° E	6.1	10	大阪	死者5人、負傷者435人	大阪北部 地震

※加筆部分

表3 栗東市 土砂災害警戒区域（急傾斜）指定一覧^{巻末資料-1}

番号	所在地	区域名		警戒区域		特別警戒区域	
				指定年月日	県告示 番号	指定年月日	県告示 番号
1	荒張	走井	I-2006	平成18年3月30日	376	平成18年3月30日	710
2	御園	柳原	I-2007	平成18年3月30日	377	平成18年3月30日	711
3	観音寺	観音寺	I-2002	平成18年3月30日	378	平成18年3月30日	712
4	観音寺	観音寺-2	I-2746	平成18年3月30日	379	平成18年3月30日	713
5	荒張	成谷	I-2004	平成18年3月30日	380	平成18年3月30日	714
6	荒張	荒張	I-2005	平成18年3月30日	381	平成18年3月30日	715
7	荒張	荒張3号	I-2014	平成18年3月30日	382	平成18年3月30日	716
8	荒張	荒張-5	I-2734	平成18年3月30日	383	平成18年3月30日	717
9	東坂	東坂	II-2001	平成18年3月30日	384	平成18年3月30日	718
10	東坂	阿弥陀堂	II-2725	平成18年3月30日	385	平成18年3月30日	719
11	荒張	走井2号	I-2015	平成18年3月30日	391	—	—
12	荒張	走井3号	I-2016	平成19年3月16日	128	—	—
13	荒張	走井-3	II-2776	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
14	荒張	荒張-6	II-2739	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
15	荒張	成谷-1	II-2777	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
16	荒張	成谷-2	II-2778	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
17	荒張	荒張-15	III-2708	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
18	荒張	荒張-4	II-2732	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
19	荒張	荒張-9	II-2752	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
20	荒張	荒張-18	III-2781	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
21	観音寺	観音寺-1	II-2745	平成19年3月16日	128	平成19年3月16日	133
22	荒張	走井-4	III-2787	平成20年2月12日	63	平成20年2月12日	67
23	荒張	走井-5	II-2788	平成20年2月12日	63	平成20年2月12日	67
24	荒張	走井-6	II-2789	平成20年2月12日	63	平成20年2月12日	67

^{巻末資料-1} 滋賀県土木交通部砂防課ホームページ（令和2（2020）年3月31日）より作成、一部改変

番号	所在地	区域名		警戒区域		特別警戒区域	
				指定年月日	県告示 第号	指定年月日	県告示 第号
25	荒張	走井- 7	II-2790	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
26	荒張	敬恩寺	II-2741	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
27	荒張	片山- 1	II-2742	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
28	荒張	荒張-10	II-2753	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
29	荒張	荒張-11	II-2754	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
30	荒張	美之郷- 2	II-2791	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
31	荒張	美之郷- 3	II-2792	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
32	荒張、御園	美之郷- 4	III-2793	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
33	荒張	雨丸- 1	III-2794	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
34	荒張	雨丸- 2	II-2795	平成20年 2 月12日	63	平成20年 2 月12日	67
35	井上	井上	I-2003	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
36	井上	井上- 1	II-2730	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
37	井上	井上- 2	II-2733	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
38	井上	井上- 3	II-2735	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
39	井上	井上- 4	II-2736	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
40	井上	井上- 5	II-2738	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
41	東坂・御園	東坂- 1	III-2702	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
42	東坂	東坂- 2	II-2731	平成21年 3 月 9 日	136	—	—
43	六地藏	六地藏- 1	II-2713	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
44	六地藏	六地藏- 2	II-2714	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
45	六地藏	日向山古墳	II-2715	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
46	六地藏	六地藏- 3	II-2722	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
47	御園	辻越- 1	II-2802	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
48	御園	辻越- 2	II-2803	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
49	御園	辻越- 3	II-2806	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
50	御園	辻越- 4	II-2726	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
51	御園	蔵町- 1	II-2804	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
52	御園	蔵町- 2	II-2805	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
53	御園	八王子	II-2008	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
54	伊勢落	寿泉神社	II-2711	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
55	伊勢落	岩上神社	II-2712	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
56	観音寺	観音寺- 3	II-2747	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
57	荒張	美之郷	II-2740	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
58	荒張、草津市山寺町	浅柄野- 1	III-2706	平成21年 3 月23日	212	平成21年 3 月23日	215

番号	所在地	区域名		警戒区域		特別警戒区域	
				指定年月日	県告示 第号	指定年月日	県告示 第号
59	上砥山、小野	上砥山-5	II-2807	平成21年 3 月23日	212	平成21年 3 月23日	215
60	上砥山	日吉神社	II-2716	平成21年 8 月 7 日	489	平成21年 8 月 7 日	493
61	上砥山	上砥山-1	II-2717	平成21年 8 月 7 日	489	平成21年 8 月 7 日	493
62	上砥山	上砥山-6	II-2718	平成21年 8 月 7 日	489	平成21年 8 月 7 日	493
63	下戸山	五百井神社	II-2719	平成21年 8 月 7 日	489	平成21年 8 月 7 日	493
64	荒張	片山-2	II-2749	平成21年 8 月 7 日	489	—	—
—	湖南省丸山町 四丁目、東坂	麻田<1>	III-3706	平成22年 1 月18日	29	平成22年 1 月18日	33
65	安養寺	安養寺-1	I-2810	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
66	安養寺	安養寺-2	I-2811	平成22年 2 月26日	125	—	—
67	井上	井上-6	II-2812	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
68	上砥山	上砥山-7	II-2813	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
69	御園	中村-1	I-2815	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
70	御園	蔵町-3	II-2816	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
71	御園	辻越-5	II-2817	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
72	御園	御園-3	I-2737	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
73	下戸山	和田古墳	II-2818	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
74	六地藏	六地藏-4	II-2819	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
75	六地藏	六地藏-5	II-2820	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
—	東坂	麻田（1）	III-3706	平成31年 3 月26日	158	平成31年 3 月26日	174
小計		75箇所					

※番号の無いものは湖南省で計上されている。

表 4 土砂災害警戒区域（地すべり）指定一覧 巻末資料-2

番号	所在地	区域名		警戒区域		特別警戒区域	
				指定年月日	県告示 第号	指定年月日	県告示 第号
1	観音寺	観音寺	4025	平成30年 3 月30日	147	—	—
小計		1 箇所					

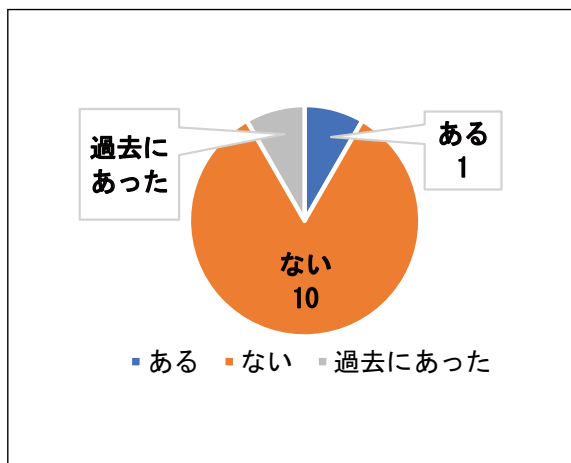
表5 栗東市 土砂災害警戒区域（土石流）指定一覧巻末資料-3

番号	所在地	区域名		警戒区域		特別警戒区域	
				指定年月日	県告示 第号	指定年月日	県告示 第号
1	荒張	成谷川支流	3321013	平成17年 6 月22日	642	—	—
2	荒張	成谷川支流	1321002	平成18年 3 月30日	359	平成18年 3 月30日	707
3	荒張	走井川	1321001	平成18年 3 月30日	362	—	—
4	観音寺	金勝川	1321003	平成18年 3 月30日	363	—	—
5	観音寺	端ヶ谷川	2321006	平成18年 3 月30日	364	—	—
6	観音寺	平谷川	2321007	平成18年 3 月30日	365	—	—
7	荒張	柏谷	3321014	平成18年 3 月30日	366	—	—
8	荒張	美之郷川	2321005	平成19年 3 月16日	128	—	—
9	荒張	円徳川	3321009	平成19年 3 月16日	128	平成19年 3 月16日	133
10	荒張	雨丸川支流	3321010	平成19年 3 月16日	128	平成19年 3 月16日	133
11	荒張	雨丸川	3321011	平成19年 3 月16日	128	—	—
12	荒張	細川	3321012	平成20年 2 月12日	63	—	—
13	東坂	心行路川 支流	3321016	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
14	東坂	心行路川	3321017	平成21年 3 月 9 日	136	平成21年 3 月 9 日	140
15	荒張	菖蒲谷	3321008	平成21年 3 月 9 日	136	—	—
16	荒張	穴口川	3321015	平成21年 8 月 7 日	489	平成21年 8 月 7 日	493
17	安養寺	葉山川支流	1342078	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
18	六地藏	葉山川支流	1342077	平成22年 2 月26日	125	平成22年 2 月26日	130
小計		18箇所					

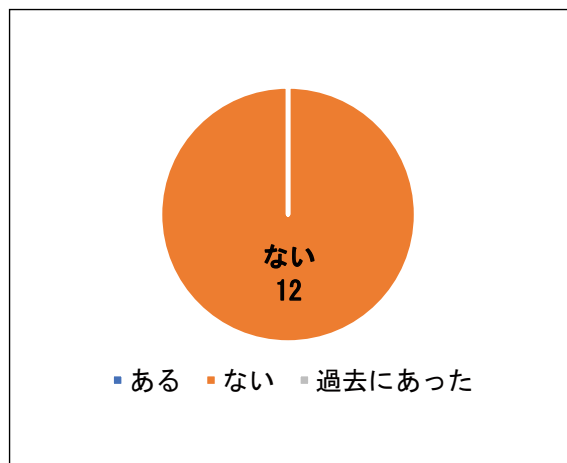
3 計画作成に伴うアンケート結果（小中学校）

令和2年度（2020）に実施し、小学校9校、中学校3校の計12校に回答いただきました。

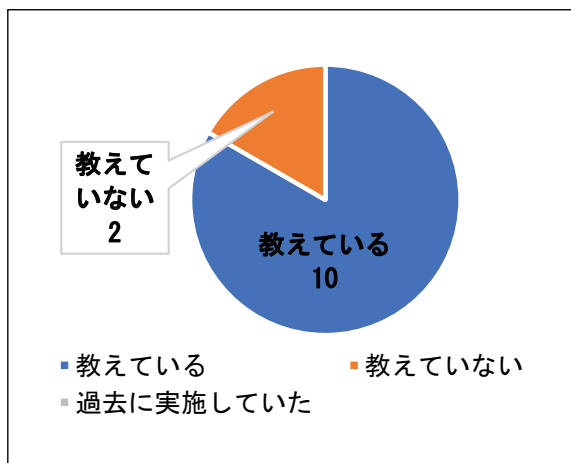
学校に郷土資料室がありますか？



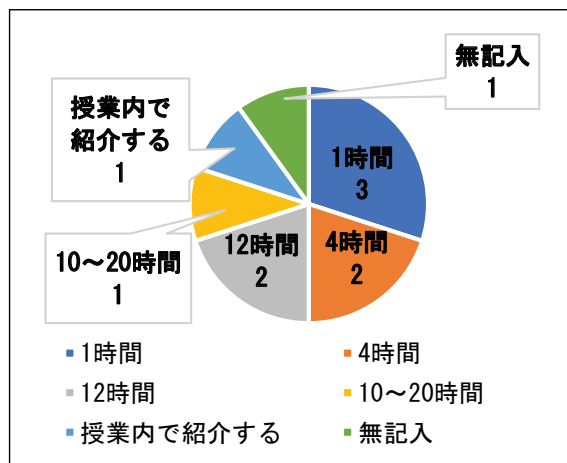
学校に郷土史に関するクラブはありますか？



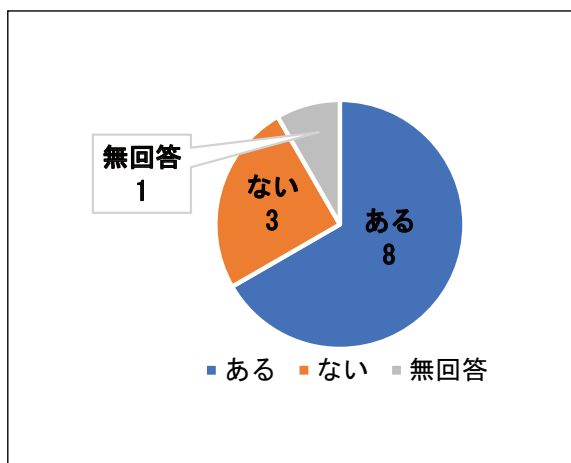
学校教育において、地域の文化財を教えますか？



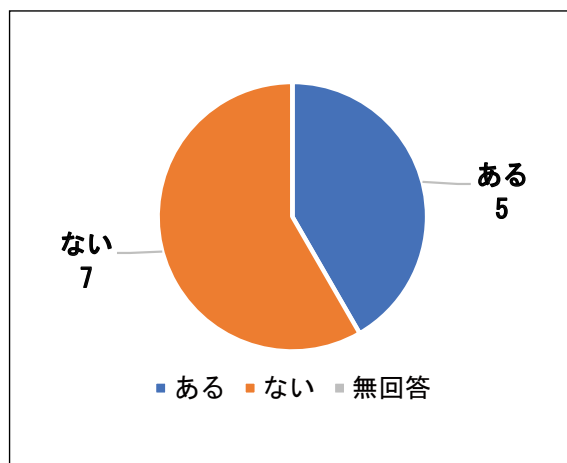
地域の文化財を教えている場合、どのような時間数ですか？



栗東歴史民俗博物館を授業で利用したことがありますか？



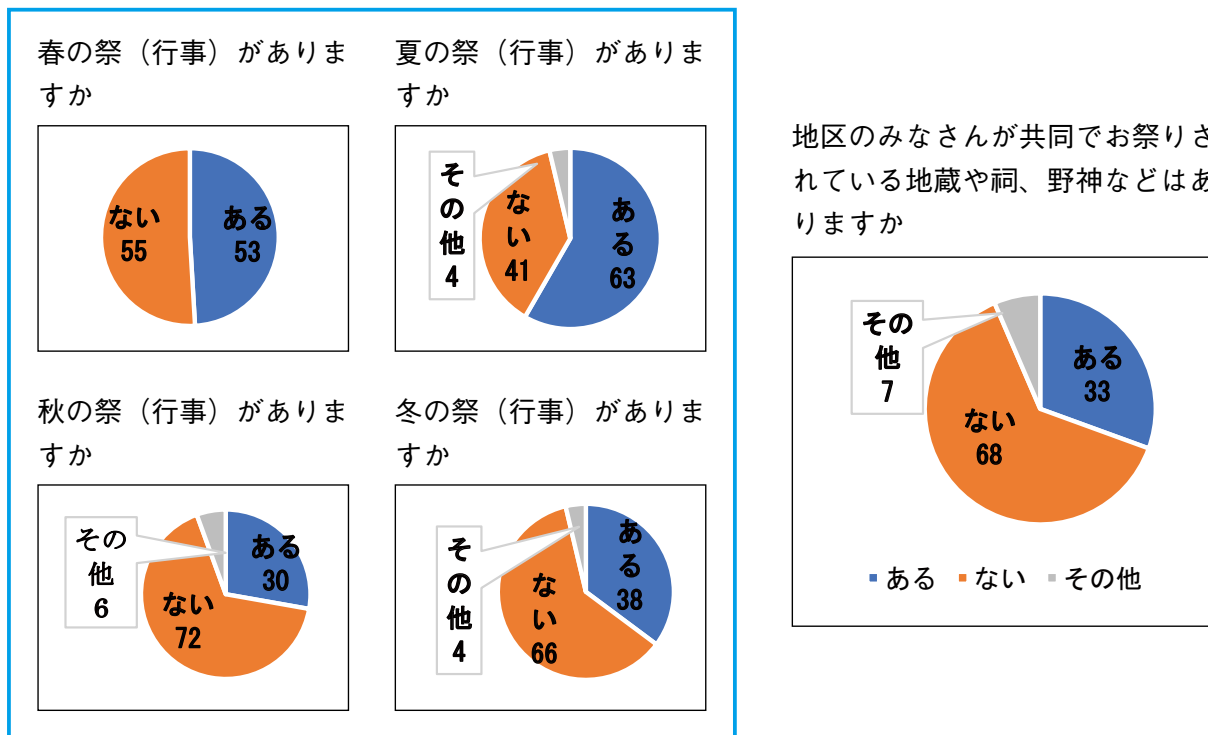
栗東市出土文化財センターを授業で利用したことがありますか？



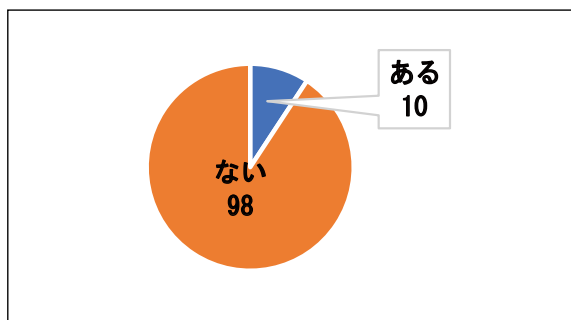
4 計画作成に伴うアンケート結果（自治会）

令和2年度（2020）に実施し、108自治会に回答いただきました。なお、回答内容は歴史文化要素リストに反映しました。

（リストでは各地で同様な行事が行われている場合は、一括で記載しました。）

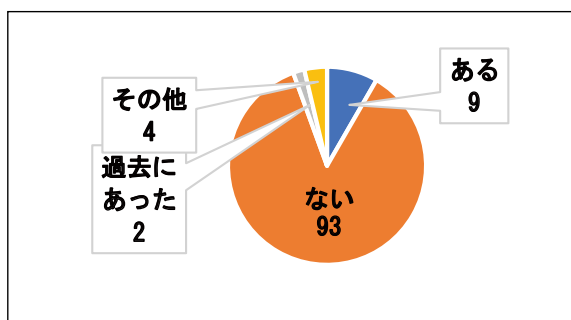


自治会で編さんされた「自治会誌」はありますか。

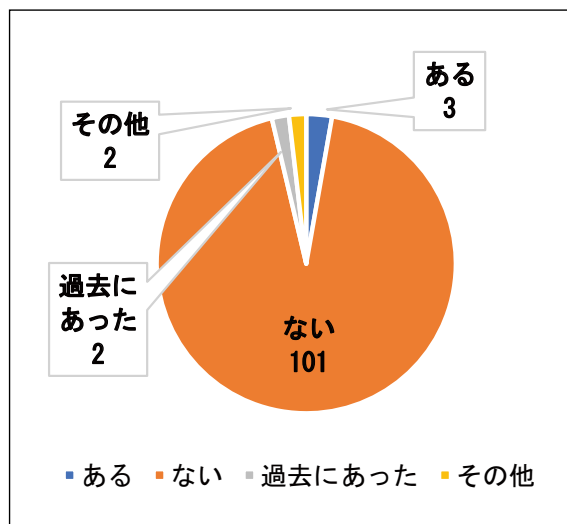


書籍名は本文編表5－8に反映

自治会で所有・保管する文化財や区有の古文書がありますか



自治会に文化財の係や担当はありますか。



5 計画作成に伴うアンケート結果（意識調査）

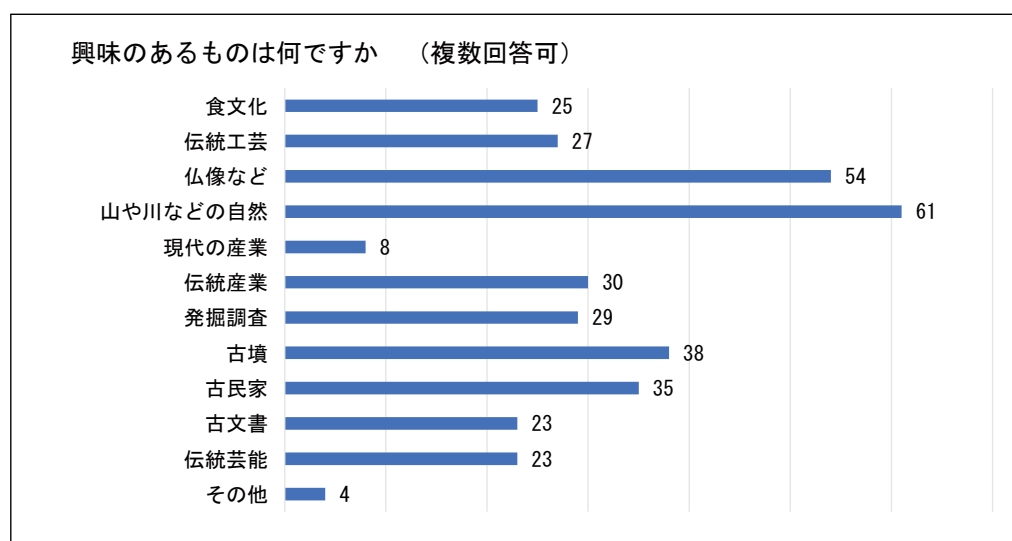
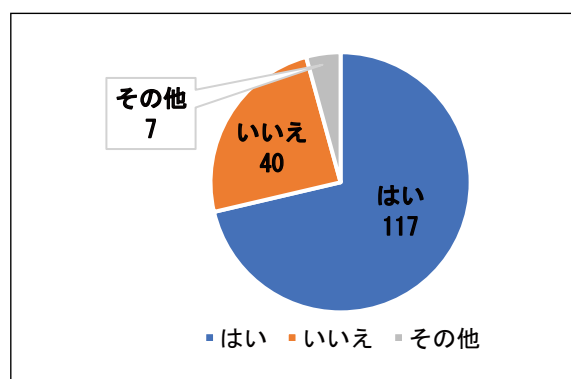
歴史文化に関する意識を調査するため、栗東在住の市民及び自治会（市内）、事業参加者を対象に令和2年（2020）9月28日から10月30日まで（33日間）アンケートを実施し、164人から回答いただきました。

○栗東市の印象

回答
自然が豊かで交通の便が良く、暮らしやすい。
JRA栗東トレーニングセンターがある。
旧和中散本舗や旧街道、歴史的な街並みなどがある、歴史深いまち。
活気がなく、人と人との結びつきが乏しくなった。
観光客を呼び込むためのPRが不足している。

○栗東市の歴史文化

栗東市の歴史や文化に興味はありますか。



あなたがお住いの地域やそれ以外の地域（市内）で子供たちに引き継ぎたい栗東らしいものを教えてください。

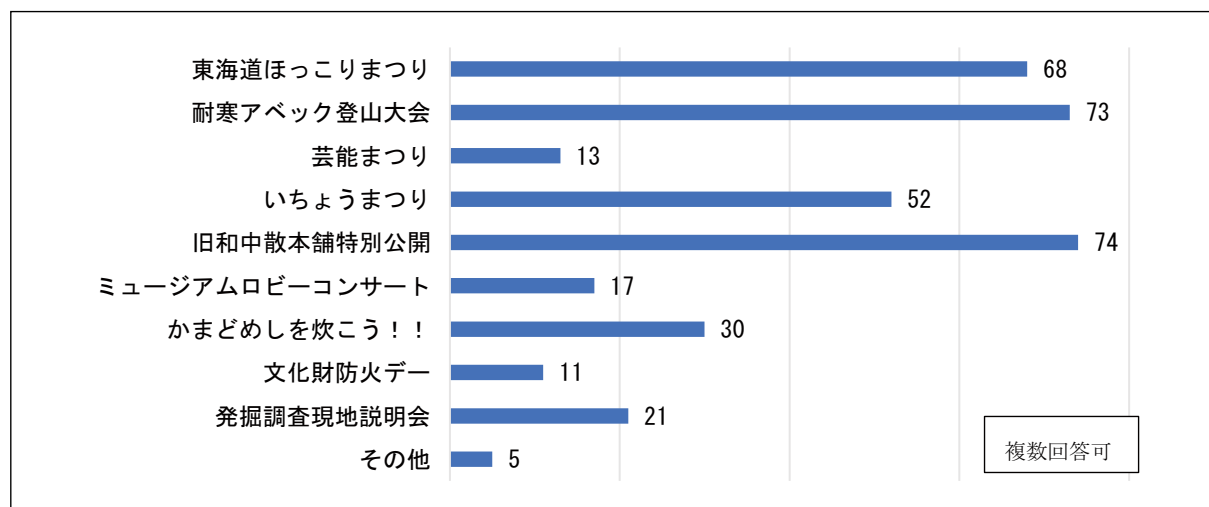
（この回答で得られたものを、歴史文化要素リストで「栗東らしいもの」として記載しました。※印は、特定できないもの・現在実施されていないものなどで、リスト化を見合わせたものです）

回答（地域内）	
大宝	風景、自然、大宝神社（神木・楠木・歴史・祭り）、大宝村ふるさと絵図にある暮し、大宝小学校、縄二丁目付近、町並み
大宝西	大宝神社（神木・5月のお祭り・みこし・相撲土俵）、八幡宮（湯たて祭・白灯・新嘗祭）、くさびら神社
大宝東	風景、自然、行事、大宝神社（祭り・相撲祭・歴史）、蜂屋神社の関連行事、さきからの眺め、いちじく
治田	風景、自然、民家、お寺・お宮の建物、目川立場、地山古墳、下戸山、老牛馬の保養所、小槻大社の小杖祭り、花笠踊り、目川田楽、菜めし
治田西	薬師さんのクロガネモチ（巨木）、日の出町集会所前のお地藏さん、菌神社の桜、子供会※、もちつき※、地藏盆
治田東	安養寺山からの眺め、栗東の花火※、神社、五百井神社の大木、安養寺（全区）のお地藏さん
葉山	出庭もちつき祭、亀塚の古墳、行事
葉山東	お寺、新善光寺、葉山東学区旧街道沿いの関連施設※、旧東海道
金勝	風景、自然、川遊びができる河川、鶏冠山、金勝山（風景・馬頭観音）、金勝寺、吉祥寺の仏像、走井公民館内のお地藏様、磨崖仏、野神さん、山の神、田楽踊り

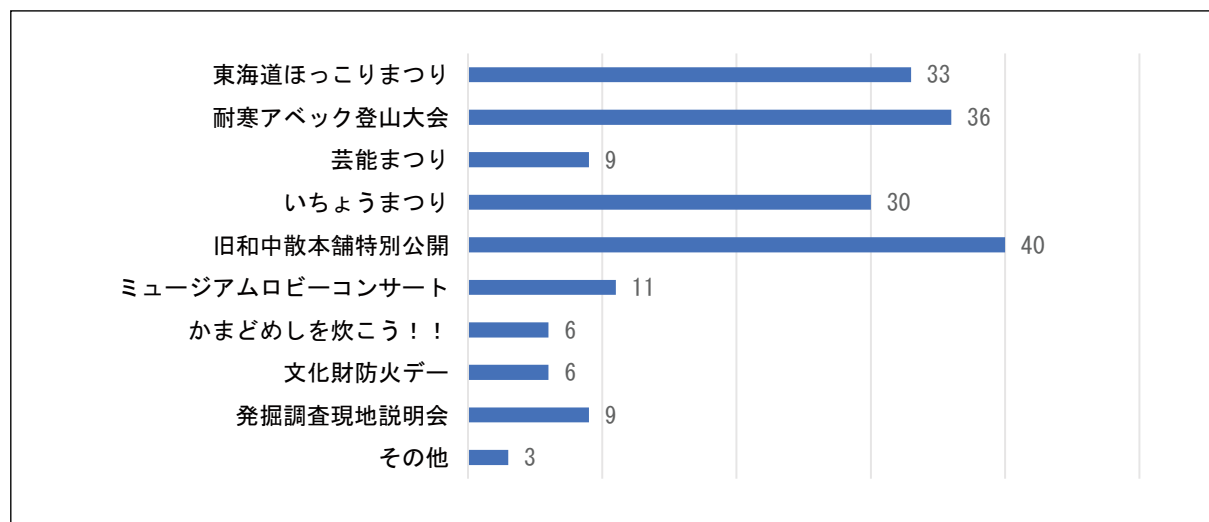
回答（地域外）
【歴史資産】 旧和中散本舗、狛坂磨崖仏、金勝寺（歴史・山道・仏像）、大宝神社（歴史・例大祭・狛犬）、高野神社、五百井神社の大杉、安養寺、馬頭観音堂、金勝山、椿山古墳、灰塚古墳、芭蕉の句、旧東海道の景観・街並み、近江八景に描かれている橋
【行事】 例大祭（大宝神社）、はっさくまつり（春日神社）、ほっこりまつり※、栗東夏祭り（江州音頭）※、花火※、コミセンを中心とした学区独自の行事※
【風景・自然】 金勝の植樹祭会場跡からの景色、こんぜの里広場から見る風景、日向山の頂上からの景色、観音寺から眺める琵琶湖、栗東八景、九品の滝
【その他】 タニシのモニュメント（出庭神社）、栗東の民話・昔話、各地域での語り合い※、琵琶湖の交通（葉山川・志那街道・志那港）

○栗東市の歴史文化の普及啓発イベントについて

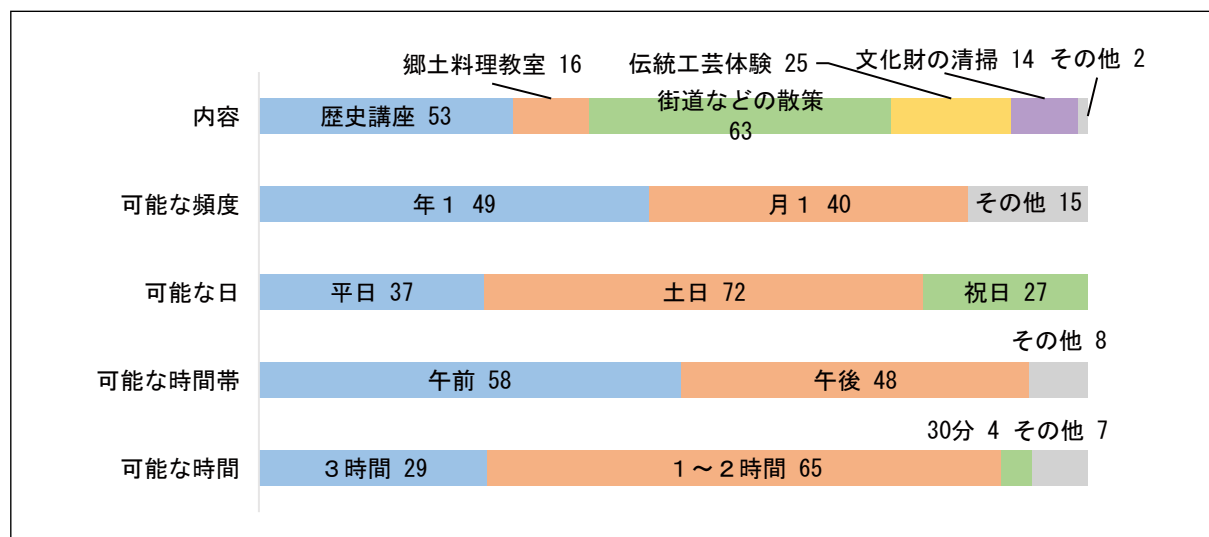
あなたが知っている市内の歴史文化の普及啓発イベントを教えてください。



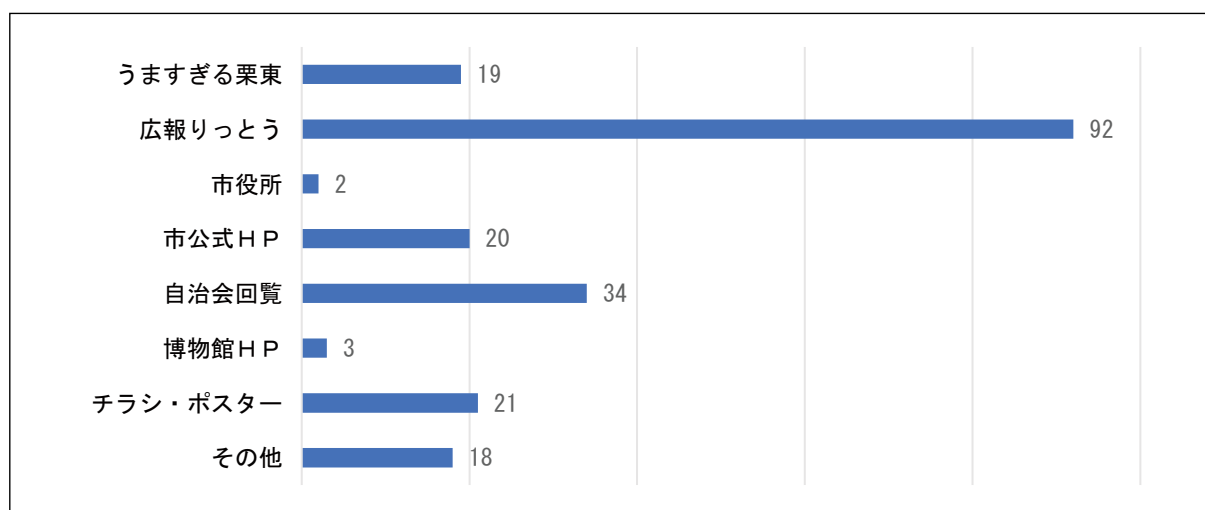
あなたが参加された普及啓発イベントを教えてください。



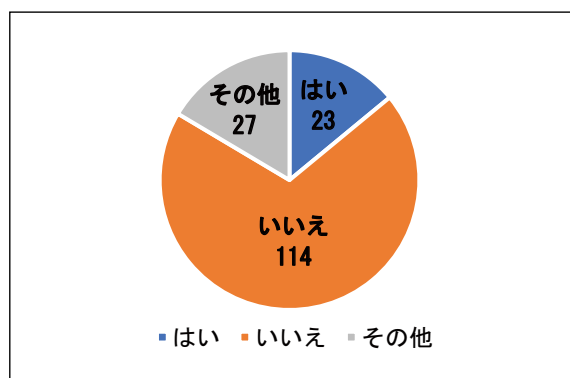
上記以外で、あなたはどのような普及啓発イベントに参加したいですか。



栗東市の歴史や文化、イベントなどの情報はどこから得ていますか。



栗東市内には文化財に関する団体が数多くありますが、これまであなたは文化団体で活動されたことはありますか。



回答（活動内容）	
参加団体	活動内容
ふるさと絵図の会	住んでいる地域の昔を絵図にして残す。
安養寺景観まちづくり協議会里山部会	—
ふぁざ〜ず倶楽部	やすらぎ喫茶・金勝寺遊歩道の整備、山歩き・グランドゴルフなどの健康づくり
ボランティア観光ガイド協会	地元の歴史調査、観光客へのガイド活動、定例会への出席
市民学芸員の会	—
各民俗行事保存会	—
自治会史編纂委員会	—
古文書研究会	—
街道をいかしたまちづくりの会	—
その他（文化協会、大宝神社サンヤレ踊り）	—

活動内容は第5章、第9章に反映 ※「—」は未記入

6 これまでの調査・研究成果

市内の文化財についてこれまでにさまざまな調査研究活動を行っている。その成果をまとめた『栗東歴史民俗博物館紀要』など以下に記載する。

表6 博物館調査研究成果一覧
紀要

図書名	主要論文	計画期間
栗東歴史民俗博物館紀要 第1号	宇野茂樹「近江の清涼寺式釈迦模刻像」	平成7年(1995)
栗東歴史民俗博物館紀要 第2号	宇野茂樹「神像彫刻の展開」	平成8年(1996)
栗東歴史民俗博物館紀要 第3号	佐々木進「小槻大社の男神坐像」	平成9年(1997)
栗東歴史民俗博物館紀要 第4号	井上優「『元亀の起請文』の史料批判」	平成10年(1998)
栗東歴史民俗博物館紀要 第5号	佐々木進「真宗大谷派安養寺と蓮如」	平成11年(1999)
栗東歴史民俗博物館紀要 第6号	佐々木進「甲賀・櫛野寺木彫群における工房制作像について」	平成12年(2000)
栗東歴史民俗博物館紀要 第7号	松岡久美子「滋賀・善水寺四天王像について」	平成13年(2001)
栗東歴史民俗博物館紀要 第8号	田母神克幸「祭礼行事における神饌について」	平成14年(2002)
栗東歴史民俗博物館紀要 第9号	山本順也編「辻鋳物師関係資料翻刻」	平成15年(2003)
栗東歴史民俗博物館紀要 第10号	藤田励夫「永源寺所蔵高麗時代白紙金字華嚴経について」	平成16年(2004)
栗東歴史民俗博物館紀要 第11号	高井多佳子「里内文庫主里内勝治郎の事業理念」	平成17年(2005)
栗東歴史民俗博物館紀要 第12号	松岡久美子「大宝神社の神像」	平成18年(2006)
栗東歴史民俗博物館紀要 第13号	松岡久美子「諏訪神社の神像について」	平成19年(2007)
栗東歴史民俗博物館紀要 第14号	光谷拓実ほか「善勝寺本尊木造千手観音立像の基礎研究」	平成20年(2008)
栗東歴史民俗博物館紀要 第15号	大河内隆之「金勝寺制札(延徳三年)の年輪年代調査」	平成21年(2009)
栗東歴史民俗博物館紀要 第16号	櫻井信也「古代栗太郡の東海道に関する二、三の問題」	平成22年(2010)
栗東歴史民俗博物館紀要 第17号	櫻井信也「古代栗太郡の条里復元」	平成23年(2011)
栗東歴史民俗博物館紀要 第18号	櫻井信也「江戸時代における近江国の「ふなずし」」	平成24年(2012)
栗東歴史民俗博物館紀要 第19号	小谷徳彦「栗太郡における川原寺式軒瓦の一樣相」	平成25年(2013)
栗東歴史民俗博物館紀要 第20号	櫻井信也「江戸時代における近江国の「ふなずし」(補遺)」	平成26年(2014)
栗東歴史民俗博物館紀要 第21号	櫻井信也「『飯鮓(飯鮓)』考」	平成27年(2015)
栗東歴史民俗博物館紀要 第22号	中川敦之「栗東歴史民俗博物館所蔵『里内文庫』所収の相撲番付」	平成28年(2016)
栗東歴史民俗博物館紀要 第23号	大西稔子「栗東市での青花紙生産と青花紙仲買人の販路」	平成29年(2017)
栗東歴史民俗博物館紀要 第24号	大西稔子「上砥山山の神行事についての一考察」	平成30年(2018)
栗東歴史民俗博物館紀要 第25号	中川敦之「『大宝神社文書』にみる大宝天王宮(大宝神社)の鳥居について」	平成31年(2019)
栗東歴史民俗博物館紀要 第26号	小松葉子「狛坂寺異聞 古代山林寺院の一例」	令和2(2020)
栗東歴史民俗博物館紀要 第27号	中川敦之「志那港道について」	令和3(2021)

図録

図書名	刊行年
栗東歴史民俗博物館展示案内	平成2年(1990) 9月
栗東の宗教文化	平成2年(1990) 9月
童・大童 一昔の子育て・今の子育て一	平成3年(1991) 1月
明治の図書館 一里内文庫と里内勝治郎一	平成3年(1991) 3月
隆堯法印と阿弥陀寺・浄巖院	平成3年(1991) 4月
鑄金の美 一辻の鑄物師たち一	平成3年(1991) 7月
いのりのかたち一オコナイの諸相一	平成3年(1991) 9月
岡笠山と横井金谷 一栗太の文人画家一	平成3年(1991) 10月
湖南の古代寺院 一栗太郡の白鳳寺院を中心に一	平成3年(1991) 11月
織りへのいざない 一木綿・麻・藤の紡織技術一	平成4年(1992) 1月
近江と黄檗宗の美術	平成4年(1992) 10月
四季耕作図の世界 一描かれた農事風景一	平成4年(1992) 11月
江戸の看板 一文字のメッセージ一	平成4年(1992) 12月
古代地方の役所 一岡遺跡と郡衙一	平成5年(1993) 2月
奈良絵本	平成5年(1993) 4月
かみとほとけのかたち	平成5年(1993) 10月
お米を作り始めた頃 一霊仙寺遺跡と遠賀川式土器一	平成6年(1994) 2月
岸派とその粉本	平成6年(1994) 4月
町制40周年記念展「近江と馬の文化」	平成6年(1994) 9月
東方山安養寺の歴史と美術	平成6年(1994) 10月
石の長者・木内石亭	平成7年(1995) 2月
村むらのすがた	平成7年(1995) 9月
開館5周年記念展「金勝寺 一良弁説話と二十五別院一」	平成7年(1995) 10月
職人	平成8年(1996) 2月
新考古学事情	平成8年(1996) 3月
国松桂溪	平成8年(1996) 5月
岸派とその系譜	平成8年(1996) 10月
栗太武士の足跡	平成8年(1996) 11月
湖南の弥生時代	平成9年(1997) 3月
西田恵泉	平成9年(1997) 6月
大地からのメッセージ 一湖南の考古資料展一	平成9年(1997) 9月
近江の真宗文化 一湖南・湖東を中心に一	平成9年(1997) 10月
山・里・湖の村とくらし 一湖南の村落と水利用一	平成10年(1998) 2月
湖国の地方新聞史	平成10年(1998) 5月

図書名	刊行年
宗教画家・杉本哲郎	平成10年（1998） 9 月
栗東の文化財 ―栗東町指定文化財40年のあゆみ―	平成10年（1998） 10月
近江の歴史家群像	平成10年（1998） 11月
婚礼のすがたところ ―儀式の伝統―	平成11年（1999） 3 月
近江湖東湖南の画人たち	平成11年（1999） 9 月
ひとがた・かたしろ・人形	平成11年（1999） 10月
服部岩吉 ―湖国デモクラシーの足跡―	平成12年（2000） 3 月
開館10周年記念展「鈎の陣とその時代」	平成12年（2000） 10月
まつり・祭り・祭礼	平成13年（2001） 3 月
市制施行記念展「近江の街道」	平成13年（2001） 10月
米作り・麦作り	平成13年（2001） 12月
古墳の木製祭具 ―狐塚3号墳を復元する―	平成14年（2002） 2 月
近江の彫刻 ―湖南・甲賀の10・11世紀―	平成14年（2002） 9 月
近江の鋳物師 ―辻村鋳物師の活躍―	平成14年（2002） 10月
古墳時代の装飾品 ―玉の美―	平成15年（2003） 3 月
特別展「永源寺の歴史と美術」	平成15年（2003） 10月
琵琶湖周辺の縄文時代	平成15年（2003） 11月
近江の神道美術	平成16年（2004） 10月
古墳の終焉と葬送儀礼 ―近江の終末期古墳―	平成17年（2005） 3 月
里内勝治郎と里内文庫	平成17年（2005） 10月
むらのうつりかわり ―栗太郡の中世集落を中心に―	平成17年（2005） 11月
近江西国三十三所	平成18年（2006） 10月
修法の美術 ―別尊法と別尊曼荼羅―	平成19年（2007） 10月
古代の役所とその周辺～岡遺跡・手原遺跡を中心に～	平成19年（2007） 12月
創造と継承 ―寺院復興	平成20年（2008） 11月
湖国の「塩」 その歴史と民俗	平成20年（2008） 12月
史学は死学にあらず	平成21年（2009） 9 月

目録

図書名	刊行年
栗東歴史民俗博物館受贈民俗資料分類目録	平成 6 年（1994） 3 月
収蔵歴史資料目録1 旧出庭村 国松家文書・太田家文書	平成12年（2000） 3 月
里内文庫資料目録（里内文庫資料調査会 編）	平成17年（2005） 2 月

表7 報告書一覧（栗東市教育委員会、公益財団法人栗東市スポーツ協会など調査）

報告書名			刊行年
栗東市文化財調査報告書	第1冊	手原遺跡発掘調査報告書	昭和57年（1982）3月
栗東市文化財調査報告書	第2冊	町内遺跡分布発掘調査報告書	平成元年（1989）3月
栗東市文化財調査報告書	第3冊	岡遺跡発掘調査報告書	平成2年（1990）3月
栗東市文化財調査報告書	第4冊	滋賀県栗太郡栗東町 和田古墳群	平成10年（1998）3月
栗東市文化財調査報告書	第5冊	滋賀県栗東市 新開西古墳群	平成16年（2004）3月
栗東市文化財調査報告書	第6冊	目川遺跡発掘調査報告書	平成19年（2007）12月
栗東市文化財調査報告書	第7冊	坊袋遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）1月
栗東市文化財調査報告書	第8冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）2月
栗東市文化財調査報告書	第9冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）2月
栗東市文化財調査報告書	第10冊	出庭古墳群発掘調査報告書	平成20年（2008）3月
栗東市文化財調査報告書	第11冊	笠川城遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）5月
栗東市文化財調査報告書	第12冊	狐塚古墳群発掘調査報告書	平成20年（2008）5月
栗東市文化財調査報告書	第13冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）6月
栗東市文化財調査報告書	第14冊	総遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）8月
栗東市文化財調査報告書	第15冊	高野遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）10月
栗東市文化財調査報告書	第16冊	辻遺跡発掘調査報告書	平成20年（2008）12月
栗東市文化財調査報告書	第17冊	辻遺跡発掘調査報告書	平成21年（2009）3月
栗東市文化財調査報告書	第18冊	多福寺遺跡	平成21年（2009）3月
栗東市文化財調査報告書	第19冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成21年（2009）3月
栗東市文化財調査報告書	第20冊	林遺跡発掘調査報告書	平成21年（2009）5月
栗東市文化財調査報告書	第21冊	辻遺跡発掘調査報告書	平成21年（2009）8月
栗東市文化財調査報告書	第22冊	手原遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）3月
栗東市文化財調査報告書	第23冊	中沢遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）1月
栗東市文化財調査報告書	第24冊	手原遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）1月
栗東市文化財調査報告書	第25冊	上鈎遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）3月
栗東市文化財調査報告書	第26冊	林遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）3月
栗東市文化財調査報告書	第27冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）3月
栗東市文化財調査報告書	第28冊	林遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）4月
栗東市文化財調査報告書	第29冊	小野遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）7月
栗東市文化財調査報告書	第30冊	下鈎遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）10月
栗東市文化財調査報告書	第31冊	中沢遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）5月
栗東市文化財調査報告書	第32冊	下鈎東遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）3月
栗東市文化財調査報告書	第33冊	高野・岩畑遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）5月
栗東市文化財調査報告書	第34冊	下鈎東遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）11月
栗東市文化財調査報告書	第35冊	手原遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）5月
栗東市文化財調査報告書	第36冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）9月
栗東市文化財調査報告書	第37冊	下鈎東・手原遺跡	平成23年（2011）10月
栗東市文化財調査報告書	第38冊	岡遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）1月
栗東市文化財調査報告書	第39冊	小野遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）3月
栗東市文化財調査報告書	第40冊	総遺跡発掘調査報告書	平成22年（2010）5月
栗東市文化財調査報告書	第41冊	下鈎遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）8月

報告書名			刊行年
栗東市文化財調査報告書	第42冊	小野遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011） 6 月
栗東市文化財調査報告書	第43冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011） 7 月
栗東市文化財調査報告書	第44冊	蜂屋・手原遺跡	平成23年（2011） 9 月
栗東市文化財調査報告書	第45冊	下鈎遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011） 9 月
栗東市文化財調査報告書	第46冊	下鈎東・上鈎遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）11月
栗東市文化財調査報告書	第47冊	下鈎遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 2 月
栗東市文化財調査報告書	第48冊	霊仙寺遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）11月
栗東市文化財調査報告書	第49冊	下鈎東・手原遺跡	平成24年（2012）10月
栗東市文化財調査報告書	第50冊	辻遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 2 月
栗東市文化財調査報告書	第51冊	手原遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）12月
栗東市文化財調査報告書	第52冊	下鈎遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 4 月
栗東市文化財調査報告書	第53冊	辻遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 5 月
栗東市文化財調査報告書	第54冊	林遺跡発掘調査報告書	平成23年（2011）12月
栗東市文化財調査報告書	第55冊	下鈎遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第56冊	蜂屋遺跡	平成24年（2012） 9 月
栗東市文化財調査報告書	第57冊	小野遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 9 月
栗東市文化財調査報告書	第58冊	総遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 8 月
栗東市文化財調査報告書	第59冊	上鈎遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 6 月
栗東市文化財調査報告書	第60冊	林遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012）11月
栗東市文化財調査報告書	第61冊	総遺跡発掘調査報告書	平成25年（2013） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第62冊	高野遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012）12月
栗東市文化財調査報告書	第63冊	辻遺跡発掘調査報告書	平成24年（2012） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第65冊	坊袋遺跡発掘調査報告書	平成25年（2013） 2 月
栗東市文化財調査報告書	第66冊	下鈎遺跡	平成25年（2013） 4 月
栗東市文化財調査報告書	第68冊	岩畑遺跡	平成25年（2013） 6 月
栗東市文化財調査報告書	第69冊	手原遺跡発掘調査報告書	平成25年（2013） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第70冊	高野遺跡	平成25年（2013） 8 月
栗東市文化財調査報告書	第71冊	林遺跡	平成25年（2013） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第72冊	下鈎東	平成25年（2013） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第73冊	岩畑遺跡	平成25年（2013） 8 月
栗東市文化財調査報告書	第74冊	下鈎遺跡	平成25年（2013）12月
栗東市文化財調査報告書	第75冊	下鈎遺跡	平成25年（2013）12月
栗東市文化財調査報告書	第76冊	下鈎遺跡	平成26年（2014） 2 月
栗東市文化財調査報告書	第78冊	上鈎遺跡	平成26年（2014） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第80冊	中沢遺跡	平成26年（2014） 4 月
栗東市文化財調査報告書	第81冊	高野遺跡	平成26年（2014） 4 月
栗東市文化財調査報告書	第82冊	下鈎遺跡	平成26年（2014） 8 月
栗東市文化財調査報告書	第85冊	十里遺跡	平成26年（2014） 3 月
栗東市文化財調査報告書	第86冊	高野遺跡発掘調査報告書	平成26年（2014） 4 月
栗東市文化財調査報告書	第88冊	下鈎東遺跡	平成26年（2014） 8 月
栗東市文化財調査報告書	第89冊	下鈎東遺跡	平成26年（2014） 9 月

報告書名		刊行年
栗東市文化財調査報告書	第90冊 下鈎東遺跡	平成26年（2014）10月
栗東市文化財調査報告書	第91冊 蜂屋遺跡	平成27年（2015）3月
栗東市文化財調査報告書	第92冊 岩畑遺跡	平成27年（2015）1月
栗東市文化財調査報告書	第93冊 総遺跡発掘調査報告書	平成26年（2014）12月
栗東市文化財調査報告書	第95冊 下鈎東遺跡	平成27年（2015）3月
栗東市文化財調査報告書	第97冊 小野遺跡	平成27年（2015）2月
栗東市文化財調査報告書	第98冊 中沢遺跡	平成28年（2016）3月
栗東市文化財調査報告書	第99冊 下鈎東遺跡	平成27年（2015）9月
栗東市文化財調査報告書	第101冊 下鈎東遺跡	平成27年（2015）9月
栗東市文化財調査報告書	第103冊 手原遺跡	平成28年（2016）3月
栗東市文化財調査報告書	第104冊 蜂屋遺跡発掘調査報告書	平成28年（2016）2月
栗東市文化財調査報告書	第105冊 笠川城遺跡発掘調査報告書	平成27年（2015）12月
栗東市文化財調査報告書	第107冊 雲仙寺遺跡発掘調査報告書	平成28年（2016）2月
栗東市文化財調査報告書	第108冊 上鈎遺跡発掘調査報告書	平成28年（2016）3月
栗東市文化財調査報告書	第109冊 野尻遺跡発掘調査報告書	平成28年（2016）3月
栗東市文化財調査報告書	第112冊 雲仙寺遺跡発掘調査報告書	平成28年（2016）7月
栗東市文化財調査報告書	第114冊 手原遺跡発掘調査報告書	平成28年（2016）6月
栗東市文化財調査報告書	第117冊 野尻・下鈎遺跡発掘調査報告書	平成31年（2019）2月
栗東市文化財調査報告書	第124冊 蜂屋遺跡	平成29年（2017）9月
栗東市文化財調査報告書	第126冊 蜂屋遺跡発掘調査報告書	平成29年（2017）7月
栗東市文化財調査報告書	第128冊 蜂屋遺跡発掘調査報告書	平成30年（2018）11月
栗東市文化財調査報告書	第129冊 野尻遺跡発掘調査報告書	平成30年（2018）6月
栗東市文化財調査報告書	第130冊 上鈎・下鈎東遺跡	平成31年（2019）2月
栗東市文化財調査報告書	第132冊 蜂屋遺跡発掘調査報告書	平成30年（2018）3月
栗東市文化財調査報告書	第134冊 蜂屋遺跡発掘調査報告書	平成30年（2018）8月
栗東市文化財調査報告書	第135冊 小柿遺跡発掘調査報告書	平成30年（2018）5月
栗東市文化財調査報告書	第138冊 高野遺跡発掘調査報告書	平成30年（2018）9月
栗東市文化財調査報告書	第139冊 総遺跡発掘調査報告書	平成31年（2019）3月
栗東市文化財調査報告書	第142冊 岩畑遺跡	平成30年（2018）12月
栗東市文化財調査報告書	第143冊 中沢遺跡	平成31年（2019）2月
栗東市文化財調査報告書	第144冊 総遺跡発掘調査報告書	令和元年（2019）8月
栗東市文化財調査報告書	第147冊 総遺跡発掘調査報告書	令和元年（2019）6月
栗東市文化財調査報告書	第148冊 野尻遺跡発掘調査報告書	令和元年（2019）6月
栗東市文化財調査報告書	第154冊 林・多福寺遺跡発掘調査報告書	令和元年（2019）9月
栗東市文化財調査報告書	第155冊 林・多福寺遺跡発掘調査報告書	令和元年（2019）9月
栗東市文化財調査報告書	第160冊 狐塚遺跡	令和元年（2019）12月
栗東市文化財調査報告書	第162冊 上鈎遺跡	令和2年（2020）1月
栗東町埋蔵文化財発掘調査資料集 1980～1989年度		平成11～21年 （1999～2007）
栗東市埋蔵文化財調査報告 1988～2018年度 年報		平成元年（1989）3月～ 令和2年（2020）3月

表8 報告書一覧（滋賀県（教育委員会）、公益財団法人滋賀県文化財保護協会等調査）

報告書名	刊行年
県道高野・守山線特殊改良工事に伴う 高野遺跡発掘調査報告書	昭和61年（1986）3月
琵琶湖大橋有料道路建設工事に伴う 栗東町高野遺跡発掘調査報告書	昭和62年（1987）3月
高野・辻遺跡発掘調査報告書Ⅱ	平成2年（1990）3月
中央自動車道西宮線（名神高速道路）拡張工事に伴う 栗東町 岡遺跡発掘調査報告書 推定 古代栗本郡衙跡の調査	平成8年（1996）3月
主要地方道栗東志那中線単独道路改良事業に伴う 霊仙寺遺跡発掘調査報告書Ⅱ	平成8年（1996）3月
葉山川河川改修工事に伴う発掘調査報告書 上鈎遺跡 栗太郡栗東町川辺	平成12年（2000）3月
主要地方道栗東志那中線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書Ⅲ 霊仙寺遺跡 草津市駒井沢町 栗東市霊仙寺	平成15年（2003）3月
中ノ井川放水路事業に伴う発掘調査報告書1 下鈎遺跡 栗東市下鈎・荏原〔本文編〕	平成15年（2003）3月
主要地方道栗東志那中線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書Ⅳ 霊仙寺遺跡 栗東市霊仙寺	平成16年（2004）3月
中ノ井川放水路事業に伴う発掘調査報告書2 下鈎遺跡 栗東市下鈎・荏原	平成17年（2005）3月
中ノ井川放水路事業に伴う発掘調査報告書3 蜂屋遺跡 栗東市大橋	平成18年（2006）3月
一般国道1号栗東水口道路1 栗東インターチェンジ計画に伴う発掘 調査報告書2 堂山古墳群 栗東市六地蔵	平成22年（2010）2月
主要地方道草津守山線（十里）緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査 報告2 十里遺跡 栗東市十里	平成22年（2010）2月
湖南中部守山栗東雨水幹線宅屋工区管渠工事に伴う発掘調査報告書 辻遺跡 栗東市出庭	平成25年（2013）3月
県道六地蔵草津線補助道路整備事業関係遺跡発掘調査報告書 岡遺跡 栗東市岡・目川	平成28年（2016）3月
滋賀県内遺跡発掘調査報告書 平成27年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業（県内遺跡発掘調査等）	平成29年（2017）3月
滋賀県内遺跡発掘調査報告書 平成28年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業（県内遺跡発掘調査等）	平成2年（1990）3月
中ノ井川河川改良工事に伴う発掘調査報告書 野尻遺跡 栗東市野尻	平成30年（2018）3月
滋賀県内遺跡発掘調査報告書 平成29年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業（県内遺跡発掘調査等）	平成2年（1990）3月
滋賀県内遺跡発掘調査報告書 平成30年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業（県内遺跡発掘調査等）	令和2年（2020）3月

表9 「栗東の文化」掲載内容一覧（財団法人栗東市（町）文化体育振興事業団 編集・発行）

シリーズ名	Vol.	発行年
栗東の民話（一～二十話）	1～9	昭和59年（1984）～昭和61年（1986）
栗東の石造品 その一～十一	1～11	昭和59年（1984）～昭和62年（1987）
栗東町伝統行事から（その1～21）	1～14	昭和59年（1984）～昭和63年（1988）
栗東町人物往来〈1～13〉	1～16	昭和59年（1984）～昭和63年（1988）
町内の仏像〈その一～十七〉	1～17	昭和59年（1984）～昭和63年（1988）
栗東史跡散歩〈その1～その5〉	2～6	昭和60年（1985）～昭和61年（1986）
大字訪問 その1～24	1～24	昭和59年（1984）～平成2年（1990）
埋蔵文化財発掘調査考	1～24	昭和59年（1984）～平成2年（1990）
栗東の昔話＝一話～第四十四話＝	1～27	昭和59年（1984）～平成2年（1990）
道の町その通行人	6～15	昭和61年（1986）～昭和63年（1988）
江戸時代シリーズ	6～31	昭和61年（1986）～平成4年（1992）
旧四ヶ村小学校のあゆみと小学生時代の思い出（その一）	6～9	昭和61年（1986）～昭和61年（1986）
天保一揆 そのドラマと栗東の農民たち ーその一～七ー	7～13	昭和61年（1986）～昭和62年（1987）
雨乞儀礼〈その一～七〉	10～17	昭和62年（1987）～昭和63年（1988）
栗東町内城郭紀行－その1～12－	12～24	昭和62年（1987）～平成2年（1990）
ことば 栗東の方言、古語（その三～その十三）	13～24	昭和62年（1987）～平成2年（1990）
その一～十一 九代将軍 足利義尚公 女中せつの思い出語り	14～24	昭和63年（1988）～平成2年（1990）
栗東町の文学碑 I～XI	14～24	昭和63年（1988）～平成2年（1990）
栗東の民具（一～九）	16～24	昭和63年（1988）～平成2年（1990）
庶民の目から先人の遺産 埋蔵文化財をみる	17～24	昭和63年（1988）～平成2年（1990）
栗東町内の名木紀行 I～VI	18～23	平成元年（1989）～平成2年（1990）
町内の文化財〈その十八～二十四〉	18～24	平成元年（1989）～平成2年（1990）
栗東と蓮如〈その一～その六〉	19～24	平成元年（1989）～平成2年（1990）
栗東町内の地名のいわれ その1～4	24～ 26, 38	平成2年（1990）、平成6年（1994）
航空写真で見る文化財	25～36	平成3年（1991）～平成6年（1994）
りっとう絵図 その1～20	25～44	平成3年（1991）～平成8年（1996）
伝承（技術）1～32	25～56	平成3年（1991）～平成11年（1999）
おせっちゃんとおじいちゃんの郷土学習 栗東の豪族の壬申の乱①～⑦	27～33	平成3年（1991）～平成5年（1993）
りっとうの昔話 第一話～10	33～42	平成5年（1993）～平成7年（1995）
栗東の峠道1、2	34, 35	平成5年（1993）
平家物語の栗東 おせつ様思い出語り 第一～十一話	34～44	平成5年（1993）～平成8年（1996）
古代のアート I～VII	37～44	平成6年（1994）～平成8年（1996）
街道スポットPART①～⑨	40～48	平成7年（1995）～平成9年（1997）
蜂屋の民話 第1～14話	43～56	平成7年（1995）～平成11年（1999）
漫画 りっとう人物伝 その一 江戸時代の文人画家 岡笠山①～③	45～47	平成8年（1996）
人間栗宝	45～51	平成8年（1996）～平成9年（1997）
おせつ様思い出語り 久徳氏七代記第I～12話	45～56	平成8年（1996）～平成11年（1999）
漫画 りっとう人物伝 その二 幕末の鋳物師太田猪三郎①～⑩	48～57	平成9年（1997）～平成11年（1999）
栗東の神社①～⑥	49～55	平成9年（1997）～平成10年（1998）

7 歴史文化要素リスト

国指定等文化財

凡例 ◎：国指定等 ○：県指定 □：市指定 －：未指定

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
1	木造薬師如来坐像	有形文化財	平安	東坂	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	◎
2	木造虚空蔵菩薩半跏像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	◎
3	木造毘沙門天立像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	◎
4	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	鎌倉	荒張	敬恩寺	◎
5	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	鎌倉	荒張	正徳寺	◎
6	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺 (旧山口寺)	◎
7	木造阿弥陀如来立像（伝僧円仁作）	有形文化財	南北朝	林	新善光寺	◎
8	木造地藏菩薩立像	有形文化財	平安	六地藏	福正寺 (法界寺)	◎
9	木造薬師如来坐像	有形文化財	鎌倉	安養寺	東方山安養寺	◎
10	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	鎌倉	下鈎	浄光寺	◎
11	大宝神社狛犬	有形文化財		纒	大宝神社	◎
12	大野神社楼門	有形文化財	鎌倉	荒張	大野神社	◎
13	春日神社表門	有形文化財	桃山	荒張	春日神社	◎
14	大宝神社境内社追来神社本殿 附 棟札	有形文化財	鎌倉	纒	大宝神社	◎
15	宇和宮神社本殿	有形文化財	室町	蜂屋	宇和宮神社	◎
16	木造阿弥陀如来及両脇侍像	有形文化財	平安	荒張	金胎寺	◎
17	大角家住宅	有形文化財	江戸	六地藏	個人	◎
18	木造四天王立像	有形文化財	平安	荒張	金胎寺	◎
19	小槻大社本殿 附 宮殿	有形文化財	室町	下戸山	小槻大社	◎
20	木造釈迦如来坐像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	◎
21	木造軍荼利明王立像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	◎
22	安養寺十三重塔	有形文化財	鎌倉	安養寺	東方山安養寺	◎
23	木造千手観音立像	有形文化財	平安	東坂	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	◎
24	木造男神坐像（伝落別命） 木造男神坐像（伝大己貴命）	有形文化財	平安	下戸山	小槻大社	◎
25	狛坂磨崖仏	記念物	奈良	荒張	金勝寺	◎
26	旧和中散本舗	記念物	江戸	六地藏	個人	◎
27	大角氏庭園	記念物	江戸	六地藏	個人・栗東市	◎
28	近江湖南のサンヤレ踊り	無形民俗文化財	室町	下戸山	小杖祭り 保存会	◎ 県選択
29	川崎睦男家住宅（主屋・離れ・東蔵・北蔵）	有形文化財	明治・昭和	手原	個人	◎登録
30	川崎光雄家住宅（主家・北蔵・南蔵）	有形文化財	大正	手原	個人	◎登録
31	新善光寺（本堂・山門）	有形文化財	明治	林	新善光寺	◎登録
32	里内家住宅（主屋・離れ・中蔵・北蔵）	有形文化財	明治・昭和	手原	個人	◎登録
33	西田家住宅（主屋・離れ）	有形文化財	明治	纒	個人	◎登録
34	猪飼家住宅（長屋門（看板所）・長屋門塀）	有形文化財	江戸	手原	個人	◎登録
35	旧中島家住宅	有形文化財	明治	小野	個人	◎登録
－	高野神社 石造灯籠	有形文化財	鎌倉	高野	高野神社	重要美術品

県指定等文化財

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
36	木造僧形八幡神坐像 木造女神坐像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	○
37	大宝神社狛犬	有形文化財		綾	大宝神社	○
38	木造広目天立像	有形文化財	平安	荒張	大通寺保存会	○
39	木造薬師如来坐像	有形文化財	平安	小柿	東方寺	○
40	木像如意輪観音坐像 附 木造吉祥天立像	有形文化財	平安 鎌倉	井上	井上区	○
41	金勝寺制札	有形文化財	室町	荒張	金勝寺	○
42	紺紙金字金光明経第一	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	○
43	木造四天王立像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	○
44	木造天部形立像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	○
45	里内文庫資料	有形文化財	室町～昭和	小野	栗東市	○
46	木造男神坐像	有形文化財	平安	下戸山	五百井神社	○
47	算額 明和四歳亥十一月日井上太左衛門宗 益等奉納 算額 文政二己卯秋下旬井上太左衛門宗朝 奉納	有形文化財	江戸	東坂	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	○
48	黒漆金銅装蔓柏文鞍	有形文化財	南北朝	下戸山	五百井神社	○
49	独鈷杵・五鈷杵	有形文化財	鎌倉	荒張	金勝寺	○
50	御園太鼓踊	無形民俗文化財	江戸	御園	御園太鼓踊 保存会	県選択 □
51	上砥山太鼓踊	無形民俗文化財	江戸	上砥山	上砥山 田楽踊保存会	県選択 □
52	小杖祭りの祭礼芸能	無形民俗文化財	中世	下戸山	小杖祭り 保存会	◎ 県選択
53	安養寺庭園	記念物	江戸	安養寺	東方山安養寺	○

市指定文化財

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
54	木造聖観音菩薩及両脇侍像	有形文化財	平安・鎌倉	観音寺	観音寺	☐
55	石造下乗石	有形文化財	南北朝～室町	荒張	金勝寺	☐
56	石造隆堯法印宝篋印塔	有形文化財	室町	荒張	金勝寺	☐
57	木造毘沙門天立像 石造阿弥陀如来座像	有形文化財	鎌倉	高野	松源院	☐
58	木造阿弥陀如来及両脇侍像	有形文化財	平安	霊仙寺	正楽寺	☐
59	石造宝塔	有形文化財	鎌倉	荒張	金勝寺 (旧山口寺)	☐
60	石燈籠	有形文化財	室町	東坂	阿弥陀寺	☐
61	木造月光菩薩立像 木造十一面観音立像	有形文化財	平安	小柿	東方寺	☐
62	新善光寺庭園	記念物	江戸	林	新善光寺	☐
63	木造十一面観音立像	有形文化財	平安	荒張	敬恩寺	☐
64	足利義尚陣所跡	記念物	室町	上鉤	永正寺	☐
65	石造宝塔	有形文化財	鎌倉	霊仙寺	正楽寺	☐
66	石造足助楓崖碑	記念物	明治	糺	大宝神社	☐
67	木造薬師如来座像	有形文化財	平安	御園	薬師寺	☐
68	僧巖誉宗真墓	記念物		東坂	阿弥陀寺	☐
69	木造地藏菩薩立像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	☐
70	日向山古墳	記念物	古墳	六地藏	－	☐
71	龍王古墳	記念物	古墳	上砥山	－	☐
72	上砥山の太鼓踊	無形民俗 文化財	江戸	上砥山	上砥山田楽 踊保存会	☐ 県選択
73	御園太鼓踊	無形民俗 文化財	江戸	御園	御園太鼓踊 保存会	☐ 県選択
74	板絵著色三十番神像	有形文化財	室町	小野	白髭神社	☐
75	大野神社摂社本殿	有形文化財	室町	荒張	大野神社	☐
76	石造宝塔	有形文化財	室町	荒張	成谷寺	☐
77	木造地藏菩薩立像	有形文化財	鎌倉	荒張	峯の堂	☐
78	石造多層塔	有形文化財	鎌倉	六地藏	福正寺	☐
79	木造十一面観音立像	有形文化財	平安	荒張	大野神社	☐
80	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	平安	東坂	阿弥陀寺	☐
81	石造宝篋印塔	有形文化財	鎌倉	小野	萬年寺	☐
82	木造日光菩薩立像	有形文化財	平安	東坂	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	☐
83	木造月光菩薩立像	有形文化財	平安	東坂	阿弥陀寺 (旧善勝寺)	☐
84	木造毘沙門天立像	有形文化財	平安	安養寺	東方山安養寺	☐
85	木造月光菩薩立像	有形文化財	鎌倉	安養寺	東方山安養寺	☐
86	木造日光菩薩立像	有形文化財	鎌倉	安養寺	東方山安養寺	☐
87	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	平安	安養寺	東方山安養寺	☐
88	木造聖観音立像	有形文化財	鎌倉	小野	萬年寺	☐
89	懸仏（金銅製不動明王像）	有形文化財	鎌倉	荒張	金胎寺	☐
90	石造不動明王像	有形文化財	南北朝	荒張	廣徳寺	☐
91	石造阿弥陀如来像	有形文化財	鎌倉	蜂屋	蜂屋区	☐

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
92	木造聖観音立像	有形文化財	平安	小柿	東方寺	☐
93	木造天部立像 五軀	有形文化財	平安	小柿	東方寺	☐
94	大宝神社 稲田姫社本殿	有形文化財	江戸	糺	大宝神社	☐
95	木造華鬘	有形文化財	室町	観音寺	観音寺	☐
96	椿山古墳	記念物	古墳	安養寺	個人	☐
97	手原遺跡出土 石鍔帯巡方	有形文化財	平安	手原 ほか	栗東市 教育委員会	☐
98	紙本著色 隠元禅師像	有形文化財	江戸	小野	萬年寺	☐
99	紙本著色 慧極道明像	有形文化財	江戸	小野	萬年寺	☐
100	石造阿弥陀如来坐像（通称 大日如来像）	有形文化財	鎌倉	坊袋	大日堂	☐
101	日吉神社本殿 附 宮殿、棟札三枚	有形文化財	江戸	野尻	日吉神社	☐
102	菌神社 本殿 附 棟札一枚	有形文化財	南北朝～江戸	中沢	菌神社	☐
103	絹本著色 阿弥陀如来像	有形文化財	鎌倉	安養寺	鈎山安養寺	☐
104	井口天神社鳥居 附 扁額	有形文化財	江戸	辻	井口天神社	☐
105	金勝寺遺跡	記念物	平安	荒張	金勝寺	☐
106	宇和宮神社拝殿 附 棟札	有形文化財	室町	蜂屋	宇和宮神社	☐
107	大宝神社拝殿	有形文化財	江戸	糺	大宝神社	☐
108	和田古墳群	記念物	古墳	下戸山	栗東市	☐
109	木造天部形立像	有形文化財	平安	井上	井上区	☐
110	木造伝観音菩薩立像	有形文化財	平安	目川	地藏院	☐
111	紙本墨画 瀟湘八景図屏風	有形文化財	江戸	六地藏	個人	☐
112	紙本墨書 三帖和讃	有形文化財	室町	手原	円徳寺	☐
113	木造男神坐像 四軀 木造僧形坐像 二軀	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	☐
114	木造阿弥陀如来坐像	有形文化財	鎌倉	糺	仏眼寺	☐
115	紙本墨書 金勝寺本堂再建勸進状	有形文化財	室町	荒張	金勝寺	☐
116	紙本墨書 狛坂寺本尊縁起	有形文化財	室町	荒張	金勝寺	☐
117	紙本墨書 東方山安養寺本堂再建勸進状	有形文化財	室町	安養寺	東方山安養寺	☐
118	絹本著色 釈迦三尊十六羅漢像	有形文化財	室町	安養寺	東方山安養寺	☐
119	下戸山古墳	記念物	古墳	下戸山	－	☐
120	木造持国天立像 木造多聞天立像	有形文化財	平安	御園	薬師寺	☐
121	絹本著色方便法身尊号蓮如裏書 附 絹本著色方便法身尊像順如裏書一幅	有形文化財	室町	糺	西琳寺	☐
122	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	鎌倉	上鈎	永正寺	☐
123	石造宝篋印塔	有形文化財	鎌倉	伊勢落	徳生寺	☐
124	大野神社 鰐口	有形文化財	室町	荒張	大野神社	☐
125	梵鐘 維持寛永八年、大工當國辻村住人藤原 家次 國松橋右衛門慰 同 善右衛門 慰 太田甚兵衛慰の刻銘がある	有形文化財	江戸	小柿	常勝寺	☐
126	銅造阿弥陀三尊像	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	☐
127	十里遺跡出土木簡 四点	有形文化財	飛鳥	十里		☐
128	手原遺跡出土木簡 十一点 附 削屑木簡 一括 五十五点	有形文化財	奈良	手原・蜂屋・ 上鈎・大橋・ 小野	栗東市 教育委員会	☐
129	木造神像 二十九軀 附 宮殿八基	有形文化財	鎌倉～室町	糺	大宝神社	☐

歴史文化要素（未指定）

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
130	石仏（地藏立像）	有形文化財	室町	観音寺	善徳院	－
131	石槽	有形文化財	中世	観音寺	善徳院	－
132	宝篋印塔	有形文化財	中世	上砥山	勝専寺	－
133	宝篋印塔（笠）	有形文化財	室町	東坂	宗安寺	－
134	宝塔（笠）	有形文化財	－	東坂	宗安寺	－
135	宝塔（基礎）	有形文化財	－	東坂	宗安寺	－
136	一石五輪塔（砂岩）	有形文化財	室町	東坂	宗安寺	－
137	宝塔（基礎）	有形文化財	－	井上	三因寺	－
138	無縫塔（基礎）	有形文化財	室町	井上	三因寺	－
139	宝篋印塔	有形文化財	中世	荒張	敬恩寺	－
140	石仏	有形文化財	－	荒張	－	－
141	石槽	有形文化財	－	荒張	正徳寺	－
142	石仏	有形文化財	室町	荒張	荒張	－
143	重石	有形文化財	室町	荒張	－	－
144	石槽	有形文化財	近世	荒張	狛坂寺跡	－
145	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	中世	荒張	金勝寺	－
146	五輪塔（磨崖）	有形文化財	室町	荒張	茶沸観音	－
147	石槽	有形文化財	室町	御園	善勝寺	－
148	石仏	有形文化財	室町	御園	地藏堂	－
149	石仏（四方仏）	有形文化財	室町	御園	地藏堂	－
150	石棺	有形文化財	室町	御園	善勝寺裏山	－
151	石造宝塔	有形文化財	鎌倉	御園	常福寺	－
152	石造丁石	有形文化財	中世～近世	御園	常福寺	－
153	板碑	有形文化財	室町	観音寺	観音寺	－
154	石風呂	有形文化財	不明	東坂など	阿弥陀寺ほか	－
155	獣脚鋳型・仏具鋳型	有形文化財	平安	御園	栗東市 教育委員会	－
156	伝統的建造物	有形文化財	江戸	荒張	個人	－
157	上砥山日吉神社本殿 附 棟札	有形文化財	室町	上砥山	日吉神社	－
158	石造丁石	有形文化財	室町以降	荒張	金勝寺他	－
159	野神さん（野神神社）	記念物 栗東らしいもの	－	上砥山	野上神社	－
160	鰐口	有形文化財	江戸	荒張	成谷寺	－
161	地藏菩薩半跏像	有形文化財	平安	荒張	成谷寺	－
162	薬師如来坐像	有形文化財	平安	荒張	成谷寺	－
163	鉄湯釜	有形文化財	江戸	御園	中村区	－
164	宗安寺本堂	有形文化財	江戸	東坂	宗安寺	－
165	阿弥陀如来立像	有形文化財	－	荒張	善福寺	－
166	鰐口「大工辻村之住武村長左衛門尉重前」銘	有形文化財	江戸	御園	旧善勝寺	－
167	旧台座軸木	有形文化財	江戸	御園	旧善勝寺	－
168	地藏菩薩像	有形文化財	鎌倉	御園	善勝寺	－
169	木造大日如来坐像	有形文化財	平安	御園	常福寺	－
170	木造地藏菩薩立像	有形文化財	鎌倉	上砥山	浄西寺	－
171	金勝小学校所蔵文書	有形文化財	明治	御園	金勝小学校	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
172	木造不動明王立像	有形文化財	鎌倉	荒張	金勝寺 (旧山口寺)	－
173	馬頭観音堂	有形文化財 栗東らしいもの	現代	荒張	金勝寺	－
174	木造吉祥天立像	有形文化財	鎌倉	荒張	金勝寺	－
175	金勝寺寺領勝示絵図	有形文化財	不詳(鎌倉)	荒張	金勝寺	－
176	紺紙金字法華経	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	－
177	鏡像	有形文化財	－	荒張	金勝寺	－
178	版本大般若経	有形文化財	南北朝～室町	荒張	金勝寺	－
179	金勝寺二月堂	有形文化財	江戸	荒張	金勝寺	－
180	金勝寺本堂	有形文化財	江戸	荒張	金勝寺	－
181	金勝寺文書	有形文化財	室町	荒張	金勝寺	－
182	墓石群	有形文化財	－	荒張	金勝寺	－
183	木造金剛力士像	有形文化財	平安	荒張	金勝寺	－
184	四季耕作図蒔絵付黒蠟色膳・椀	有形文化財	江戸	荒張	個人	－
185	桶製作用具	有形民俗文化財	－	御園	個人	－
186	竹屋用具	有形民俗文化財	－	井上	個人	－
187	ハナづくり用具	有形民俗文化財	－	御園	個人	－
188	個人所有文書	有形文化財	江戸	御園	個人	－
189	個人所有文書	有形文化財	江戸	荒張	個人	－
190	個人所有文書	有形文化財	江戸	御園	個人	－
191	個人所有文書	有形文化財	江戸～明治	井上	個人	－
192	伝統的建造物	有形文化財	江戸	井上	個人	－
193	高札場	有形文化財	江戸	東坂	個人	－
194	個人所有文書	有形文化財	安土桃山 ・江戸	荒張	個人	－
195	個人所有文書	有形文化財	明治	荒張	個人	－
196	個人所有文書	有形文化財	明治	御園	個人	－
197	縞見本帳	有形民俗文化財	明治	荒張	個人	－
198	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	東坂	個人	－
199	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	御園	個人	－
200	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	上砥山	個人	－
201	伝統的建造物	有形文化財	江戸	東坂	個人	－
202	伝統的建造物	有形文化財	江戸	観音寺	個人	－
203	伝統的建造物	有形文化財	明治	観音寺	個人	－
204	伝統的建造物	有形文化財	明治	観音寺	個人	－
205	伝統的建造物	有形文化財	明治	御園	個人	－
206	伝統的建造物	有形文化財	明治・大正	御園	個人	－
207	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	大正	御園	個人	－
208	金勝興業事務所	有形文化財	大正	荒張	個人	－
209	伝統的建造物	有形文化財	明治	観音寺	個人	－
210	伝統的建造物	有形文化財	江戸	荒張	個人	－
211	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	大正	荒張	個人	－
212	阿弥陀如来懸仏	有形文化財	鎌倉	荒張	金胎寺	－
213	天部形像	有形文化財	平安	荒張	金胎寺	－
214	良弁坐像	有形文化財	安土桃山	荒張	金勝寺	－
215	願安坐像	有形文化財	安土桃山	荒張	金勝寺	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
216	山王上七社本地仏懸仏	有形文化財	室町	荒張	金勝寺	－
217	旧誠明学校瓦	有形文化財	明治	荒張	金勝寺	－
218	観音寺文書	有形文化財	安土桃山	観音寺	観音寺	－
219	神像	有形文化財	鎌倉～室町	上砥山	上砥山 日吉神社	－
220	日吉神社ドブクロ祭り	無形民俗文化財	－	上砥山	上砥山 日吉神社	－
221	毘沙門天像	有形文化財	室町	荒張	大野神社	－
222	不動明王像	有形文化財	江戸	荒張	大野神社	－
223	狛犬	有形文化財	南北朝～室町	荒張	大野神社	－
224	下乗石	有形文化財	－	荒張	大野神社	－
225	大野神社文書	有形文化財	江戸	荒張	大野神社	－
226	大野神社古墳石棺	有形文化財	古墳	荒張	－	－
227	宮城豊盛墓（阿弥陀寺宮城家墓所）	記念物	中世	東坂	阿弥陀寺	－
228	二十五菩薩面	有形文化財	江戸	東坂	阿弥陀寺	－
229	宗林諸末寺法度	有形文化財	室町	東坂	阿弥陀寺	－
230	周誉珠琳書状	有形文化財	室町	東坂	阿弥陀寺	－
231	善導大師版木・法然上人版木	有形文化財	南北朝	東坂	阿弥陀寺	－
232	阿弥陀寺文書	有形文化財	室町	東坂	阿弥陀寺	－
233	十王像	有形文化財	室町	東坂	阿弥陀寺	－
234	墓石群	有形文化財	－	東坂	阿弥陀寺	－
235	五輪塔群	有形文化財	江戸	東坂	阿弥陀寺	－
236	上山依村石部宿助郷高役相論覚書	有形文化財	江戸	御園	－	－
237	本多俊次定書	有形文化財	江戸	御園	－	－
238	三浦兵左衛門年賀状	有形文化財	江戸	御園	－	－
239	法度覚書	有形文化財	江戸	御園	－	－
240	金勝の入会林野関連用具	有形民俗文化財	－	－	－	－
241	金勝山の炭焼き用具	有形民俗文化財	－	－	－	－
242	九品の滝	記念物 栗東らしいもの	－	荒張	－	－
243	小屋谷観音	有形文化財	鎌倉	荒張	－	－
244	茶沸観音	有形文化財	平安	荒張	－	－
245	市有文書	有形文化財	江戸	御園	－	－
246	春日神社古墳群	記念物	古墳	御園	－	－
247	観音寺の景観	文化的景観	－	観音寺	－	－
248	走井の景観	文化的景観	－	走井	－	－
249	蔵町の景観	文化的景観	－	蔵町	－	－
250	上砥山遺跡	記念物	古代～中世	－	－	－
251	井上城	記念物	中世	井上	－	－
252	谷口遺跡	記念物	中世	－	－	－
253	樋ノ口遺跡	記念物	古代	－	－	－
254	善勝寺古墳	記念物	古墳	－	－	－
255	中村遺跡	記念物	古墳～中世	－	－	－
256	善勝寺山古墳	記念物	古墳	－	－	－
257	御園遺跡	記念物	－	－	－	－
258	阿弥陀寺古墳	記念物	古墳	－	－	－
259	辻越遺跡	記念物	古代	－	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
260	谷遺跡	記念物	古代	－	－	－
261	谷出遺跡	記念物	古代	－	－	－
262	大野神社古墳	記念物	古墳	－	－	－
263	井上古墳	記念物	古墳	－	－	－
264	永福寺遺跡	記念物	－	－	－	－
265	正徳寺古墳	記念物	古墳	－	－	－
266	狛坂寺遺跡	記念物	古代～近世	－	－	－
267	観音寺遺跡	記念物	－	－	－	－
268	美ノ郷遺跡	記念物	弥生	－	－	－
269	小割遺跡	記念物	－	－	－	－
270	長通遺跡	記念物	中世(鎌倉)	－	－	－
271	道久谷遺跡	記念物	古代～中世	－	－	－
272	辻越B遺跡	記念物	古代～中世	－	－	－
273	八王子遺跡	記念物	古代(平安)	－	－	－
274	金勝寺八大竜王本殿	有形文化財	－	荒張	－	－
275	部落有財産統一功件顕碑	有形文化財	－	御園	－	－
276	東坂の景観	文化的景観	－	東坂	－	－
277	昭和天皇御手植桜	記念物	現代	荒張	－	－
278	金勝寺遺跡（未指定範囲）	記念物	古代～近世	荒張	－	－
279	金勝寺大杉	記念物	－	荒張	－	－
280	金勝寺樹林	記念物	－	荒張	－	－
281	揺石	記念物	－	荒張	－	－
282	天狗岩	記念物	－	荒張	－	－
283	梵字岩	有形文化財	－	井上	－	－
284	川遊びができる河川	記念物 栗東らしいもの	－	－	－	－
285	金勝山	記念物 栗東らしいもの	－	－	－	－
286	金勝の植樹祭会場跡からの景色	文化的景観 栗東らしいもの	－	荒張 観音寺	－	－
287	こんぜの里広場から見る風景	文化的景観 栗東らしいもの	－	観音寺	－	－
288	八大竜王祠	有形文化財	奈良	荒張	－	－
289	国見岩	記念物	－	荒張	－	－
290	興福寺別院金勝寺図略	有形文化財	江戸	荒張	－	－
291	狛坂寺跡	記念物	平安	荒張	－	－
292	上砥山共有文書	有形文化財	江戸・明治	上砥山	－	－
293	鶏冠山	文化的景観 栗東らしいもの	－	荒張	－	－
294	竜王山	記念物	－	荒張	－	－
295	勝専寺文書	有形文化財	江戸	上砥山	－	－
296	誠明学校	記念物	明治	荒張	－	－
297	荒張共有文書	有形文化財	明治	荒張	－	－
298	金勝部落有山林記念碑	有形文化財	－	御園	－	－
299	金勝青年団旗	有形文化財	大正	御園	－	－
300	上砥山山之神共有文書	有形文化財	江戸～	上砥山	－	－
301	浅柄野開拓碑	有形文化財	平成	荒張	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
302	奉安殿	有形文化財	昭和	御園	－	－
303	ため池修理	無形民俗文化財	－	荒張	－	－
304	水口まつり	無形民俗文化財	－	荒張	－	－
305	子育て関連行事	無形民俗文化財	－	御園 荒張	－	－
306	オチアイマツリ	無形民俗文化財	－	井上 荒張	－	－
307	彼岸行事	無形民俗文化財	－	東坂	－	－
308	常福寺（大日堂）年頭の法会	無形民俗文化財	－	御園	－	－
309	辻越共有文書	有形文化財	江戸	御園	－	－
310	金勝村有林沿革誌	有形文化財	明治・大正	－	－	－
311	個人所有文書	有形文化財	江戸	御園 (上山依)	－	－
312	個人所有文書	有形文化財	安土桃山	荒張	－	－
313	個人所有文書	有形文化財	江戸～明治	観音寺	－	－
314	降棟鬼瓦（鐘桜）	有形文化財	不詳	荒張	－	－
315	大棟鬼瓦（鐘桜）	有形文化財	不詳	東坂	－	－
316	大棟鬼瓦（鐘桜）	有形文化財	江戸	上砥山	－	－
317	大棟鬼瓦（脇堂）	有形文化財	江戸	上砥山	－	－
318	日本中央競馬会 栗東トレーニング・センター	記念物	昭和～	御園	－	－
319	日待講	無形民俗文化財	－	東坂	－	－
320	御田講	無形民俗文化財	－	東坂	－	－
321	こんぜみそ	無形民俗文化財	－	上砥山	－	－
322	ネギのてっぽう	無形民俗文化財	－	上砥山	－	－
323	豆だんご	無形民俗文化財	－	上砥山	－	－
324	中村堰堤	有形文化財	明治	御園	－	－
325	太神宮燈籠	有形文化財	明治	上砥山	－	－
326	千代茂七郎三碑	有形文化財	明治	上砥山	－	－
327	悠久致功の森（旧栗太農学校演習林）	記念物	昭和	荒張	－	－
328	恵知堰堤	記念物	大正	片山	－	－
329	西口氏顕彰碑	有形文化財	明治	荒張	－	－
330	黒岩砂防堰堤	記念物	大正	荒張	－	－
331	善勝寺山古墳・石棺	有形文化財	古墳	御園	－	－
332	宝篋印塔（寄集め）	有形文化財	室町	六地藏	個人	－
333	宝篋印塔（寄集め）	有形文化財	室町	六地藏	個人	－
334	宝篋印塔（寄集め）	有形文化財	室町	六地藏	個人	－
335	宝篋印塔（寄集め）	有形文化財	室町	六地藏	個人	－
336	宝篋印塔（寄集め）	有形文化財	室町	六地藏	個人	－
337	石灯籠（寄集め）	有形文化財	鎌倉	六地藏	個人	－
338	石仏（小形板碑）	有形文化財	室町	六地藏	個人	－
339	石仏（小形板碑）	有形文化財	室町	六地藏	法界寺	－
340	層塔（塔身）	有形文化財	南北朝	六地藏	法界寺	－
341	宝篋印塔（笠）	有形文化財	鎌倉	六地藏	福正寺	－
342	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	六地藏	福正寺	－
343	宝塔（塔身）	有形文化財	鎌倉	六地藏	福正寺	－
344	宝塔（基礎）	有形文化財	南北朝	伊勢落	徳生寺	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
345	宝篋印塔（笠）	有形文化財	南北朝	伊勢落	徳生寺	－
346	宝塔（基礎）	有形文化財	南北朝	伊勢落	徳生寺	－
347	塔材（塔身か）	有形文化財	南北朝	伊勢落	徳生寺	－
348	石仏（塔身）	有形文化財	南北朝	伊勢落	徳生寺	－
349	層塔	有形文化財	室町	伊勢落	徳生寺	－
350	宝篋印塔（笠、塔身）	有形文化財	鎌倉	手原	清久寺	－
351	五輪塔（基礎）	有形文化財	南北朝	辻	正覚寺	－
352	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	南北朝	辻	正覚寺	－
353	宝塔（基礎）	有形文化財	中世	手原	真慶寺	－
354	一石五輪塔	有形文化財	室町	手原	真慶寺	－
355	宝篋印塔	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
356	宝塔（塔身）	有形文化財	南北朝	林	新善光寺	－
357	宝篋印塔（塔身）	有形文化財	南北朝	林	新善光寺	－
358	宝篋印塔（笠）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
359	層塔か（塔身）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
360	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
361	宝篋印塔（笠）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
362	層塔（笠）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
363	層塔（笠）	有形文化財	中世	林	新善光寺	－
364	宝篋印塔（笠）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
365	層塔	有形文化財	南北朝	林	新善光寺	－
366	一石五輪塔	有形文化財	江戸	林	新善光寺	－
367	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
368	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	林	新善光寺	－
369	石造宝塔	有形文化財	鎌倉	高野	松源院	－
370	板碑	有形文化財	室町	高野	松源院	－
371	宝篋印塔（笠）	有形文化財	鎌倉	高野	松源院	－
372	宝篋印塔（塔身）	有形文化財	鎌倉	高野	松源院	－
373	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	高野	松源院	－
374	出庭神社 タニシのモニュメント	有形文化財 栗東らしいもの	現代	出庭	出庭神社	－
375	出庭神社宝塔	有形文化財	－	出庭	出庭神社	－
376	笠塔婆	有形文化財	南北朝	出庭	共同墓地	－
377	石仏（大形）	有形文化財	南北朝	出庭	共同墓地	－
378	石仏（大形）	有形文化財	南北朝	出庭	共同墓地	－
379	石仏（大形）	有形文化財	室町	出庭	共同墓地	－
380	層塔（塔身）	有形文化財	鎌倉	六地藏	高念寺	－
381	石仏（小形板碑）	有形文化財	中世	六地藏	高念寺	－
382	宝篋印塔（塔身）	有形文化財	室町	大橋	慶崇寺	－
383	辻鋳物師関係資料	有形文化財	近世	－	栗東市	－
384	亀塚古墳出土品（三角縁神獣鏡）	有形文化財	古墳	出庭	栗東歴史 民俗博物館	－
385	金山古墳群	記念物	古墳	伊勢落	－	－
386	金山古墳群出土品（須恵器）	有形文化財	古墳	伊勢落	栗東歴史 民俗博物館	－
387	辻遺跡配石遺構	有形文化財	縄文	高野・辻	栗東市教育 委員会	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
388	高野遺跡出土品（市内最古級の縄文土器・炭化木の実）	有形文化財	縄文	高野	栗東市教育委員会	－
389	高野遺跡出土品（鍛冶遺構・鉄製品）	有形文化財	古墳	高野・辻	栗東市教育委員会	－
390	辻遺跡出土品（韓式系土器）	有形文化財	古墳	高野ほか	栗東市教育委員会	－
391	辻遺跡出土品（玉作関係遺物）	有形文化財	古墳	高野ほか	栗東市教育委員会	－
392	岩畑遺跡出土品（玉作関係遺物）	有形文化財	古墳	高野・林	栗東市教育委員会	－
393	岩畑遺跡出土品（鉄製品）	有形文化財	古墳	高野・林	栗東市教育委員会	－
394	岩畑遺跡前方後方形周溝状遺構	有形文化財	古墳	高野・林	栗東市教育委員会	－
395	手原廃寺出土品（出土瓦）	有形文化財	飛鳥	手原	栗東市教育委員会	－
396	竹村コレクション（鉄道資料）	有形文化財	現代	－	栗東市	－
397	SL公園	有形文化財	現代	手原	栗東市	－
398	鰐口	有形文化財	江戸	林	薬師堂	－
399	三輪神社の祭礼（ドジョウズシ）	無形民俗文化財	－	大橋	－	－
400	聖観音立像	有形文化財	平安	小野	萬年寺	－
401	祐堂元蔭像	有形文化財	江戸	小野	萬年寺	－
402	慧極道明墨跡	有形文化財	江戸	小野	萬年寺	－
403	萬年寺	有形文化財	鎌倉	小野	萬年寺	－
404	布袋坐像	有形文化財	江戸	小野	萬年寺	－
405	萬年寺略記	有形文化財	－	小野	萬年寺	－
406	萬年寺本堂	有形文化財	江戸	小野	萬年寺	－
407	萬年寺文書	有形文化財	江戸・明治	小野	萬年寺	－
408	観音講	無形民俗文化財	－	小野	萬年寺	－
409	版本大般若經	有形文化財	鎌倉	高野	松源院	－
410	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	出庭	法香寺	－
411	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	六地藏	福正寺	－
412	福正寺文書	有形文化財	室町～江戸	六地藏	福正寺	－
413	福正寺本堂・棟札	有形文化財	江戸	六地藏	福正寺	－
414	福正寺 本堂図面	有形文化財	－	六地藏	福正寺	－
415	福正寺	記念物	室町	六地藏	福正寺	－
416	膳所藩私領傍示石	記念物	江戸	林	－	－
417	辻村神田講記録 太田猪三郎写本	有形文化財	江戸	辻	栗東歴史民俗博物館	－
418	鍋宮御旧記	有形文化財	江戸	辻	栗東歴史民俗博物館	－
419	方便法身尊号蓮如裏書	有形文化財	室町	伊勢落	徳生寺	－
420	方便法身尊号蓮如裏書	有形文化財	室町	伊勢落	徳生寺	－
421	明治天皇手原御小休所記念碑	記念物	明治	手原	手原稲荷神社	－
422	出庭神社春例祭	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	出庭	出庭神社	－
423	神田帳	有形文化財	江戸	辻	辻自治会	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
424	神田講人数之帳	有形文化財	江戸	辻	辻自治会	－
425	鋳型制作用具	有形民俗文化財	江戸～近代	辻	辻自治会	－
426	阿弥陀如来立像	有形文化財	平安	林	長徳寺	－
427	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	林	長徳寺	－
428	高野神社四脚門	有形文化財	安土桃山	高野	高野神社	－
429	高野神社例大祭	無形民俗文化財	－	高野ほか	高野神社	－
430	新善光寺縁起	有形文化財	江戸	林	新善光寺	－
431	地藏菩薩立像	有形文化財	平安	手原	真慶寺	－
432	阿弥陀如来立像	有形文化財	鎌倉	伊勢落	真教寺	－
433	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	伊勢落	真教寺	－
434	真教寺	記念物	室町	伊勢落	真教寺	－
435	白鬚神社縁起	有形文化財	平安	小野	白鬚神社	－
436	是斎元祖像	有形文化財	江戸	六地藏	浄玖寺	－
437	阿弥陀如来立像	有形文化財	平安	六地藏	浄玖寺	－
438	暦応五年繪旨正覚寺空玄写	有形文化財	江戸	辻	正覚寺	－
439	梵鐘「鋳物師太田弁蔵」銘	有形文化財	昭和	辻	正覚寺	－
440	艾屋亀屋看板	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
441	塗師看板	有形文化財	江戸	小野	個人	－
442	埴塙	有形民俗文化財	江戸	辻	個人	－
443	暦応五年蔵人所牒写	有形文化財	江戸	辻	個人	－
444	田中七右衛門門葉系図	有形文化財	江戸	辻	個人	－
445	神田講帳（写）	有形文化財	江戸	辻	個人	－
446	西兵衛家伝記	有形文化財	江戸	辻	個人	－
447	大目一箇神神号	有形文化財	江戸	辻	個人	－
448	片桐且元書下写	有形文化財	江戸	辻	個人	－
449	天福元年菊御紋許状写	有形文化財	江戸	辻	個人	－
450	膳所城主御成之節献立	有形文化財	江戸	辻	個人	－
451	御神宝鋳造依頼二付書状	有形文化財	江戸	辻	個人	－
452	年々勘定帳	有形文化財	江戸	辻	個人	－
453	享保15年年々勘定帳	有形文化財	江戸	辻	個人	－
454	勘定覚帳	有形文化財	江戸	辻	個人	－
455	釣鐘出来帳	有形文化財	江戸	辻	個人	－
456	長浜彦根両店勘定帳	有形文化財	江戸	辻	個人	－
457	太田西兵衛遺言状	有形文化財	江戸	辻	個人	－
458	鋳掛職許状	有形文化財	江戸	辻	個人	－
459	留帳	有形文化財	江戸	辻	個人	－
460	家督譲状	有形文化財	江戸	辻	個人	－
461	土臼製作用具	有形民俗文化財	－	出庭	個人	－
462	藤箕製作用具	有形民俗文化財	－	高野・辻	個人	－
463	酒造用具	有形民俗文化財	－	手原	個人	－
464	扇骨製作用具	有形民俗文化財	－	手原	個人	－
465	酒屋鈴鹿川看板	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
466	艾版木	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
467	万金丹看板	有形文化財	江戸	出庭	個人	－
468	薬種類人参類看板	有形文化財	江戸	出庭	個人	－
469	乍恐口上書を以御訴訟申上候（和中散名義二付）	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
470	片岡清左衛門軍旗	有形文化財	江戸	小野	個人	－
471	伏屋新助書蹟 「僊雲擁寿山」	有形文化財	江戸	大橋	個人	－
472	猪飼家屋敷図	有形文化財	江戸	手原	個人	－
473	御両殿様御百姓中間入状	有形文化財	江戸	小野	個人	－
474	私領傍示石	有形文化財	江戸	大橋	個人	－
475	個人所有文書	有形文化財	江戸～昭和	林	個人	－
476	林太郎兵衛家族図 梁舟筆	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
477	トリミズ用具	有形民俗文化財	－	小野	個人	－
478	大角家文書	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
479	個人所有文書	有形文化財	江戸	出庭	個人	－
480	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	出庭	個人	－
481	油屋商標	有形文化財	江戸	大橋	個人	－
482	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	辻	個人	－
483	個人所有文書	有形文化財	江戸	辻	個人	－
484	個人所有文書	有形文化財	明治	伊勢落	個人	－
485	金沢主税「閑日」	有形文化財	昭和	小野	個人	－
486	個人所有文書	有形文化財	江戸	林	個人	－
487	個人所有文書	有形文化財	江戸	小野	個人	－
488	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
489	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
490	伝統的建造物	有形文化財	江戸	出庭	個人	－
491	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	明治	六地藏	個人	－
492	亀塚古墳	記念物	古墳	出庭	－	－
493	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	伊勢落	個人	－
494	阿弥陀如来立像	有形文化財	平安	六地藏	高念寺	－
495	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	六地藏	高念寺	－
496	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	小野	光圓寺	－
497	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	大橋	慶崇寺	－
498	和中散看板類	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
499	伊吹艾版木	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
500	大田蜀山人狂歌	有形文化財	江戸	六地藏	個人	－
501	大橋村絵図	有形文化財	江戸	大橋	大橋区	－
502	方便法身尊号蓮如裏書	有形文化財	室町	手原	圓徳寺	－
503	親鸞画像実如裏書	有形文化財	室町	手原	圓徳寺	－
504	宝篋印塔（寄せ集め）	有形文化財	鎌倉	手原	圓徳寺	－
505	層塔（寄せ集め）	有形文化財	鎌倉	手原	圓徳寺	－
506	五輪塔（寄せ集め）	有形文化財	鎌倉	手原	圓徳寺	－
507	層塔（寄せ集め）	有形文化財	鎌倉	手原	圓徳寺	－
508	層塔（寄せ集め）	有形文化財	鎌倉	手原	圓徳寺	－
509	永代三部読経金看板	有形文化財	江戸	辻	圓超寺	－
510	梵鐘供出供養表白文	有形文化財	昭和	辻	圓超寺	－
511	三具足	有形文化財	江戸	辻	圓超寺	－
512	五具足のうち燭台・花瓶「施主田中喜兵衛、田中忠兵衛」銘	有形文化財	江戸	辻	圓超寺	－
513	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	辻	圓超寺	－
514	岩上神社祭礼	無形民俗文化財	－	伊勢落	岩神神社	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
515	男神坐像	有形文化財	室町	手原	稲荷神社	－
516	宮殿	有形文化財	室町	手原	稲荷神社	－
517	稲荷神社本殿	有形文化財	室町	手原	稲荷神社	－
518	鉄湯釜	有形文化財	江戸・明治	辻	井口天神社 (辻自治会)	－
519	鰐口	有形文化財	江戸	辻	井口天神社 (辻自治会)	－
520	井口天神社 銅湯釜	有形文化財	江戸	辻	井口天神社 (辻自治会)	－
521	絵馬	有形文化財	江戸	辻	井口天神社 (辻自治会)	－
522	鉄竈	有形文化財	明治	辻	井口天神社	－
523	ワワシイタ・撞座型	有形民俗文化財	明治	辻	－	－
524	諸国出職明細鑑	有形文化財	江戸	辻	－	－
525	太田猪三郎弾丸献上目録	有形文化財	江戸	辻	－	－
526	白砲図	有形文化財	江戸	辻	－	－
527	大砲図	有形文化財	江戸	辻	－	－
528	西洋砲術便覧 上 太田猪三郎写本	有形文化財	江戸	辻	－	－
529	太田西兵衛家伝記	有形文化財	江戸	辻	－	－
530	太田庄兵衛宛蔵人所牒写	有形文化財	江戸	辻	－	－
531	武衛流玉径之巻	有形文化財	江戸	辻	－	－
532	洋外礮具全図	有形文化財	江戸	辻	－	－
533	弾丸銃砲等鑄造覚断簡	有形文化財	江戸	辻	－	－
534	鑄物工場跡出土品	有形文化財	江戸	辻	－	－
535	博覧会ニ付申送状	有形文化財	明治	辻	－	－
536	梵鐘鑄造百事録	有形文化財	明治	辻	－	－
537	鑄型	有形民俗文化財	近代	辻	－	－
538	鑄造製品	有形文化財	近代	辻	－	－
539	伊勢講講招牌	有形文化財	江戸	六地藏	－	－
540	定飛脚取次所看板	有形文化財	江戸	六地藏	－	－
541	伊吹艾亀屋包装紙	有形文化財	江戸	－	－	－
542	本家ぜさい引き札	有形文化財	江戸	六地藏	－	－
543	土馬	有形文化財	古墳～奈良	小野	－	－
544	辻遺跡	記念物	縄文 古墳	辻 高野ほか	－	－
545	高野遺跡	記念物	縄文 古墳	高野 辻	－	－
546	辻遺跡前方後方形周溝墓	有形文化財	古墳	高野ほか	－	－
547	岩畑遺跡	記念物	古墳	高野・林	－	－
548	出庭遺跡	記念物	古墳	出庭	－	－
549	岡山古墳	記念物	古墳	六地藏	－	－
550	岡山古墳出土品（三角縁神獣鏡・盤龍鏡）	有形文化財	古墳	六地藏	－	－
551	大乘寺遺跡	記念物	－	－	－	－
552	相坂寺遺跡	記念物	－	－	－	－
553	西蓮寺遺跡	記念物	－	－	－	－
554	ジョウレン寺遺跡	記念物	－	－	－	－
555	車塚古墳	記念物	古墳	－	－	－
556	林遺跡	記念物	古墳～近世	－	－	－
557	多福寺遺跡	記念物	古代～近世	－	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
558	大塚古墳	記念物	古墳	－	－	－
559	イク塚古墳	記念物	古墳	－	－	－
560	小野遺跡	記念物	古墳～中世	－	－	－
561	唯心教寺遺跡	記念物	－	－	－	－
562	岡山古墳	記念物	古墳	－	－	－
563	堂山古墳群	記念物	古墳	－	－	－
564	六地藏城遺跡	記念物	中世	－	－	－
565	佐世川古墳群	記念物	古墳	－	－	－
566	大西館遺跡	記念物	中世	－	－	－
567	出庭古墳群	記念物	古墳	－	－	－
568	佐世川遺跡	記念物	弥生	－	－	－
569	上田遺跡	記念物	古代	－	－	－
570	千本松遺跡	記念物	近世・古墳	－	－	－
571	谷田古墳	記念物	古墳	－	－	－
572	石場山遺跡	記念物	－	－	－	－
573	北尾遺跡	記念物	－	－	－	－
574	松塚古墳	記念物	古墳	－	－	－
575	北尾東遺跡	記念物	古代	－	－	－
576	亀塚古墳	記念物	古墳	－	－	－
577	鋳物業明細上申書	有形文化財	明治	辻	－	－
578	鋳物職執業之図	有形文化財	明治	辻	－	－
579	伝統的建造物	有形文化財	－	－	－	－
580	丸薬版木	有形文化財	江戸	六地藏	－	－
581	東海道沿いの伝統的建造物群	伝統的建造物群	－	－	－	－
582	竜王神の祠	有形文化財	－	伊勢落	－	－
583	多喜山城	記念物	中世	六地藏	－	－
584	片岡清左衛門の旗	有形文化財	江戸	小野	－	－
585	大橋共有文書	有形文化財	江戸	六地藏	－	－
586	下鉤共有文書	有形文化財	江戸・明治	下鉤	－	－
587	是斎像	有形文化財	安土桃山	六地藏	－	－
588	石造道標「新善光寺道「石道印」」	記念物	江戸	林	－	－
589	葉山小学校所蔵文書	有形文化財	明治～昭和	高野	－	－
590	栗太郡葉山村是	有形文化財	明治	－	－	－
591	葉山村生活改善規約	有形文化財	大正	－	－	－
592	葉山村生活改善要綱	有形文化財	昭和	－	－	－
593	農事改良方針及施設要項	有形文化財	大正	－	－	－
594	更生の葉山	有形文化財	昭和	－	－	－
595	葉山村経済更生計画書	有形文化財	昭和	－	－	－
596	大字林農業水利組合格約	有形文化財	昭和	林	－	－
597	六郷水利組合	無形民俗文化財	－	伊勢落 ほか	－	－
598	タウエサン	無形民俗文化財	－	伊勢落 ほか	－	－
599	園田家薬看板	有形文化財	近世	出庭	－	－
600	園田家 製薬関連	有形民俗文化財	近世	出庭	－	－
601	堂の講	無形民俗文化財	－	六地藏	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
602	三輪神社御弓式	無形民俗文化財	奈良	大橋	－	－
603	ユマツリ	無形民俗文化財	－	辻	－	－
604	ドジョウズシ	無形民俗文化財	－	大橋	－	－
605	出庭共有文書	有形文化財	江戸	出庭	－	－
606	宅屋共有文書	有形文化財	江戸	出庭	－	－
607	個人所有文書	有形文化財	江戸	小野	－	－
608	降棟鬼瓦	有形文化財	江戸	六地藏	－	－
609	薬師堂大棟鬼瓦	有形文化財	江戸	小野	－	－
610	宅屋の夜回り	無形民俗文化財	明治	宅屋	－	－
611	ひとぎ祭（岩上講）	無形民俗文化財	－	伊勢落	－	－
612	ごぼう講（薬師講）	無形民俗文化財	－	林	－	－
613	出庭竜宮祭	無形民俗文化財	－	出庭	－	－
614	製菓業	無形民俗文化財	江戸	辻	－	－
615	いもつぶし	無形民俗文化財	－	小野	－	－
616	記恩碑	有形文化財	昭和	林	－	－
617	彰徳碑	有形文化財	昭和	林	－	－
618	忠魂碑	記念物	明治	高野	－	－
619	石造道標「新善光寺道」	記念物	江戸	六地藏	－	－
620	一里塚跡	記念物	江戸	六地藏	－	－
621	肩かえの松	記念物	江戸	小野	－	－
622	稲荷神社	記念物	江戸	手原	稲荷神社	－
623	すずめ茶屋跡	記念物	江戸	手原	－	－
624	宅屋の景観	文化的景観	－	宅屋	－	－
625	宝塔（笠）	有形文化財	－	安養寺	鈎山安養寺	－
626	宝塔（笠）	有形文化財	－	坊袋	養専寺	－
627	厨子入弁財天十五童子像	有形文化財	江戸	小柿	弁天社	－
628	狛犬	有形文化財	江戸	小柿	弁天社	－
629	石灯籠	有形文化財	江戸	小柿	弁天社	－
630	手水	有形文化財	江戸	下鈎	泊瀬部神社	－
631	灯籠	有形文化財	江戸	下鈎	泊瀬部神社	－
632	宝塔（笠）	有形文化財	中世	小柿	東方寺	－
633	宝塔（笠）	有形文化財	中世	小柿	東方寺	－
634	宝篋印塔（笠）	有形文化財	－	小柿	東方寺	－
635	宝塔（基礎）	有形文化財	－	小柿	東方寺	－
636	竈	有形文化財	江戸	上鈎	天王神社	－
637	灯籠	有形文化財	江戸	上鈎	天王神社	－
638	宝篋印塔もしくは層塔	有形文化財	室町	目川	地藏院	－
639	宝篋印塔（相輪）	有形文化財	－	目川	地藏院	－
640	五輪塔（請花・宝珠）	有形文化財	室町	目川	地藏院	－
641	五輪塔（笠）	有形文化財	室町	目川	地藏院	－
642	層塔（笠）	有形文化財	南北朝	坊袋	大日堂	－
643	善性寺	記念物	江戸	川辺	善性寺	－
644	一石五輪塔	有形文化財	－	川辺	川辺家墓地	－
645	宝篋印塔（塔身）	有形文化財	中世	川辺	川辺家墓地	－
646	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	－	安養寺	西福寺	－
647	宝篋印塔（塔身）	有形文化財	室町	下鈎	浄光寺	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
648	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	室町	下鉤	浄光寺	－
649	宝塔（笠）	有形文化財	鎌倉	下鉤	浄光寺	－
650	宝塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	下鉤	浄光寺	－
651	宝塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	下鉤	浄光寺	－
652	宝篋印塔（相輪）	有形文化財	－	小柿	常勝寺	－
653	宝篋印塔（笠）	有形文化財	中世	小柿	常勝寺	－
654	宝篋印塔（塔身）	有形文化財	中世	小柿	常勝寺	－
655	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	中世	小柿	常勝寺	－
656	石龕	有形文化財	中世	小柿	常勝寺	－
657	層塔（笠）	有形文化財	中世	小柿	常勝寺	－
658	宝篋印塔（相輪）	有形文化財	－	上鉤	上鉤 寺内	－
659	灯籠	有形文化財	江戸	小柿	小柿大宝神社	－
660	狛犬	有形文化財	江戸	小柿	小柿大宝神社	－
661	宝篋印塔（寄せ集め・基礎、塔身）	有形文化財	室町	小柿	光円寺	－
662	層塔あるいは宝篋印塔	有形文化財	南北朝	下戸山	源流寺	－
663	相輪	有形文化財	室町	下戸山	源流寺	－
664	層塔か（笠）	有形文化財	鎌倉	下戸山	源流寺	－
665	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	室町	下戸山	源流寺	－
666	五輪塔か（基礎）	有形文化財	南北朝	下戸山	源流寺	－
667	宝篋印塔（笠）	有形文化財	中世	中沢	菌神社	－
668	宝篋印塔（笠）	有形文化財	南北朝	中沢	菌神社	－
669	層塔（笠）	有形文化財	南北朝	中沢	菌神社	－
670	宝塔（塔身）	有形文化財	－	下鉤	蓮台寺	－
671	宝塔（基礎）	有形文化財	鎌倉	下鉤	蓮台寺	－
672	宝塔（笠）	有形文化財	鎌倉	下鉤	蓮台寺	－
673	灯籠	有形文化財	江戸	安養寺	一杵神社	－
674	竈	有形文化財	江戸	安養寺	一杵神社	－
675	板碑（下乗石）	有形文化財	－	安養寺	東方山安養寺	－
676	小形石仏	有形文化財	室町	安養寺	安養寺	－
677	八角形石燈籠（中台）	有形文化財	中世	安養寺	東方山安養寺	－
678	石仏（大日さん）	有形文化財	室町	下戸山	安随寺	－
679	和田古墳群出土品	有形文化財	古墳	下戸山	栗東市教育委員会	－
680	下戸山古墳出土品	有形文化財	古墳	下戸山	栗東市教育委員会	－
681	新開4号墳出土品（船形埴輪、家形埴輪）	有形文化財	古墳	安養寺	栗東市教育委員会	－
682	無文銀銭	有形文化財	奈良	川辺	栗東市教育委員会	－
683	皇朝十二銭	有形文化財	平安	岡・目川・下戸山	栗東市教育委員会	－
684	狐塚遺跡出土品（石囲炉）	有形文化財	縄文	川辺	栗東市教育委員会	－
685	下鉤遺跡出土品（滑石製管玉、土製耳栓）	有形文化財	縄文	下鉤	栗東市教育委員会	－
686	南平古墳群出土品（有茎尖頭器、有溝砥石）	有形文化財	縄文	川辺	栗東市教育委員会	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
687	下鉤遺跡出土品（翡翠製勾玉、石杵）	有形文化財	弥生	下鉤ほか	栗東市教育委員会	－
688	下鉤遺跡出土品（青銅製品一括）	有形文化財	弥生	下鉤ほか	栗東市教育委員会	－
689	下鉤遺跡出土品（琴）	有形文化財	弥生	下鉤ほか	栗東市教育委員会	－
690	下鉤遺跡出土品（絵画土器）	有形文化財	弥生	下鉤ほか	栗東市教育委員会	－
691	下鉤遺跡出土品（前漢鏡）	有形文化財	弥生	下鉤ほか	栗東市教育委員会	－
692	中沢遺跡出土品（琴）	有形文化財	弥生	中沢	栗東市教育委員会	－
693	小柿遺跡出土品（琴、臼）	有形文化財	弥生	小柿	栗東市教育委員会	－
694	椿山古墳出土品（大型笠形木製品）	有形文化財	古墳	安養寺	栗東市教育委員会	－
695	椿山古墳出土品（短甲など）	有形文化財	古墳	安養寺	栗東市教育委員会	－
696	新開3号墳出土品（鏡など）	有形文化財	古墳	安養寺	栗東市教育委員会	－
697	新開4号墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
698	地山古墳出土品	有形文化財	古墳	岡	栗東市教育委員会	－
699	地山2号墳出土品（形象埴輪）	有形文化財	古墳	岡	栗東市教育委員会	－
700	新開西古墳群	記念物	古墳	安養寺	－	－
701	新開西古墳群出土品（須恵質有蓋長胴棺、陶製露玉）	有形文化財	古墳	安養寺	栗東歴史民俗博物館	－
702	狐塚古墳群	記念物	古墳	安養寺・川辺	－	－
703	狐塚3号墳出土品（笠形木製品、鳥形木製品）	有形文化財	古墳	安養寺・川辺	栗東市教育委員会	－
704	南平1号墳出土品（内行花文鏡など）	有形文化財	古墳	川辺	栗東市教育委員会	－
705	小槻大社10号墳出土品（角杯）	有形文化財	古墳	下戸山	栗東市教育委員会	－
706	岡遺跡出土品（柱根）	有形文化財	奈良	岡ほか	栗東市教育委員会	－
707	岡遺跡出土品（硯類）	有形文化財	飛鳥～奈良	岡ほか	栗東市教育委員会	－
708	岡遺跡出土品（石帯）	有形文化財	平安	岡ほか	栗東市教育委員会	－
709	岡遺跡出土品（皇朝十二銭）	有形文化財	平安	岡ほか	栗東市教育委員会	－
710	岡遺跡出土品（土馬）	有形文化財	奈良	岡ほか	栗東市教育委員会	－
711	狐塚遺跡	記念物	飛鳥	川辺・安養寺	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
712	狐塚遺跡出土品（墨書土器・無文銀錢）	有形文化財	奈良	川辺・安養寺	栗東市教育委員会	－
713	伊勢講籤	有形文化財	江戸	目川	目川中之町伊勢講共有	－
714	蓮如上人縁起	有形文化財	江戸	安養寺	鉤山安養寺	－
715	方便法身尊号	有形文化財	室町	安養寺	鉤山安養寺	－
716	方便法身尊号蓮如裏書	有形文化財	室町	安養寺	安養寺	－
717	親鸞画像実如裏書	有形文化財	室町	安養寺	安養寺	－
718	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	安養寺	安養寺	－
719	正像末和讃	有形文化財	室町	安養寺	鉤山安養寺	－
720	聖徳太子絵像	有形文化財	江戸	安養寺	鉤山安養寺	－
721	七高祖絵像	有形文化財	江戸	安養寺	鉤山安養寺	－
722	阿弥陀三尊来迎図	有形文化財	南北朝	安養寺	鉤山安養寺	－
723	弁財天像	有形文化財	江戸	安養寺	弁天社	－
724	木造毘沙門天像	有形文化財	江戸	安養寺	弁天社	－
725	降棟鬼瓦	有形文化財	不詳	小柿	光円寺	－
726	棟札・棟札写	有形文化財	室町・安土桃山	下戸山	栗東歴史民俗博物館	－
727	本多俊次社領寄進状	有形文化財	江戸	中沢	中沢区	－
728	十二神像のうち辰神	有形文化財	江戸	小柿	東方寺	－
729	鰐口	有形文化財	江戸	小柿	東方寺	－
730	五輪塔	有形文化財	中世	小柿	東方寺	－
731	靖忠碑	記念物	大正	安養寺	東方山安養寺	－
732	戒山慧堅像 湛堂慧淑賛	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
733	湛堂慧淑像 靈空光謙賛	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
734	観音堂棟守札	有形文化財	江戸・明治	安養寺	東方山安養寺	－
735	戒山律師過訪賦贈 南源性派筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
736	湖東安養戒山律師袖詩過訪賦贈 高泉性激筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
737	寺名二付證状	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
738	境内開田畠年貢御赦免許状	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
739	安養寺古瓦片	有形文化財	不詳	安養寺	東方山安養寺	－
740	弥勒菩薩像 照山元瑤筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
741	宝鏡寺宮山号院号寺号額二付口演	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
742	阿弥陀名号 宝鏡寺徳嚴理豊宮筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
743	版本両界曼荼羅	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
744	大黒天立像	有形文化財	室町	安養寺	東方山安養寺	－
745	実光慧珠像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
746	希円慧鑑像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
747	慈雲飲光像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
748	不動明王像 妙沢筆	有形文化財	南北朝	安養寺	東方山安養寺	－
749	訶梨帝母像	有形文化財	室町	安養寺	東方山安養寺	－
750	戒場本尊三聖像 卓峰道秀筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
751	出山釈迦・蓮鷺・竹鷄図 狩野安信筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
752	不二山・松・竹図 円満院祐常筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
753	両界曼荼羅図 中西善之丞筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
754	不動明王・愛染明王像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
755	三千仏図	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
756	阿弥陀来迎図	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
757	虚空蔵菩薩像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
758	道宣律師像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
759	元照律師像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
760	真言八祖・聖宝・興正像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
761	宝鏡寺宮徳嚴理豊墨蹟「山院寺号」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
762	近衛左大臣墨蹟「観世音菩薩」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
763	戒山慧堅墨蹟「南無阿弥陀仏」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
764	戒山慧堅墨蹟「念無常念弥陀」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
765	独湛性螢墨蹟五言四句「贈戒山律師」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
766	東方山安養寺中興祖戒山堅和尚伝 湛堂慧淑筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
767	雑要家訓・雑要再訓 戒山慧堅筆	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
768	十度異名 戒山慧堅写書	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
769	後夜念誦作法 戒山慧堅写書	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
770	三昧耶戒并初後夜作法口決 戒山慧堅写書	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
771	血書薬師如来本願功德經 湛堂慧淑書写	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
772	安養湛堂和尚遺集「江左真艸」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
773	慈雲飲光墨蹟「神秀禪師・六祖大師偈」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
774	慈雲飲光墨蹟「功德衣和歌」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
775	功德衣（袈裟）	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
776	慈雲院光墨蹟「悉曇摩多体文」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
777	慈雲飲光著版本「人となる道」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
778	御本割高台茶碗	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
779	十二神将像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
780	慈忍慧猛像	有形文化財	－	安養寺	東方山安養寺	－
781	智幢法樹像	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
782	智幢法樹墨蹟「梵字一行書」	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
783	伝法灌頂三摩耶戒詮要私記	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
784	三摩耶戒受者作法	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
785	秘鈔・秘抄目録	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
786	伝授目録	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
787	伝授次第目録	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
788	聖観音坐像	有形文化財	平安	安養寺	東方山安養寺	－
789	東方山安養寺 慈雲飲光書跡	有形文化財	江戸	安養寺	東方山安養寺	－
790	東方山安養寺文書	有形文化財	安土桃山	安養寺	東方山安養寺	－
791	東方山安養寺	記念物	中世	安養寺	東方山安養寺	－
792	永代経志之覚	有形文化財	江戸	川辺	善性寺	－
793	降棟鬼瓦	有形文化財	江戸	川辺	善性寺	－
794	常勝寺 大般若経	有形文化財	江戸	小柿	常勝寺	－
795	地藏菩薩立像	有形文化財	－	小柿	常勝寺	－
796	阿弥陀如来立像	有形文化財	鎌倉	小柿	常勝寺	－
797	梵鐘鑄造のための勸進状	有形文化財	－	小柿	常勝寺	－
798	宝塔	有形文化財	鎌倉	小柿	常勝寺	－
799	宝篋印塔	有形文化財	鎌倉	小柿	常勝寺	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
800	山ノ上古墳出土品	有形文化財	古墳	安養寺	－	－
801	山寺屋敷古墳出土品	有形文化財	古墳	安養寺	滋賀県	－
802	下味古墳出土品	有形文化財	古墳	安養寺	滋賀県	－
803	鉄鎧	有形文化財	安土桃山	下戸山	五百井神社	－
804	五百井神社の大木	記念物 栗東らしいもの	－	下戸山	五百井神社	－
805	マンガン鉱	記念物	明治～昭和	下戸山	－	－
806	狛犬	有形文化財	室町	下戸山	五百井神社	－
807	十一面観音懸仏残欠	有形文化財	鎌倉	下戸山	小槻大社	－
808	神輿飾鳳凰・華鬘	有形文化財	室町	下戸山	小槻大社	－
809	榊本衆板札	有形文化財	南北朝	下戸山	小槻大社	－
810	小槻大社 覚書	有形文化財	江戸	下戸山	小槻大社	－
811	小槻大社	記念物	中世	下戸山	小槻大社	－
812	目川田楽茶碗	有形文化財	江戸	下戸山	個人	－
813	個人所有文書	有形文化財	江戸	小柿	個人	－
814	京伊勢屋講招牌	有形文化財	江戸・明治	岡	個人	－
815	目川・岡村絵図	有形文化財	江戸	岡	個人	－
816	個人所有文書	有形文化財	江戸	下鉤	個人	－
817	副使条葆光中山伝信録抄書	有形文化財	江戸	目川	個人	－
818	個人所有資料	有形文化財	江戸・明治	目川	個人	－
819	個人所有文書	有形文化財	江戸	川辺	個人	－
820	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	下戸山	個人	－
821	個人所有文書	有形文化財	江戸	下戸山	個人	－
822	個人所有文書	有形文化財	明治	川辺	個人	－
823	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	下鉤	個人	－
824	個人所有文書	有形文化財	明治～昭和	下戸山	個人	－
825	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	岡	個人	－
826	個人所有文書	有形文化財	江戸	下戸山	個人	－
827	個人所有文書	有形文化財	昭和	小柿	個人	－
828	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	下戸山	個人	－
829	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	下戸山	個人	－
830	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	下戸山	個人	－
831	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	小柿	個人	－
832	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	明治	下戸山	個人	－
833	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	昭和	下戸山	個人	－
834	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	大正	下戸山	個人	－
835	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	明治	上鉤	個人	－
836	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	明治	上鉤	個人	－
837	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	明治	下戸山	個人	－
838	湖風庵宗匠之碑	記念物	大正	目川	個人	－
839	久徳龍雄先生碑	記念物	明治	下鉤	個人	－
840	誓紙	有形文化財	江戸	小柿	光圓寺	－
841	方便法身像	有形文化財	安土桃山	下戸山	源流寺	－
842	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	下戸山	源流寺	－
843	菌神社の桜	記念物 栗東らしいもの	－	中沢	菌神社	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
844	大塚越古墳出土品	有形文化財	古墳	安養寺	京都大学	－
845	脇坂安治諸役免許状	有形文化財	室町	上鉤	永正寺	－
846	小野木重次諸役免許状	有形文化財	室町	上鉤	永正寺	－
847	羽柴秀次諸役免許状案	有形文化財	大正	上鉤	永正寺	－
848	永正寺文書	有形文化財	安土桃山・江戸	上鉤	永正寺	－
849	安養寺共有文書	有形文化財	江戸	安養寺	安養寺南区	－
850	降棟飾鬼瓦	有形文化財	江戸	安養寺	安養寺	－
851	道中小遣弘覚帳	有形文化財	江戸	小柿	(小柿伊勢講)	－
852	複弁八葉蓮華文軒丸瓦	有形文化財	－	安養寺	－	－
853	目川瓢箪	有形民俗文化財	－	目川	－	－
854	五百井鉾山（マンガン鉾山）	記念物	明治	下戸山	－	－
855	目川菜飯田楽	無形民俗文化財	江戸	目川・岡	－	－
856	小柿村新検之事	有形文化財	江戸	小柿	－	－
857	個人所有文書	有形文化財	江戸	下鉤	－	－
858	個人所有文書	有形文化財	江戸	岡	－	－
859	狐塚遺跡	記念物	縄文	川辺	－	－
860	下鉤遺跡	記念物	縄文 弥生	下鉤ほか	－	－
861	下鉤遺跡大型掘立柱建物	有形文化財	弥生	下鉤ほか	栗東市教育委員会	－
862	中沢遺跡	記念物	弥生	中沢	－	－
863	小柿遺跡	記念物	弥生	小柿	－	－
864	坊袋遺跡	記念物	弥生	坊袋・目川	－	－
865	大塚越古墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
866	新開3号墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
867	山ノ上古墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
868	山寺屋敷古墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
869	下味古墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
870	地山古墳	記念物	古墳	岡	個人	－
871	地山2号墳	有形文化財	古墳	岡	－	－
872	南平古墳群	記念物	古墳	川辺	－	－
873	小槻大社古墳群	記念物	古墳	下戸山	小槻大社ほか	－
874	灰塚山古墳群	記念物	古墳	川辺	－	－
875	小槻古墳群	記念物	古墳	－	－	－
876	小松寺遺跡	記念物	－	－	－	－
877	蓮台寺遺跡	記念物	古代～近世	－	－	－
878	安養寺古墳群	記念物	古墳	－	－	－
879	新開1・2号墳	記念物	古墳	安養寺	－	－
880	毛刈古墳	記念物	古墳	－	－	－
881	安養寺遺跡	記念物	古墳～近世	－	－	－
882	山田遺跡	記念物	古代	－	－	－
883	五百井社古墳群	記念物	古墳	－	－	－
884	下鉤城遺跡	記念物	－	－	－	－
885	上鉤遺跡	記念物	弥生～近世	－	－	－
886	椿山池ノ浦遺跡	記念物	古墳～近世	－	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
887	岡遺跡	記念物	奈良～平安	岡ほか	－	－
888	新開 5 号墳	記念物	古墳	－	－	－
889	新開 6 号墳	記念物	古墳	－	－	－
890	下味2号墳	記念物	古墳	－	－	－
891	灰塚山城遺跡	記念物	中世	－	－	－
892	目川遺跡	記念物	弥生～平安	－	－	－
893	小槻大社御旅所	記念物	－	岡	－	－
894	下戸山集落景観	文化的景観	－	下戸山	－	－
895	釈迦三尊十六羅漢図	有形文化財	室町	安養寺	－	－
896	目川立場	記念物 栗東らしいもの	近世	目川	－	－
897	薬師さんのクロガネモチ（巨木）	記念物 栗東らしいもの	－	－	－	－
898	安養寺山からの眺め	文化的景観 栗東らしいもの	－	－	－	－
899	龍神をまつる祠	有形文化財	－	安養寺	－	－
900	個人所有文書	有形文化財	江戸	岡	－	－
901	新日吉の霊泉	記念物	江戸	川辺	－	－
902	市有文書	有形文化財	江戸～大正	下鈎	－	－
903	仙人図	有形文化財	不詳	岡	－	－
904	治田小学校百年誌	有形文化財	明治	－	－	－
905	治田小学校所蔵文書	有形文化財	昭和	坊袋	－	－
906	老牛馬養生所跡	記念物 栗東らしいもの	江戸	小柿	－	－
907	大日さん	無形民俗文化財	－	坊袋	－	－
908	十六日講	無形民俗文化財	－	下戸山	－	－
909	菌神社の大祭（ジャコなれずし）	無形民俗文化財	－	中沢	－	－
910	水菜講・大將軍講	無形民俗文化財	－	安養寺	－	－
911	下戸山共有文書	有形文化財	昭和	下戸山	－	－
912	中沢共有文書	有形文化財	江戸	中沢	－	－
913	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	下戸山	－	－
914	大棟鬼瓦（鐘桜）	有形文化財	江戸	安養寺	－	－
915	大棟鬼瓦	有形文化財	江戸	安養寺	－	－
916	降棟鬼瓦	有形文化財	－	安養寺	－	－
917	大棟鬼瓦（鐘桜）	有形文化財	江戸	目川	－	－
918	大棟鬼瓦（本堂）	有形文化財	不詳	目川	－	－
919	ナレズシの食文化（治田）	無形民俗文化財	－	中沢	－	－
920	行儀講	無形民俗文化財	－	岡	－	－
921	日待（ひまち）	無形民俗文化財	－	坊袋	－	－
922	大日祭	無形民俗文化財	－	下戸山	－	－
923	種池かえ	無形民俗文化財	江戸	下戸山	－	－
924	閏年の若まつり	無形民俗文化財	－	下戸山	－	－
925	大師講（餅講）	無形民俗文化財	江戸	小柿	－	－
926	一里塚跡	記念物	江戸	目川	－	－
927	目川田楽（京伊勢屋跡）	記念物	江戸	岡	－	－
928	安養寺山	記念物	－	－	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
929	常勝寺の踊り念仏	無形民俗文化財	－	小柿	－	－
930	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	南北朝	綾	本覚寺	－
931	宝篋印塔（笠）	有形文化財	室町	綾	本覚寺	－
932	宝篋印塔（笠）	有形文化財	室町	綾	本覚寺	－
933	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	室町	綾	本覚寺	－
934	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	室町	綾	本覚寺	－
935	宝塔	有形文化財	鎌倉	蜂屋	共同墓地	－
936	層塔（笠）	有形文化財	平安	蜂屋	蜂屋	－
937	層塔（笠）	有形文化財	鎌倉	蜂屋	蜂屋	－
938	石仏（大形）	有形文化財	南北朝	蜂屋	蜂屋	－
939	石仏（大形）	有形文化財	中世	蜂屋	蜂屋	－
940	寄集め（集積） 宝篋印塔	有形文化財	中世	綾	仏眼寺	－
941	寄集め（集積） 五輪塔	有形文化財	室町	綾	仏眼寺	－
942	寄集め（集積） 層塔	有形文化財	南北朝	綾	仏眼寺	－
943	宝篋印塔（笠）	有形文化財	鎌倉	綾	仏眼寺	－
944	板碑	有形文化財	室町	綾	仏眼寺	－
945	一石五輪塔	有形文化財	室町	綾	仏眼寺	－
946	層塔（塔身）	有形文化財	鎌倉	小平井	蛭子神社	－
947	鉄湯釜	有形文化財	江戸	荏原	八幡神社	－
948	木柱	有形文化財	江戸	荏原	唐崎神社	－
949	鉄湯釜	有形文化財	江戸	荏原	唐崎神社	－
950	唐崎神社 灯籠	有形文化財	江戸	荏原	唐崎神社	－
951	層塔（塔身）	有形文化財	鎌倉	蜂屋	西方寺	－
952	寄集め塔（宝篋印塔基礎）	有形文化財	南北朝	蜂屋	西方寺	－
953	寄集め塔（五輪塔笠・塔身）	有形文化財	中世	蜂屋	西方寺	－
954	一石五輪塔	有形文化財	室町	蜂屋	西方寺	－
955	石仏（坐像）	有形文化財	南北朝	蜂屋	西方寺	－
956	石仏（屋根付組合式）	有形文化財	南北朝	蜂屋	西方寺	－
957	石仏（屋根付組合式 屋根欠失）	有形文化財	室町	蜂屋	西方寺	－
958	宝篋印塔（笠）	有形文化財	－	霊仙寺	正楽寺	－
959	宝篋印塔（笠）	有形文化財	－	霊仙寺	正楽寺	－
960	宝篋印塔（笠）	有形文化財	－	霊仙寺	正楽寺	－
961	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	南北朝	霊仙寺	正楽寺	－
962	層塔（笠）	有形文化財	鎌倉	小平井	浄覚寺	－
963	宝篋印塔（基礎）	有形文化財	南北朝	荏原	正林寺	－
964	一石五輪塔	有形文化財	室町	北中小路	円光寺	－
965	霊仙寺遺跡出土品（石器一括）	有形文化財	縄文	霊仙寺	栗東市教育委員会	－
966	霊仙寺遺跡出土品（遠賀川式土器）	有形文化財	弥生	霊仙寺	栗東市教育委員会	－
967	下鉤東遺跡出土品（出土瓦）	有形文化財	飛鳥	蜂屋	栗東市教育委員会	－
968	蜂屋遺跡出土品（木簡）	有形文化財	奈良	蜂屋	栗東市教育委員会	－
969	小平井廃寺とその出土瓦	有形文化財	飛鳥	小平井	栗東市教育委員会	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
970	小平井廃寺出土品（無文銀銭）	有形文化財	飛鳥	小平井	栗東市教育委員会	－
971	両脇侍像	有形文化財	鎌倉	綾	仏眼寺	－
972	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	綾	本覚寺	－
973	喚鐘	有形文化財	江戸	北中小路	法林寺	－
974	木仏尊像ならびに寺号免許状	有形文化財	江戸	北中小路	法林寺	－
975	木造不動明王立像	有形文化財	平安	綾	綾区	－
976	仏眼寺	記念物	－	綾	仏眼寺	－
977	地藏堂	記念物	－	綾	仏眼寺	－
978	阿弥陀三尊像	有形文化財	室町	綾	仏眼寺	－
979	厨子入阿弥陀如来立像	有形文化財	安土桃山	霊仙寺	八幡宮	－
980	厨子台	有形文化財	安土桃山	霊仙寺	八幡宮	－
981	大黒天	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
982	浜床	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
983	大將軍社再建棟札	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
984	弁財天社再建棟札	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
985	灯籠	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
986	竈	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
987	手水	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
988	灯籠	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
989	灯籠	有形文化財	江戸	霊仙寺	八幡宮	－
990	八幡宮本殿 附棟札	有形文化財	江戸	北中小路	八幡宮	－
991	八幡神影	有形文化財	江戸	北中小路	八幡宮	－
992	灯籠	有形文化財	江戸	北中小路	八幡宮	－
993	灯籠	有形文化財	江戸	北中小路	八幡宮	－
994	神像	有形文化財	鎌倉～室町	野尻	野尻日吉神社	－
995	厨子	有形文化財	中世～近世	野尻	野尻日吉神社	－
996	日課念仏 附仏名箱	有形文化財	江戸	野尻	野尻十人衆	－
997	親鸞画像	有形文化財	江戸	綾	西琳寺	－
998	教如上人真影	有形文化財	江戸	綾	西琳寺	－
999	西琳寺本堂	有形文化財	江戸	綾	西琳寺	－
1000	十字名号	有形文化財	室町	綾	西琳寺	－
1001	西琳寺倉庫	有形文化財	昭和	綾	西琳寺	－
1002	阿弥陀如来坐像	有形文化財	平安	蜂屋	西方寺	－
1003	懸仏残欠	有形文化財	南北朝～室町	綾	大宝神社	－
1004	神輿鏡	有形文化財	室町	綾	大宝神社	－
1005	梵鐘 「治工同郡辻村住人藤原朝臣国松庄右衛門正次」 銘	有形文化財	江戸	綾	大宝神社	－
1006	大宝神社例大祭	無形民俗文化財	－	綾	大宝神社	－
1007	大宝神社（神木楠木）	記念物 栗東らしいもの	－	綾	大宝神社	－
1008	大宝神社文書	有形文化財	鎌倉～近代	綾	大宝神社	－
1009	大宝神社本殿	有形文化財	明治	綾	大宝神社	－
1010	薬師堂版木	有形文化財	江戸	綾	大宝神社	－
1011	薬師如来立像	有形文化財	江戸	綾	大宝神社	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
1012	大宝神社四脚門	有形文化財	江戸	綾	大宝神社	－
1013	大宝神社版木	有形文化財	江戸	綾	大宝神社	－
1014	大宝神社大宮橋	有形文化財	明治	綾	大宝神社	－
1015	芭蕉句碑	記念物	明治	綾	大宝神社	－
1016	大宝神社	記念物	－	綾	大宝神社	－
1017	大宝神社社叢	記念物	－	綾	大宝神社	－
1018	大宝神社狛犬	有形文化財	鎌倉	綾	大宝神社	－
1019	懸仏残欠	有形文化財	鎌倉	綾	大宝神社	－
1020	十禅師社棟札	有形文化財	南北朝	綾	大宝神社	－
1021	喚鐘	有形文化財	江戸	小平井	浄覚寺	－
1022	蜂屋遺跡出土品（瓦）	有形文化財	飛鳥	蜂屋	滋賀県	－
1023	田中左衛門像	有形文化財	江戸	北中小路	個人	－
1024	個人所有文書	有形文化財	明治	蜂屋	個人	－
1025	個人所有文書	有形文化財	江戸	荒張	個人	－
1026	個人所有文書	有形文化財	明治～昭和	十里	個人	－
1027	鬼瓦	有形文化財	－	北中小路	個人	－
1028	個人所有文書	有形文化財	江戸・明治	蜂屋	個人	－
1029	個人所有文書	有形文化財	江戸	荻原	個人	－
1030	個人所有文書	有形文化財	昭和	綾	個人	－
1031	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	北中小路	個人	－
1032	伝統的建造物（近世民家）	有形文化財	江戸	北中小路	個人	－
1033	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	昭和	綾	個人	－
1034	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	明治	綾	個人	－
1035	伝統的建造物（近代和風建築）	有形文化財	－	綾	個人	－
1036	伝統的建造物	有形文化財	－	綾	個人	－
1037	喚鐘	有形文化財	江戸	十里	金乗寺	－
1038	薬師三尊像	有形文化財	室町	北中小路	円光寺	－
1039	阿弥陀如来立像	有形文化財	平安	蜂屋	永久寺	－
1040	方便法身尊像実如裏書	有形文化財	室町	蜂屋	永久寺	－
1041	神像	有形文化財	鎌倉～室町	蜂屋	宇和宮神社	－
1042	八幡社社殿	有形文化財	江戸	笠川	稻荷神社	－
1043	JR西日本（株）東海道本線 中ノ井 川函渠	有形文化財	明治	綾	JR西日本 （株）	－
1044	JR西日本（株）東海道本線 百々川 函渠	有形文化財	明治	綾	JR西日本 （株）	－
1045	JR西日本（株）東海道本線 市川原 川函渠	有形文化財	明治	荻原	JR西日本 （株）	－
1046	JR西日本（株）東海道本線 市川原 トンネル	有形文化財	明治	荻原	JR西日本 （株）	－
1047	JR西日本（株）東海道本線 淵ヶ上 川函渠	有形文化財	明治	荻原	JR西日本 （株）	－
1048	十里遺跡出土品（墨書土器）	有形文化財	飛鳥	十里	栗東市教育 委員会	－
1049	綾遺跡出土品（墨書土器）	有形文化財	鎌倉	綾	－	－
1050	層塔（塔身）	有形文化財	鎌倉	霊仙寺	－	－
1051	霊仙寺遺跡	記念物	縄文	霊仙寺	－	－
1052	伊勢遺跡	記念物	弥生	野尻	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
1053	伊勢遺跡掘立柱建物	有形文化財	弥生	野尻	－	－
1054	十里遺跡	記念物	弥生 飛鳥	十里	－	－
1055	蜂屋遺跡	記念物	縄文～近世	－	－	－
1056	ムネ寺遺跡	記念物	－	－	－	－
1057	仏法寺遺跡	記念物	－	－	－	－
1058	盆尺寺遺跡	記念物	－	－	－	－
1059	タイコウ寺遺跡	記念物	－	－	－	－
1060	赤子塚古墳	記念物	古墳	－	－	－
1061	蜂屋古墳	記念物	古墳	－	－	－
1062	永久寺遺跡	記念物	－	－	－	－
1063	笠川城遺跡	記念物	弥生～近世	－	－	－
1064	北中小路遺跡	記念物	－	－	－	－
1065	野尻遺跡	記念物	縄文～近世	－	－	－
1066	縄遺跡	記念物	弥生～近世	－	－	－
1067	笠川屋敷跡	記念物	－	－	－	－
1068	下鈎東遺跡	記念物	飛鳥	蜂屋	－	－
1069	蜂屋遺跡	記念物	飛鳥	蜂屋	－	－
1070	蜂屋神社の関連行事	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	－	－	－
1071	さきからの眺め	文化的景観 栗東らしいもの	現代	縄	－	－
1072	八幡宮（湯たて祭・白灯・新嘗祭）	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	霊仙寺	－	－
1073	大宝村ふるさと絵図にある暮し	文化的景観 栗東らしいもの	－	縄	－	－
1074	大宝小学校	有形文化財 栗東らしいもの	－	縄	－	－
1075	縄二丁目付近、町並み	文化的景観 栗東らしいもの	－	－	－	－
1076	春日神社八朔祭	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	－	－	－
1077	西琳寺文書	有形文化財	江戸～明治	縄	－	－
1078	北中小路殿人講共有文書	有形文化財	江戸	北中小路	－	－
1079	西田恵泉作品群	有形文化財	近現代	縄	－	－
1080	事務引継書類	有形文化財	明治	－	－	－
1081	滋賀県栗太郡大宝村是	有形文化財	明治	－	－	－
1082	北中小路共有文書	有形文化財	明治	北中小路	－	－
1083	小平井共有文書	有形文化財	昭和	小平井	－	－
1084	毘沙門天立像	有形文化財	平安	蜂屋	－	－
1085	宇和宮神社の祭（蜂屋の秋祭り）御食（みおく）（神送）	無形民俗文化財	－	蜂屋	－	－
1086	蜂屋共有文書	有形文化財	江戸・明治	蜂屋	－	－
1087	個人所有文書	有形文化財	江戸	北中小路	－	－
1088	大棟鬼瓦	有形文化財	江戸	蜂屋	－	－
1089	大棟獅子口瓦	有形文化財	江戸	霊仙寺	－	－
1090	大棟鬼瓦（門）	有形文化財	江戸	縄	－	－
1091	降棟鬼瓦（桜）	有形文化財	－	縄	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
1092	ナレズシの食文化（大宝）	無形民俗文化財	－	蜂屋	－	－
1093	折立	無形民俗文化財	－	笠川	－	－
1094	三大講	無形民俗文化財	－	蜂屋	－	－
1095	同盟会初寄り	無形民俗文化財	－	北中小路	－	－
1096	小安羅・大將軍両社の小祭	無形民俗文化財	－	十里	－	－
1097	小安羅・大將軍両社の大祭	無形民俗文化財	－	十里	－	－
1098	忠魂碑（付楠公像）	記念物	大正	綾	－	－
1099	笠川サンヤレ踊り	無形民俗文化財	－	笠川	－	－
1100	大宝村ふるさと絵図	有形文化財	現代	－	大宝村ふるさと 絵図の会	－
1101	和讃講（和散講）	無形民俗文化財	－	野尻	－	－
1102	東海道	記念物 栗東らしいもの	近世～	小柿～ 伊勢落	栗東市・ 滋賀県	－
1103	井戸関連用具	有形民俗文化財	－	－	－	－
1104	用水関連行事	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1105	花まつり	無形民俗文化財	－	東坂ほか	－	－
1106	献灯祭・百灯祭	無形民俗文化財	－	－	－	－
1107	下鉤東遺跡	記念物	弥生～近世	－	－	－
1108	二宮尊徳像	有形文化財	昭和	坊袋ほか	栗東市	－
1109	中ノ井川サオドリ関連	無形民俗文化財	－	蜂屋ほか	－	－
1110	八日薬師	無形民俗文化財	－	霊仙寺 小柿	－	－
1111	戦没者追悼行事	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1112	大宝神社相撲祭	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	綾	－	－
1113	各地のオコナイ	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1114	各地の勧請吊	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1115	地藏尊	有形文化財 栗東らしいもの	－	全域	－	－
1116	いちじく	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	－	－	－
1117	日向山の頂上からの景色	文化的景観 栗東らしいもの	－	－	－	－
1118	観音寺から眺める琵琶湖	文化的景観 栗東らしいもの	－	－	－	－
1119	栗東八景	文化的景観 栗東らしいもの	近代	－	－	－
1120	栗東の民話・昔話	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	－	－	－
1121	琵琶湖の交通（葉山川・志那街道・志 那港）	記念物 栗東らしいもの	－	－	－	－
1122	街道沿いの風景	文化的景観 栗東らしいもの	江戸～明治	全域	－	－
1123	青花紙関連資料	有形文化財	近世	－	－	－
1124	個人所有文書	有形文化財	明治	全域	－	－
1125	農耕儀礼	無形民俗文化財	－	－	－	－
1126	サギッチョ（左義長）	無形民俗文化財	－	－	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
1127	農具	有形民俗文化財	江戸～昭和	－	－	－
1128	葬儀関連	無形民俗文化財	－	－	－	－
1129	正月行事	無形民俗文化財	－	－	－	－
1130	菖蒲の節句	無形民俗文化財	－	－	－	－
1131	盆行事	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1132	地藏盆	無形民俗文化財 栗東らしいもの	－	－	－	－
1133	名月関連行事	無形民俗文化財	－	－	－	－
1134	カリジマイ・カリズテ・アキジマイ等 (収穫関連行事)	無形民俗文化財	－	－	－	－
1135	報恩講（おしる講）	無形民俗文化財	－	－	－	－
1136	雨乞い儀礼	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1137	栗東町所蔵文書	有形文化財	江戸・昭和	－	－	－
1138	各地の山の神行事	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1139	獅子舞	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1140	愛宕講	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1141	涼みの湯（湯立て）	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1142	しんこ	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1143	つるんぼし（ほし柿）	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1144	おちからおとし	無形民俗文化財	－	全域	－	－
1145	伊勢講	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1146	婚礼関連用具	有形民俗文化財	江戸～昭和	全域	－	－
1147	婚礼関連行事	無形民俗文化財	江戸～昭和	全域	－	－
1148	子育て関連用具	有形民俗文化財	明治～昭和	全域	－	－
1149	ゲノト講	無形民俗文化財	－	－	－	－
1150	ギミジル（吟味汁）	無形民俗文化財	江戸～	各地	－	－
1151	地租改正野帳	有形文化財	明治	各地	－	－
1152	野帳	有形文化財	明治	各地	－	－
1153	野取絵図	有形文化財	明治	各地	－	－
1154	実地再調帳	有形文化財	明治	各地	－	－
1155	大將軍講	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1156	弁天講・弁財天講	無形民俗文化財	－	各地	－	－
1157	地券取調総絵図	有形文化財	明治	各地	－	－
1158	手原遺跡出土品（墨書土器）	有形文化財	奈良	手原ほか	栗東市教育 委員会	－
1159	手原遺跡出土品（土馬）	有形文化財	奈良	手原ほか	栗東市教育 委員会	－
1160	手原遺跡出土品（陶馬）	有形文化財	奈良	手原ほか	栗東市教育 委員会	－
1161	中山道	記念物	近世～	笠川・ 下鉤～ 滝	滋賀県	－
1162	大江戸豪商家持丸長者鏡	有形文化財	江戸	－	－	－
1163	大江戸盛商家持丸鏡二編	有形文化財	江戸	－	－	－
1164	関八州田舎分限角力番付	有形文化財	江戸	－	－	－
1165	一ノ井川サオドリ関連用具	有形民俗文化財	－	－	－	－

文化財 No.	名 称	文化財類型	時代	地域	所有者	指定等
1166	岡笠山 夏景山水図	有形文化財	江戸	－	栗東歴史民俗博物館	－
1167	立鶴図	有形文化財	江戸	－	－	－
1168	宮城豊盛像	有形文化財	江戸	－	栗東歴史民俗博物館	－
1169	中ノ井川	記念物	－	－	－	－
1170	手原遺跡	記念物	奈良～平安	手原ほか	－	－
1171	個人所有文書	有形文化財	江戸	－	－	－
1172	栗東市所蔵文書	有形文化財	昭和	－	－	－
1173	治田村・葉山村・金勝村・大宝村合併協定書	有形文化財	昭和	－	－	－
1174	栗東町建設の後草津市合併の前提条件書	有形文化財	昭和	－	－	－
1175	栗東町新庁舎平面図	有形文化財	昭和	－	－	－
1176	目川田楽湯呑	有形文化財	近世	－	－	－
1177	野洲川	記念物	－	－	－	－
1178	金勝川	記念物	－	－	－	－
1179	葉山川	記念物 栗東らしいもの	－	－	－	－
1180	砥石（砂岩ホルンフェルス）	有形文化財	各時代	－	栗東市教育委員会	－
1181	道中本尊	有形文化財	江戸	綾	個人	－
1182	伝路賽箱	有形文化財	江戸	－	個人	－
1183	御用向ニ付願書写	有形文化財	江戸	－	個人	－
1184	薄墨繪旨写	有形文化財	江戸	－	個人	－
1185	両浜道筋之日記	有形文化財	江戸	－	個人	－
1186	鉄燈籠「天正元年、与二郎」銘	有形文化財	近代	－	個人	－
1187	マンジュボッカイ	有形民俗文化財	－	林	個人	－
1188	今井水道高割水引定	有形文化財	－	辻	個人	－
1189	四季耕作絵巻	有形文化財	－	六地藏	個人	－
1190	梵鐘鑄込表白文	有形文化財	大正	辻	－	－
1191	大津代官高札	有形文化財	江戸	下戸山	－	－
1192	滋賀県高札	有形文化財	明治	下戸山	－	－
1193	酒造店看板	有形文化財	明治	－	－	－
1194	三神丸看板	有形文化財	江戸	－	－	－
1195	乍恐口上書	有形文化財	江戸	－	－	－
1196	栗太郡志史料展覧会出品目録	有形文化財	大正	－	－	－
1197	太田猪三郎工場見取図	有形文化財	明治	辻	－	－
1198	葉山村報	有形文化財	大正	－	－	－
1199	古文書	有形文化財	－	－	－	－
1200	古文書	有形文化財	－	各地	－	－
1201	古文書	有形文化財	－	－	－	－
1202	古文書	有形文化財	－	各地域	－	－

8 歴史文化要素リストの出典資料

〔文献〕 資料名	発行年
近江栗太郡志 巻4	昭和47年(1972)
近江栗太郡志 巻5	昭和47年(1972)
栗東の歴史 古代・中世 第1巻	昭和63年(1988)
栗東の歴史 近世 第2巻	平成2年(1990)
栗東の歴史 近代・現代 第3巻	平成4年(1992)
栗東の歴史 資料Ⅰ 第4巻	平成6年(1994)
栗東の歴史 資料Ⅱ 第5巻	平成7年(1993)

〔図録〕 資料名	発行年
栗東の宗教文化	平成2年(1990)
栗東歴史民像博物館 展示案内	平成2年(1990)
(企画展) 隆堯法印と阿弥陀寺・浄厳院	平成3年(1991)
開館一周年記念企画いのりのかたちオコナイの諸相	平成3年(1991)
湖南の古代寺院 - 栗太郡の白鳳寺院を中心に -	平成3年(1991)
企画展 鋳金の美 - 辻の鋳物師たち -	平成3年(1991)
企画展 童・大童 - 昔の子育て・今の子育て -	平成3年(1991)
企画展 笠山と横井金山 - 栗東の文人画家 -	平成3年(1991)
第1回里内文庫展 明治の図書館 - 里内文庫と里内勝治郎 -	平成3年(1991)
企画展 江戸の看板 - 文字のメッセージ -	平成4年(1992)
企画展 四季耕作図の世界 - 描かれた農事風景 -	平成4年(1992)
企画展 隠元禅師生誕百年記念 「近江と黄檗宗の美術」	平成4年(1992)
企画展 かみとほとけのかたち	平成5年(1993)
町制40周年記念展近江の馬と文化	平成6年(1994)
企画展 東方山安養寺の歴史と美術	平成6年(1994)
企画展 村むらのすがた - 近江国栗太郡の村落と暮らし -	平成7年(1995)
テーマ展 職人 - 暮らしを支えた人々 -	平成8年(1996)
企画展 国松桂溪	平成8年(1996)
企画展 西田恵泉	平成9年(1997)
企画展 栗東の文化財 - 栗東町指定文化財四十年の歩み -	平成10年(1998)
企画展 宗教画家 杉本哲郎	平成10年(1998)
企画展 近江の歴史家群像	平成10年(1998)
企画展 山・里・湖の村と暮らし - 湖南の村落と水利用 -	平成10年(1998)
企画展 婚礼のすがたところ - 儀式の伝統 -	平成11年(1999)
企画展 近江湖東・湖南の画人たち	平成11年(1999)
企画展 服部岩吉 - 湖国デモクラシーの足跡 -	平成12年(2000)
市制施行記念展 近江の街道	平成13年(2001)
企画展 近江の鋳物師 - 辻村鋳物師の活躍 -	平成14年(2002)
近江の神道美術	平成16年(2004)
近江西国三十三所	平成18年(2006)
修法の美術 - 別尊法と別尊曼荼羅 -	平成19年(2007)
創造と継承 - 寺院復興 -	平成20年(2008)
発掘調査成果展 - 湖国の「塩」その歴史と民俗 -	平成20年(2008)
改定増補 栗東の歴史年表	昭和61年(1986)
遺跡表	-
栗東の文化vol.1～57	昭和59年(1984)～平成11年(1999)
滋賀県の近世民家	平成10年(1998)
滋賀県の近代和風建築	平成6年(1994)
滋賀県の近代化遺産	平成12年(2000)
中近世古道調査「中山道」	平成8年(1996)
中近世古道調査「東海道」	平成12年(2000)

〔調査結果〕 調査名など	調査年
平成16～17年石造物調査	平成16年(2004)～平成17年(2005)
大宝神社関連社調査リスト	令和2年(2020)～令和3年(2021)
建造物現況調査	令和2年(2020)～令和3年(2021)

栗東市文化財保存活用地域計画

文化庁認定 令和4年（2022）7月22日

発行年月日 令和4年（2022）11月30日

発 行 栗東市

編 集 栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課

〒520-3015 滋賀県栗東市安養寺三丁目1-1

TEL 077-551-0131／FAX 077-552-5544



令和2～4年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)